



Yokohama 通信ネットワークイン ベントリ

最終更新日: 2025年12月17日

自動翻訳

これらの資料は、翻訳ソフトウェアを使用してお客様の便宜のために翻訳されています。正確な翻訳をご提供できるよう相当な努力を払っておりますが、いかなる自動翻訳も人間の翻訳者に代わることはなく、そのようなことは意図されておりません。翻訳は「現状のまま」提供されています。他言語への翻訳の的確性、信頼性または正確性については、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行われません。翻訳ソフトには限界があるため、一部のコンテンツが正確に翻訳されていない場合があります。これらの資料の公用言語は英語です。翻訳の際に生じる相違または不一致は、コンプライアンスまたは履行の目的に関しては拘束力を有さず、法的効力はないものとします。

ここで示したいくつかの例と図は、説明の目的でのみ提供されています。ServiceNow 製品またはサービスへの実際の関連付けやつながりは意図されておらず、推測されるものではありません。

ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標です。

下記の ServiceNow ウェブサイト利用規約をお読みください。 www.servicenow.com/terms-of-use.html

自動翻訳

本社
2225 Lawson Lane
Santa Clara, CA 95054
United States
(408) 501-8550

目次

通信事業ネットワークインベントリ.....	6
通信事業ネットワークインベントリ の探索.....	7
通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル.....	9
通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデル化.....	14
ネットワークインベントリワークスペース.....	23
回路の可視化.....	30
属性パック.....	31
インベントリ番号の割り当て.....	32
での5G xNFのモデリング 通信事業ネットワークインベントリ.....	34
構成アイテムの改訂、運用化、および廃止.....	35
キャパシティ管理.....	37
ネットワークトポロジの可視化.....	38
フローデザイナーの通信ネットワークインベントリワークフロー.....	40
ラックまたはキャビネットの可視化.....	42
マップの可視化.....	45
ネットワークサービスの設計とアサイン.....	47
通信事業ネットワークインベントリの構成.....	52
通信事業ネットワークインベントリ のインストール.....	52
のユーザーロールのアサイン 通信事業ネットワークインベントリ.....	54
場所階層の定義.....	55
メーカーコードとベンダーコードの作成.....	57
電話番号のコンポーネントの作成.....	57
のディシジョンテーブルの構成 通信事業ネットワークインベントリ.....	60
通信ネットワークインベントリ属性の構成.....	63
属性パックテーブルの構成.....	64
キャパシティ管理の構成.....	66
ネットワークサービスの設計とアサイン機能の設定.....	68
他のアプリケーションとの 通信事業ネットワークインベントリ の統合.....	86
通信事業ネットワークインベントリとハードウェア資産管理との統合.....	86
通信事業とメディア向け通信ネットワークインベントリおよび注文管理.....	88
通信事業ネットワークインベントリ の使用.....	91
ネットワークインベントリワークスペースでのネットワークインベントリの確認と更新.....	92
在庫モデルの作成.....	145
ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレートの作成.....	158
作成 インベントリテンプレート 関係.....	161
モデルとテンプレートのインポート.....	176
モデルとテンプレートの階層をエクスポート.....	181
設計とアサインを使用したネットワークインベントリのインスタンス化.....	182
CMDBワークスペースでのネットワークインベントリ構成アイテムの表示.....	200

ネットワーク図の使用.....	203
CI レコードの属性パックの使用.....	205
ネットワーク トポロジの使用.....	206
ネットワークサイトマップの使用.....	207
設計とアサイン機能の使用.....	209
通信事業ネットワークインベントリ 参照.....	215
ケーブルフォーム.....	215
ケーブルモデルフォーム.....	218
キャパシティ定義フォーム.....	220
キャパシティ機能の追加フィールド.....	221
キャパシティ機能フォーム.....	222
変更要求関連タブ.....	223
一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド.....	225
一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド.....	228
[会社] フォーム.....	229
接続要素フォーム.....	229
ラックビューから機器を作成.....	230
[論理接続を作成] フォーム.....	232
[物理接続を作成] フォーム.....	233
変更要求フォームと変更タスクフォーム.....	233
デフォルトテンプレートフォーム.....	253
GPON ブロードバンド サービスの設計と割り当て.....	255
機器フォーム.....	257
機器ホルダーフォーム.....	259
機器所有者拡張クラス.....	263
設備拡張クラス.....	265
機器タスク属性フォーム.....	287
GPON ブロードバンド変更モデルフォーム.....	288
カードフォーム.....	290
インベントリモデルフォーム.....	291
インベントリモデルの追加タブ.....	300
インベントリ番号割り当てフィールド.....	301
インベントリ番号フォーム.....	303
IP アドレスインベントリ管理データモデル.....	304
場所フォーム.....	306
論理接続フォーム.....	307
[管理対象ネットワーク] フォーム.....	310
関連テンプレートの命名規則.....	313
ネットワークインベントリ変更要求フォーム.....	313
ネットワークインターフェイスモデルフォーム - [情報] タブ.....	317
[ネットワークモデルの関係] フィールド.....	319
ネットワークサイトフォーム.....	324

ネットワークポロジフォーム.....	325
バックテーブル.....	326
パス計算エラーメッセージ.....	329
物理接続フォーム.....	330
ネットワークインベントリフォームの関連タブ.....	332
関連テンプレートフォーム.....	338
ルーター、スイッチ、ファイアウォール、仮想マシン、ロードバランサー、およびサーバー のフォーム.....	339
ストランドフォーム.....	341
ストランドモデルフォーム.....	344
[Telco 機器] フォーム.....	347
通信事業ネットワークインベントリ 関数カタログ.....	348
通信事業ネットワークインベントリ サブフロー.....	366
電話番号インベントリ管理データモデル.....	379
TNI CI 属性フォーム.....	379

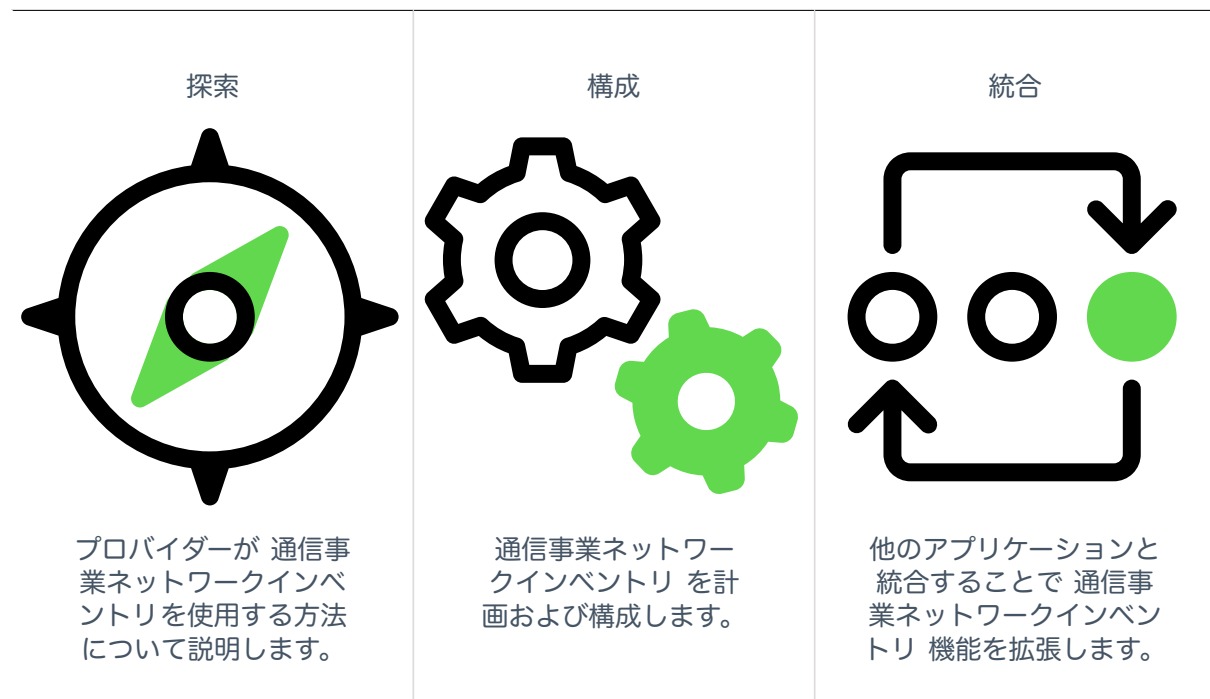
通信事業ネットワークインベントリ

ServiceNow® 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用すると、物理ネットワークと論理ネットワーク、および顧客にプロビジョニングされるサービスのデジタル表現をビルドできます。このネットワークインベントリには、電気通信ネットワークのインフラストラクチャを定義する資産、サービス、および関係が含まれています。

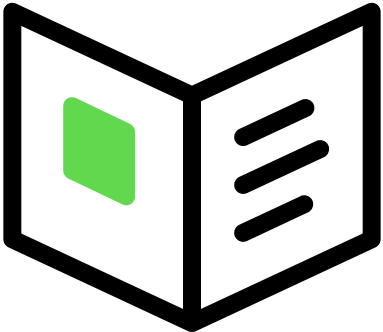
通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの概要については、こちらの短いビデオをご覧ください。

https://player.vimeo.com/video/1017254752?badge=0&autoplay=0&player_id=0&app_id=58479

始めましょう



自動翻訳

使用	参照	
 通信事業ネットワークインベントリを使用して、包括的なネットワークインベントリモデルを作成およびレビューします。	 通信事業ネットワークインベントリ参照情報を取得します。	

通信事業ネットワークインベントリの探索

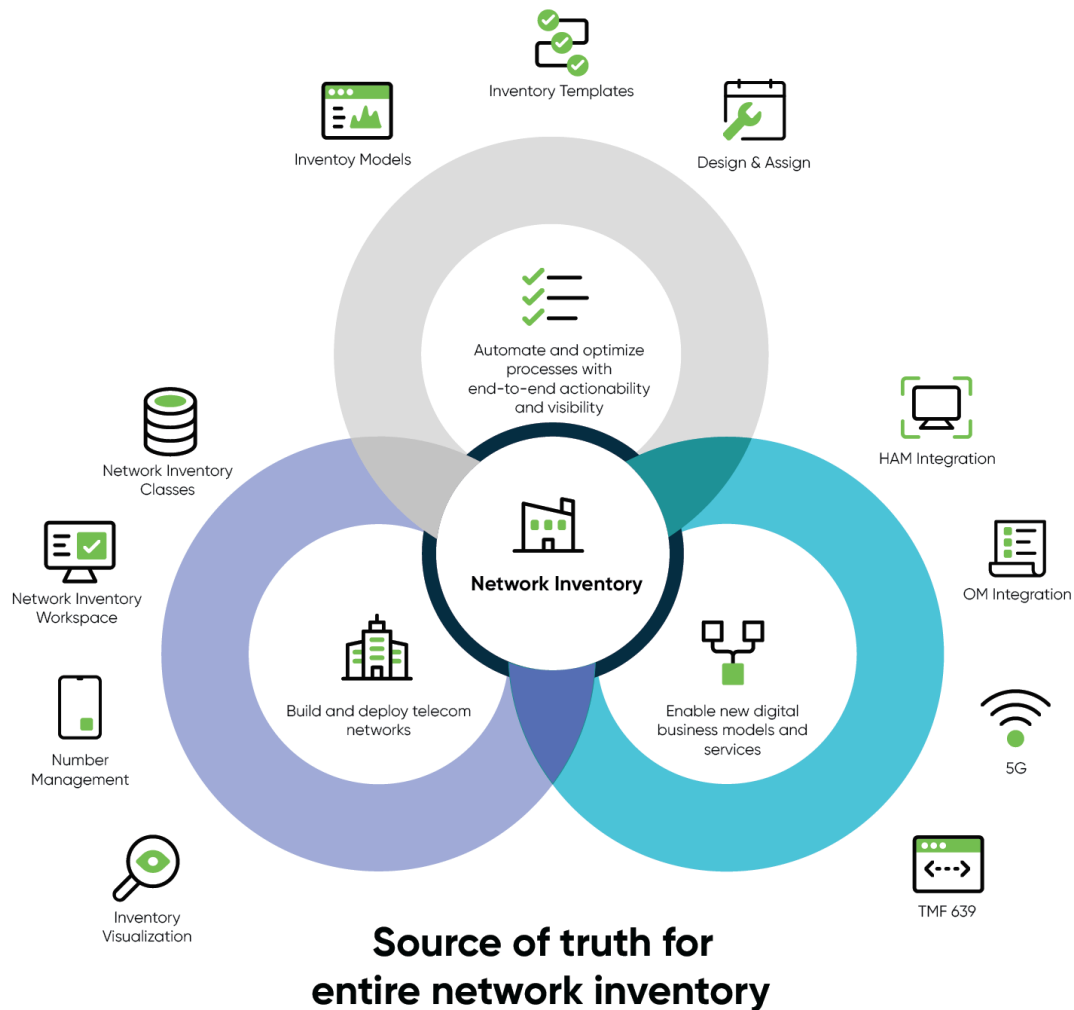
組織がNow Platform内の物理ネットワークと論理ネットワークのデジタル表現を作成するために、通信事業ネットワークインベントリアプリケーションがどのように役立つかについて説明します。

の概要 通信事業ネットワークインベントリ

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションを使用すると、統合された正確なネットワークインベントリを使用して電気通信サービスエクスペリエンスを再定義し、組織内のリソースとサービスのライフサイクルを自動化できます。通信事業ネットワークインベントリアプリケーションを使用すると、物理ネットワーク、論理ネットワーク、および顧客にプロビジョニングされたサービスのデジタル表現をビルドできます。このネットワークインベントリには、電気通信ネットワークのインフラストラクチャを定義する資産、サービス、および関係が含まれています。

ServiceNow 構成管理データベース (CMDB)には、ネットワークインベントリの詳細が保存されます。この情報を使用して、ネットワークインフラストラクチャを監視し、ネットワークの完全性、安定性、および継続的なサービス運用を確保できます。

次の例は、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの一般的な使用法を示しています。



す。

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションの主な用途は次のとおりです。

ネットワーク資産ライフサイクル管理

サービスプロバイダーが、予備のインベントリ機器、ネットワークに現在展開されている資産、および新しいネットワークの空き容量 (使用可能なスロットやポートなど) を把握できるようにします。信頼できる唯一の情報源として、正確なリソースライフサイクルデータをキャプチャ、保存、および維持します。プラットフォームワークフローを活用して、組織全体でリソースとサービスのライフサイクルを管理します。

電気通信回路設計とリソース割り当て

ネットワークサービスの作成方法を自動化します。変更ワークフローを開始する設計基準を設定して、必要な機器をアサインすることができます。

正確なネットワークインベントリに基づく電気通信サービス保証

サービスプロバイダーが、どの回線、サービス、および顧客が物理機器に関連しているかを理解できるようにします。サービスを物理ネットワークリソースにマッピングして、サービスの影響をより迅速に分析できるようにします。構成可能なダッシュボードでリソース使用率を正確に可視化します。

メリット

この 通信事業ネットワークインベントリ には、次のメリットと特長があります。

通信事業ネットワークインベントリ 機能のメリット

メリット	機能
構成管理データベース (CMDB) クラスを活用します。これは、電気通信サービスプロバイダーのニーズをサポートする電気通信業界標準です	通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル
機器を迅速にモデル化し、複雑なテンプレートを設計	通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデル化
変更ワークフローを開始して必要な機器をアサインする複雑な設計基準を設定することで、ネットワークサービスの作成を自動化します	電気通信の設計とアサイン
パーソナライズされた構成可能なワークスペースとダッシュボードを使用して、ネットワークインベントリ運用の可視化を深めます	ネットワークインベントリワークスペース
電話番号と IP アドレスを割り当てる	インベントリ番号の割り当て
5G ネットワークをモデル化する	での5G xNFのモデリング 通信事業ネットワークインベントリ
顧客の注文を必要なネットワークリソースに関連付けて、シームレスなサービスデリバリエクスペリエンスを提供します	通信事業とメディア向け通信ネットワークインベントリおよび注文管理
資産を使用して機器テンプレートをインスタンス化し、資産を調達するためのサービス要求を生成します	通信事業ネットワークインベントリとハードウェア資産管理との統合
ユーザー定義属性を持つパックを定義し、CI レコードに対して更新します	属性パック
回路とその基礎となる接続要素を可視化する	回路の可視化
機能カタログとサブフローを使用して、ネットワークインベントリの設計とアサインのプロセスを自動化します	フローデザイナーの通信ネットワークインベントリワークフロー
ネットワーク内のさまざまな要素が編成され、相互に接続されているトポロジを可視化します	ネットワークトポロジの可視化
リソースを計画、監視、および最適化するために、ネットワーク内の物理エンティティのキャパシティを計算します	キャパシティ管理
構成アイテムの改訂と運用化	構成アイテムの改訂、運用化、および廃止
ラックとキャビネットの視覚化と管理	ラックまたはキャビネットの可視化

通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル

通信事業ネットワークインベントリのデータモデルは、ネットワーク資産、インフラストラクチャ、およびサービス間の関係を表示します。この情報を使用して、新しいサービスのプロビジョニング、既存のサービスの変更、ネットワークの保守、および組織内のネットワークの増加予測の計画を行うことができます。

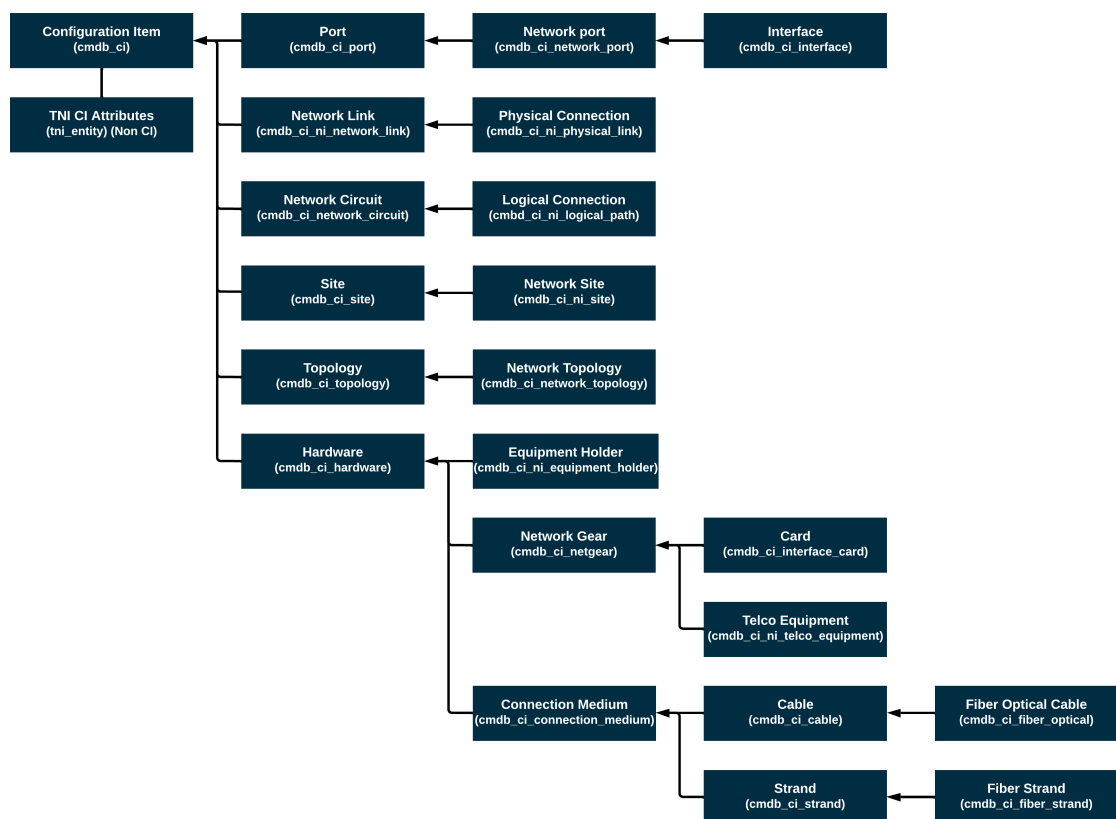
データモデルには、ネットワーク資産に関する詳細 (telco 機器構成データ、フレームワークのポート可用性サイトとサービス間の帯域幅割り当てなど) が含まれます。このデータモデルを使用すると、ネットワークインフラストラクチャとサービスを構築、管理、維持、および割り当てることができます。さらに、このデータモデルは、カスタマーサービスオーダーと内部ネットワークオーダーをサポートするネットワーク機器と接続の設計と作成を自動化します。

資産、サービス、およびネットワークインベントリの関係によって、通信ネットワークのインフラストラクチャが定義されます。この情報を使用して、ネットワークを計画し、予測できます。資産のデータをネットワークインベントリレコードに保存できます。

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションは、構成管理データベース (CMDB) 構成アイテム (CI) クラス階層を拡張するネットワークインベントリ拡張クラスを使用します。これらの拡張機能により、CMDB ネットワークインベントリ情報を保存できます。また、これらの拡張クラスは、TeleManagement(TM) フォーラムやメトロイーサネットフォーラム(MEF)などの電気通信業界の標準化団体と連携した標準化と一貫性を提供します。ネットワークインベントリ (NI) 拡張クラスの詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリ 拡張クラス](#)」を参照してください。

次の図は、ネットワークインベントリのデータモデルの拡張クラスを示しています。

ネットワークインベントリデータモデル



ネットワークサイトとネットワークの場所

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのネットワークサイトレコードは、ネットワーク機器とリソースの物理的な場所に関する情報を提供します。ネットワークサイトレコードを使用して、次のことができます。

- ネットワーク接続の発信元と終了場所を監視する
- ネットワーク資産が配置されているネットワークセンター、建物、フロア、および部屋を監視します
- ネットワーク サイトの運用ステータスを追跡する

- サービスポートロジでのネットワークサイトのマッピング
- 物理的な場所をネットワークサイトにリンクして、より適切に視覚化します
- ネットワークの障害と機能停止を特定する

ネットワークサイトは、ネットワークサイト内の機器と接続から派生した 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの構成アイテム (CI) ですが、場所は単なる物理アドレスです。

通信事業ネットワークインベントリ 拡張クラス

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションは、次の表に示すように、CMDB クラス階層を拡張する汎用構成アイテム (CI) クラスを使用します。次の表では、アプリケーション内で使用されるクラスについて説明します。

ネットワークインベントリ (NI) 拡張クラス

通信事業ネットワークインベントリ クラス	汎用 CI クラスを拡張します	説明
TNI CI 属性 [tni_entity]	非 CI クラス	TNI CI 属性レコード。 共通 通信事業ネットワークインベントリ 属性のコレクションを表します。TNI CI 属性レコードを使用して、通信事業ネットワークインベントリに関連する関連する共通属性を作成し、CI レコードとの関係を作成します。詳細については、「 TNI CI 属性フォーム 」を参照してください。
ネットワークサイト [cmdb_ci_ni_site]	サイト [cmdb_ci_site]	ネットワークサイト。 機器が配置されているネットワークセンター、建物、フロア、部屋など、各ネットワークサイトの場所固有の属性をキャプチャして管理します。 ネットワークサイトレコードを使用すると、ある場所にあるすべての機器を表示できます。割り当てられたタイプ、ロール、または機能カテゴリで場所をフィルタリングできます。詳細については、「 product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-sites.dita 」を参照してください。
機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder]	ハードウェア [cmdb_ci_hardware]	機器ホルダー 通信機器を収容する物理ユニット (ケージ、ベイ、キャビネット、スロット、リレーラックなど) を表します。機器ホルダー

ネットワークインベントリ (NI) 拡張クラス (続く)

通信事業ネットワークインベントリ クラス	汎用 CI クラスを拡張します	説明
		には、他の機器ホルダーを含めることができます。たとえば、ラインナップには個々のリレーラックが含まれ、各リレーラックには機器シェルフが含まれます。 機器所有者レコードを使用して、ネットワーク資産を追跡および管理します。詳細については、「product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-equipment-holders.dita」を参照してください。 機器ホルダーの拡張クラスの詳細については、「機器所有者拡張クラス」を参照してください。
電気通信機器 [cmdb_ci_ni_telco_equipment]	ネットワーク機器 [cmdb_ci_netgear]	通信機器 ネットワークで技術的な機能を提供するデバイスを表します。例としては、ルーター、モデム、モバイルデバイス、光ケーブル、リレー、スイッチなどがあります。機器にはスロット、カード、またはポートを含めることができます。すべての機器がラックにマウントされているわけではないため、機器は機器ホルダー内に存在することも、単独で存在することもあります。 機器レコードを使用して、Telco 機器の詳細を追跡および管理します。詳細については、以下を参照してください。 通信機器インスタンスの作成 機器拡張クラスの詳細については、「設備拡張クラス」を参照してください。
ネットワークインターフェイス [cmdb_ci_ni_interface]	ネットワークポート [cmdb_ci_ni_network_port]	ネットワークインターフェイス ネットワークインターフェイスの機器固有の属性をキャプチャして維持します。詳細については、「ネットワークインター

ネットワークインベントリ (NI) 拡張クラス (続く)

通信事業ネットワークインベントリ クラス	汎用 CI クラスを拡張します	説明
		フェイスの詳細を定義する を参照してください。
インターフェイスカード [cmdb_ci_interface_card]	ネットワーク機器 [cmdb_ci_netgear]	ネットワークインターフェイスカード ネットワークに保存されているインターフェイスカードを表します。カードは複数のスロットを占有することができます。またカードには、他のカードを含めることができます。機器の物理ポートまたは論理 (仮想) ポートにすることができます。各ポートには帯域幅の値がアサインされます。帯域幅は、ネットワーク設計でポートを使用すると消費されます。 詳細については、「カードの詳細を定義」を参照してください。
物理接続 [cmdb_ci_ni_physical_link]	ネットワークリンク [cmdb_ci_network_link]	物理接続 ネットワーク内のインターフェイスカードの物理ポート接続を表します。詳細については、「物理接続の詳細の定義」を参照してください。
論理接続 [cmdb_ci_ni_logical_path]	ネットワーク回路 [cmdb_ci_network_circuit]	論理接続 ネットワークインターフェイスカードの論理ポートまたは仮想ポートの接続を表します。論理接続は通常、インターフェイスカード上の複数の物理接続を表します。 詳細については、「論理接続の詳細の定義」を参照してください。
トポロジ [cmdb_ci_topology]	ネットワークトポロジ [cmdb_ci_network_topology]	ネットワークトポロジ ノード (機器)、エッジ (接続)、終端ポイント (インターフェイス) などのネットワーク要素のグループ化と、それらがどのように編成され、相互に接続されるかを表します。

ネットワークインベントリ (NI) 拡張クラス (続く)

通信事業ネットワークインベントリ クラス	汎用 CI クラスを拡張します	説明
		詳細については、「 ネットワークポロジの可視化 」を参照してください。

関連情報

[Network Inventory \(NI\) extension classes](#) 

通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデル化

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワークインベントリレコードを作成して、ネットワーク資産に関する詳細を保存する方法について説明します。レコードを作成するときに、各インベントリレコード間の関係を定義して、ネットワークのデジタルモデルを設計することもできます。

ネットワークインベントリワークフロー overview

ネットワークの正確なデジタル表現を構築することで、物理リソースと論理リソースを表示し、それらのリソースの使用方法を改善し、ネットワークの運用コストを削減できます。

電気通信機器やネットワークインターフェイスなどの一連のフォームを使用して、ネットワークインベントリレコードを作成および管理します。これらのフォームには、ネットワークインベントリワークスペース リストビューの [インベントリ] ノードからアクセスできます。

ネットワークインベントリレコードの作成方法

ネットワークレコードは、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで次の 2 つの方法のいずれかを使用して作成できます。

1. インベントリフォームを使用して、ネットワークインベントリレコードを手動で作成します。これらのフォームを使用して、ネットワークインベントリレコードを作成およびレビューし、それらの関係を定義できます。インベントリフォームには、ネットワークインベントリワークスペース リストビューの [インベントリ] ノードからアクセスできます。詳細については、「[ネットワーク資産インスタンスの手動作成とレビュー](#)」を参照してください。
2. 設計およびアサイン機能を使用してネットワークインベントリレコードを作成します。設計と割り当て機能を開始する前に、設計基準の在庫モデル、テンプレート、およびモデルの関係を設定します。設計およびアサイン機能を使用して、インベントリタスクを実行し、変更ワークフローを開始するネットワーク設計基準を設定します。これらのワークフローでは、インベントリリソースを割り当て、ネットワークインベントリレコードをインスタンス化できます。設計と割り当て機能の詳細については、「[電気通信の設計とアサイン](#)」を参照してください。
3. Resource Inventory Open API を使用してネットワークインベントリレコードを作成します。Resource Inventory Open API は、ネットワーク内のリソースを作成、取得、および削除するためのエンドポイントを提供します。外部システムと統合している場合は、Resource Inventory Open API を使用してインベントリレコードを取得できます。[ネットワークインベントリテンプレート](#) インベントリレコードのクエリと操作を可能にする関数の詳細については、「[Resource Inventory Open API](#) 」を参照してください。

インベントリモデルとテンプレート

インベントリモデルとテンプレートは、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワークインベントリレコードを作成するためのフレームワークを提供します。ネットワークイ

ンベントリモデルには、電気通信ネットワークのインフラストラクチャを定義する資産、サービス、および関係が含まれています。テンプレートには、ネットワーク内でネットワーク資産を構成する方法に関するビジネスガイダンスルールが含まれています。

モデル、テンプレート、およびそれらの間の関係を作成できます。ネットワークインベントリテンプレートには複数の設定を含めることができます。

- 在庫モデルの詳細については、「[ネットワークインベントリモデル](#)」を参照してください。
- インベントリテンプレートの詳細については、「[ネットワークインベントリテンプレート](#)」を参照してください。
- インベントリ モデルの関係の詳細については、「[ネットワークインベントリ関係のモデル化](#)」を参照してください。

関連情報

通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル

ネットワークインベントリモデル

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションでインベントリモデルを定義して、通信事業者機器やネットワークインターフェイスなどのネットワーク資産に関するメーカーからの技術情報を追跡できるようにします。

インベントリモデル overview

ネットワークインベントリモデルには、電気通信ネットワークのインフラストラクチャを定義する資産、サービス、および関係が含まれています。インベントリモデルには、メーカーの名前、番号、寸法、互換性のあるインターフェイスカード、および構成のメタデータが含まれています。設計および割り当て機能を使用して在庫レコードをインスタンス化すると、在庫レコードにはこの標準メーカー情報が含まれます。インベントリモデル レコードの作成方法の詳細については、「[在庫モデルの作成](#)」を参照してください。

インベントリモデルを作成した後、さまざまなネットワークモデルエンティティ間の関係を定義できます。これらのエンティティ間の互換性を定義することもできます。モデル関係の詳細については、「[ネットワークモデルの関係](#)」を参照してください。

インベントリモデルのタイプ

次のタイプのインベントリモデルを作成できます。

設備モデル

機器モデルは、ベンダーまたはメーカーから提供される機器のメタデータを表します。これは、機器用に作成されたさまざまなインスタンス全体で一貫した特性を定義します。インスタンスは、サイトまたはデータセンターでのネットワーク資産の個々の発生です。。詳細については、「[機器モデルの作成](#)」を参照してください。

機器所有者モデル

機器ホルダーモデルは、ベイ、キャビネット、ケージ、ラインアップ、リレーラック、スロットなどのコンテナ表現のメタデータを表します。[コンテナタイプ] フィールドは、機器モデルが表すコンテナのタイプを参照します 詳細については、「[機器所有者モデルを作成](#)」を参照してください。

スロットのモデリングガイドラインは、通信サービスプロバイダーによって異なります。個々のスロットモデルは、スロットのタイプによって表されます。例としては、ルート プロセッサ スロット、電源スロット、ファン スロット、または汎用スロットモデルがあります。詳細については、「[機器所有者モデルを作成](#)」を参照してください。

インターフェイスカードモデル

カードモデルは、カードのメタデータを定義します。メタデータは、そのモデルのインスタンス化されたさまざまなカード間で 一貫性がある 属性です。詳細については、「[カードモデルの作成](#)」を参照してください。

ネットワークインターフェイスモデル

ネットワークインターフェイスモデルは、製品のメーカーによって指定されたネットワークインターフェイスの動作に関する物理的特性とデータをキャプチャします。詳細については、「[ネットワークインターフェイスモデルの作成](#)」を参照してください。

物理接続モデル

物理接続モデルは、物理接続のメタデータをキャプチャします。詳細については、「[物理接続モデルの作成](#)」を参照してください。

論理接続モデル

論理接続モデルは、論理接続のメタデータをキャプチャします。詳細については、「[論理接続モデルの作成](#)」を参照してください。

ケーブルモデル

ケーブルモデルは、ケーブルのメタデータをキャプチャします。詳細については、「[ケーブル モデルの作成](#)」を参照してください。

ストランドモデル

ストランドモデルは、ストランドのメタデータをキャプチャします。詳細については、「[ストランドモデルを作成](#)」を参照してください。

ネットワークトポロジモデル

ネットワーク トポロジ モデルは、トポロジのメタデータをキャプチャします。詳細については、「[ネットワーク トポロジ モデルの作成](#)」を参照してください。

ネットワークモデルの関係

モデル関係は、インベントリモデル間の関係をキャプチャします。さまざまなネットワークモデルエンティティ間の関係を定義することで、これらのエンティティ間の互換性を定義することもできます。

モデル関係を設定するときは、[関係タイプ] フィールドで次のいずれかのオプションを選択します。

-- なし --

ネットワークモデル関係が存在しません。

ラックからスロット

ラックモデルとスロットモデルの関係。この関係は、ラックとスロットモデルが機器モデルと互換性があることを示しています。

設備からスロット

機器モデルとスロットモデルの関係。この関係は、スロットの数とスロットモデルが機器モデルと互換性があることを示しています。

注:

- [親製品モデル] フィールドには、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションに関連するすべての機器モデルのリストが表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、スロットモデルのみが表示されます。

機器からネットワークインターフェイス

機器モデルとネットワークインターフェイスモデルの関係。この関係は、インターフェイスモデルと、機器モデルと互換性があり、サポートされているインターフェイスの数を示します。

i 注:

- [親製品モデル] フィールドには、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションに関連するすべての機器モデルのリストが表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、通信事業ネットワークインベントリアプリケーションに関連するすべてのネットワークインターフェイスモデルのリストが表示されます。

スロットからインターフェイスカード

スロットモデルとインターフェイスカードモデルの関係。この関係により、機器モデルまたはカードモデルを選択する必要がある ルート製品モデル フィールドが適用されます。

i 注:

- [ルート製品モデル] フィールドには、通信事業ネットワークインベントリアプリケーションに関連するすべての機器モデルのリストが表示されます。
- [親製品モデル] フィールドには、スロットとサブスロットの両方のモデルが表示されます。
- [子製品モデル (**Child product model**)] フィールドには、すべてのインターフェイスカードモデルのリストが表示されます。

インターフェイスカードからスロット

インターフェイスカードモデルとスロットモデルの関係。この関係は、スロットモデルがインターフェイスカードモデルと互換性があることを示しています。

i 注:

- [親製品モデル (**Parent product model**)] フィールドには、すべてのインターフェイスカードモデルのリストが表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、サブスロットのモデルのみが表示されます。

インターフェイスカードからネットワークインターフェイス

インターフェイスカードモデルとネットワークインターフェイスモデルの関係。この関係は、ネットワークインターフェイスモデル内のインターフェイスの数がインターフェイスカードモデルと互換性があることを示しています。

i 注:

- [親製品モデル (**Parent product model**)] フィールドには、すべてのインターフェイスカードモデルのリストが表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、すべてのネットワークインターフェイスモデルのリストが表示されます。

物理接続から論理接続

物理接続と論理接続のモデル間の関係。

i 注:

- [親製品モデル] フィールドには、すべての物理接続モデルのリストが表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、すべての論理接続モデルのリストが表示されます。

論理接続から論理接続

ある論理接続モデルと別の論理接続モデル間の関係。

i 注:

- [親製品モデル] フィールドには、すべての論理接続モデルのリストが表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、すべての論理接続モデルのリストが表示されます。

物理接続からネットワークインターフェイス

物理接続とネットワークインターフェイス間の関係。

i 注:

- [親製品モデル] フィールドには、すべての物理接続モデルのリストが表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、すべてのネットワークインターフェイスモデルのリストが表示されます。

論理接続からネットワークインターフェイス

論理接続とネットワークインターフェイスの関係。

i 注:

- [親製品モデル] フィールドには、すべての論理接続モデルのリストが表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、すべてのネットワークインターフェイスモデルのリストが表示されます。

ラックから機器

ラックと 機器の関係。

i 注:

- [親製品モデル] フィールドには、コンテナタイプがラックであるすべての機器所有者が表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションに関連するすべての機器モデルが表示されます。

キャビネットから機器

キャビネットと機器の関係。

i 注:

- [親製品モデル] フィールドには、コンテナタイプが [キャビネット] であるすべての機器所有者が表示されます。
- [子製品モデル] フィールドには、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションに関連するすべての機器モデルが表示されます。

論理接続からチャンネル

論理接続とチャンネルの関係。

i 注:

- [親製品モデル] フィールドには、すべての論理接続モデルのリストが表示されます。
- 子製品モデル フィールドには、動作がチャンネルであるすべてのチャンネルモデルのリストが表示されます。

ネットワークインベントリ関係をモデル化する方法の詳細については、「[ネットワークインベントリ関係のモデル化](#)」を参照してください。

インベントリモデルフォームへのアクセス

インベントリモデルフォームにアクセスするにはネットワークインベントリワークスペースリストビューの [インベントリモデル] ノードを使用します。

ネットワークインベントリテンプレート

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで、通信プロバイダーからのビジネスガイドンスルールを含むネットワークインベントリテンプレートを定義します。

インベントリテンプレートの概要

テンプレートには、機器構成の生成方法に関するルールが含まれており、メーカーからの運用要件に基づいています。また、他のタイプのハードウェアとの構成および機器の互換性に関する情報も含まれています。ネットワークインベントリテンプレートとその関係の詳細については、「[ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレートの作成](#)」を参照してください。

ネットワークインベントリテンプレートのタイプ

インベントリテンプレート

ネットワークインベントリテンプレートには、通信プロバイダーからの詳細なビジネスガイドンスルールのセットが含まれています。これらのルールは、機器構成を生成する方法を指定し、特定の運用要件に基づいています。たとえば、開発した機器モデルに基づいて、人口密度の高い大都市圏で使用するテンプレートを作成し、人口密度の低い農村地域で使用する別の機器モデルテンプレートを作成することができます。在庫テンプレートの作成方法の詳細については、「[インベントリテンプレートを作成する](#)」を参照してください。

インベントリテンプレートには、インベントリテンプレートリスト内のエントリが単一のテンプレートかテンプレート関係かを示す内部属性もあります。テンプレート関係は、このテンプレートと別のテンプレートとの間に関係があることを示します。これらの関連テンプレートは、[インベントリテンプレート] フォームの [関連テンプレート] タブに表示されます。テンプレートの関係の詳細については、「[作成 インベントリテンプレート 関係](#)」を参照してください。

デフォルトテンプレート

デフォルトテンプレートは、構成アイテム (CI) クラスのデフォルトの属性値をキャプチャします。テンプレートは、任意のリソース (機器、カードなど) の属性値のセットを定義します。このデフォルトテンプレートがインベントリテンプレートに関連付けられると、そのテンプレートを使用してインスタンス化されたリソースにこれらの属性値が追加されます。

異なる属性のデフォルト値のセットをキャプチャするためのビジネス要件が複数ある場合は、機器などの単一の CI に対して複数のデフォルトテンプレートを定義できます。デフォルトテンプレートを作成して CI を選択するときに、その CI の関連属性を選択してその値を設定することもできます。

既定のテンプレートを作成する方法の詳細については、「[デフォルトテンプレートの作成](#)」を参照してください。

ネットワークインベントリテンプレートノードへのアクセス

インベントリテンプレートには、ネットワークインベントリワークスペース リストビューの [ネットワークインベントリテンプレート] ノードからアクセスできます。

ネットワークインベントリ関係のモデル化

ネットワークインベントリ関係を 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでモデル化し、インベントリテンプレート関係で使用してネットワークインベントリレコードを作成できるようにします。

ネットワークモデルの関係の概要

モデル関係は、インベントリモデル間の関係をキャプチャします。さまざまなネットワークモデルエンティティ間の関係を定義することで、これらのエンティティ間の互換性を定義することもできます。インベントリテンプレートは、モデル関係を使用してテンプレート関係を作成します。インスタンス化プロセスでは、ネットワークインベントリレコードを生成するときに作成したインベントリテンプレート関係を使用します。たとえば、機器またはカードのテンプレートを作成すると、モデル関係のデータを使用して、関連付けられたスロットとインターフェイステンプレートが自動的に作成されます。モデル関係が作成されていない場合、関連するテンプレートは作成されません。

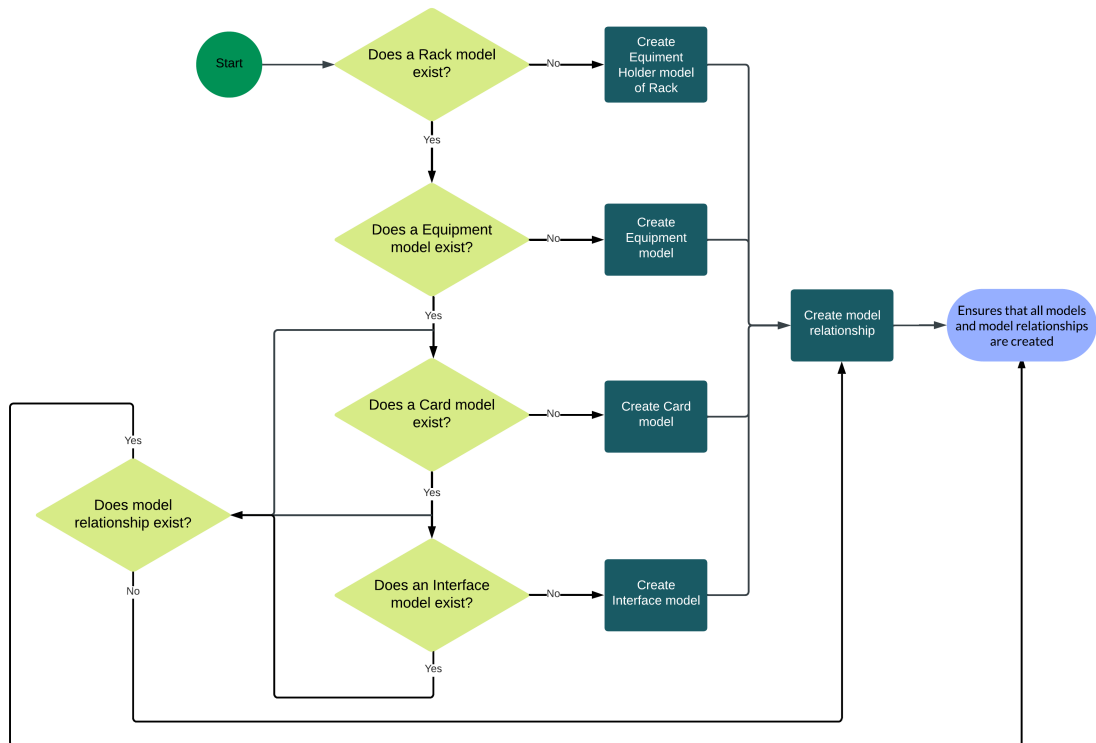
インベントリモデリングプロセス

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションで機器インベントリのインベントリモデルを作成するときは、下から上または上から下へのアプローチのいずれかを使用できます。どちらのシーケンスも許容され、終了するとどちらも同じ結果になります。

- 下から上へのアプローチ。移動したときにモデリングが開始されます ネットワークインターフェイスモデル > インターフェイスカードモデル > スロットモデル > 装置モデル > 機器ホルダーモデル (ラック)。
- 上から下へのアプローチ。移動したときにモデリングが開始されます 機器ホルダーモデル (ラック) > 装置モデル > スロットモデル > インターフェイスカードモデル > ネットワークインターフェイスモデル。

次の図は、在庫モデリング プロセスの上から下へのアプローチを示しています。

上から下へのインベントリモデリング



在庫の上から下へのモデリングの手順は次のとおりです。

1. 利用可能なラックモデルを確認します。
2. ラックモデルが利用可能な場合は、モデルの関係を確認します。そうでない場合は、ラックの機器ホルダーモデルを作成します。
3. 機器モデルを確認します。
4. 機器モデルが利用可能な場合は、モデルの関係を確認します。そうでない場合は、機器モデルを作成します。
5. インターフェイスカードのモデルを確認します。
6. インターフェイスカードモデルが利用可能な場合は、モデルの関係を確認します。そうでない場合は、インターフェイスカードモデルを作成します。
7. ネットワークインターフェイスモデルを確認します。
8. ネットワークインターフェイスモデルが利用可能な場合は、モデルの関係を確認します。そうでない場合は、ネットワークインターフェイスモデルを作成します。
9. 各インベントリモデルを作成した後、モデルの関係を確認します。そうでない場合は、モデル関係を作成します。

このプロセスにより、すべてのモデルとモデル関係がメーカーの推奨事項に従って作成されます。

関連情報

[在庫モデルの作成](#)

[ネットワーク モデル関係の定義](#)

電気通信の設計とアサイン

設計およびアサイン機能を使用すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワークインベントリとネットワークサービスのデジタル表現を構築できます。

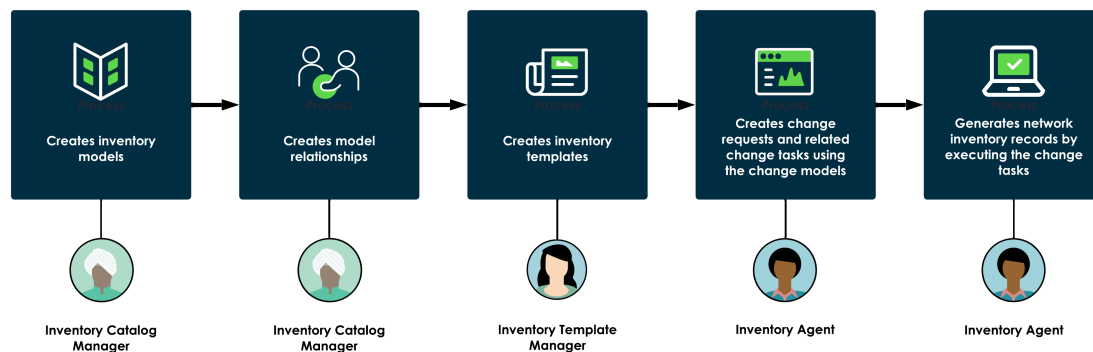
詳細の設計とアサイン

設計およびアサイン機能を使用すると、インベントリタスクを順次または並列に実行して、変更ワークフローを開始するネットワーク設計基準を設定できます。これらのワークフローを使用すると、インベントリリソースを割り当て、ネットワークインベントリをインスタンス化できます。また、得意先注文から収集した情報を使用して、設計および割り当て機能を実行することもできます。

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションで設計および割り当て機能を実行する場合は、変更管理アプリケーションおよびワークフロースタジオアプリケーションの標準プロセスを使用します。変更要求を作成すると、ネットワークインベントリリソースをインスタンス化して、ネットワークサービスポートロジをサポートできます。正確なリソース割り当てにより、新しいネットワークキャパシティを効率的にビルドできます。ワークフローを自動化して、ネットワークサービスを作成および拡張することもできます。

単純な回線と複雑なネットワーク インフラストラクチャの両方を設計および設定できます。その後、ネットワーク割り当てのパス分析と計算を実行できます。パッシブ光ネットワーク(PON)には、仮想ローカルエリアネットワーク(VLAN)とリンクアグリゲーショングループ(LAG)のアサインルールを適用することもできます。設計および割り当て機能を使用すると、ネットワーク リソースを設計および割り当てるときに、テクノロジーとプロセスの制限が適用されます。

ワークフローの設計とアサイン



設計を開始して機能を割り当てる前に、設計基準のモデル、モデル関係、テンプレート、およびテンプレート関係を定義します。次に、Now Platform は、ネットワークインベントリをインスタンス化するために必要なすべてのタスクを実行する自動ワークフローを生成します。

インベントリテンプレートまたはカタログマネージャーは、次のタスクを実行してネットワークインベントリをインスタンス化できます。

1. インベントリモデルを作成します。インベントリモデルを作成して、ネットワーク資産に関するメーカーからの技術情報を追跡します。インベントリレコードをインスタンス化すると、インベントリレコードにはこの標準メーカー情報が含まれます。詳細については、「[在庫モデルの作成](#)」を参照してください。
2. モデル関係を作成します。モデルの関係は、インベントリモデル間の関係をキャプチャします。詳細については、「[ネットワークインベントリ関係のモデル化](#)」を参照してください。
3. インベントリテンプレートを作成します。通信プロバイダーのビジネスガイダンスルールを含むネットワークインベントリテンプレートを作成します。詳細については、「[ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレートの作成](#)」を参照してください。

その後、変更管理ワークフローを使用して新しいネットワークインベントリレコードをインスタンス化し、ネットワーク設計を実行できます。インベントリエージェントは、次のタスクを実行します。

1. 変更モデルを使用して変更要求を作成します。詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成](#)」を参照してください。
2. 変更要求から変更タスクを作成します。ネットワーク資産のインスタンス化は、アプリケーションプログラミングインターフェイス (API) または変更要求から作成した変更タスクを使用して行われます。詳細については、「[での変更タスクの作成と実行 通信事業ネットワークインベントリ](#)」を参照してください。

タスクが完了すると、次の処理が行われます。

- ネットワークインベントリレコードが生成されます。レコードは、インベントリテンプレートおよび関連するインベントリモデルに対して定義したものと同一構造関係に基づいています。構成されたアイテムは、インベントリモデルと関連するすべてのインベントリモデルで構成されます。
- 他の運用サポートシステムやビジネスサポートシステムと統合すると、プロセスによって内部ワークフローがトリガーされます。このワークフローにより、指定されたサイトでのネットワーク資産の購入、インストール、出荷、およびインスタンス化が完了します。この内部ワークフローは、ワークフロースタジオ のインベントリモデルに関連付けられている個々のタスクまたはタスクのリストに基づいています。

インスタンス化の例

設計およびアサイン機能を使用して、一連のネットワークインベントリレコードを作成して、ギガバイトパッシブ光ネットワーク (GPON) ブロードバンドの注文要求を履行できます。詳細については、「[GPON ブロードバンド サービスの設計と割り当て](#)」を参照してください。

関連情報

[Flow Designer](#)

[Change Management](#)

[ネットワークインベントリモデル](#)

[ネットワークインベントリテンプレート](#)

[ネットワークインベントリ関係のモデル化](#)

ネットワークインベントリワークスペース

ネットワークインベントリワークスペースは、ネットワークインベントリを管理するための通信事業ネットワークインベントリアプリケーションの直感的で合理化されたユーザーインターフェイスです。ネットワークインベントリワークスペースを使用して、インベントリの詳細を表示し、すべてのタスクタイプに回答し、ネットワークの設計などのネットワーク機能を実行できます。

の概要 ネットワークインベントリワークスペース

ネットワークインベントリワークスペースはネクストエクスペリエンス UI 上にビルドされます。これは、担当者がネットワークインベントリを表示および更新できるようにするツールスイートです。

ネットワークインベントリワークスペースを使用すると、次のタスクを実行できます。

- サイトに存在する機器エンティティの全体的な運用ステータスを迅速に判断します。
- ネットワーク資産に関する詳細情報にアクセスして表示および更新し、必要に応じてネットワークインベントリを迅速に作成します。
- 即時の対応が必要な未解決の問題を管理します。
- リストビューから日次タスクを実行します。

アサインされたロールとペルソナに応じて、ネットワークインベントリワークスペース 毎日使用する機能へのアクセスに必要な情報が提供されます。

ダッシュボード

ネットワークインベントリワークスペースのビューでは、ネットワークインベントリと日常タスクのすべての重要な側面を可視化できます。ネットワークインベントリワークスペースには次のビューが含まれています。

- **ネットワークインベントリワークスペースランディングページ**: アクティブなタスクとそれらへのクイックアクセスリンクを表示します。
- **ネットワーク インベントリ管理ビュー**: ネットワークインベントリの詳細を表示します。
- **ネットワークインベントリワークスペースのリストビュー**: インベントリクラスおよび機能のフィルタリングされたリストにアクセスして、ネットワークインベントリタスク (設計や割当など) を実行します。

関連情報

[Working in the Next Experience UI](#)

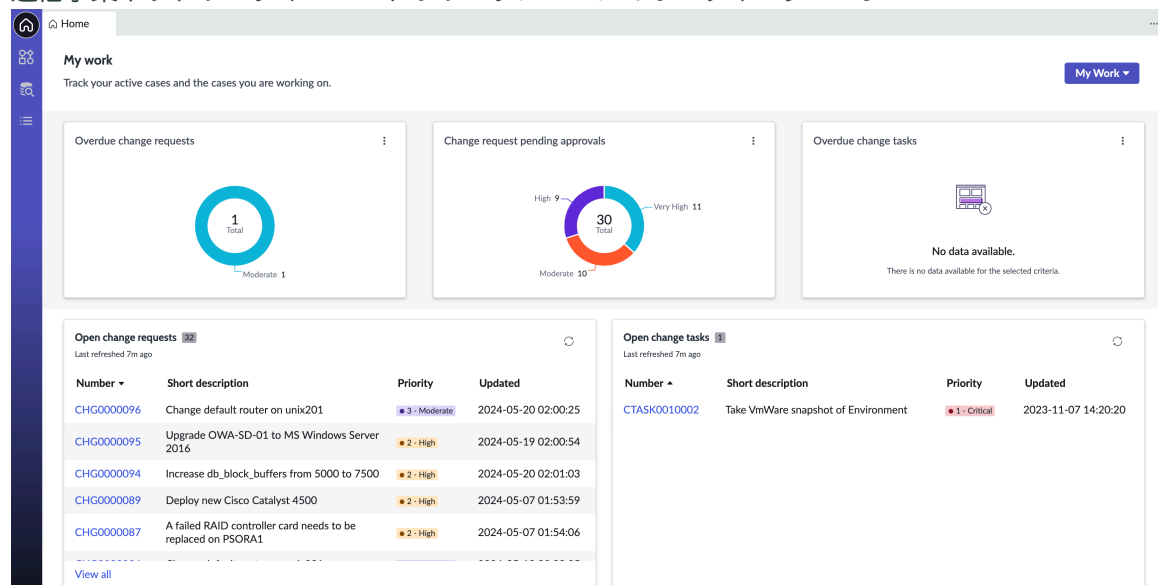
ネットワークインベントリワークスペースランディングページ

ネットワークインベントリワークスペース ランディングページからネットワークインベントリをリアルタイムで可視化し、日常のタスクを実行します。

ネットワークインベントリワークスペースのランディングページには、自分とチームのアサインのリストが表示されます。たとえば、ランディングページで、自分に割り当てられているオープンな変更要求と変更タスクの数を確認できます。このページを使用して、自分の作業とチームの作業のリアルタイムデータを取得できます。

次の画像は、 ネットワークインベントリワークスペース ランディングページの例を示しています。

通信事業ネットワークインベントリワークスペースのランディングページ



ランディングページウィジェット

ランディングページのウィジェットは、ユーザーとチームが作業負荷を監視し、優先度の高いアイテムに集中し、責任全体を簡単に移動するのに役立ちます。ウィジェットを選択すると、アクションが必要な問題のリストが表示されます。

ワークスペースのランディングページウィジェット

ウィジェットまたはチャート	説明
期限切れの変更要求	期限切れの変更要求のドーナツグラフによるグループ化。ウィジェットには、リスク別にグループ化された変更要求の合計数が含まれています。
承認待ちの変更要求	承認待ちの変更要求のドーナツグラフによるグループ化。ウィジェットには、リスク別にグループ化された変更要求の合計数が含まれています。
期限切れの変更タスク	期限切れの変更タスクのドーナツグラフによるグループ化。ウィジェットには、優先度別にグループ化された変更タスクの合計数が含まれています。
オープン中の変更要求	すべてのオープンなネットワーク変更要求のリスト。このウィジェットでは、既存の変更要求のみを表示できます。
オープン中の変更タスク	すべてのオープンなネットワーク変更タスクのリスト。このウィジェットでは、既存の変更タスクのみを表示できます。

アサイン済みタスクの表示

ランディングページで、次の操作を行って、自分とチームにアサインされた変更要求と変更タスクを表示します。

- [自分の作業] を選択して、アサインを表示します。
- [自分のチームの作業] を選択して、チームのアサインを表示します。

ネットワーク インベントリ管理ビュー

通信事業ネットワークインベントリワークスペースのインベントリ管理ビューを使用して、ネットワークインベントリの詳細ビューを取得します。

インベントリ管理ビューには、機器、機器ホルダーネットワークサイト、接続などのネットワークインベントリの詳細が表示されます。 次のタブを使用してインベントリの詳細を表示し、適切なアクションを実行します。

概要

モデル、メーカー、ライフサイクル状況別にグループ化された機器の合計数、選択したサイト内のラック、ポート、スロットの可用性など、さまざまなインベントリデータを表示します。

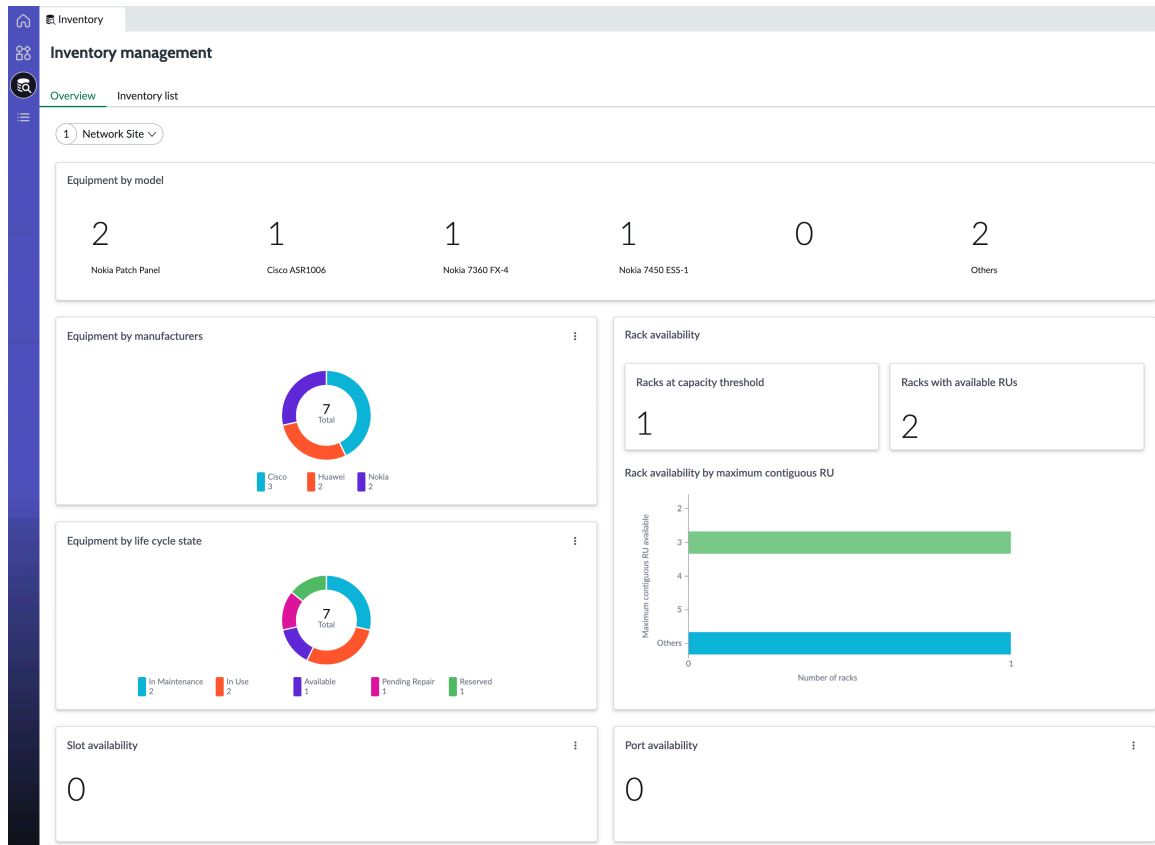
インベントリリスト

サイドパネルで選択したオプションに基づいて、ネットワークサイトまたはネットワーク資産 (機器や接続など) のリストを表示します。

[概要] タブ

[概要] タブを使用して、さまざまなネットワーク インベントリ データ 選択したネットワーク サイト内の統合ビューを表示します。

インベントリ管理ビュー



ウィジェットまたはチャートを選択すると、アクションが必要なアイテムのリストが表示されます。

インベントリ管理ウィジェット

ウィジェットまたはチャート	説明
model 別の機器	モデル別にグループ化された個々の機器の数。ウィジェットには、最もよく使用される 5 つの電気通信機器モデルの標準セットが含まれています。機器モデルごとに、機器の合計数を表示できます。
メーカー別の機器	供給メーカー別の機器のドーナツグラフグループ。ウィジェットには、最も使用されている電気通信機器メーカー 5 社の標準セットが含まれています。各メーカーについて、機器の合計数を表示できます。
ライフサイクル状態別の機器	機器のドーナツグラフグループy 現在のライフサイクルステータス。ウィジェットには、ネットワークサイト内の機器の数 が 選択 され、次のライフサイクル 状況別にグループ化されて表示されます。 • 使用中 • 空 • 予約済み • 利用可能

インベントリ管理ウィジェット (続く)

ウィジェットまたはチャート	説明
	- メンテナンス中 - その他
キャパシティしきい値に達したラック	しきい値キャパシティを超えて占有されているラックの数
使用可能な RU があるラック	利用可能なラックユニットを備えたラックの数。
最大隣接 RU によるラックの可用性	使用可能なラックの最大隣接ラックユニットの棒グラフ表現。
スロットの可用性	機器モデル全体で利用可能なスロットの数
ポートの可用性	機器モデル全体で利用可能なポート数の数。

i 注:

ワークスペースのランディングページでカウントデータが収集および更新される方法の詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースウィジェットのデータ収集と更新](#)」を参照してください。各ウィジェットに表示されるコンテンツをカスタマイズする方法については、「[ネットワークインベントリワークスペースウィジェットのコンテンツのカスタマイズ](#)」を参照してください。

[インベントリリスト] タブ

[インベントリリスト] タブを使用して、サイドパネルで選択したアイテムに基づいてネットワークサイトまたはネットワーク資産のリストを表示し、適切なアクションを実行します。サイドパネルには、次のが一覧表示されます。

- グローバルな場所で利用可能なすべての場所。
- グローバルな場所で利用可能なすべてのネットワークサイト。
- 各ネットワークサイトに関連付けられている機器や接続などのネットワーク資産。

[インベントリリスト] タブ

[インベントリリスト] タブでは、次のアクションを実行できます。

- サイドパネルで、the の場所を展開して、関連するネットワークサイトを表示します。
- 場所を選択すると、関連するネットワークサイトレコードがリストビューに表示されます。
- サイドパネルで、各ネットワークサイトを展開して、関連する接続または機器を表示します。
- [機器] を選択して関連する接続または機器レコードのリストを表示します。
- [接続] を選択して、ネットワーク サイト内の関連する物理接続レコードと論理接続レコードの一覧を表示します。
- リストビューでレコードを選択して、そのフォームビューにリダイレクトします。

インベントリ管理ビューへのアクセス

インベントリ管理ビューを開くには、サイドパネルのデータベース検索  を選択します。

ネットワークインベントリワークスペースのリストビュー

リストビューを使用して、インベントリクラスと機能にアクセスし、ネットワークインベントリタスクを実行します。

ネットワークインベントリワークスペースの左側にある [リスト] ビューから、ほとんどの通信事業ネットワークインベントリクラスと関数にアクセスできます。リストビューにアクセスするには、リストアイコン()を選択します。

[Lists (リスト)] ペインでは、さまざまなカテゴリのフィルター済みリストを使用して、ケースとタスクにすばやくアクセスできます。

次のクラスにアクセスできます。

ネットワークインベントリクラス

クラス	詳細
ネットワークサイト	ネットワークサイトのリストを表示します。ネットワークサイトの詳細を更新または作成します。詳細については、「 product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-sites.dita 」を参照してください。
インベントリ	ネットワーク資産の個々のインスタンスを手動で作成し、それらの相互関係を定義します。詳細については、「 ネットワーク資産インスタンスの手動作成とレビュー 」を参照してください。
インベントリ番号の割り当て	通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのインベントリ番号割り当て機能を使用して、仮想ローカルエリアネットワーク (VLAN) またはリンクアグリゲーショングループ (LAG) を管理します。詳細については、「 インベントリ番号の割り当て 」を参照してください。
サービス	通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのサービスを使用して、ネットワークを管理およびモデル化します。詳細については、以下を参照してください。

ネットワークインベントリクラス (続く)

クラス	詳細
インベントリモデル	インベントリモデルのメタデータを作成し、ネットワーク資産のインスタンス化のために相互の関係を定義します。詳細については、以下を参照してください。 • ネットワークインベントリモデル • 在庫モデルの作成
ネットワークインベントリテンプレート	インベントリテンプレートとデフォルトテンプレートを作成し、ネットワーク資産のインスタンス化のためにそれらの関係を定義します。詳細については、以下を参照してください。 • ネットワークインベントリテンプレート • ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレートの作成
インベントリのキャパシティ	ネットワーク内の物理エンティティのキャパシティを計算します。詳細については、「キャパシティ管理」を参照してください。
インポート	通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで Import を使用して、モデルとテンプレートをインポートします。詳細については、「モデルとテンプレートのインポート」を参照してください。
アドミニストレーション	通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを構成します。詳細については、「通信事業ネットワークインベントリの構成」を参照してください。 i 注: リストビューのすべての選択には、[管理] ノードの下での次の選択を含め、すべてのユーザーロールからアクセスできます。ただし、admin ロールが割り当てられているユーザーのみが、管理機能の書き込みまたは削除アクセス権を持ちます。
変更	設計とアサインを使用してネットワークインベントリをインスタンス化します。詳細については、「電気通信の設計とアサイン」を参照してください。
調達	ネットワーク資産を調達するための部品表を作成します。詳細については、「通信事業ネットワークインベントリとハードウェア資産管理との統合」を参照してください。

回路の可視化

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのネットワーク図には、論理接続とその基礎となる接続要素の階層マップがグラフィカルに表示されます。ネットワーク図を使用して、論理接続の詳細な概要を取得できます。

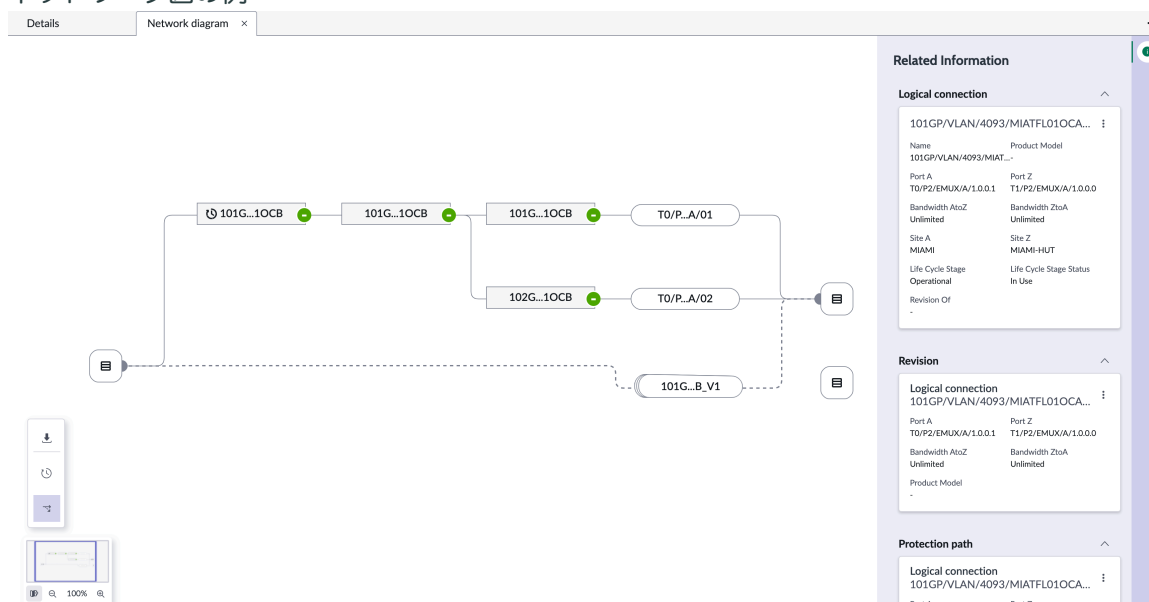
ネットワーク図には、論理接続要素の回路と各要素の詳細がグラフィカルに表示されます。論理接続の詳細な概要と、さまざまな要素が互いにどのように接続されているかを示します。ネットワーク図を使用すると、次のものを表示できます。

- 論理接続と基になるすべての接続要素。
- 論理接続および基礎となるすべての接続要素のリビジョン。
- 論理接続の保護パス。

論理接続の保護パスは、プライマリパス (論理接続) に障害が発生した場合、または重大な問題が発生した場合の代替ルート参照します。

次の例は、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのネットワーク図を示しています。

ネットワーク図の例



ネットワーク図には、次の 2 つのパネルが含まれています。

- マップペインには、選択した論理接続のマップ、論理接続のリビジョン、および保護パスが表示されます。
- 詳細ペインには、現在の選択に従って論理接続の関連情報が表示されます。

ネットワーク図の使用方法の詳細については、「[ネットワーク図の使用](#)」を参照してください。

マップペイン

マップには、ホームノード CI から始まり、指定されたレベルまでの階層内のすべての論理接続要素が表示されます。階層レベルを最大 3 レベルまで展開し、基礎となるすべての接続を表示できます。下に接続要素がある接続のみを展開できます。

マップペインでは、次のアクションを実行できます。

- ノードを展開 および折りたたむ、基になるすべての接続を表示します。
- 論理接続のリビジョンを表示します。
- 論理接続の保護パスを表示します。
- ズームコントロールを使用して、マップをズームインまたはズームアウトします。

詳細については、「[ネットワーク図の詳細を表示する](#)」を参照してください。

詳細ペイン

詳細ペインには、ネットワーク図の論理接続要素に関する関連情報が表示されます。マップペインでノードが選択されている場合、詳細ペインにはそのノードの関連情報が表示されます。たとえば、ネットワーク図で論理接続ノードを選択すると、その論理接続に関連するすべての詳細が詳細ペインに表示されます。

詳細ペインでは、次のアクションを実行できます。

- 情報アイコン () を選択して、詳細ペインを開きます。
- 詳細ペインで [その他のオプション] アイコン () を選択し、[詳細を表示] を選択して対応する CI フォームにリダイレクトします。

アクセス

通信事業ネットワークインベントリワークスペースネットワーク図 にアクセスできます

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. 目的の論理接続レコードを開きます。
3. [接続の表示] を選択して、それぞれの論理接続のネットワーク図を開きます。

属性パック

属性パックを使用して、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの構成アイテム (CI) の一連のレコードに対して定義した属性をキャプチャします。CI に属する在庫フォームで、ネットワーク資産に関する追加情報をキャプチャできます。

属性パックの概要

属性パックは、CI のサブセットに関連付けることができる属性のコレクションです。パックは、追加の属性セットです。これらの属性は、標準 Now Platform テーブルおよび列として定義されます。

属性パックテーブルを作成し、パックテーブルと CI の間のマッピングを構成します。CI レコードを作成または更新するときに、パックテーブルを追加し、インベントリオブジェクトに関する追加情報を指定できます。

属性パックを使用すると、CI とその属性をより詳細に管理できます。たとえば、サーバーを CI と見なす場合、サーバーの属性パックには、ホスト名や IP アドレスなどの属性を含めることができます。これらの属性は、ライフサイクル全体でサーバーを管理および追跡するのに役立つ、サーバーに関する追加情報を提供します。インベントリフォームで属性パックを使用する方法の詳細については、「[インベントリフォームでの属性パックの使用](#)」セクションを参照してください。

属性パックを使用して、組織または CI のサブセットの要件に従って属性をカスタマイズします。このカスタマイズにより、組織は現在および将来のインベントリ管理のニーズを拡張できます。

インベントリフォームでの属性パックの使用

インベントリフォームで属性パックを使用するには、アドミニストレーターとして次のタスクを実行する必要があります。

- 定義した属性を使用してパックテーブルを作成します。詳細については、「[属性パックテーブルの作成](#)」を参照してください。
- パックテーブルと、それを使用するインベントリオブジェクトの間のマッピングを構成します。詳細については、「[構成アイテムに対する属性パックテーブルの構成](#)」を参照してください。

パックテーブルを作成して構成した後、CI レコードで使用できます。詳細については、「[CI レコードの属性パックの使用](#)」を参照してください。

インベントリ番号の割り当て

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのインベントリ番号割り当てを使用して、IP アドレス、電話番号の割り当て、仮想ローカルエリアネットワーク (VLAN)、またはリンクアグリゲーショングループ (LAG) を管理できます。この機能を使用すると、物理数と論理数を整理、追跡、および管理できます。

メリット

番号管理ツールは、組織に次のメリットをもたらします。

1. 正確で一貫性のあるデータ。
2. より効率的で効果的な運用につながる傾向とパターンに従う能力。
3. コストを削減して、リソースとプロセスを最適化または合理化できます。
4. リソースの使用方法を追跡して分析します。
5. 重要業績評価指標 (KPI) を追跡して、組織がパフォーマンスを監視して改善できるようにします。
6. ステークホルダーがビジネスのパフォーマンスを理解できるように、データを明確に提示します。

番号管理ツール

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションを使用すると、以下を管理できます。

1. IP アドレス。詳細については、「[IP アドレスの割り当て](#)」を参照してください。
2. 電話番号。詳細については、「[電話番号の割り当て](#)」を参照してください。
3. VLAN と LAG 詳細については、「[インベントリの番号付けを定義する](#)」を参照してください。

IP アドレスの割り当て

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの IP アドレス割り当てを使用すると、IP プール、IP ネットワークサブネット、割り当てられた IP アドレス、およびクラスレスドメイン間ルーティング (CIDR) を作成、レビュー、および更新できます。

IP アドレステーブル

- **IP プール:** IP プールは、/16 または /24 IP アドレスのサブネットマスクなど、大規模なネットワークに割り当てられる IP アドレスの連続した範囲です。
- **IP ネットワークサブネット:** IP ネットワークサブネットは、/28 または /29 アドレスのサブネットマスクなど、顧客に割り当てられる IP アドレスを表します。

- 割り当て済み IP アドレス: 割り当て済み IP アドレスは、IP ネットワークサブネットの一部であり、構成アイテム (CI) にアサインできるすべての個々の IP アドレスのリストです。割り当てられた IP アドレスを使用して、IP アドレスをホストに割り当てることができます。
- 管理対象ネットワーク: 管理対象ネットワークは、既存のすべてのネットワークまたは新しいネットワークのリストです。管理対象ネットワークを使用すると、ネットワークを IP プールまたは割り当てられた IP アドレスに割り当てることができます。詳細については、「[管理対象ネットワークを作成](#)」を参照してください。

IP アドレスの管理方法の詳細については、「[IP アドレスインベントリ管理データモデル](#)」を参照してください。

ユースケース

たとえば、インターネットアクセスを必要とする会社がサービスプロバイダーに注文要求を送信するとします。注文要求は、/30 のサブネットを持つ WAN IP アドレスと注文タスクを割り当てるための注文明細品目を生成します。IP アドレスを割り当てるために、変更要求が開始されます。この変更要求により、次の変更タスクが開始されます。

- 設計ガイドラインに従って、/30 個の IP アドレスのサブネットマスクの IP プールレコードを作成します。詳細については、「[IP プールレコードの作成](#)」を参照してください。
- /30 個の IP アドレスと 4 つの個別の IP アドレスのサブネットマスクの IP ネットワークサブネットを作成します。詳細については、「[IP ネットワークサブネットレコードの作成 アドレスと IP アドレス](#)」を参照してください。
- アプリケーションサービスを作成します。
- IP ネットワークサブネットを変更要求に関連付けます。

関連情報

[IP アドレスの割り当てを作成](#)

電話番号の割り当て

電話ブロック、電話番号、および電話番号の割り当てについて説明します。また、それらの間の利点と関係、およびそれらをより効果的に管理する方法を学ぶこともできます。

電話番号インフラストラクチャ

- 電話ブロック: 電話ブロックは、アドミニストレーターによって電話会社のオペレーターに割り当てられた電話番号のプールです。
- 電話番号: 電話番号は、電話をかけたり受けたりするために電話回線またはデバイスに割り当てられた一意の数値識別子です。電話番号のリストを追加、確認、および更新できます。
- 電話番号の割り当て: 電話番号の割り当ては、割り当てられている、または顧客に割り当てることができるすべての電話番号で構成されます。

詳細については、「[電話番号インベントリ管理データモデル](#)」を参照してください。

注:

- 電話番号に関するアクティビティを実行するには、インベントリ番号マネージャー (sn_inv_num_mgmt.inventory_number_manager) ロールにアサインされていることを確認してください。
- 電話ブロック、番号、または番号割り当てを作成するには、必ず電話番号のコンポーネントを作成します。詳細については、「[電話番号の構成要素](#)」を参照してください。

電話システムのユースケース

ネットワークオペレーターが、ポートイン番号、サードパーティ番号、所有番号、およびその他のタイプの番号を含む一連の番号を持っているとします。これらの番号を管理するために、在庫番号マネージャーは電話ブロックを作成できます。詳細については、「[電話ブロックの作成](#)」を参照してください。

ここで、Voice over Internet Protocol (VoIP) または Unified Communication as a Service (UCaaS) ベースのサービスを使用している顧客が、一連の番号の要求をオペレータに送信します。要求された一連の番号は、3 つの異なる地域、国、または一連の番号に属しています。

前のシナリオを実行するために、インベントリエージェントは電話番号の割り当てを作成したり、特定のブロック内のエリアまたは地域の電話番号を作成したりできます。詳細については、「[電話番号割り当ての作成](#)」と「[エリアまたは地域の電話番号を作成する](#)」を参照してください。このプロセスは、オペレーターが次の問題を特定するのに役立ちます。

- 電話番号割り当てを使用した番号の可用性
- 移植された番号と移植された番号
- 国またはエリアに割り当てられた番号

電話番号の構成要素

電話番号は、電話をかけたり受けたりするために電話回線またはデバイスに割り当てられた一意の数値識別子です。番号の構成要素は、本社コード、国コード、市外局番、レートセンタです。

本社コード、国コード、市外局番、およびレートセンター

- **本社コード** : 本社コード (取引所コードとも呼ばれます)。特定の市外局番内の電話交換機を識別し、ローカル電話ネットワーク内でコールをルーティングするのに役立ちます。詳細については、「[本社コードの作成](#)」を参照してください。
- **国コード** : 国コードは、国際ダイヤルコードとも呼ばれます。これは通常、他の国に連絡するとき市外局番と電話番号の前にダイヤルされる1〜3桁のコードです。詳細については、「[国コードの作成](#)」を参照してください。
- **市外局番** : 市外局番は、国内の地理的地域を識別するために使用される番号です。詳細については、「[市外局番の作成](#)」を参照してください。
- 電話番号の詳細、電話番号の管理および割り当て方法については、以下を参照してください。 [電話インフラストラクチャの作成](#)

での5G xNFのモデリング 通信事業ネットワークインベントリ

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、5G ネットワークをモデル化し、すべての xNF (あらゆるタイプのネットワーク機能) を管理できます。モデルを使用すると、ネットワークを作成、レビュー、更新、および削除できます。

5Gネットワークモデル

次の図に示すように、5G ネットワークをモデル化するためのビジネスアプリケーション、アプリケーションサービス、およびネットワークインターフェイスを作成する必要があります。



- **ビジネスアプリケーション:** ビジネスアプリケーションテーブルには、すべての xNF が格納されます。ビジネスアプリケーションは、3GPP によって提案されたすべてのクラスのラベルを、管理されたネットワーク機能の一種として記録します。詳細については、「[xNF を作成](#)」を参照してください。
- **アプリケーションサービス:** アプリケーションサービスは、対応するネットワーク機能のインスタンスを格納します。このインスタンスは、DU や CU-CP などのタイプを示すためにビジネスアプリケーションに関連付けられています。関数の各インスタンスには、アプリケーションサービス内にレコードがあります。ビジネスアプリケーションおよびネットワークインターフェイスとの関係を作成できます。詳細については、「[xNF インスタンスの作成または追加](#)」を参照してください。
- **ネットワークインターフェイス:** ネットワークインターフェイスには、管理対象ネットワークに割り当てられているすべての論理 IP インターフェイスが格納されます。論理インターフェイスは、ピアツーピアの関係を表します。分散ユニット(DU)と集中型ユニット(CU)のコントロールプレーンまたはユーザプレーン(UP)機能の間に接続がある場合、論理インターフェイス間に論理接続が作成されます。関係エディターを使用すると、アプリケーションサービスとの関係を作成できます。詳細については、「[関係を作成または編集するための ネットワークインターフェイスの詳細を定義する および CI 関係エディター](#)」を参照してください。

TM

*3GPP TS28.541 V18.2.2にインスパイアされた属性は、パケットテーブルとして提供されます。詳細については、「[パケットテーブル](#)」を参照してください。属性パケットの詳細については、「[属性パケット](#)」を参照してください。

※3GPPはETSIの商標です。

関連情報

[xNF および xNF インスタンスの作成](#)

構成アイテムの改訂、運用化、および廃止

構成アイテム (CI) の改訂により、通信事業ネットワークインベントリアプリケーションを使用して、属性、接続要素、関係などの構成アイテムのネットワーク属性を更新できます。CI の改訂を使用すると、ネットワークインフラストラクチャを安全かつ効率的に更新できます。

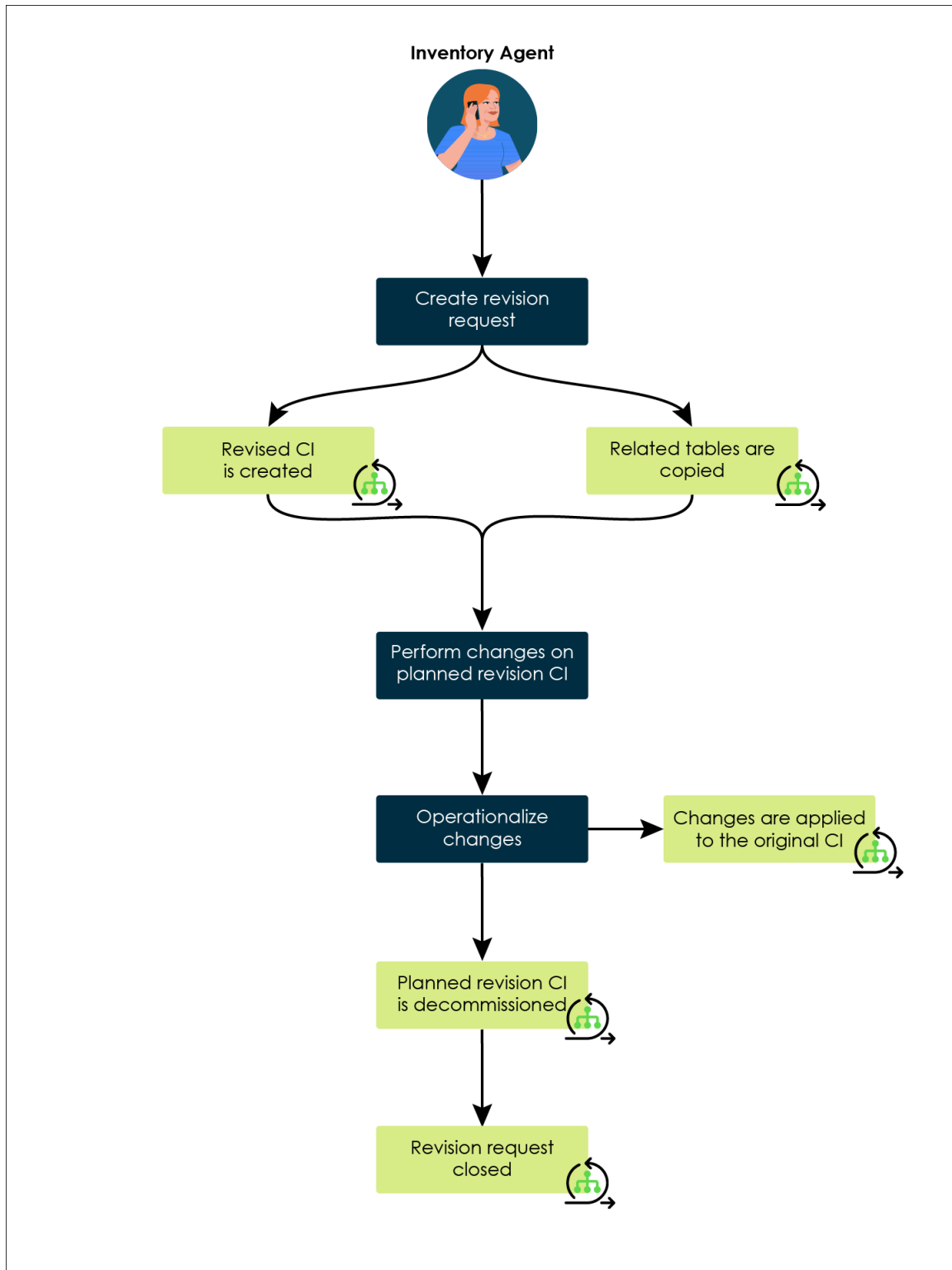
CI リビジョン 詳細

CI の改訂を使用すると、運用構成アイテムのネットワーク設定属性と接続要素を変更できます。CI の改訂は、論理接続と物理接続の CI にのみ適用されます。そのため、必要に応じて改訂 CI とそのサブフローを利用して、接続のすべての構成アイテムを更新できます。

CI の改訂を使用すると、運用構成アイテムのネットワーク設定属性と接続要素を変更できます。CI の改訂は、論理接続と物理接続の CI にのみ適用されます。そのため、論理接続または物理接続の構

成アイテムを作成した後、改訂 CI とそのサブフローを利用して、必要に応じて構成アイテムを更新できます。

運用化と廃止のフロー



次のプロセスでは、要求が作成された後の構成アイテム (CI) レコードのフローについて説明します。

1. **リビジョン要求を開始:**リビジョン要求を作成すると、選択した CI が自動的にクローンされます。このクローンされた CI には、属性、接続要素、関係などのすべての関連テーブルが含まれています。
2. **クローン作成プロセスのカスタマイズ:**クローン作成プロセスをカスタマイズして、含める関連テーブルを指定できます。詳細については、「[CI クローン作成プロセスのカスタマイズ](#)」を参照してください。
3. **クローン作成された CI の変更:**クローンが正常に作成された後、必要に応じて、クローン作成された構成アイテムレコードを変更できます。
4. **変更を確定して適用する:**運用化プロセスを使用して、変更を結合して確定します。このプロセスは、リビジョンを元の CI レコードに統合します。詳細については、「[構成アイテムの変更](#)」を参照してください。
5. **廃止:**運用化後、クローン作成された CI レコードは自動的に廃止されるため、効率的なワークフローが確保されます。詳細については、「[インベントリレコードの廃止](#)」を参照してください。

ユースケース

たとえば、2 つの ENET を持つ論理接続の場合、LAG 容量を増やすために別の ENET を追加します。したがって、このシナリオでは、安全な LAG 更新のために CI の改訂を使用します。

CI の改訂により、LAG とそのすべての接続のクローンが作成されます。次に、クローンが作成された LAG 構成アイテムで、目的の ENET メンバーを追加し、CI の運用化を使用して元の CI に結合します。運用化が正常に完了すると、ネットワークを中断することなく、3 つの ENET すべてが元の CI に追加されます。詳細については、「[構成アイテムの変更](#)」、「[構成アイテムの運用化](#)」を参照してください。ここでは、クローンが作成された CI は自動的に廃止されます。詳細については、「[インベントリレコードの廃止](#)」を参照してください。

たとえば、ネットワーク内のルーターの IP アドレスを更新する必要があるとします。このルーターは複雑なネットワークの一部であり、IP アドレスの変更がネットワークの他の部分にどのように影響するかはわかりません。したがって、このシナリオでは、ルーターの IP アドレスを安全に更新するために、CI の改訂を使用します。

CI の改訂では、まずルーター CI とそのすべての関連データを複製します。次に、重複したルーターの IP アドレスを変更し、CI の運用化を使用して元の CI に結合します。その結果、ネットワークを中断することなく、変更が元のルーターに適用されます。詳細については、「[構成アイテムの変更](#)」と「[構成アイテムの運用化](#)」を参照してください。

キャパシティ管理

通信事業ネットワークインベントリ のキャパシティ管理を使用すると、ネットワーク内の物理エンティティのキャパシティを計算できます。容量を効果的に管理することで、リソースを計画、監視、最適化して、ネットワークが現在および将来の需要を効率的に満たすことができるようにすることができます。

キャパシティ管理の概要

通信事業ネットワークインベントリのキャパシティ管理では、機能と定義を使用して、ネットワーク資産のキャパシティを計算し、レポートします。キャパシティメトリクスは、通信ネットワーク内の最大、占有、および利用可能なネットワークリソース (ポート、スロット、ラックなど) を推定します。このメトリクスの結果を使用して、ネットワーク設計の将来の拡張に使用できるネットワーク資産のキャパシティをレポートできます。

キャパシティ計算のユースケース

設計およびアサイン機能を使用して構成アイテム (CI) を作成すると、関連する CI の利用可能なキャパシティが自動的に計算されます。通信事業ネットワークインベントリアプリケーション事前定義された 定義と関数 を使用してキャパシティを計算します。そのため、現在の設計に変更があるたびに、システムは自動的にキャパシティ計算をトリガーし、メトリクスを更新します。メトリクスには、エンティティの推定最大値、占有率、利用可能値、および使用率の値が表示されます。このアプローチにより、リソース消費が効果的に管理されます。また、この計算により、設計と割り当て機能の精度が向上します。

たとえば、ラックに新しい機器を追加する場合は、機器ホルダー内で利用可能なラックを決定することが重要です。機器レコードを作成すると、事前定義されたキャパシティ定義が実行され、メトリクスによってラック可用性データが自動的に更新されます。キャパシティ定義には、最大ラックと占有ラックを決定する機能が含まれています。続いて、最大ラックと占有ラックの差を計算します。たとえば、ラックの最大数が 10 で占有されているラックが 7 の場合、使用可能なラックは 3 つあります。ラックの最大数が 10 で占有ラックが 10 の場合、使用可能なラック数は 0 であり、これは使用可能なラックがないことを示します。次に、その結果がキャパシティメトリクスに統合されます。このプロセスにより、ラックの正確なキャパシティと可用性に関する情報が得られます。

構成アイテム (CI) のタイプごとにキャパシティ計算をカスタマイズできます。この機能を使用すると、キャパシティを計算するための関数、定義、およびメトリクスを作成および構成できます。キャパシティ機能の構成とメトリクスの作成の詳細については、「[キャパシティ管理の構成](#)」を参照してください。

キャパシティ管理ワークフロー

キャパシティ管理では、機能、定義、およびメトリクステーブルを使用してキャパシティを計算し、レポートします。通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでは、キャパシティ機能システム実行 結果をキャパシティメトリクステーブルに集計します。これにより、利用可能なキャパシティのメトリクスと、利用可能なキャパシティの割合値が保存される使用状況メトリクスが作成されます。設計変更が発生するたびに、システムは API をトリガーし、事前定義された関数と定義を使用してキャパシティを計算します。在庫レコードの キャパシティの計算 ボタンを選択して、キャパシティを手動で計算することもできます。

キャパシティ機能、定義、およびメトリクスの詳細については、「[キャパシティ管理の構成](#)」を参照してください。

ネットワークトポロジの可視化

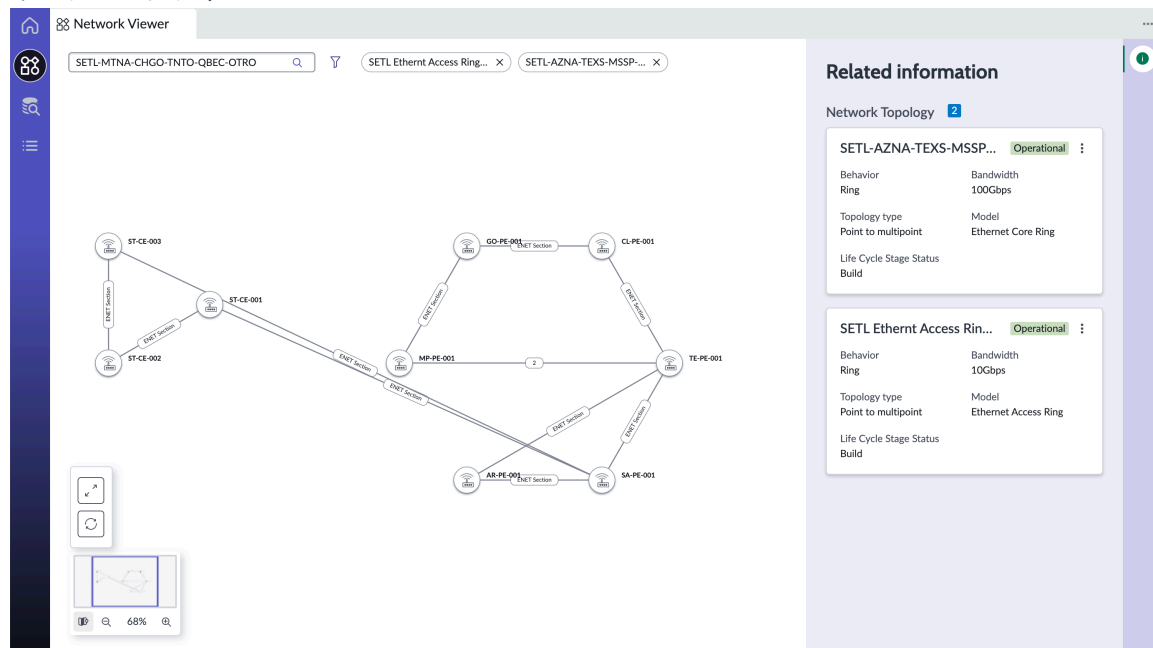
通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのトポロジは、機器、接続、インターフェイスなどのネットワーク内のさまざまな要素がどのように編成され、相互に接続されているかをグラフィカルに表示します。トポロジを使用すると、ネットワークを俯瞰できます。

トポロジ可視化

ネットワーク トポロジは、ノード (機器)、エッジ (接続)、終了ポイント (インターフェイス) などのネットワーク エレメントと、それらがどのように編成され、相互に接続されているかを視覚的に表現したものです。トポロジは、構造内のリング、ツリー、メッシュ、星、またはバスにすることができます。トポロジを使用すると、ネットワーク拡張を計画し、ネットワークパフォーマンスを監視し、ネットワークで発生する障害のトラブルシューティングを行うことができます。

次の例は、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのトポロジを示しています。

ネットワークトポロジ



トポロジは、通信事業ネットワークインベントリ ワークスペースの [ネットワーク ビューアー] ウィンドウで表示できます。[ネットワーク ビューアー] ウィンドウには、次の項目が含まれています。

- 検索ボックスと詳細フィルターを使用して、トポロジを選択できます。
- マップ ペインにネットワーク トポロジが表示されます。
- 右側の [詳細] ペインには、現在の選択に従ってトポロジの関連情報が表示されます。

検索ボックス

検索ボックスを使用して、可視化するトポロジを選択します。一度に複数のトポロジを選択できます。詳細フィルターオプションを使用すると、設定した条件に基づいてトポロジをフィルタリングできます。

マップペイン

マップペインに、検索ボックスで選択したトポロジが表示されます。マップペインでは、一度に多くのトポロジを表示できます。マップ ウィンドウには、トポロジ内の各要素の名前も表示されます。

マップペインでは、次のアクションを実行できます。

- ノードをポイントすると、ノードに関連付けられている接続がハイライト表示されます。
- トポロジから 1 つを選択して、それに関連付けられている要素をハイライト表示します。
- マップを再ロードして初期ビューに戻すには、[リフレッシュ] アイコン (🔄) を選択します。
- [画面に合わせる] アイコン (📐) を選択して、トポロジをマップペインのサイズに調整します。
- ズームコントロールを使用して、マップをズームインまたはズームアウトします。

詳細ペイン

詳細ペインには、選択したトポロジ、ノード、または接続に関する関連情報が表示されます。情報アイコン (ℹ️) を選択すると、詳細ペインを表示できます。初期状態では、詳細ペインにトポロジレコードの関連情報が表示されます。ノードを選択すると、詳細ペインにそのノードに関する関連情報

が表示されます。マップペインで空のスペースを選択すると、詳細ペインに、開いているトポロジに関する関連情報が表示されます。

詳細ペインで [詳細を表示] を選択して、対応する CI レコードにリダイレクトすることもできます。

アクセス

ネットワークトポロジには、次のように 通信事業ネットワークインベントリ ワークスペースでアクセスできます。

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. ネットワークビューアアイコン()を選択します。

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションでトポロジを作成および表示する方法の詳細については、「[ネットワーク トポロジの使用](#)」を参照してください。

関連情報

[通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル](#)

[ネットワーク トポロジの使用](#)

フローデザイナーの通信ネットワークインベントリワークフロー

通信事業ネットワークインベントリ機能カタログとサブフローを使用すると、ネットワークインベントリの設計および割り当てプロセスの自動化に役立つ機能にアクセスできます。

通信事業ネットワークインベントリ 関数カタログ

通信事業ネットワークインベントリ機能を使用して、設計およびアサインプロセスの実行中に構成アイテム (CI) を作成、更新、および取得できます。たとえば、次のアクションを実行できます。

- 電気通信機器の作成
- インターフェイスカードを追加

次の表に、機能別に分類された 通信事業ネットワークインベントリ 機能を示します。

通信事業ネットワークインベントリ 関数

関数タイプ	関数名
作成/挿入	• TNI テンプレートから CI を作成 • 論理接続を作成 • 論理インターフェイスを作成 • 物理接続を作成 • パス検索
読み取り	• 空き番号を割り当てる • インターフェイスの概要を取得 • 次のハブを検索

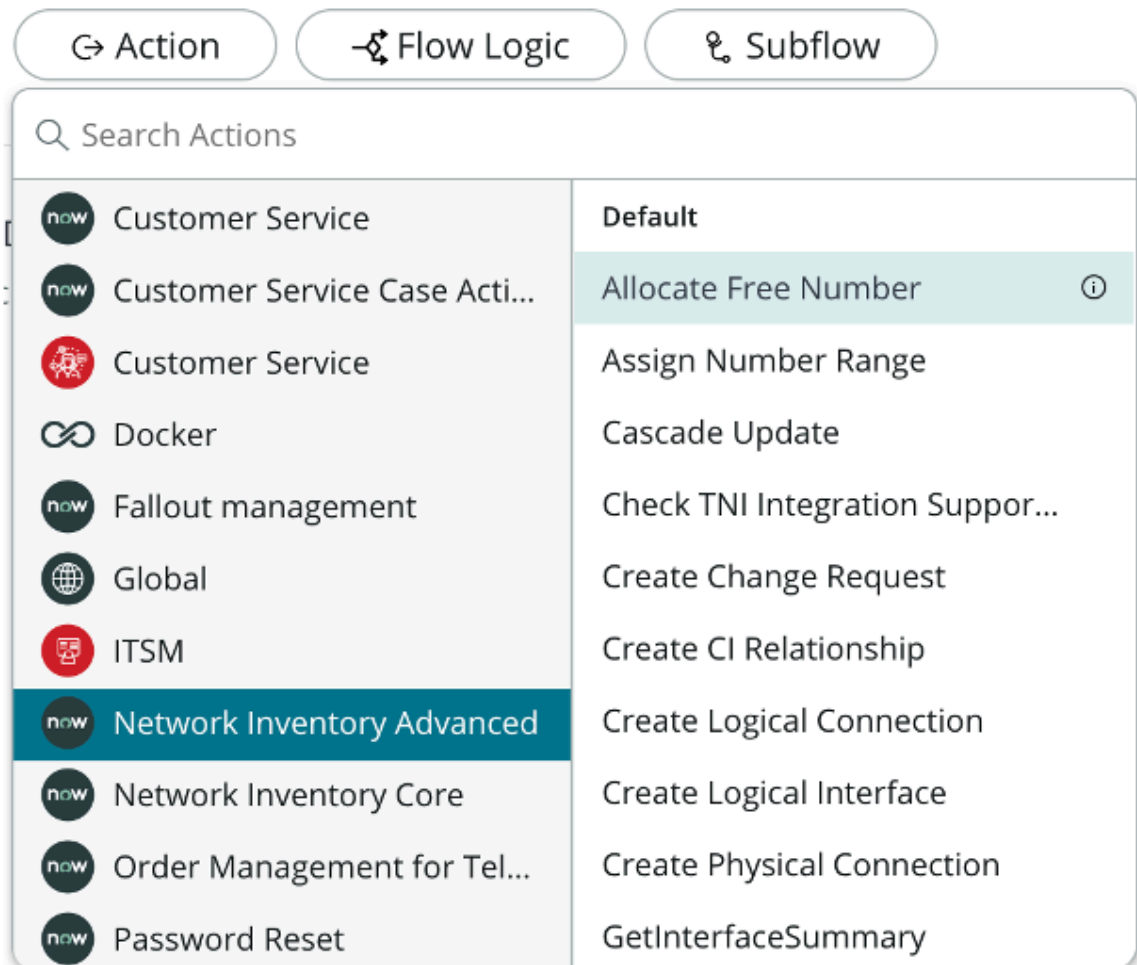
通信事業ネットワークインベントリ 関数 (続く)

関数タイプ	関数名
更新	カスケード更新
ヘルパー関数	- 分割文字列 - アレイからインデックスを取得

ネットワークインベントリ機能の詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリ 関数カタログ](#)」を参照してください。

次の例は、ワークフロースタジオ アクションライブラリの [ネットワークインベントリの詳細 (**Network Inventory Advanced**)] オプションで使用できる関数を示しています。これらの機能を使用して、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

ネットワークインベントリ機能カタログの場所



設計とアサインは一連のアクションであるため、これらの機能を通信事業ネットワークインベントリワークフローのワークフロースタジオアクションとして使用することもできます。再利用可能なワークフロースタジオ アクションにより、ワークフローでの論理接続の作成などの反復作業を自動化できます。ワークフロースタジオアクションの詳細については、「[Flow Designer](#)」を参照してください。

通信事業ネットワークインベントリ サブフロー

ワークフロースタジオでは、設計およびアサインプロセスの実行中に、サブフローとの間でデータをやり取りするための入力と出力を指定できます。必要に応じて、サブフローにさらにフィールドを追加できます。サブフローの操作の詳細については、「[サブフローのビルド](#)」を参照してください。ワークフロースタジオの詳細については、「[Flow Designer](#)」を参照してください。

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションには次のサブフローがあります。

論理接続の作成

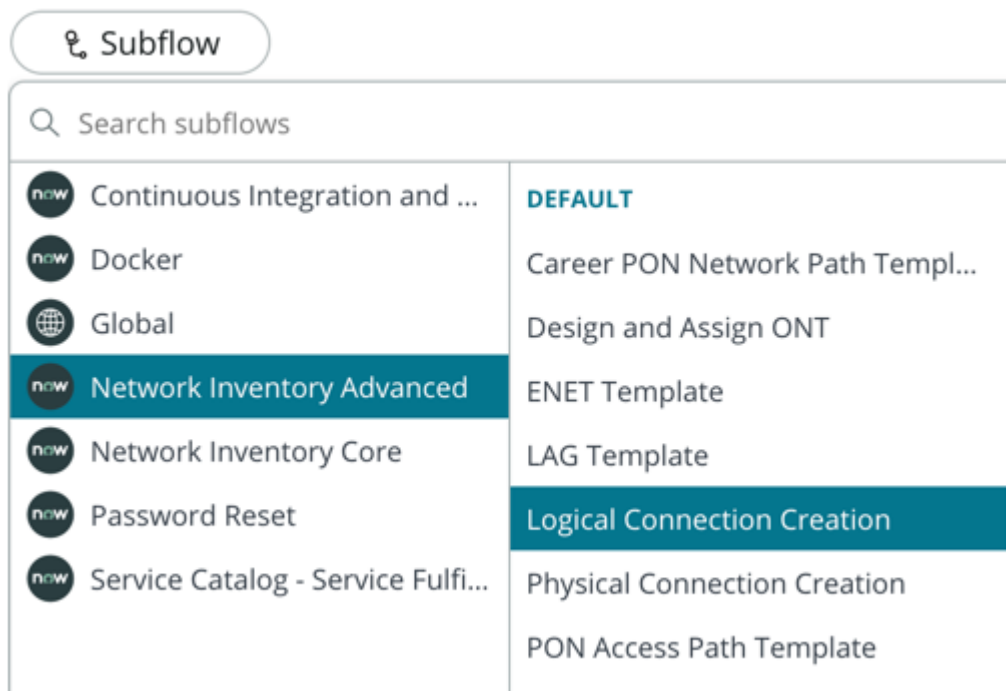
インベントリをインスタンス化するときに受け取る入力に基づいて、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで論理接続レコードを作成します。詳細については、「[論理接続作成サブフロー](#)」を参照してください。

物理接続の作成

インベントリをインスタンス化するときに受け取る入力に基づいて、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで物理接続レコードを作成します。詳細については、「[物理接続作成サブフロー](#)」を参照してください。

次の例は、ワークフロースタジオ アクションライブラリの [ネットワークインベントリの詳細] オプションで利用可能なサブフローを示しています。これらの機能を使用して、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

ネットワークインベントリサブフローの場所



関連情報

[通信事業ネットワークインベントリ 関数カタログ](#)

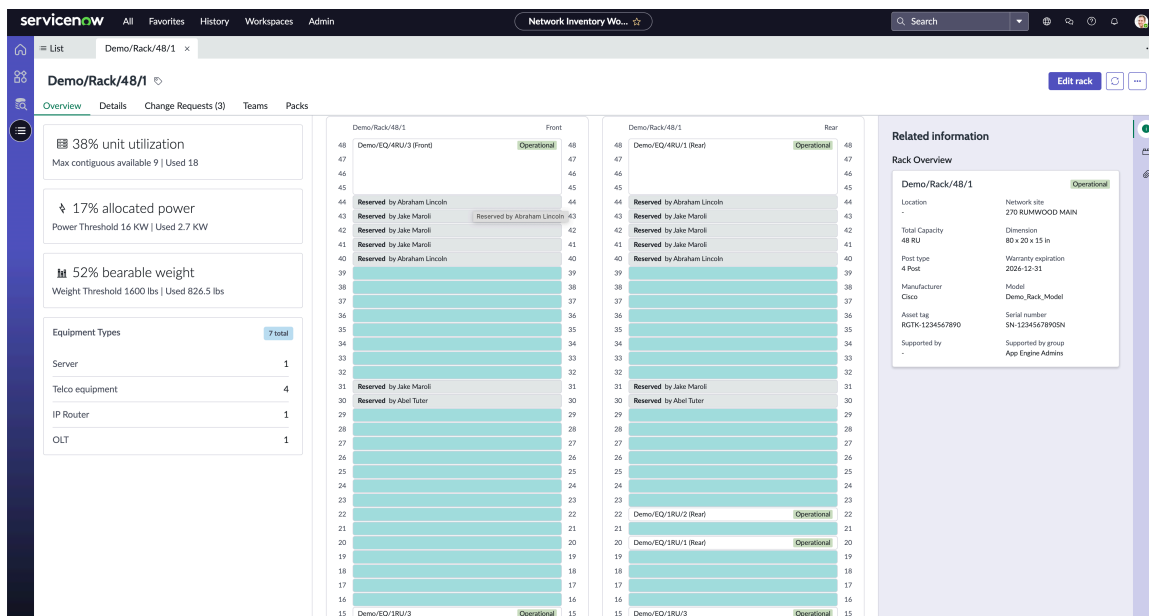
[通信事業ネットワークインベントリ サブフロー](#)

ラックまたはキャビネットの可視化

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションでラックまたはキャビネットの可視化を使用すると、キャンバス内のラックまたはキャビネットを可視化できます。ここでは、各アイテムを指定されたラックユニットに配置した状態で、正面と背面のアクセス可能なラックまたはキャビネットに機器とシェルフが搭載されている様子を観察できます。

ラック可視化の概要

ラックまたはキャビネットの可視化は、すべての機器を保管および整理するために使用されるデータセンターラックまたはキャビネットをグラフィカルに表現したものです。



前のスクリーンショットはラックの例です。ラックまたはキャビネットの **[概要 (Overview)]** タブでは、次のことができます。

- ラック使用率を使用するラックの KPI (重要業績評価指標) を表示します。

i 注:
この KPI はラック専用です。

- ラック内のすべての機器で現在使用され割り当てられた電力のパーセンテージを確認します。この値は、機器モデルの詳細から導出されます。ただし、実際の消費電力は異なる場合があります。

i 注:
この KPI はラック専用です。

- ラック内のすべての機器で現在使用され割り当てられた重量のパーセンテージを確認します。この値は、機器モデルの詳細から導出されます。ただし、実際の消費重量は異なる場合があります。

- i 注:**
- すべてのラックキャパシティは、キャパシティ定義 - ラックキャパシティに基づいて計算されます。キャパシティの評価を変更するには、キャパシティの定義と機能を作成します。詳細については、「[キャパシティ管理の構成](#)」を参照してください。
 - この KPI はラック専用です。

- さまざまな機器タイプを調べて、ルーター、シェルフ、またはその他のネットワークインフラストラクチャの配置を最適化します。
- ラックまたはキャビネットの正面図と背面図の両方を表示します。
- すべての予約ユニットと、どのユーザーが予約しているかを表示します。
- ラックまたはキャビネットおよびラックまたはキャビネットのモデルを表示します。

- ラックビューまたはキャビネットビューから機器を作成します。詳細については、「[ラックを作成](#)」を参照してください。
- ラックを編集します。詳細については、「[ラックを編集](#)」を参照してください。
- キャビネットを編集します。詳細については、「[キャビネットを編集する](#)」を参照してください。
- パックを追加
- ラックまたはキャビネットをデコミッションします。詳細については、「[インベントリレコードの廃止](#)」を参照してください。
- ラックまたはキャビネットを削除します。詳細については、「[レコードの削除](#)」を参照してください。
- キャンバスまたはメニューアイテムからラック/キャビネット/スロットフォームに移動します。
- 機器のライフサイクルステージを表示します。
- 情報アイコン () を選択して、すべての機器とシェルフの詳細を表示します。
- 利用可能な合計および占有スロットの数を表示します。
- 環境設定を使用して、デフォルトビューとダークビューを切り替えます。

前提条件

ラックまたはキャビネットの作成をインスタンス化するには、次のことを行う必要があります。

1. 機器ラックまたはキャビネットモデルカテゴリを使用して機器ホルダーモデルでモデルを作成または選択して、それぞれをラックまたはキャビネットに関連付けます。

詳細については、「[機器所有者モデルを作成](#)」を参照してください。

2. ラックスロットの数を定義するために、ラック/キャビネット - ラック/キャビネットスロット関係タイプのネットワークモデル関係で関係を作成または選択します。

詳細については、「[ネットワーク モデル関係の定義](#)」を参照してください。

3. [インベントリモデル (**inventory model**)] フィールドで、ラックまたはキャビネットモデルを含むテンプレートを作成または選択します。

詳細については、「[インベントリテンプレートを作成する](#)」を参照してください。

ラックまたはキャビネットの可視化と管理

1. ラックまたはキャビネットモデルに基づいてラックまたはキャビネットの作成を開始し、テンプレートに基づいてラックまたはキャビネットスロットの作成を開始します。詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成](#)」を参照してください。

注:

- [ラックを作成](#)を使用してラックを作成できます。
- [キャビネットの作成](#)を使用してキャビネットを作成できます。

2. ラックまたはキャビネットに機器またはシェルフを追加します。詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成](#)」を参照してください。

注:

[ラックを編集](#)と[キャビネットを編集する](#)を使用して、機器を編集、追加、移動、および削除することもできます。

3. ラックまたはキャビネットから機器またはシェルフを削除します。

詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成](#)」を参照してください。

関連情報

[ラックを作成](#)

[キャビネットの作成](#)

マップの可視化

通信事業ネットワークインベントリ のネットワークサイトマップを使用して、ネットワークサイトの地理的な場所を表示します。ネットワーク サイト マップを使用して、サイトの詳細、接続、容量情報などのネットワーク サイトの詳細を取得できます。

ネットワークサイトマップの概要

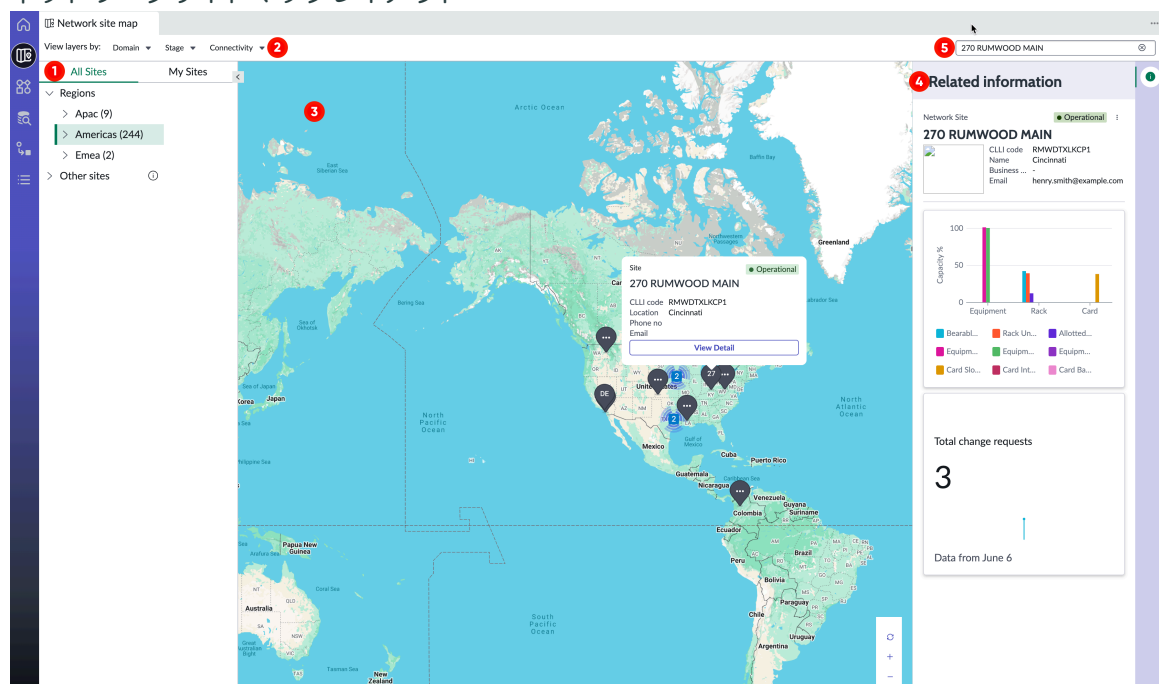
ネットワークサイトマップは、接続の詳細を含むネットワークサイトをマップペインに地理的に表示します。ネットワーク サイトの概要と、ネットワーク サイト間に接続されているさまざまな 接続の詳細を提供します。ネットワーク サイト マップを使用して、次の情報を表示できます。

- ネットワークサイトの地理的な場所。
- 物理接続と論理接続、トポロジ、ケーブルルートなどのネットワークサイトに関連付けられた接続要素。
- 選択したネットワーク サイトの関連サイト。
- キャパシティ情報を含むネットワークサイトの関連情報。

マップのレイアウトと機能

次の例は、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのネットワークサイトマップレイアウトを示しています。

ネットワークサイトマップレイアウト



ネットワークサイトマップのレイアウトと機能

吹き出し	機能	
1	ナビゲーションパネル	ナビゲーション パネルを使用して、各場所に関連付けられている場所とネットワーク サイトの一覧を表示します。ナビゲーションパネルには、次のタブがあります。 すべてのサイト すべてのネットワークサイトをリストします。 自分のサイト 管理しているネットワークサイトを一覧表示します。 ナビゲーションパネルで場所またはサイトを選択して、マップペインの対応するエリアにズームします。
2	フィルターオプション	[マップ] ペインには、設定したフィルター条件に基づいてネットワークサイトが表示されます。次のオプションを使用して、ネットワーク サイトをフィルター処理します。 ドメイン ドメイン名に基づいてネットワークサイトをフィルタリングします。 ステージ ライフサイクルステージに基づいてネットワークサイトをフィルタリングします。 接続性 マップペイン選択されているネットワークサイトの接続のタイプ (物理的接続、論理接続トポロジ、ケーブルなど) を表示します。
3	マップペイン	マップ ペインには、ネットワーク サイトが場所アイコン()とともに表示されます。プラス (+) またはマイナス (-) ボタンを使用して、マップをズームインまたはズームアウトできます。ズームアウトすると、地理的に近接しているサイトが、マップ ペインにクラスター アイコン()として表示されます。クラスターの横にある数字は、そのクラスター内のサイトの数を示します。同じ場所に複数のサイトがある場合は、ロケーション クラスター アイコン()として表示されます。赤色の場所アイコン () は、サイトがキャパシティしきい値を超えていることを示します。デフォルトでは、マップペインにはキャパシティしきい値を超えたすべてのサイトが表示されます。sn_ni_adv.threshold_capacity_site_usage システムプロパティは、サイトキャパシティ使用量のしきい値の値をパーセンテージで維持します。 マップペインでは、次の情報を表示できます。

ネットワークサイトマップのレイアウトと機能 (続く)

吹き出し	機能	
		• ネットワークサイトを選択して、関連サイトを表示します。 • サイトにカーソルを合わせると、そのサイトの詳細が表示されます。次のような基本情報を表示できます 物理コード、場所、電話番号、メール、運用ステータスなどの接続要素のタイプを表示します。 • ネットワークサイト間の物理接続と論理接続を表示します。 • ネットワークサイト間のケーブルルートを表示します。 • ネットワーク サイトに関連付けられているトポロジを表示します。
4	詳細ペイン	詳細ペインには、マップペインで選択されているネットワークサイトに関する関連情報が表示されます。情報アイコン () を選択すると、詳細ペインを表示できます。場所に複数のサイトがある場合、詳細ペインにはすべてのサイトに関する関連情報が表示されます。詳細ペインでネットワークサイトの利用可能な容量を表示することもできます。
5	検索ボックス	検索ボックスを使用してネットワークサイトを選択し、その場所と詳細を表示します。一度に 1 つのサイトを選択できます。

アクセス

ネットワークサイトマップには、次のように 通信事業ネットワークインベントリ ワークスペースでアクセスできます。

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. マップアイコン()を選択します。

ネットワーク サイト マップの使用方法的詳細については、「[ネットワークサイトマップの詳細を表示する](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワークサイトマップの使用](#)

ネットワークサービスの設計とアサイン

「設計とアサイン」機能は、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワーク・サービスを設計するためのステップバイステップのガイダンスを提供します。[設計とアサイン] 機能を使用して、ネットワークサービスを設計し、ネットワークインベントリを割り当てるためのガイド付きアクティビティを完了することができます。

設計およびアサイン機能の概要

設計とアサイン機能は、設計要求に対してネットワーク サービスを設計するために必要な手順を含むエンドツーエンドのワークフローです。ワークフローをタスク指向のビューで視覚化し、一連のタスクをガイドして設計プロセスを完了できます。設計およびアサイン機能は、エージェントがネット

ワークサービスを提供するための構造化されたアプローチを提供します。これにより、エージェントは、実行するステップ、各ステップで割り当てられるネットワークリソース、およびすべての統合方法を明確に把握できます。

設計とアサインのフレームワークは、設計ワークフローを複数のアクティビティに分割します。各アクティビティには、エージェントがそのアクティビティを完了するために必要な手順が含まれています。アクティビティには、アクティビティが完了したときの次のステップの変更タスクの作成など、自動化されたワークフローも含まれます。

設計およびアサイン機能には次のものが含まれます。

- アクティビティピッカーにアクティビティが表示されます。
- 各アクティビティの特定の目標を達成するために完了する必要がある一連のステップ。

ホームページの設計とアサイン

[設計とアサイン] ホームページには、[設計の進行中] ステータスにあるすべての変更要求（設計要求）が表示されます。変更要求を選択すると、対応する設計およびアサイン機能にリダイレクトされ、ワークフローをタスク指向のビューで可視化できます。UI アクションを選択して、ホームページから設計およびアサイン機能を起動することもできます。たとえば、「論理接続の作成」を選択して、新しい論理接続の設計およびアサイン機能を起動します。

設計とアサインのホームページの例を次に示します。

ホームページの設計とアサインの例

Number	Configuration item	Short description	Model	State	Assigned to	Planned start date	Planned end date
CHG0030078	(empty)		Design Assign Logical Connection	Design In Progress	(empty)		
CHG0030002	(empty)		Design Assign Logical Connection	Design In Progress	(empty)		
CHG0030073	(empty)	create GPON service request	Design Assign Logical Connection	Design In Progress	(empty)		

次の手順で、通信事業ネットワークインベントリ ワークスペースの設計とアサインのホームページにアクセスします。

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. 設計してアサインアイコン () を選択します。

ホームページを更新するには、更新アイコン ()

機能ユーザーロールの設計とアサイン

機能ユーザーのロールと責任の設計とアサイン

ユーザーロール	説明
ネットワーク計画エージェント [sn_ni_core.network_planning_agent]	• アサインされた要求のデザインとアサインのホームページを表示します。 • 論理接続設計要求を作成します。 • 順番に従ってアクティビティを完了します。

機能ユーザーのロールと責任の設計とアサイン (続く)

ユーザーロール	説明
	- 図を表示し、アクティビティの進行に合わせて設計を検証します。 - 設計とアサインの要求を確認して完了します。
ネットワーク計画マネージャー [sn_ni_core.network_planning_manager]	- 自分とチームのアサイン済み要求のデザインとアサインのホームページを表示します。 - 論理接続設計要求を作成します。 - 順番に従ってアクティビティを完了します。 - 図を表示し、アクティビティの進行に合わせて設計を検証します。 - 設計とアサインの要求を確認して完了します。
プレイブックアドミン [playbook.admin]	Workflow Studio  アプリケーションを使用して、設計およびアサイン機能を作成、構成、および監視します。

ネットワークサービスの設計およびアサイン機能の作成と構成

ギガバイトパッシブ光ネットワーク (GPON) ブロードバンドサービスの設計など、さまざまなタイプのネットワークサービスの設計とアサイン機能を作成できます。Now Platform機能とワークフロースタジオアプリケーションを使用して、設計およびアサイン機能を作成および構成できます。詳細については、「[ネットワークサービスの設計とアサイン機能の設定](#)」を参照してください。

設計とアサイン機能の使用

インベントリエージェントは、設計およびアサイン機能で利用可能なガイダンスを使用して、タスクとアクティビティを完了することができます。これらのアクティビティは、ネットワーク サービスを設計し、ネットワーク リソースを割り当てるために必要です。

設計およびアサイン機能には、エージェントが完了する複数のアクティビティが含まれます。設計とアサイン機能を使用する場合、エージェントは次のことができます。

- アクティビティを表示します。
- アクティビティを選択し、そのアクティビティを完了するために必要な作業を実行する。
- アクティビティを完了としてマークし、次のアクティビティに移動します。
- インベントリレコードを設計して割り当てるために必要なアクティビティを完了します。

詳細については、「[設計とアサイン機能の使用](#)」を参照してください。

論理接続は、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで利用可能な設計およびアサイン機能を使用して作成できます。詳細については、「[論理接続の設計とアサイン機能](#)」を参照してください。

論理接続の設計とアサイン機能

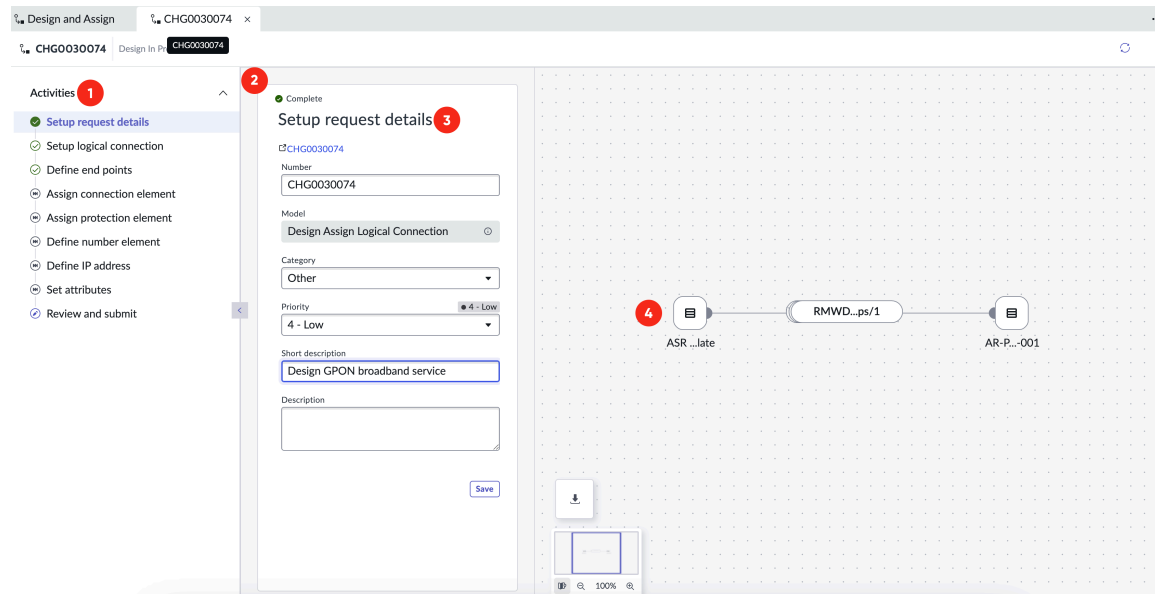
通信事業ネットワークインベントリアプリケーションで論理接続を設計してアサインします。設計およびアサイン機能を使用すると、顧客の論理接続設計要求を満たすことができます。

設計およびアサイン機能は、論理接続を作成するためにエージェントが実行できるアクティビティとタスクを提供します。設計要求に応じて、エージェントは論理接続を設計し、関連するネットワークインベントリをその接続に割り当てることができます。

機能レイアウトと機能の設計とアサイン

次の例は、論理接続の設計とアサイン機能レイアウトを示しています。

機能レイアウトと機能の設計とアサイン



機能レイアウトの設計とアサイン

吹き出し	機能	
1	アクティビティピッカー	アクティビティピッカーには、論理接続を設計してアサインするアクティビティのリストが表示されます。各アクティビティには、アクティビティのステータスを示すインジケーターがあります。 🔄 - アクティビティは対応中です。 ✅ - アクティビティが完了しました。 🔒 :保留中のアクティビティ。 ⏸️ - アクティビティがスキップされました。 アクティビティを選択すると、アクティビティビューアーに詳細が表示されます。
2	アクティビティビューアー	アクティビティビューアーには、選択したアクティビティが表示されます。アクティビティビューアーは、エージェントが現在のアクティビティを完了するために必要な作業を実行するメイン作業領域です。 アクティビティビューアーパネルは折りたたむことができます。

機能レイアウトの設計とアサイン (続く)

吹き出し	機能	
3	アクティビティカード	アクティビティカードには、アクティビティビューアーの現在のアクティビティに関する詳細が表示されます。アクティビティのタイプに応じて、アクティビティカードには、エンドポイントを設定するためのフィールド情報などの情報が表示されます。 エージェントはカードを使用して、エンドポイントの追加や属性の設定など、各アクティビティの作業を完了します。
4	ネットワーク図	ネットワーク図は、論理接続要素の回路をグラフィカルに表示します。各アクティビティを完了すると、ネットワーク図が更新され、データが表示されます。デザインを明確に視覚化できます。 アクティビティピッカーとアクティビティの詳細パネルを折りたたむと、ネットワーク図を展開できます。 図内のピルを展開すると、基になるすべての接続要素を表示できます。各ピルにカーソルを合わせると、その接続要素の完全な名前が表示されます。

論理接続の設計とアサインのワークフロー

論理接続のプレイブックワークフローの設計とアサイン



論理接続の設計およびアサイン機能には、次のワークフローがあります。

1. 変更要求を作成し、設計に関する必要な詳細を追加します。
2. 論理接続モデル、帯域幅、ドメインなど、設計に影響を与える接続の詳細を入力します。
3. 接続が開始および終了するエンドポイント (ネットワークサイトやインターフェイスなど) を選択します。
4. エンドポイント間の接続要素を選択します。
5. 保護パスを選択して、論理接続の冗長パスを定義します。
6. VLAN や LAG などの番号要素を選択します。

7. IP アドレスを選択します。
8. 設計をレビューし、承認のために送信します。

これらの手順を完了すると、関連する構成アイテム (CI) を含む論理接続レコードが生成されます。

論理接続を設計して割り当てる手順の詳細については、「[設計およびアサイン機能を使用して論理接続レコードを作成](#)」を参照してください。

アクセス

通信事業ネットワークインベントリワークスペースの論理接続の設計およびアサイン機能には、以下のようにアクセスすることができます。

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [設計してアサイン] アイコン () を選択して、[設計要求の概要] ウィンドウを開きます。
3. 選択 新規 > 論理接続を作成 または、リストから任意の変更要求を選択します。

関連情報

[ネットワークサービスの設計とアサイン](#)

[通信事業ネットワークインベントリ サブフロー](#)

通信事業ネットワークインベントリの構成

電気通信ネットワークを定義し、包括的なネットワークインベントリモデルを作成できるように、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを構成する方法について説明します。

通信事業ネットワークインベントリ のインストール

admin ロールをお持ちであれば、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションをインストールできます。アプリケーションには、デモデータと、関連する ServiceNow Store アプリケーションとプラグインのインストールが含まれます (まだインストールされていない場合)。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、次を参照してください。 [のエンタイトルメントを取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション](#)。
- 通信事業ネットワークインベントリ のデモデータをインストールしてください。デモデータをインストールすると、フローとサブフローがトリガーされます。デモデータにより、OMT-TNI 統合のフローを理解できます。デモデータの一部として、必要な属性とともに、以下も作成されます。
 1. 注文 - ファイバースブロードバンドデモデータをインストールする注文要求が含まれます。
 2. 注文タスク - 注文が作成されると、注文タスクが自動的に作成されます。
 3. OMT タスク - 注文タスクの下に注文管理タスクが作成されます。
 4. 変更要求 - これには、ファイバースブロードバンドのインストールに関する変更要求の詳細が含まれます。
 5. 変更タスク - 注文を履行するために複数のタスクが作成されます。

i 注:

デモデータが正常にインストールされると、GPON ブロードバンドとデザインアサインリンク集計グループのデモデータが自動的に追加されます。

- 必要なロール :

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_n

このタスクについて

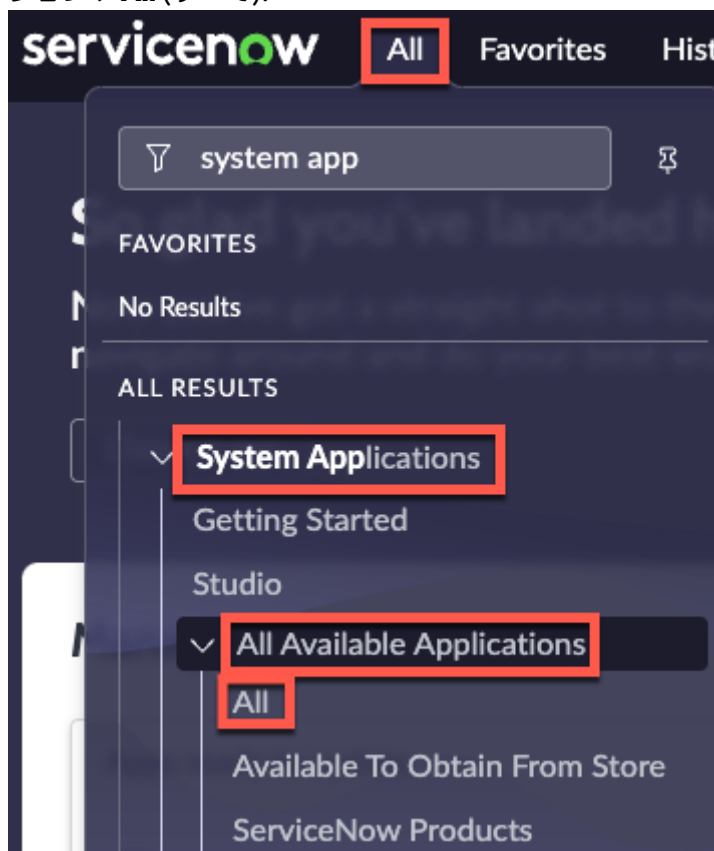
通信事業ネットワークインベントリ とともに次のアイテムがインストールされます。

- プラグイン
- ストアアプリケーション
- ロール
- テーブル

アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの表示の詳細については、「[アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索](#)」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて)。



2. フィルター基準と検索バーを使用して、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーション (sn_ni_adv) を検索します。

i 注:

TNI Advanced をインストールすると、デモデータなしで TNI Core が自動的にインストールされます。TNI Core デモデータのデモデータを手動でロードまたはインストールする必要があります。

アプリケーションは名前 (ネットワークインベントリ) または ID で検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

3. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

依存するプラグインとアプリケーションがまだインストールされていない場合、現在インストールされている場合、またはインストールする必要がある場合は、表示されます。インストールする必要があるプラグインまたはアプリケーションがある場合は、通信事業ネットワークインベントリをインストールする前にインストールする必要があります。

4. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。

デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

i 重要:

インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

5. [インストール] を選択します。

のユーザーロールのアサイン 通信事業ネットワークインベントリ

ロールをアサインして、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの特定の機能やデータへのユーザーアクセスを制御できます。これらの割り当てられたロールは、指定されたロールを持つユーザーのみによる特定のフォームおよびプロセスへのアクセスを許可または禁止します。

Now Platform ユーザー管理機能を使用して、ユーザーとグループにロールをアサインします。

- ユーザーにロールをアサインするには、「[ユーザーへのロールのアサイン](#)」を参照してください。
- グループにロールをアサインするには、「[グループへのロールのアサイン](#)」を参照してください。

通信事業ネットワークインベントリには、次のロールが用意されています。

テレコムネットワークインベントリロール

ロール	説明
インベントリアドミン [sn_ni_core.inventory_admin]	このロールを持つユーザーは、アプリケーション関連のすべての機能に対して、作成、読み取り、更新、および削除 通信事業ネットワークインベントリ アクセスできます。

テレコムネットワークインベントリロール (続く)

ロール	説明
インベントリカタログマネージャー [sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager]	このロールを持つユーザーは、すべてのネットワークインベントリエンティティのメタデータに対して、作成、読み取り、編集、および削除のアクセス権を持つことができます。このロールにより、ユーザーはさまざまなエンティティのメタデータを関連付けることもできます。
インベントリテンプレートマネージャー [sn_ni_core.inventory_template_manager]	このロールを持つユーザーは、新規または既存のエンティティのネットワークインベントリテンプレートを作成、読み取り、編集、および削除できます。また、このロールにより、ユーザーはデフォルトテンプレートで作成、読み取り、更新、削除 (CRUD) 操作を実行できます。
インベントリエージェント [sn_ni_core.inventory_agent]	このロールは、次の権限を持つユーザーを許可します。 - すべてのインベントリモデル、キャパシティメトリクス、およびバックテーブルへの読み取りアクセス権。 - インベントリテーブルへの書き込み、更新、および削除アクセス権。 - テンプレート、変更要求、および変更タスクテーブルへの読み取りおよび書き込みアクセス。 i 注: モデルおよびモデル関係テーブルを変更するには、インベントリエージェントロールがアサインされたユーザーに、資産ロールまたはインベントリユーザーロールのいずれかが必要です。
インベントリ番号マネージャー [sn_inv_num_mgmt.inventory_number_manager]	このロールは、次の権限を持つユーザーを許可します。 - すべての電話番号テーブルへの読み取りアクセス。 - 電話番号テーブルへの書き込み、更新、および削除アクセス権。

場所階層の定義

ネットワーク資産を追跡および管理できるように、通信事業ネットワークインベントリ フォームの場所階層を定義します。場所階層を定義することで、すべてのネットワーク機器がどこにあるかを確認できます。

始める前に

- 必要なロール：admin。
- 場所階層を確立するには、次のことを確認します。

1. 従属場所を含むトップレベルの場所を作成します。たとえば、場所階層で最初に アメリカを作成します。[親] フィールドは空のままにします。
2. 地域の場所を作成し、[親] フィールドで最上位の場所をその親として選択します。たとえば、場所階層で [北米] を作成し、その親として [南北アメリカ] を選択します。
3. フォームの下部にある [場所] セクションで、[新規] をクリックし、その地域の場所に従属する下位レベルの子の場所ごとに場所レコードを作成します。

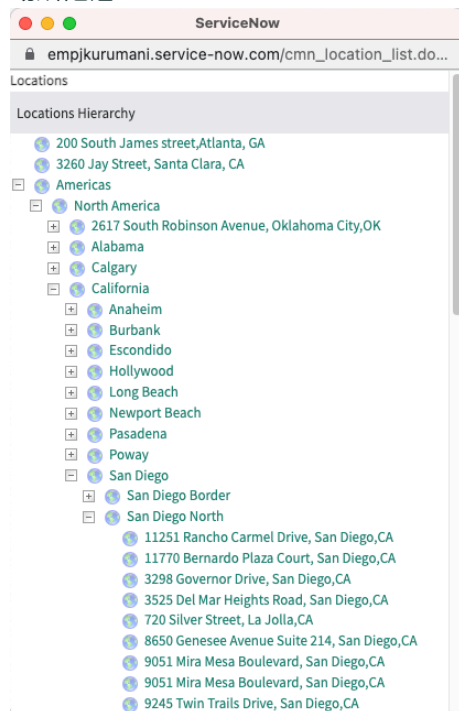
このタスクについて

場所レコードには、次のプロパティまたはプロパティのセットの少なくとも 1 つが含まれている必要があります。

- 住所
- Country (国)
- リージョン
- 緯度と経度

このフォームを使用して、場所階層をビルドできます。たとえば、次の例は、[ネットワークサイト] フォームの [場所] フィールドで場所を検索するときに表示される一般的な場所階層を示しています。

場所階層



手順

1. 次のように移動する。ユーザー管理 (**User Administration**) > 所在地。
2. **[New (新規)]** を選択します。
3. [場所] フォームで、場所レコードの住所と連絡先情報をフィールドに入力します。



注:
場所フォームのフィールドの詳細については、「[場所フォーム](#)」を参照してください。

4. **[Submit (送信)]** を選択します。

メーカーコードとベンダーコードの作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して会社コードを作成します。取引先のメーカー、ベンダー、または顧客ごとにコードを作成できます。これらのレコードを分類して、ネットワーク資産を分類できます。

始める前に

必要なロール：user_admin または管理者

手順

1. 次のように移動する。ユーザー管理 (**User Administration**) > 会社。
2. **[New]** をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。



注:
会社フォームのフィールドの詳細については、「[\[会社\] フォーム](#)」を参照してください。

4. **[Submit (送信)]** を選択します。

電話番号のコンポーネントの作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、一連の電話番号の本社コード、国コード、市外局番、およびレートセンターを作成します。

本社コードの作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、本社コードを作成し、国の市外局番に割り当てます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

本社コードを作成、レビュー、更新、または削除できます。また、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、市外局番の詳細を表示したり、国の市外局番に本社コードを割り当てたりすることもできます。

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. **[リスト]** アイコン () を選択し、次に移動します。アドミニストレーション > 本社コード。
3. **[New (新規)]** を選択します。
4. フォームの **[詳細]** タブで、以下のとおりにフィールドに入力します。

新しい本社コードを作成

市外局番	国または地域内の地理的リージョンを識別するコード。通常、電話番号の最初の 3 桁です。市外局番の目的は、受信者の場所に基づいて電話を宛先にルーティングすることです。 たとえば、電話番号 (123) 456-7890 の「123」は市外局番を表します。
セントラルオフィスコード	NXX と呼ばれる本社コード。電話番号の NXX 部分は、特定の地理的領域に属する中央オフィスまたはローカル交換機に関する情報を提供します。各本社コードは、市外局番内の地理的な場所またはサービス プロバイダーに関連付けられています。 たとえば、電話番号 (123) 456-7890 の「456」は本社コードを表します。

- 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
- [Save (保存)]** をクリックする。
本社コードと市外局番は、本社コードのリストビューに追加されます。
- オプション: 本社コードを削除する場合は、そのコードに移動し、オプションアイコン () を選択し、**削除** を選択して、確認ウィンドウが表示されたら **OK** を選択します。

次のタスク

国コードを作成します。詳細については、「[国コードの作成](#)」を参照してください。

国コードの作成

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションを使用して、国コードを作成、レビュー、更新、または削除します。国には、複数の電話形式と電話検証を含めることができます。

始める前に

必要なロール: sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

国コードを作成して条件を追加し、管理、レビュー、または更新できるようにします。

手順

- 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
- [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。アドミニストレーション > 国コード。
- 注:**
国コードのリストビューには、ほとんどすべての国コードが含まれています。
[New (新規)] を選択します。
- フォームの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

フィールドの詳細については、「[テリトリ電話の表示ルールを構成する](#)」を参照してください。

- 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
- [Save]** をクリックします。
[詳細] タブの横に関連タブが表示されます。詳細については、「[テリトリ電話の表示ルールを構成する](#)」を参照してください。
- オプション: 国コードを削除する場合は、その国コードに移動し、オプションアイコン () を選択し、削除 を選択して、確認ウィンドウが表示されたら **OK** を選択します。

次のタスク

市外局番を作成します。詳細については、「[市外局番の作成](#)」を参照してください。

市外局番の作成

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションを使用して、市外局番を作成、レビュー、更新、または削除します。

始める前に

必要なロール: sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

国コードの市外局番を登録することができます。同じ市外局番を異なる国コードに割り当てることができます。

手順

- 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
- [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。アドミニストレーション > 市外局番。
- [New (新規)]** を選択します。
- フォームの [詳細] タブで 次のようにフィールドに入力します。

新しい本社コードを作成

市外局番	国または地域内の地理的リージョンを識別するコード。通常、電話番号の最初の 3 桁です。市外局番の目的は、受信者の場所に基づいて電話を宛先にルーティングすることです。 たとえば、電話番号 (123) 456-7890 の「123」は市外局番を表します。
セントラルオフィスコード	NXX と呼ばれる本社コード。電話番号の NXX 部分は、特定の地理的領域に属する中央オフィスまたはローカル交換機に関する情報を提供します。各本社コードは、市外局番内の地理的な場所またはサービス プロバイダーに関連付けられています。 たとえば、電話番号 (123) 456-7890 の「456」は本社コードを表します。

5. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
6. **[Save (保存)]** をクリックする。
市外局番は、市外局番のリストビューに含まれています。
7. オプション: 市外局番を削除する場合は、その市外局番に移動し、オプション アイコン () を選択し、削除 を選択し、確認ウィンドウが表示されたら **OK** を選択します。

次のタスク

電話ブロック、電話番号割り当て、または電話番号を作成します。詳細については、「[電話インフラストラクチャの作成](#)」を参照してください。

のディシジョンテーブルの構成 通信事業ネットワークインベントリ

ディシジョンテーブルを構成して、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで複雑なタスクを解決することができます。たとえば、ディシジョンビルダーでディシジョンテーブルのタスクのエントリを作成、レビュー、または削除できます。

ディシジョンテーブルを使用すると、必要な条件を追加してタスクを自動化できます。ディシジョンビルダーの意思決定テーブルは、ビジネスロジックを一連の [if-then] 意思決定ルールに埋め込みます。意思決定テーブルは、入力からデータを読み取り、指定された条件に従ってデータを評価します。ディシジョンルールのすべての条件が満たされると、意思決定テーブルは 1 つ以上の結果を返します。詳細については、「[Decision Tables](#)」を参照してください。

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのディシジョンテーブルを使用して、次のタスクを実行できます。

1. 通信事業ネットワークインベントリと通信事業向け注文管理を統合します。
2. レコードプロデューサーフォームを変更要求にアサインします。
3. 変更要求の変更タスクにレコードプロデューサーをアサインします。

関連情報

[Exploring Decision Tables](#)

通信事業向け注文管理 の統合

通信事業ネットワークインベントリディシジョンテーブルを使用して、通信事業ネットワークインベントリアプリケーションと通信事業向け注文管理アプリケーションを統合します。

始める前に

- 変更モデル変数と注文タスク変数を構成して、通信事業向け注文管理 通信事業ネットワークインベントリ統合を有効にします。
- 必要なロール: sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

意思決定エントリを作成、レビュー、更新、および削除できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All (すべて)** > システム定義 > ディシジョンテーブル
2. **TNI** レコードプロデューサーと変更モデルポリシーディシジョンテーブルを選択します。
3. 注文タスクのディシジョンテーブルに意思決定エントリを作成します。
このエントリでは、次の項目を完了する必要があります。

- 注文タスク。
 - 注文タスクの条件。ディシジョンテーブルで、注文タスクの [注文タスク.要求タイプ] 条件を検索して選択します。[回答] フィールドは、選択した条件に基づいて入力されます。
 - レコードプロデューサー。
 - 変更モデル。
すべての条件が満たされると、インベントリアクションを必要とする注文タスクに対して変更要求が作成されます。この変更要求では、注文タスクがその親として割り当てられています。新しい変更要求が注文タスクの関連リストにあります。このタスクにより、OMT タスクページから変更要求にリダイレクトされます。
- 4. TNI レコードプロデューサー変数ポリシーディシジョンテーブルにエントリを作成して、注文特性を 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションに転送します。**
構成アイテムの変更タスクが作成されます。

Example: 光ファイバブロードバンドのTNI設計アサイン

カテゴリがブロードバンドサービスであるサービス注文を追加するとします。この追加を行うと、サービス注文履行ポリシーのファイバブロードバンドフローの TNI 設計アサインがトリガーされます。このフローの一環として、TNI レコードプロデューサーおよび変更モデルポリシーディシジョンテーブルで、GPON ブロードバンド変更モデルのギガバイトパッシブ光ネットワーク (GPON) ブロードバンドレコードプロデューサーを使用して、顧客宅内機器 (CPE) の割り当てとアサインの注文タスクが作成されます。

TNI レコードプロデューサー変数ポリシーディシジョンテーブルの注文特性を転送するには、注文特性をレコードプロデューサーにマッピングします。

変更モデルへのレコードプロデューサーフォームのアサイン

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでディシジョンテーブルを使用して、レコードプロデューサーを変更要求にアサインします。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All (すべて)** > システム定義 > ディシジョンテーブル。
2. [プロデューサーポリシーをレコードする **TNI 変更モデル (TNI Change Model To Record Producer Policy)**] ディシジョンテーブルを選択します。
3. ディシジョンテーブルの条件セクションで、[新しい意思決定行を追加] ボタンを選択します。
4. [変更モデル] 列の値フィールドから変更モデルを選択します。
5. 選択した変更モデルにアサインするレコードプロデューサーを [レコードプロデューサー] 列から選択します。

タスクの結果

選択時 変更 > **All (すべて)** 追加された変更モデルの [次へ] ボタンをクリックすると、アサインされたレコードフォームが表示されます。

i 注:

すべてのレコードプロデューサーフォームの入力は、[詳細] タブの [変数] セクションに表示されます。必要に応じて詳細を表示および更新できます。

次のタスク

変更要求の変更タスクにレコードプロデューサーをアサインすることもできます。詳細については、「[変更タスクの要求タイプに対するレコードプロデューサーフォームのアサイン](#)」を参照してください。

変更タスクの要求タイプに対するレコードプロデューサーフォームのアサイン

アプリケーションのディシジョンテーブルを使用して、レコードプロデューサーを変更要求の変更タスクにアサイン 通信事業ネットワークインベントリ。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

注:

デフォルトでは、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションは、機器の作成、物理接続の作成、論理接続の作成、およびインターフェイスカードの追加の要求タイプをこのディシジョンテーブルに追加しました。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム定義 > ディシジョンテーブル。
2. [プロデューサーポリシーをレコードプロデューサーポリシー] ディシジョンテーブル に **TNI** 要求タイプ として選択します。
3. ディシジョンテーブルの [条件] セクションで、[新しい意思決定行を追加] ボタンを選択します。追加された変更モデルの [変更タスク] タブで変更タスクを選択すると、アサインされたレコードプロデューサーフォームが [タスク属性] タブに表示されます。
4. [要求タイプ] 列の値フィールドから変更タスクを選択します。
5. 選択した変更タスクにアサインするレコードプロデューサーを [レコードプロデューサー] 列から選択します。

次のタスク

ネットワークインスタンスのインスタンス化を作成します。詳細については、「[設計とアサインを使用したネットワークインベントリのインスタンス化](#)」を参照してください。

[store-future: BEGIN review]

CI クローン作成プロセスのカスタマイズ

CI (構成アイテム) のクローン作成プロセスと関連テーブルを 通信事業ネットワークインベントリ を使用してカスタマイズします。このプロセスでは、サフィックスまたはプリフィックスの変更、コピーする関連テーブルの削除/追加などの複製のために、CI 属性と関連テーブルのリストをカスタマイズできます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム定義 > ディシジョンテーブル。
2. **[TNI 関連フロー定義ポリシー (TNI Related Flow Definition Policy)]** ディシジョンテーブルを選択します。
3. オプション: [ディシジョンテーブル] セクションのフロー名を更新します。

- デフォルトでは、関連アイテムをクローンするためのフローと、論理接続と物理接続の前処理のためのフローが追加されます。
- CI 属性をカスタマイズするためのサブフローを作成するには、「テンプレート:PrePersistence マップ をテンプレートとして処理する」に従ってください。
- CI 関連アイテムをカスタマイズするためのサブフローを作成するには、「テンプレート:関連アイテム をテンプレートとしてクローンする」に従ってください。

[End]

リビジョン CI の検証のカスタマイズ

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、CI (構成アイテム) の検証プロセスをカスタマイズします。スクリプトに基づいて調整可能なパラメーターを指定することで、検証プロセスをカスタマイズできます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

要件に合った基準とルールを指定し、データの正確性と完全性を検証するためのカスタマイズされたアプローチが可能になります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセス自動化 > **Workflow Studio** (ワークフロースタジオ) > **Flow Designer** (フローデザイナー) > アクション。
2. **[CI リビジョンの検証]** を選択します。
3. [アクションアウトライン] セクションで [スクリプトステップ] を選択します。
4. スクリプトから、CI 関係または関連アイテム、あるいはその両方の値を false に変更できます。値が False のフィールド値は検証プロセスに含まれません。

通信ネットワークインベントリ属性の構成

CI レコードに表示される共通 通信事業ネットワークインベントリ 属性の収集を有効にするには、コア機器テーブルを構成します。これらの属性を使用して、通信事業ネットワークインベントリ CI レコードを作成します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

コア設備テーブルの設備汎用クラスを更新して、対応する CI レコード (サブクラス) に [インベントリ属性の設定] ボタンを表示します。インターフェイスカードテーブル (cmdb_ci_interface_card) を除き、設備ジェネリッククラスのサブクラスであるすべてのテーブルが設備と見なされます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムプロパティ > すべてのプロパティ。
2. **sn_ni_core.equipment_tables** テーブルを選択します。
3. [値] フィールドに、セパレーターとしてカンマを使用して設備の汎用クラスを入力します。次のジェネリッククラスを追加できます。

- コンピューター (cmdb_ci_computer)
- ネットワーク機器 (cmdb_ci_netgear)
- 仮想マシンオブジェクト (cmdb_ci_vm_object)
- Kubernetes コンポーネント (cmdb_ci_kubernetes_component)
- サービスインスタンス (cmdb_ci_service_auto)

属性パックテーブルの構成

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションで定義した属性を使用して属性パックテーブルを作成した後、テーブルとそれを使用するインベントリオブジェクト間のマッピングを構成できます。

属性パックテーブルの作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで定義した属性を使用して属性パックテーブルを作成し、これらの属性を CI レコードで使用できるようにします。

始める前に

- Attribute Pack プラグインが 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションとともにインストールされていることを確認します。
- アプリケーションスコープを Attribute Pack に切り替えます。

必要なロール: admin、sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

バックベース (sn_attribute_pack_base) テーブルを拡張して、属性を持つ属性パックテーブルを作成します。属性を定義してバックベーステーブルに保存します。すべてのアプリケーションスコープに対して読み取りまたは書き込み権限を有効にできます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム定義 > テーブル。
2. **[New (新規)]** を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

[属性パックテーブル] フォーム

フィールド	値
ラベル	パックテーブルの名前。
[Name (名前)]	選択したラベル名 (sn_attribute_pack_<label name>) に基づいて自動入力される名前。
拡張テーブル	パック (sn_attribute_pack_base)

4. **[コントロール]** タブで、**[ユーザーロール]** フィールドにロールを追加します。
パックテーブルへのアクセスを許可するロールを追加します。
5. **[Save (保存)]** をクリックする。
6. 属性を追加または削除します。
7. **[Submit (送信)]** を選択します。

タスクの結果

パックテーブルは、一連の属性を使用して作成されます。

次のタスク

インベントリフォームでパックテーブルを使用するには、インベントリオブジェクトとマッピングするように構成する必要があります。詳細については、「[構成アイテムに対する属性パックテーブルの構成](#)」を参照してください。

構成アイテムに対する属性パックテーブルの構成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのフィルター条件を使用して、構成アイテム (CI) に対して属性パックテーブルを構成します。パックテーブルを構成するときに、パックを使用して CI レコードを作成できます。

始める前に

- Attribute Pack プラグインが 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションとともにインストールされていることを確認します。
- 一連の属性を持つパックテーブルを作成します。詳細については、「[属性パックテーブルの作成](#)」を参照してください。

必要なロール:admin、sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

インベントリフォームでパックテーブルを使用するには、フィルター条件を使用して CI に対して構成する必要があります。CI が別の CI に関連している場合は、パックテーブルを関連 CI にマッピングするためのフィルター条件を設定する必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > アドミニストレーション > パック構成。
2. **[New (新規)]** を選択します。
3. **[詳細]** タブで、フィールドに入力します。

[パック構成] フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	パック構成の名前。
[Active (アクティブ)]	CI レコードのパックテーブルを有効にするオプション。
構成アイテム	マッピングする CI テーブル。
フィルター	フィルター条件属性を使用して、パックテーブルのフィルタリング方法をカスタマイズして、CI フォームでできるようにします。[条件を設定] を選択し、フィルター条件のフィールド演算子と値を入力します。
パックテーブル	CI に対してマッピングするパックテーブル。
関連した構成アイテムがある	関連 CI を追加するオプション。このチェックボックスをオンにすると、次のフィールドが表示されます。 関連した構成アイテム

フィールド	説明
	マッピングする関連 CI テーブル。 関連フィルター フィルター条件属性を使用して、パックテーブルのフィルタリング方法をカスタマイズして、関連 CI フォームで使用できるようにします。[条件を設定]を選択し、フィルター条件のフィールド演算子と値を入力します。 i 注: CI のフィルター条件が満たされていない場合、関連 CI のフィルター条件はチェックされません。CI と関連 CI のフィルター条件が満たされると、パックテーブルが関連 CI にマッピングされます。

4. [Save (保存)] をクリックする。

タスクの結果

パックテーブルが CI に対してマッピングされ、[パック構成] リストに表示されます。

次のタスク

CI レコードのパックテーブルを使用します。詳細については、「[CI レコードで属性パックを使用する](#)」を参照してください。

キャパシティ管理の構成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでキャパシティ管理機能、定義、およびメトリクスを作成および設定します。キャパシティ管理を使用すると、ネットワーク資産の最大キャパシティ、占有キャパシティ、および利用可能なキャパシティを計算できます。

関連情報

[キャパシティ管理](#)

[構成アイテムの改訂、運用化、および廃止](#)

キャパシティ機能を作成

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションでキャパシティ機能を作成します。この機能を使用して、ネットワーク資産の容量を計算できます。

始める前に

キャパシティ管理プラグインが 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションとともにインストールされていることを確認します。

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

キャパシティ関数を作成して、ネットワーク資産の最大キャパシティ、占有キャパシティ、および利用可能なキャパシティを計算します。さまざまな戦略を使用してキャパシティを計算できます。キャパシティ関数を作成すると、キャパシティ関数 [sn_cap_mgmt_function] テーブルにレコードが保存されます。

キャパシティ計算では、優先度に基づいてキャパシティ機能が選択されます。キャパシティ計算の優先順位を設定する際には、以下の点が考慮されます。

- 2 つのキャパシティ関数の関数タイプと測定タイプが同じ場合、順序値が最も小さい方が優先されます。
- 2 つのキャパシティ関数の関数タイプ、測定タイプ、および順序が同じ場合、最後に更新された関数が優先されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > キャパシティ管理 > 関数。
2. **[New (新規)]** を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
フィールドの詳細については、「[キャパシティ機能フォーム](#)」を参照してください。
4. **[Submit (送信)]** を選択します。

タスクの結果

キャパシティ機能レコードが作成されます。

次のタスク

能力計算の関数を使用するか、または定義レコード内で使用して能力を決定することができます。キャパシティ定義の作成方法の詳細については、「[キャパシティ定義を作成](#)」を参照してください。

関連情報

[キャパシティ管理](#)

キャパシティ定義を作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでキャパシティ定義を作成します。キャパシティ定義で複数の関数を使用して ネットワーク資産のキャパシティを 計算できます。

始める前に

- キャパシティ管理プラグインが 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションとともにインストールされていることを確認します。
- キャパシティ機能レコードを作成します。

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

キャパシティ定義は、キャパシティ機能を非同期にトリガーする方法です。キャパシティ定義で複数の機能を使用して、ネットワーク資産の最大キャパシティ、占有キャパシティ、および利用可能なキャパシティを計算できます。キャパシティ定義を作成すると、キャパシティ定義 [sn_cap_mgmt_definition] テーブルにレコードが保存されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > キャパシティ管理 > 定義。
2. **[New (新規)]** を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
フィールドの詳細については、「[キャパシティ定義フォーム](#)」を参照してください。
4. **[Submit (送信)]** を選択します。

タスクの結果

キャパシティ定義レコードが作成されます。

次のタスク

この定義をキャパシティ計算に使用できます。キャパシティ定義を実行すると、メトリクスが作成され、結果がそれに集計されます。次に移動できます **All** (すべて) > キャパシティ管理 > メトリクスをクリックし、詳細を表示するキャパシティメトリクスレコードを開きます。

関連情報

キャパシティ管理

キャパシティメトリクスの表示

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでキャパシティメトリクスレコードを表示します。キャパシティメトリクスを使用して、キャパシティ計算の統合情報を取得できます。

始める前に

- キャパシティ管理プラグインが 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションとともにインストールされていることを確認します。
- キャパシティ機能または定義レコードを実行し、キャパシティメトリクスレコードを作成します。

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > キャパシティ管理 > メトリクス。
2. キャパシティメトリクスレコードの横にある情報 ⓘ を選択して、詳細を表示します。
次の詳細が表示されます。

キャパシティ定義フォーム

フィールド	Value (値)
キャパシティ定義	キャパシティ定義レコードの名前。
関数	キャパシティ機能のタイプ。
Value (値)	キャパシティ計算値。
測定タイプ	キャパシティの計算に使用される測定タイプ。
キャパシティ機能	キャパシティ機能レコードの名前。

関連情報

キャパシティ管理

ネットワークサービスの設計とアサイン機能の設定

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションで設計およびアサイン機能を作成および構成します。これを使用して、ネットワークサービスを設計し、ネットワークリソースを割り当てることができます。

設計およびアサイン機能は、プレイブックエクスペリエンスを使用して ワークフロースタジオ で作成および構成されます。一部の構成は Now Platformで実行されます。これらの設定には、レコードプロデューサー、変更モデル、および要求定義の作成が含まれます。フロー、アクション、サブフローをプレイブックでリンクすることで、設計とアサインの機能を完全に自動化できます。

手順に従って、設計およびアサイン機能を作成および構成します。

1. 変更モデルの作成.
2. レコードプロデューサーを作成します。
3. レコードプロデューサーに入力変数を追加する.
4. レコードプロデューサーに変数セットを追加.
5. サブフローを作成.
6. 要求定義の作成.
7. 設計およびアサイン機能のプレイブックを作成する.
8. システムプロパティを更新して、設計とアサインのホームページを構成します.

これらのアクティビティを完了すると、機能を開始するための UI アクションが [設計とアサイン] ホームページに表示されます。UI アクションを選択して、新しい設計およびアサイン機能を起動します。

設計とアサイン関数の例の構成

例を使用して、ネットワーク サービスの設計とアサインの機能を作成および構成する方法について説明します。詳細については、「[設計とアサイン関数の構成の例](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワークサービスの設計とアサイン](#)

[通信事業ネットワークインベントリ サブフロー](#)

[Building playbooks](#)

設計およびアサイン機能の変更モデルの作成

変更モデルを作成し、モデル状況とモデル状況移行を追加します。この変更モデルを使用して、設計およびアサイン機能を構成できます。

始める前に

必要なロール:admin、sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

変更モデルを作成して、ネットワークサービスの設計およびアサイン機能を構成します。いくつかの状況を経て変更要求を移動および追跡するには、モデル状況を変更モデルに追加する必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 変更 > アドミニストレーション > 変更モデル.
2. **[New (新規)]** を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

[変更モデル] フォーム

フィールド	説明
名前	変更モデルの一意の名前。
[Active (アクティブ)]	変更要求の作成時にこのモデルを選択できるようにするオプション。

4. **[Save (保存)]** をクリックする。
[モデル状況] コンテキストメニューが表示されます。変更モデルの状況を選択できます。
5. [モデルの状態] タブで、**[新規]** を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

[モデルステータス] フォーム

フィールド	説明
ステータス	変更モデルに含めるステータス。次の状況モデルを追加できます。 設計が進行中 アクティビティは進行中です。 設計のレビュー中 アクティビティが完了し、変更要求が承認のためにレビューされます。 設計が完了 変更要求が承認されました。 クローズ済み 変更要求がクローズされます。 設計およびアサイン機能の要件に基づいて、新しいモデルステータスを変更モデルに追加することもできます。詳細については、以下を参照してください。 マルチレイヤーモデルステータスの追加。
初期ステータス	このステータスをモデルの初期ステータスとして有効にするオプション。このフィールドは、モデルに最初のステータスを追加したときに自動的に選択されます。設計とアサイン機能では、設計の進行中状態を初期状態として設定できます。

7. ステータスを保存して [変更モデル] フォームに戻るには、**[送信]** を選択します。
8. ステータス間に移行を追加するには、移行を適用するモデルステータスの階層リストの表示/非表示アイコン () を選択します。
[状況移行] コンテキストメニューが表示されます。
9. **[New (新規)]** を選択します。
10. [モデルステータス移行] フォームで、フィールドに入力します。

モデルステータス移行フォーム

フィールド	説明
から	変更要求の移行元のステータス。
理想の	変更要求の移行先のステータス。

フィールド	説明
自動移行	定義された条件が満たされたときに変更要求への自動移行を有効にするオプション。このオプションを選択すると、[変更要求] フォームの [ステータス] フィールドを手動で選択することができなくなります。

11. ステータスを保存して [変更モデル] フォームに戻るには、[送信] を選択します。

12. **[Submit (送信)]** を選択します。

タスクの結果

変更モデルは、モデル状況とモデル状況移行を使用して作成されます。

次のタスク

プレイブックでアクティビティを構成するレコードプロデューサーを作成します。詳細については、「[設計およびアサイン機能のレコードプロデューサーの作成](#)」を参照してください。

関連情報

[Create a Change model](#)

[State model and transitions](#)

[ネットワークサービスの設計とアサイン機能の設定](#)

[設計とアサイン関数の構成の例](#)

設計およびアサイン機能のレコードプロデューサーの作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでレコードプロデューサーを作成します。このレコードプロデューサーを使用して、設計およびアサイン機能のプレイブックでアクティビティを構成できます。

始める前に

必要なロール: admin、sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > サービスカタログ > カタログ定義 > レコードプロデューサー。
2. **[New (新規)]** を選択します。
3. [レコードプロデューサー] フォームのフィールドに入力します。

[レコードプロデューサー] フォーム

フィールド	説明
名前	レコードプロデューサーのわかりやすい名前。
テーブル名	レコードプロデューサーがレコードを作成するテーブル。

4. **[Submit (送信)]** を選択します。

タスクの結果

レコードプロデューサーが作成されます。

次のタスク

- レコードプロデューサーに変数を追加します。詳細については、「[設計およびアサイン機能の変数の作成](#)」を参照してください。
- レコードプロデューサーに変数セットを追加します。詳細については、「[設計およびアサイン機能のレコードプロデューサーに変数セットを追加](#)」を参照してください。

関連情報

[Record Producer](#)

[ネットワークサービスの設計とアサイン機能の設定](#)

[設計とアサイン関数の構成の例](#)

設計およびアサイン機能の変数の作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでレコードプロデューサーの変数を作成します。これらの変数は、設計およびアサイン機能のプレイブックのアクティビティカードの入力フィールドとして使用できます。

始める前に

必要なロール:admin、sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

入力変数を作成し、レコードプロデューサーに追加します。変数は、プレイブックのアクティビティカードに入力フィールドとして表示されます。

手順

- 次のように移動する。 **All** (すべて) > サービスカタログ > カタログ定義 > レコードプロデューサー。
- 変数を作成するレコードプロデューサーを選択します。
- 変数 タブで、新規 を選択します。
- 変数フォームのフィールドに入力します。

[レコードプロデューサー] フォーム

フィールド	説明
タイプ	変数タイプを選択します。
カタログアイテム	デフォルトでは、レコードプロデューサー名が表示されます。
質問	関連情報を取得するためにカタログアイテムを使用しているユーザーに尋ねることができる質問。
[Name (名前)]	質問を識別するための名前。 注: このフィールドが空の場合、その値は [質問] フィールドに基づいて自動的に入力されます。

フィールド	説明
タイプ仕様	変数のタイプに固有の値。

5. [Submit (送信)] を選択します。

前の手順を繰り返して、レコードプロデューサーの追加変数を作成します。

6. [Submit (送信)] を選択します。

タスクの結果

入力変数が作成され、レコードプロデューサーに追加されます。

次のタスク

レコードプロデューサーに変数セットを追加します。詳細については、「[設計およびアサイン機能のレコードプロデューサーに変数セットを追加](#)」を参照してください。

関連情報

[Record Producer](#)

[Service catalog variables](#)

[ネットワークサービスの設計とアサイン機能の設定](#)

[設計とアサイン関数の構成の例](#)

設計およびアサイン機能のレコードプロデューサーに変数セットを追加

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションのレコードプロデューサーに変数セットを追加します。変数セットは、設計およびアサイン機能のアクティビティカードの入力フィールドとして使用できます。

始める前に

必要なロール: admin、sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

変数セットには、変更タスクの作成時に取得される共通属性があります。要件に応じて、既存の変数セットを使用することも、変数セットを作成することもできます。設計およびアサインブレイクブックでアクティビティを構成するには、**DA 共通変数 変数セット**を使用します。

手順

1. 次のように移動する。 **All (すべて)** > サービスカタログ > カタログ定義 > レコードプロデューサー。
2. 変数を作成するレコードプロデューサーを選択します。
3. [変数セット] タブで、[編集] を選択します。
4. **DA 共通変数**を選択します。
DA 共通変数変数セットは、設計および割り当て機能の共通変数を提供します。
5. [Submit (送信)] を選択します。

タスクの結果

変数セットがレコードプロデューサーに追加されます。

次のタスク

アクティビティのサブフローを作成します。 [設計およびアサイン機能のサブフローを作成](#)。

関連情報

[Service catalog variable sets](#)[ネットワークサービスの設計とアサイン機能の設定](#)[設計とアサイン関数の構成の例](#)

設計およびアサイン機能のサブフローを作成

ワークフロースタジオにサブフローを作成します。このサブフローを使用して、設計およびアサイン機能のプレイブックでアクティビティを構成できます。

始める前に

必要なロール:admin、sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

サブフローを作成するには、サブフローが使用する入力データと、サブフローが生成する出力データを定義します。次に、サブフローを要求定義にリンクします。この要求定義を使用して、プレイブックを使用して設計を自動化するアクティビティを構成し、機能をアサインできます。要求定義に関連付けられたサブフローは、送信後に TNI 設計アサインプロセスフローによってトリガーされます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセス自動化 > **Flow Designer** (フローデザイナー)。
2. **新規** を選択し、オプションリストから **サブフロー** を選択します。
3. 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
サブフロー名	サブフローの名前。
説明	サブフローの説明。
アプリケーション	サブフローを作成するアプリケーションスコープ。 [Network Inventory Advanced (高度なネットワークインベントリ)] を選択できます。

4. サブフロー入力を作成し、要件に従ってサブフロー出力に適切な値を割り当てます。詳細については、「[Create a subflow in Workflow Studio](#)」を参照してください。

i 注:

サブフローは、送信時に TNI 設計アサインプロセスフローによってトリガーされ、次の入力が必要です。

- 検証エラーを無視する
- 変更タスク

次のタスク

- サブフローをテストし、レコードプロデューサーに追加する準備ができれば公開します。
- 要求定義を作成し、サブフローを関連付けます。詳細については、「[設計およびアサイン機能の要求定義の作成](#)」を参照してください。

関連情報

[Building subflows](#)[通信事業ネットワークインベントリ サブフロー](#)

ネットワークサービスの設計とアサイン機能の設定

設計とアサイン関数の構成の例

設計およびアサイン機能の要求定義の作成

要求定義を作成し、それを使用して設計およびアサインプレイブックを構成します。この要求定義を使用して、設計とアサインプレイブックのアクティビティを構成できます。

始める前に

必要なロール:admin、sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

要求定義を作成し、それにサブフローを添付します。要求定義を使用して、設計およびアサイン機能のプレイブックでアクティビティを構成できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All (すべて) > Telecom Network Inventory** (通信事業ネットワークインベントリ) > アドミニストレーション > 要求定義。
2. **[New (新規)]** を選択します。
3. **[要求定義]** フォームのフィールドに入力します。

[要求定義] フォーム

フィールド	説明
ID	要求定義の一意の識別子。 i 注: 要求定義の作成後に ID を変更することはできません。
[Name (名前)]	要求定義を識別するための名前。
タスクタイプ	変更要求に関連付けられているタスクテーブル。[タスクタイプ] フィールドを [変更タスク] に設定します。
フロー	要求定義に関連付けられているサブフロー。

4. **[Submit (送信)]** を選択します。

タスクの結果

要求定義が作成されます。

次のタスク

設計およびアサイン機能用のプレイブックを作成して構成します。詳細については、「[設計およびアサイン機能のプレイブックを作成する](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワークサービスの設計とアサイン機能の設定](#)

[設計とアサイン関数の構成の例](#)

設計およびアサイン機能のプレイブックを作成する

ワークフロースタジオで設計およびアサイン機能用のプレイブックを作成します。プレイブックを使用して、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワークサービスを設計およびアサインできます。

始める前に

- [変更モデルの作成](#).
- [レコードプロデューサーを作成します](#).
- [レコードプロデューサーに入力変数を追加する](#).
- [レコードプロデューサーに変数セットを追加](#).
- [サブフローを作成](#).
- [要求定義の作成](#).

顧客からのサービス要求を履行するために、ワークフロースタジオでプレイブックを作成して構成します。構成手順は次のとおりです。

1. プレイブックを作成します。
2. ステージを追加します。
3. トリガーを設定します。
4. アクティビティを追加して構成します。
5. プレイブックをアクティブ化します。

必要なロール：admin、playbook.admin

手順

1. 次のように移動する。 **All (すべて) > Workflow Studio (ワークフロースタジオ) > Playbooks (プレイブック)**。
2. **新規** を選択し、オプションリストから **プレイブック** を選択します。
3. 次のフィールドに入力します。

プレイブック

フィールド	説明
プレイブック名	プレイブックの一意のユーザー向けの名前を入力します。この名前は、プレイブックの実行時にエージェントと履行者に表示されます。
説明	必要に応じて、プレイブックに関する詳細を入力します。
アプリケーション	プレイブックを実行するアプリケーションスコープを選択します。 [Network Inventory Advanced (高度なネットワークインベントリ)] を選択できます。

ビルダーはデフォルトで **[ダイアグラムビュー]** に表示されますが、**[ボードビュー]** を選択してビューを切り替えることができます。

4. トリガーを追加して構成します。
詳細については、「[Add and configure a trigger in a playbook](#)」を参照してください。

a. その他のオプションアイコン () を選択し、[プロパティ] を選択します。

b. [スケジュール] タブで、フィールドに入力します。

[Schedule (スケジュール)] タブ

フィールド	説明
プロセスの実行条件を定義	リストからトリガータイプを選択します。[レコードの作成] を選択できます。
テーブル	プレイブックの実行をトリガーするテーブルを選択します。[設計とアサイン機能] で、[変更要求] を選択します。変更要求を作成すると、プレイブックがトリガーされます。
トリガー条件	プレイブックを実行する条件。トリガー条件として変更モデルを選択します。
トリガーを実行	トリガーを実行するオプションを選択します。[1回] を選択して、設計およびアサイン用に 1 つのプレイブックプロセスインスタンスのみを作成できます。

c. [Done (完了)] を選択します。

5. ステージを追加するには、[ステージの追加] を選択します。

設計とアサイン機能にはステージを 1 つだけ追加する必要があります。プレイブックステージの詳細については、「[Add and configure a stage in a playbook](#)」を参照してください。

6. アクティビティを追加して構成します。

a. [アクティビティを追加] を選択します。

b. プレイブックに追加するアクティビティを選択します。

高度なネットワークインベントリアプリケーションに関連付けられている既存のアクティビティを選択し、要件に応じて更新できます。新しいアクティビティを作成して追加することもできます。アクティビティの作成の詳細については、「[Add and configure an activity in a playbook](#)」を参照してください。

プレイブックの設計とアサインのデフォルトアクティビティ

アクティビティ	説明
変更タスクの自動作成	このアクティビティは、レコードプロデューサーを呼び出して変更タスクレコードを作成し、変更タスクフォームビューを表示するために使用されます。このアクティビティでは次のことを行います。 - 変更タスクを自動的に作成します。 - 関連するレコードプロデューサーを呼び出します。

アクティビティ	説明
	- レコードプロデューサー変数を使用して変更タスクレコードを作成します。 - アクティビティカードに変更タスクフォームビューを表示します。
フォームを表示	このアクティビティでは、選択したテーブルとビューに従ってフォームビューを表示します。
設計アサインのレビューと送信	このアクティビティは、設計のレビューと送信、および要求のアサインに使用されます。変更タスクが自動的に作成されます。

アクティビティを作成することもできます。詳細については、「[Add and configure an activity in a playbook](#)」を参照してください。

新しいアクティビティがステージに表示され、[アクティビティのプロパティ] パネルが表示されます。

c. [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
ラベル	アクティビティの一意のユーザー向けの名前を入力します。この名前は、プレイブックの実行時にエージェントと履行者に表示されます。
説明	必要に応じて、アクティビティに関する詳細を入力します。

d. [自動化] タブを開きます。

[自動化]、[入力]、および [出力] セクションが表示されます。

e. すべてのフィールドを表示するには、[追加オプションを表示] を選択します。

f. [入力] セクションで、アクティビティの入力の値を定義します。

ハードコードされた値を使用するか、データピルピッカーアイコン () を選択して、前のアクティビティまたは プレイブック トリガーのデータを使用して入力を構成します。

g. [UI レイアウト] タブを開き、フィールドに入力します。

アクティビティに関連付けられている UI レイアウトによって、このタブに表示されるセクションとフィールドは異なります。これらのセクションとフィールドでは、プレイブックエクスペリエンス実行時にレンダリングされるアクティビティデータを設定できます。

h. [Save and close (保存して閉じる)] を選択します。

7. 設計要件に従ってアクティビティを追加し続けます。

8. 適切なアクティビティをすべてプレイブックに追加したら、ヘッダーの [アクティブ化] を選択します。

プレイブックをアクティブ化すると、トリガーされたときに実行されるように公開されます。

タスクの結果

プレイブックのトリガー条件が満たされると、プレイブックが実行されます。

次のタスク

システムプロパティを更新して、[設計とアサイン] ホームページにプレイブックを追加します。詳細については、「[システムプロパティを更新して、設計とアサインのホームページを構成します](#)」を参照してください。

関連情報

[Playbooks in Workflow Studio](#)

[ネットワークサービスの設計とアサイン機能の設定](#)

[設計とアサイン関数の構成の例](#)

システムプロパティを更新して、設計とアサインのホームページを構成します

システムプロパティを更新して、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの [設計とアサイン] ホームページにプレイブックを追加します。ホームページから設計とアサイン機能を起動し、目標を達成するための手順を実行できます。

始める前に

必要なロール:admin、sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

システムプロパティに変更モデルを追加して、設計およびアサイン機能にプレイブックを使用します。追加すると、[設計とアサイン] ホームページにプレイブックを起動するための UI アクションが一覧表示されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムプロパティ > **All** (すべて)。
2. **sn_ni_ws.tni_design_assign_chg_models** レコードを開きます。
3. [値] フィールドに、変更モデルのsys_idを追加します。

i 注:

デフォルト値は、[設計とアサイン] ホームページで使用可能な論理接続モデルのsys_idです。

4. **[Update (更新)]** を選択します。

タスクの結果

変更モデル名は、[設計とアサイン] ホームページに UI アクションとして表示されます。UI アクションを選択すると、プレイブックが起動します。

次のタスク

プレイブックを使用して、サービス要求を設計およびアサインします。詳細については、「[設計とアサイン機能の使用](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワークサービスの設計とアサイン機能の設定](#)

[設計とアサイン関数の構成の例](#)

設計およびアサイン機能レイアウトの変更

エンドポイントを構成して、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの設計とアサインの機能レイアウトを変更します。ネットワークサービスの要件に従ってレイアウトを作成できます

始める前に

必要なロール:admin、sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

デフォルトでは、[設計とアサイン] 機能レイアウトには、アクティビティピッカー、アクティビティビューアー、ネットワーク図などの 3 つのセクションが表示されます。現在、ネットワーク図には論理接続の回路図が表示されています。sn_ni_wsを構成することで、要件に応じてネットワーク図をカスタマイズできます。TNIDesignAssignConfiguration エンドポイント。関連するスクリプトを削除して、レイアウトからネットワーク図を削除することもできます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムの拡張点 > スクリプト済みの拡張点。
2. sn_ni_wsを開きます。TNIDesignAssignConfiguration レコード。
3. 要件に従ってスクリプトを編集します。
4. **[Update (更新)]** を選択します。

設計とアサイン関数の構成の例

この例では、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワークサービスを設計およびアサインするためのプレイブックを作成および構成する方法を示します。

例の概要

指定された場所の光ネットワーク端末 (ONT) を作成する必要があるネットワークサービスを履行するようという顧客からの注文要求があるとします。このネットワークサービスを設計してアサインするには、ONT サイトや機器テンプレートの詳細などの ONT の詳細をキャプチャする必要があります。設計およびアサイン機能のプレイブックを作成して構成することで、ネットワークサービスを設計するためのステップバイステップのガイダンスに従って、これらのタスクを自動化できます。

プレイブックアドミニストレーターは、プレイブックを作成して構成し、ネットワークサービスのインベントリを設計してアサインします。プレイブックには、ONT デバイスを作成するための次のアクティビティが含まれています。

1. ネットワークサービスのセットアップ:設計要求のサービスの詳細を収集します。
2. ONT の詳細をキャプチャ:ONT サイトとインベントリテンプレートの詳細をキャプチャして、機器をインスタンス化します。
3. レビューと送信:アクティビティの詳細を確認し、テンプレートに従って特定の場所の ONT デバイスを作成します。

このプレイブックワークフローの一環として、以下を自動化します。

- ONT 設計の変更要求を作成します。
- ONT の詳細の取得など、アクティビティの変更タスクを作成します。
- 変更タスクを実行し、インベントリテンプレートを使用して機器をインスタンス化します。

プレイブックエージェントは、この設計およびアサイン機能を使用して、ネットワークサービスに対する顧客の注文と要求を履行できます。

前提条件

プレイブックを作成する前に、インベントリコアアドミニストレーターとして以下を作成して構成します。

1. 変更モデルを作成し、モデル状況を追加します。

変更モデルの詳細

アイテム	説明
モデル名を変更	名前を「Network Service Automated Flow 」に設定します。
モデルステータス	次のモデル状況を追加し、モデル状況移行を設定します。 設計が進行中 モデル状況移行を [設計完了] に設定します。 設計が完了 モデルステータス移行を [クローズ済み] に設定します。 クローズ済み このステータスのモデルステータス移行を設定しないでください。 i 注: [設計が進行中] および [設計が完了したモデル] 状況に [CI 変更を許可] 属性を追加する必要があります。

詳細な手順については、「[設計およびアサイン機能の変更モデルの作成](#)」を参照してください。

2. ONT サイトやインベントリテンプレートなどの ONT 入力の詳細をキャプチャするレコードプロデューサーを作成します。このレコードプロデューサーは、プレイブックの 2 番目のアクティビティで使用されます。

レコードプロデューサーの詳細

アイテム	説明
Record Producer	- レコードプロデューサー名を「Capture ONT Details」に設定します。 [テーブル] フィールドを [変更タスク] として設定します。

詳細な手順については、「[設計およびアサイン機能のレコードプロデューサーの作成](#)」を参照してください。

3. レコードプロデューサーに変数を追加します。

変数の詳細

アイテム	説明
変数 1	変数1に以下の詳細を設定します。 [タイプ] フィールドを参照に設定します。 [質問] タブで、[質問] フィールドを [ONT サイト] に設定します。 [仕様] タブで、[参照フィールド] を [ネットワーク サイト [cmdb_ci_ni_site]] に設定します。

アイテム	説明
変数 2	変数1に以下の詳細を設定します。 ◦ [タイプ] フィールドを参照に設定します。 ◦ [質問] タブで、[ONT テンプレート] フィールドを [ONT サイト] として設定します。 ◦ [仕様] タブで、[参照フィールド] を [インベントリテンプレート [sn_ni_core_inventory_template]] に設定します。

詳細な手順については、「[設計およびアサイン機能の変数の作成](#)」を参照してください。

4. レコードプロデューサーの変数セットとして **DA** 共通変数 を選択します。

詳細な手順については、「[設計およびアサイン機能のレコードプロデューサーに変数セットを追加](#)」を参照してください。

5. プレイブックの 2 番目のアクティビティを構成するために使用する要求定義のサブフローを作成します。

サブフローの詳細

アイテム	説明
サブフロー名	サブフロー名を「Capture ONT Details 」に設定します。
入力フィールド	サブフローに次の入力フィールドを追加します。 ◦ 入力 1 の [ラベル] を [検証エラーを無視する] に設定し、[タイプ] を [true/false] に設定します。 ◦ 入力 2 の [ラベル] を [変更タスク] に、[タイプ] を [Reference.Change タスク] に設定します。
アクション	サブフローに次のアクションを追加します。 ◦ レコードプロデューサーから詳細を読み取るには、[カタログ変数を取得] アクションを追加します。 ◦ TNI の [テンプレートから CI を作成] アクションを追加して、インベントリテンプレートから機器を作成します。 ◦ 影響を受ける構成アイテム (CI) に機器を更新するための [レコードの更新] アクションを追加します。

詳細な手順については、「[設計およびアサイン機能のサブフローを作成](#)」を参照してください。

6. プレイブックの 2 番目のアクティビティを構成するために使用する要求定義を作成します。

要求定義の詳細

アイテム	説明
要求定義の詳細	要求定義の以下の詳細を設定します。

アイテム	説明
	○ 要求定義名を「Capture ONT Details」に設定します。 ○ [フロー] フィールドを [ONT の詳細をキャプチャ] サブフローとして設定します。 ○ [タスクタイプ] フィールドを [変更タスク] に設定します。

詳細な手順については、「[設計およびアサイン機能のサブフローを作成](#)」を参照してください。

プレイブックの作成と構成

プレイブックアドミニストレーターは、ワークフロースタジオの設計およびアサイン機能用のプレイブックを作成して構成します。次の手順の詳細については、「[設計およびアサイン機能のプレイブックを作成する](#)」を参照してください。

1. プレイブックを作成し、名前を「Design **Network Service**」に設定します。
2. トリガーを追加して構成します。

トリガーの詳細

アイテム	説明
[他のプロパティ] ウィンドウ	[スケジュール] タブで、トリガーの次の詳細を設定します。 ○ [レコードの作成] としてプロセスを実行する独自の条件を定義します。 ○ トリガー条件を ネットワークサービス自動フロー 変更モデルとして設定します。 ネットワークサービス自動フロー変更モデルを使用して変更要求が作成されたときにプレイブックをトリガーするように、追加のプロパティを構成します。

3. ステージを作成し、ネットワークサービスのセットアップ、ONT の詳細のキャプチャ、レビューと送信などのアクティビティを追加します。
 - a. [ネットワークサービスのセットアップ] アクティビティを作成して設定します。

ネットワークサービスのセットアップアクティビティの詳細

アイテム	説明
アクティビティを追加する	[フォームのデフォルトを表示] アクティビティを選択します。
[詳細] タブ	アクティビティの名前を「ネットワークサービスのセットアップ」に変更します。
[UI レイアウト] タブ	[UI レイアウト] タブで次の詳細を設定します。 ▪ [関連テーブル] フィールドを [Chang Request] に設定します。 ▪ [関連レコード] フィールドを次のように設定します。 フロー DataTrigger - change_request > change_request レコード ▪ [エクスペリエンスステータステーブル] フィールドを [フローデータ] に設定します。

アイテム	説明
	▪ [エクスペリエンスステータスレコード] フィールドを次のように設定 自動化プラン > フローデータを作成 > 出力 > フローデータレコード. ▪ [フォームビュー] フィールドをプレイ ブックとして設定します。

b. [ONT の詳細をキャプチャ] アクティビティを作成および設定します。

ONT の詳細をキャプチャアクティビティの詳細

アイテム	説明
アクティビティを追加する	[変更タスクの自動作成] デフォルトアクティビティを選択します。
[詳細] タブ	アクティビティの名前を 「Capture ONT Details 」 に変更します。
[Automation (自動化)] タブ	[自動化] タブで次の詳細を設定します。 ▪ [要求タイプ] フィールドを [ONT の詳細をキャプチャ] に設定します。[ONT の詳細をキャプチャ] は、作成した要求定義です。 ▪ [レコードプロデューサー] フィールドを [ONT の詳細をキャプチャ] に設定します。 ▪ [変更要求] フィールドを次のように設定 フロー DataTrigger - change_request > change_requestレコード
[UI レイアウト] タブ	[UI レイアウト] タブで次の詳細を設定します。 ▪ [関連テーブル] フィールドを [Chang Task] に設定します。 ▪ [関連レコード] フィールドを次のように設定します。 自動化プラン > 変更タスクデータを作成 > 出力 > 変更タスク. ▪ [エクスペリエンスステータステーブル] フィールドを [フローデータ] に設定します。 ▪ [エクスペリエンスステータスレコード] フィールドを次のように設定 自動化プラン > フローデータを作成 > 出力 > フローデータレコード. ▪ [フォームビュー] フィールドをプレイ ブックとして設定します。

c. レビューおよび送信アクティビティを作成および設定します。

アクティビティの詳細を確認して送信

アイテム	説明
アクティビティを追加する	[設計アサインのデフォルトのレビューと送信] アクティビティを選択します。
[詳細] タブ	アクティビティの名前を 「Review and Submit」 に変更します。
[UI レイアウト] タブ	[UI レイアウト] タブで次の詳細を設定します。

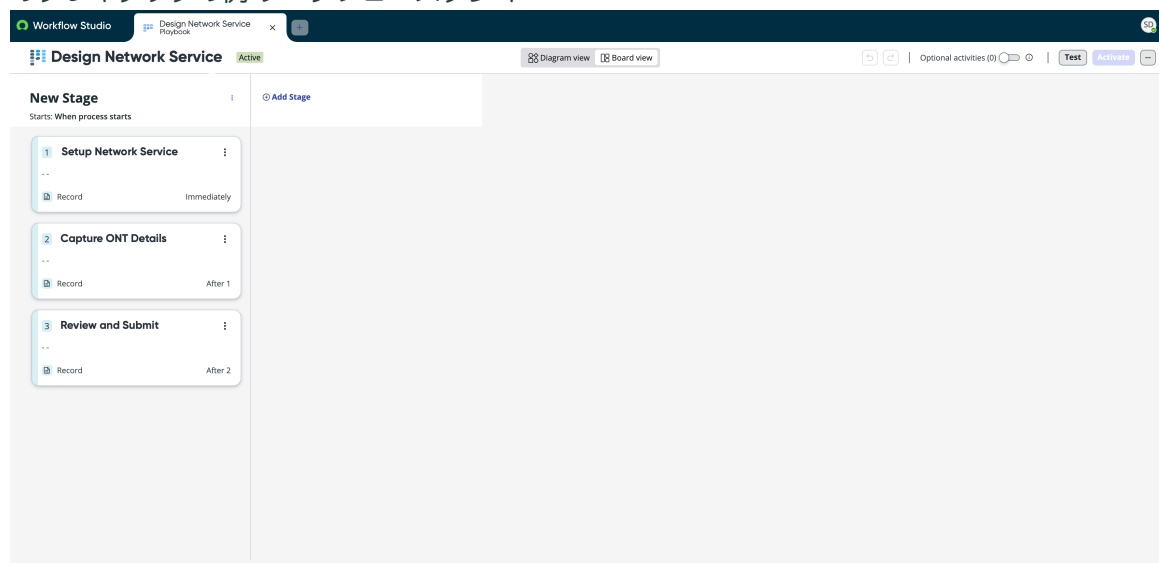
アイテム	説明
	▪ [関連テーブル] フィールドを [Chang Task] に設定します。 ▪ [関連レコード] フィールドを次のように設定します。 自動化プラン > 変更タスクデータを作成 > 出力 > 変更タスク。 ▪ [エクスペリエンスステータステーブル] フィールドを [フローデータ] に設定します。 ▪ [エクスペリエンスステータスレコード] フィールドを次のように設定 自動化プラン > フローデータを作成 > 出力 > フローデータレコード。 ▪ [フォームビュー] フィールドをプレイ ブックとして設定します。

d. **[Save and close (保存して閉じる)]** を選択します。

4. **[Activate (アクティブ化)]** を選択します。

次の例は、ワークフロースタジオ で作成および設定したプレイブックを示しています。

のプレイブックの例 ワークフロースタジオ



ホームページへのプレイブックの追加

ネットワークサービス自動フロー変更モデルの sys_id を sn_ni_ws.tni_design_assign_chg_models レコードに追加します。詳細な手順については、「[システムプロパティを更新して、設計とアサインのホームページを構成します](#)」を参照してください。

設計およびアサイン機能の使用

エージェントは、設計およびアサイン機能のプレイブックを使用し、次の手順に従ってネットワークサービスの要件を満たします。

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. 設計とアサインアイコン () を選択して、[設計とアサイン] ホームページを開きます。
3. 設計アサインホームページで、新規 > ネットワークサービス自動化フロー。
4. プレイブックのアクティビティを完了し、ネットワークサービスを設計してアサインします。

このプロセスでは、プレイブックアクティビティで選択したテンプレートとサイトに基づいて ONT デバイスが作成されます。

次の例は、作成した設計およびアサイン関数です。

プレイブックの例

関連情報

[ネットワークサービスの設計とアサイン機能の設定](#)

他のアプリケーションとの 通信事業ネットワークインベントリ の統合

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションの機能を拡張し、他の部門に接続して他のアプリケーションと統合することで問題解決を支援できます。

通信事業ネットワークインベントリとハードウェア資産管理との統合

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを ハードウェア資産管理 (HAM) アプリケーションと統合することで、インベントリテンプレートを使用してサービス要求を作成できます。ストックルームで利用可能な資産を関連付けて、機器をインスタンス化することもできます。

HAM 統合 overview

この統合により、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでレコードプロデューサーを使用して資産の部品表を作成できるようになります。次に、これらの資産を取得するサービス要求を作成できます。レコードプロデューサーの詳細については、「[Record Producer](#)」を参照してください。

サービス要求を作成する前に、資産を [カタログ定義] テーブルに追加してハードウェアカタログに公開する必要があります。詳細については、「[ハードウェアカタログへの資産の公開](#)」を参照してください。

ハードウェア資産管理 はサービス要求を履行し、ハードウェア資産管理 ワークスペースで資産を調達するワークフローを実行します。ハードウェア資産管理 ワークフローの詳細については、「[Procurement](#)」を参照してください。

資産が取得されるか、ストックルームで利用可能になると、調達マネージャーは ServiceNow 調達アプリケーションを使用してこれらの資産の構成アイテム (CI) を作成できます。これらの CI をタグ付けすることで、機器のインスタンス化に使用できます。

インベントリテンプレートを使用してネットワークサイトで機器をインスタンス化すると、インターフェイスカードモデルと一致する資産が同じネットワークサイトの場所にある場合、システムはこれらの資産を選択します。それ以外の場合、アプリケーションはインターフェイスカードの CI を作成します。システムは、ストックルームで利用可能な他の資産との関係を作成します。これらの関係は、関連資産がストックルームで利用可能な場合にのみ作成されます。

ハードウェア資産管理 統合ワークフロー

この統合により、次のタスクを実行できるようになります。

1. 部品表のサービス要求を作成します。詳細については、「[資産を調達するサービス要求を作成](#)」を参照してください。
2. 利用可能なストックルームから資産を関連付けます。変更モデルを使用して機器を作成するときに、資産を関連付けることができます。詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成](#)」を参照してください。

資産を調達するサービス要求を作成

レコードプロデューサーを使用して資産の部品表を作成し、それらの資産を調達するためのサービス要求を作成します。これらのアクションは両方とも、ハードウェア資産管理アプリケーションとの通信事業ネットワークインベントリアプリケーション統合を使用して実行できます。

始める前に

ハードウェアカタログで調達する資産を必ず追加してください。詳細については、「[ハードウェアカタログへの資産の公開](#)」を参照してください。

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

資産を調達するには、インベントリテンプレートを使用した部品要求レコードプロデューサーを使用して部品表のサービス要求を作成します。レコードプロデューサーの詳細については、「[Record Producer](#)」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。調達 > **Requests** (要求)。
3. **[New (新規)]** を選択します。
4. インベントリテンプレートを使用した部品要求レコードプロデューサーで、フィールドに入力します。

インベントリテンプレートを使用した部品要求レコードプロデューサー

フィールド	説明
インベントリテンプレート	調達する資産を含むインベントリテンプレート。テンプレートを選択すると、関連資産リストが [品目数] セクションに表示されます。
数量	資産の数量。[数量] フィールドに各資産の必要数量を入力します。

5. **[Submit (送信)]** を選択します。

タスクの結果

資産を調達するためのサービス要求が作成されます。

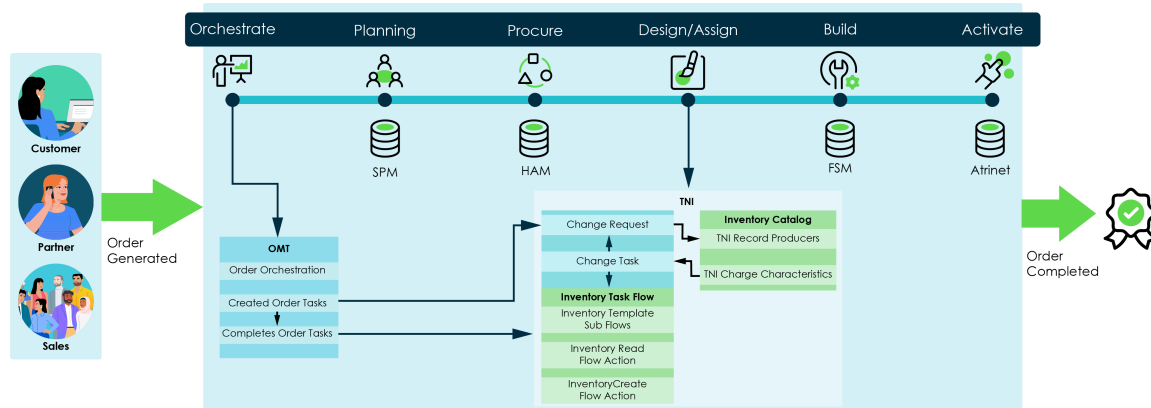
通信事業とメディア向け通信ネットワークインベントリおよび注文管理

通信事業とメディア向け注文管理 (OMT) アプリケーションを使用すると、すべての製品とサービスの注文を 1 か所から管理できます。これらの製品注文は、サービス注文に分割され、さらにリソース注文に分割されます。

OMT 統合の概要

注文ワークフローは、顧客向けサービス注文 (CFS) とリソース向けサービス注文 (RFS) を履行する注文タスクを生成します。インベントリ構成アイテム (CI)、モデル、およびテンプレートを含むネットワーク関連タスクは、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションとやり取りしてネットワーク CI を作成する場合があります。すべてのネットワーク関連の注文タスクについて、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで変更要求を作成する必要があります。

次の図は、サービス要求を管理するプロセスの概要と、通信事業ネットワークインベントリ および通信事業向け注文管理 アプリケーションの詳細なワークフローを示しています。



ワークフローのステージは次のとおりです。

1. **オーケストレーション:** このステージでは、通信事業向け注文管理 アプリケーションがオーダーオーケストレーションの機能を果たします。これは、ネットワーク計画を含むさまざまな指図関連タスクを実行するためのリソース指図を生成します。これらの資源オーダーは、サービスエージェントまたはTMF641を介して開始することができます。
2. **計画:** このステージでは、SPMは、事前定義されたSPMプロジェクトテンプレートを活用して、プロジェクトの作成を開始します。その後、SPM は 通信事業向け注文管理 との確立された統合を利用して、さらなるプロジェクト処理を促進します。
3. **調達:** このステージでは、要求を満たすためのハードウェア資産の調達アクティビティのインスタンス化が取得されます。
4. **設計アサイン:** このステージでは、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションは次のプロセスを開始します。
 - a. 分析された変更特性に基づいてそれぞれの変更モデルをトリガーする変更要求を作成します。
 - b. は、変更特性に基づいて変更タスクを作成します。
 - c. は、テンプレートサブフロー、読み取りフローアクション、およびフローの作成アクションを含むインベントリタスクフローを介してすべてのタスクを完了します。その後、必要な CI またはリソースが読み取られるか作成されます。
5. **ビルド:** このステージでは、サービスは物理的にビルドされるか、FSM を介して実装されます。
6. **アクティブ化:** サービスは、アクティブ化手順を使用して展開されます。

ネットワーク CI を作成するために、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションと 通信事業向け注文管理 アプリケーションが統合され、設計やアサインなどのサービスタスクまたは製品

タスクが実行されます。ネットワークインベントリ関連のアクションが必要なタスクに対して変更要求が開始されます。

次の条件が満たされていることを確認する必要があります。

1. 同じインスタンス内の 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションと 通信事業向け注文管理 アプリケーションの両方のライセンスが必要です。
2. この統合では、通信事業とメディア向け注文管理 からの ADD アクションサービス注文要求のみが提供されます。

アドミン向け

変更要求を作成するには、アドミニストレーターはネットワークインベントリアクションを必要とする注文タスクに対して次のタスクを実行する必要があります。

1. レコードプロデューサーを作成します。詳細については、「[レコードプロデューサーの作成](#)」を参照してください。
2. 変更モデルを作成します。詳細については、「[変更モデルの作成](#)」を参照してください。

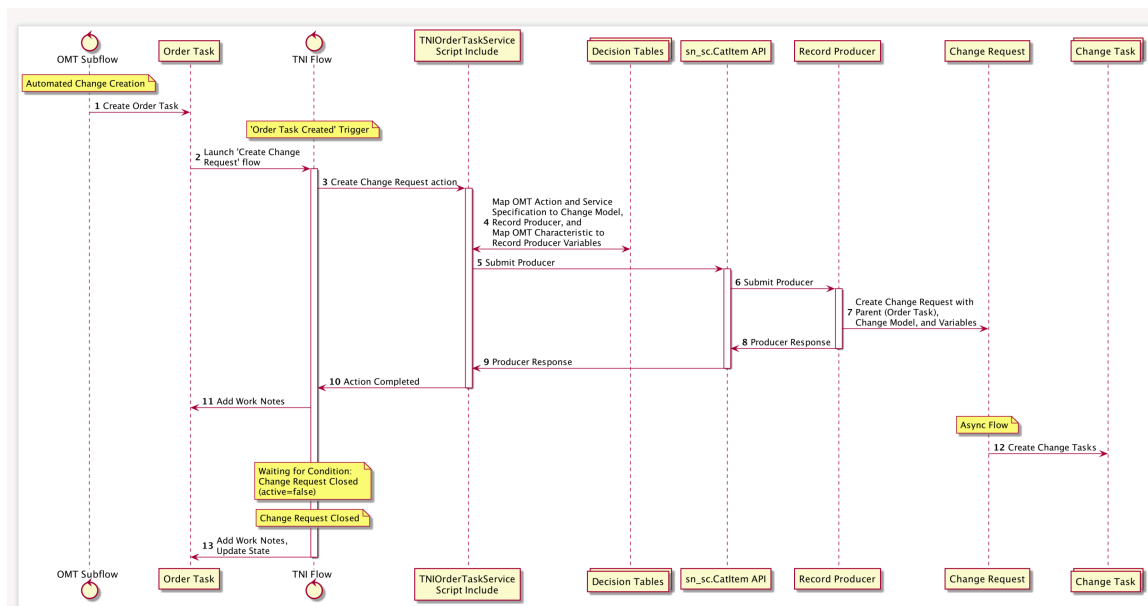
デフォルトでは、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションは次の表に示す変更モデルを提供します。

デフォルトの変更モデル

変更モデル	説明
プロビジョン LAG	ポート間でイーサネットリンクを作成し、それらのイーサネットリンク上に LAG 回線を作成します。LAG には仮想インターフェイスがあります。VLAN 範囲も作成され、LAG に関連付けられます。
GPON ブロードバンドサービス (自動)	既存のネットワーク上で GPON サービスをプロビジョニングします。
Fiber-wise モビリティインフラストラクチャ	既存のネットワーク上にモビリティインフラストラクチャをプロビジョニングします。
電気通信機器の設計とアサイン	特定のネットワークサイトで事前定義されたテンプレートに従って機器を作成します。

以前の変更モデルのステータスは、[新規]、[実装]、[レビュー]、および [クローズ済み] です。デフォルトでは、新しい変更モデルの状況はすべて [新規] に設定されます。

3. 通信事業ネットワークインベントリアプリケーションによって提供されるディシジョンテーブルに意思決定エントリを作成します。エントリの作成方法については、[通信事業向け注文管理 の統合](#)を参照してください。



TNI-OMT 統合を使用して変更タスクを作成するためのワークフローは次のとおりです。

1. OMT サブフローは注文タスクを作成します。
2. [注文タスクの作成] トリガーを受信すると、TNI フローは [変更要求の作成] を起動し、後で変更要求アクションを作成します。
3. OMT アクションとサービス仕様は、TNI 注文タスク送信スクリプトインクルードおよび意思決定テーブルの変更モデル、レコードプロデューサーにマッピングされます。次に、OMT 特性がレコードプロデューサー変数にマッピングされます。
4. その後、プロデューサーはsn_scを介してレコードプロデューサーに送信されます。CatItem API です。
5. 注文タスク、変更モデル、および変数に関する変更要求を作成します。また、sn sc を使用します。結果を TNI フローに返すための CatItem API。
6. このアクションが完了すると、注文タスクに作業メモが追加されます。
7. 変更要求がクローズされると、注文タスクに作業メモが追加されます。

インベントリエージェントの場合

インベントリエージェントは、アサインされた変更タスクを開き、検証し、実装し、クローズすることができます。実装後、作成された CI が [影響を受ける CI] タブに追加されます。注文タスクがクローズされると、注文タスクの作業メモが更新されます。

その結果、通信事業とメディア向け注文管理 アプリケーションは影響を受ける CI のリストを取得し、製品注文を CI に関連付けるインストールベースアイテムを作成します。詳細については、「[電気通信、メディア、テクノロジー向け注文管理での注文フルフィルメントの構成](#)」を参照してください。

i 注:

- 注文タスクの変更要求は、意思決定エントリーが作成された場合にのみ自動的に作成されません。
- 注文タスクのインベントリアクションの必要性に基づいて、いくつかの変更要求が作成されます。
- デモデータとして:
 - 通信事業とメディア向け注文管理 アプリケーションでは、SD-WAN 製品に 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションへの機器作成変更要求をトリガーする [CPE の割り当てとインストール] タスクがあります。
 - 通信事業ネットワークインベントリアプリケーションには、機器の作成、リンクアグリゲーショングループ (LAG) のプロビジョニング、ギガバイトパッシブ光ネットワーク (GPON) ブロードバンドの自動化、およびファイバーワイズモビリティインフラを通信事業ネットワークインベントリワークフローとして使用できるデモデータがあります。

通信事業ネットワークインベントリ の使用

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションを使用すると、物理ネットワークと論理ネットワークのデジタル表現をビルドできます。このネットワークインベントリには、電気通信ネットワークのインフラストラクチャを定義する資産、サービス、および関係が含まれています。

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションで通信ネットワークインベントリの包括的なデジタルモデルを構成するネットワーク資産レコードを作成するには、複数の方法を使用できます。

インベントリモデルとテンプレートを使用したネットワーク資産の生成

インベントリモデルとテンプレートは、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで電気通信機器の表現を作成するためのフレームワークを提供します。定義したインベントリテンプレートとモデルを使用することで、ネットワークのデジタルモデルを構成する個々のネットワーク資産インスタンスを生成できます。モデルとテンプレートの関係を作成すると、生成関数は個々のネットワーク資産間の正式な関係も作成します。この方法でこのタスクを実行することは、多くの場合、手動で行うよりもネットワークインベントリのデジタルモデルを作成するための労力の少ない方法です。

設計とアサインの変更フォームを使用して機器のインスタンス化を実行する方法については、以下を参照してください。

- [通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル](#)
- [ネットワーク資産インスタンスの手動作成とレビュー](#)
- [在庫モデルの作成](#)
- [ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレートの作成](#)
- [設計とアサインを使用したネットワークインベントリのインスタンス化](#)

ネットワークインベントリでの個々のネットワーク資産インスタンスの手動作成

ネットワーク資産インスタンスの自動生成用のインベントリモデルとテンプレートを定義する代わりに、ネットワーク資産とネットワークのデジタルモデルを手動で作成できます。ネットワークインベントリワークスペースからアクセスする一連のフォームを使用して、個々のネットワーク資産インスタンスを手動で作成してレビューし、個々の資産間の関係を定義します。詳細については、以下を参照してください。

- [ネットワークインベントリワークスペースでのネットワークインベントリの確認と更新](#)
- [ネットワーク資産インスタンスの手動作成とレビュー](#)

関連情報

[通信事業ネットワークインベントリ の探索](#)

ネットワークインベントリワークスペースでのネットワークインベントリの確認と更新

ネットワークインベントリワークスペースを使用して、インベントリを管理し、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでタスクを実行します。

関連情報

[通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデル化](#)

[通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル](#)

ネットワーク資産インスタンスの手動作成とレビュー

network inventory workspaceで実行できる重要な機能は、通信事業ネットワークインベントリアプリケーションでネットワーク資産とネットワークのデジタルモデルを手動で作成することです。この情報を使用して、新しいサービスのプロビジョニング、既存のサービスの変更、ネットワークの保守、およびネットワークの成長予測の計画を行うことができます。

個々のネットワーク インベントリレコードを手動で作成してレビューし、各資産間の関係を定義するには、ワークスペースのランディングページから適切なフォームに簡単にアクセスできます。たとえば、ネットワークインベントリワークスペースランディングページの [カテゴリ別のネットワーク エンティティ] ウィジェットでインターフェイスカード数を選択選択して、インターフェイスカードインスタンスを作成できます。

i 注:

個々のネットワーク資産インスタンスを手動で作成する代わりに、より自動化され、場合によっては労力の少ない方法を使用できます。詳細については、以下を参照してください。

- [通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル](#)
- [ネットワーク資産インスタンスの手動作成とレビュー](#)
- [在庫モデルの作成](#)
- [ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレートの作成](#)
- [設計とアサインを使用したネットワークインベントリのインスタンス化](#)

責任を担います。

通信ネットワークの包括的なデジタルモデルを手動で作成するには、ネットワークインベントリワークスペースのランディングページとリストビューから次のフォームにアクセスします。詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースでのネットワークインベントリの確認と更新](#)」を参照してください。

1. [ネットワークサイト] フォームで、ネットワーク機器を収容する個々の場所のネットワークサイトレコードを作成します。詳細については、「[product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-sites.dita](#)」を参照してください。
2. [Telco 機器] フォームで、通信機器の個々のネットワーク資産インスタンスを作成します。詳細については、「[product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-equipment.dita](#)」を参照してください。
3. [機器ホルダー] フォームで、機器ホルダーの個々のネットワーク資産インスタンスを作成します。詳細については、「[product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-equipment-holders.dita](#)」を参照してください。

4. [インターフェイスカード] フォームで、インターフェイスカードの個々のネットワーク資産インスタンスを作成します。詳細については、「[カードの詳細を定義](#)」を参照してください。
5. [ネットワークインターフェイス] フォームで、ネットワークインターフェイスの個々のネットワーク資産インスタンスを作成します。詳細については、「[ネットワークインターフェイスの詳細を定義する](#)」を参照してください。
6. [物理接続] フォームで、物理接続または有線接続ごとに個別のネットワーク資産インスタンスを作成します。詳細については、「[物理接続の詳細の定義](#)」を参照してください。
7. [論理接続] フォームで、論理接続ごとに個別のネットワーク資産インスタンスを作成します。詳細については、「[論理接続の詳細の定義](#)」を参照してください。
8. ネットワークインベントリ内の各資産間の論理的および物理的な関係を作成します。
9. 通信事業ネットワークインベントリアプリケーションで仮想ローカルエリアネットワーク (VLAN) 接続またはリンクアグリゲーショングループ (LAG) 接続の番号付けを定義します。詳細については、「[インベントリの番号付けを定義する](#)」を参照してください。

関連情報

通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデル化

ネットワークサイトの詳細の定義

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションでネットワークサイトレコードを確認、更新、または作成します。これらのレコードを使用すると、機器が配置されているネットワーク センター、建物、フロア、部屋など、各ネットワーク サイトの場所固有の属性を表示できます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

ネットワークサイトは、ネットワーク機器を保持する物理的な場所です。ネットワークサイトレコードを使用すると、特定の場所にあるすべての機器を表示できます。割り当てられたタイプ、ロール、および機能カテゴリで場所をフィルタリングできます。詳細については、「[CMDBワークスペースでのネットワークインベントリ構成アイテムの表示](#)」を参照してください。

ネットワークサイトレコードを作成すると、対応する構成アイテム (CI) レコードがネットワークサイト [cmdb_ci_ni_site] テーブルに作成されます。詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリのデータモデル](#)」を参照してください。

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションは、物理ネットワーク接続、論理ネットワーク接続、およびネットワーク全体とネットワーク上にプロビジョニングされたサービスを含むリソースを格納します。TNI データモデルは階層構造に準拠しています。基盤は ネットワーク サイト (ここでは ネットワーク サイトと呼びます) です。

ネットワーク サイト クラスは、機器とリソースが格納および保守されるネットワーク上の物理的な場所、およびネットワーク接続の起点と終了場所を表します。ネットワーク サイトには物理的な場所への参照があり、そこから住所、緯度、経度などの主要な属性を派生させます。

ネットワーク サイトと場所は似ていますが、TNI データ モデルのコンテキスト内では、その違いは重要です。ネットワークサイトは、TNI の構成アイテム (CI) です。運用ステータスは、ネットワークサイト内の機器と接続から導出されます。CI として、ネットワーク サイトをサービス トポロジの固有の側面としてマッピングすることもできます。ネットワークサイトと場所は互いに補完し合うため、組織により多くの価値を提供します。

物理的な場所を TNI のネットワーク サイトに関連付けると、これらのネットワーク サイトをマップ上で視覚化できます。組織は、ネットワークサイトと、サイトに存在するすべての基礎となるインベントリコンポーネントの価値を最大化できます。TNI データモデルを使用すると、インシデントを特定し、イベントに関連付けて、ネットワーク障害や機能停止の根本原因を分析できます。

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () をクリックし、ネットワークサイト > すべてのサイト。

管理しているサイトを表示するには、ネットワークサイト > 自分のサイト。

i 注:

ネットワークインベントリワークスペースランディングページの [ネットワークサイトの概要] ウィジェットで [合計サイト 数] または [メンテナンス中] サイト 数をクリックして、[合計サイト数] リストにアクセスすることもできます。詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースでのネットワークインベントリの確認と更新](#)」を参照してください。

3. [New] をクリックします。
4. [詳細] タブの [ネットワークサイト] セクションで、フィールドに入力します。
ネットワークサイトフォームに固有のフィールドの詳細については、「[ネットワークサイトフォーム](#)」を参照してください。

ほとんどの インベントリ フォーム および インベントリ番号割り当てメニュー フォームに共通する残りの識別フィールドについては、[一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド](#) を参照してください。
5. [詳細] タブの [サイトの詳細] セクションで、サイトの詳細情報を入力します。
次の表に、[サイトの詳細] セクションに固有のフィールドを示します。

ほとんどの [インベントリ] メニュー フォームに共通する残りの構成フィールドについては、「[一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド](#)」を参照してください。

ネットワークサイトフォーム - サイト詳細

フィールド	説明
サービングワイヤーセンター	このネットワーク サイトに電話サービスを提供している電話会社の本社を表す共通場所識別子コード (CLLI) コード。
LATA	ネットワーク資産にアサインされたローカルアクセスおよびトランスポートエリア (LATA) コード。これは、ネットワーク サイトが配置されている米国の地理的領域を表します。
データセンターコード	このデータセンターの識別子。
高度	[高度単位] フィールドでフィートまたはメートルとして選択したネットワークサイトの高度。高度測定により、企業は連邦航空局 (FAA) の規制に準拠することができます。
高度単位	[高度] フィールドでネットワーク サイトの高度を表す測定単位。次のオプションのいずれかを選択します。 フィート フィート単位で測定されるネットワークサイトの高度。これがデフォルト値です。

フィールド	説明
	メートル ネットワークサイトの高度 (メートル単位)。

6. ネットワークサイトフォームの 通信事業ネットワークインベントリ 属性を作成するには、「インベントリ属性の設定」をクリックします。
[インベントリ属性の設定] ボタンをクリックすると、CI テーブルに参照が作成されます。

i 注:

[インベントリ属性の設定] をクリックせずに [保存] をクリックすると、CI レコードは作成されますが、通信事業ネットワークインベントリ CI レコードは作成されません。

7. TNI CI 属性フォームのフィールドに入力します。

通信事業ネットワークインベントリ属性フィールドの詳細については、「[TNI CI 属性フォーム](#)」を参照してください。

8. [Save (保存)] をクリックします。

TNI CI 属性フォームを保存すると、通信事業ネットワークインベントリ 属性フィールドがネットワークサイトフォームに表示されます。CI レコードを再度開くと、[インベントリ属性を設定] は表示されません。

9. オプション: グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルの添付ファイル アイコン () をクリックします。

10. [Save (保存)] をクリックします。

関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連タブの詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

11. オプション: [マップを開く] を選択すると、選択したレコードが視覚的に表示されます。

12. オプション: [その他のオプション] アイコン () を選択し、[パックを追加] を選択して構成アイテム (CI) レコードの属性をキャプチャします。
詳細については、「[CI レコードの属性パックの使用](#)」を参照してください。

13. オプション: 依存関係ビューマップを表示するには、[その他のオプション] アイコン () を選択し、[依存関係ビュー] を選択します。

(Optional) 依存関係ビューマップには、特定のネットワーク資産をサポートする CI と CI 間の関係がグラフィカルに表示されます。

14. オプション: 関連するネットワークインベントリを表示するには、ブリックアイコン ()

(Optional) [インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク資産インスタンス別にグループ化されたすべての関連ネットワークインベントリが表示されます。

15. オプション: [その他のオプション] アイコン () を選択し、[廃止] を選択して CI レコードを廃止します。
詳細については、「[インベントリレコードの廃止](#)」を参照してください。

次のタスク

- 他のネットワーク資産との関係を確立する場合は、関連タブに詳細を入力します。詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。
- インベントリレコードを削除するには、「[レコードの削除](#)」を参照してください。

関連情報

通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデル化

通信機器インスタンスの作成

ネットワークに電気通信機器のインスタンスを作成します。機器インスタンスを定義して、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワーク資産を追跡および管理できるようにします。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

インベントリカテゴリを機器として設定した機器インスタンスを作成できます。機器レコードを作成すると、対応する機器テーブルに構成アイテム (CI) レコードが作成されます。機器拡張クラスの詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル](#)」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
 2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。 インベントリ > すべての機器。
[リスト] メニューからオプションを選択すると、次の機器タイプを作成できます。
 3. **新規** を選択し、一覧から機器の種類を選択します。
機器拡張クラスの詳細については、「[設備拡張クラス](#)」を参照してください。
 4. [設備] フォームのフィールドに入力します。
設備フォームのフィールドの詳細については、「[product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-equipment.dita](#)」を参照してください。
 5. [インベントリ属性の設定] を選択して、[Telco 機器] フォームの通信事業ネットワークインベントリ属性を作成します。
[インベントリ属性の設定] ボタンを選択すると、CI テーブルに参照が作成されます。
- i 注:**
- [インベントリ属性の設定] を選択せずに [保存] を選択すると、CI レコードは作成されますが、通信事業ネットワークインベントリ CI レコードは作成されません。
6. TNI CI 属性フォームのフィールドに入力します。
通信事業ネットワークインベントリ属性フィールドの詳細については、[TNI CI 属性フォーム](#)を参照してください。
 7. **[Save (保存)]** をクリックする。

TNI CI 属性フォームを保存すると、通信事業ネットワークインベントリ 属性フィールドが [Telco 機器] フォームに表示されます。CI レコードを再度開くと、[インベントリ属性を設定] は表示されません。

8. オプション: 依存関係ビューマップを表示するには、[その他のオプション] アイコン () を選択し、[依存関係ビュー] を選択します。

(Optional) 依存関係ビューマップには、特定のネットワーク資産をサポートする CI と CI 間の関係がグラフィカルに表示されます。

9. オプション: [その他のオプション] アイコン () を選択し、[パックを追加] を選択して構成アイテム (CI) レコードの属性をキャプチャします。
詳細については、「[CI レコードの属性パックの使用](#)」を参照してください。

10. オプション: [その他のオプション] アイコン () を選択し、[廃止] を選択して CI レコードを廃止します。
詳細については、「[インベントリレコードの廃止](#)」を参照してください。

11. [Submit (送信)] を選択します。

選択した機器タイプのインベントリレコードが作成されます。

次のタスク

- 他のネットワーク資産との関係を確立する場合は、関連タブに詳細を入力します。詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。
- インベントリレコードを削除するには、「[レコードの削除](#)」を参照してください。

関連情報

[通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデル化](#)

通信機器の詳細の確認と更新

通信機器のネットワーク資産インスタンスを確認および更新します。機器インスタンスを定義して、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワーク資産を追跡および管理できるようにします。

始める前に

設備フォームを作成します。詳細については、「[通信機器インスタンスの作成](#)」を参照してください。

必要なロール: sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。インベントリ > すべての機器。
[すべての機器] ウィンドウには、インベントリカテゴリが [機器] に設定されている構成アイテム (CI) レコードが一覧表示されます。
3. 更新する CI レコードを選択します。
4. [詳細] タブで、フィールドに入力します。
次の表に、[Telco 機器] フォームに固有のフィールドを示します。

ほとんどの インベントリ フォーム および インベントリ番号割り当てメニュー フォームに共通する残りの識別フィールドについては、一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールドを参照してください。

[Telco 機器] フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	この通信機器の名前。Now Platformは、この名前を使用してネットワークインベントリ内で識別します。
製品モデル	この電気通信機器が属する製品モデルの名前。検索アイコン (🔍) を選択し、モデルを選択します。詳細については、「 機器モデルの作成 」を参照してください。

5. [詳細] タブの [構成] セクションで、電話通信機器の構成情報を入力します。

[Telco 機器] フォームの [構成] セクションに固有のフィールドの詳細については、「[\[Telco 機器\] フォーム](#)」を参照してください。

ほとんどの [インベントリ] メニュー フォームに共通する残りの構成フィールドについては、「[一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド](#)」を参照してください。

6. [Save (保存)] をクリックする。

TNI CI 属性フォームを保存すると、通信事業ネットワークインベントリ 属性フィールドが [Telco 機器] フォームに表示されます。CI レコードを再度開くと、[インベントリ属性を設定] は表示されません。

7. 右側のパネルで添付ファイルアイコン (📎) を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。

8. [Save (保存)] をクリックする。

関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連タブの詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

9. 依存関係ビューマップを表示するには、[その他のオプション] アイコン (☰) を選択し、[依存関係ビュー] を選択します。

依存関係ビューマップには、ネットワーク資産をサポートする CI と CI 間の関係がグラフィカルに表示されます。

10. [マップを開く] ボタンを選択して、選択したレコードを視覚的に表示します。

注:

CMDB ワークスペース 3.5.0 以降のバージョンをインストールして、インスタンスでこのボタンを取得します。詳細については、「[CMDB ワークスペース](#)」を参照してください。

11. ブリックアイコン (🧱) を選択して、関連するネットワークインベントリを表示します。

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク資産インスタンス別にグループ化されたすべての関連ネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

他のネットワーク資産との関係を確立する場合は、関連タブに詳細を入力します。詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

関連情報

通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデル化

機器所有者の定義

キャビネット、ラック、シェルフ、スロットなどの電気通信機器を収容する機器ホルダーを定義します。機器ホルダーを定義することで、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワーク資産を追跡および管理できます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

機器所有者レコードを作成すると、機器所有者拡張クラステーブルに対応する構成アイテム (CI) レコードが作成されます。機器所有者拡張クラステーブルの詳細については、「[機器所有者拡張クラス](#)」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。インベントリ > 機器所有者。
3. [新規] を選択し次にリストから機器所有者タイプを選択します。
機器ホルダータイプの詳細については、「[機器所有者拡張クラス](#)」を参照してください。
4. [Submit (送信)] を選択します。
選択した機器所有者タイプのインベントリフォームが表示されます。
5. [詳細] タブで、フォームに入力します。
フィールドの詳細については、次を参照してください。 [機器ホルダーフォーム](#)
6. [インベントリ属性の設定] を選択して、[機器所有者] フォームの[通信事業ネットワークインベントリ](#)属性を作成します。
[インベントリ属性の設定] ボタンを選択すると、CI テーブルに参照が作成されます。

❗ 注:

[インベントリ属性の設定] を選択せずに [保存] を選択すると、CI レコードは作成されますが、[通信事業ネットワークインベントリ](#) CI レコードは作成されません。

7. TNI CI 属性フォームのフィールドに入力します。

[通信事業ネットワークインベントリ](#)属性フィールドの詳細については、「[TNI CI 属性フォーム](#)」を参照してください。

8. [Save (保存)] をクリックする。

TNI CI 属性フォームを保存すると、[通信事業ネットワークインベントリ](#) 属性フィールドが機器所有者フォームに表示されます。CI レコードを再度開くと、[インベントリ属性を設定] は表示されません。

9. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
10. [Save (保存)] をクリックする。
関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連タブの詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリ](#)」を参照してください。
11. ブロックアイコン () を選択して、関連するネットワークインベントリを表示します。

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク資産インスタンス別にグループ化されたすべての関連ネットワークインベントリが表示されます。

12. [マップを開く] を選択すると、選択したレコードが視覚的に表示されます。

i 注:

CMDB ワークスペース 3.5.0 以降のバージョンをインストールして、インスタンスでこのボタンを取得します。詳細については、「[CMDB ワークスペース](#)」を参照してください。

13. オプション: 依存関係ビューマップを表示するには、[その他のオプション] アイコン () を選択し、[依存関係ビュー] を選択します。

(Optional) 依存関係ビューマップには、特定のネットワーク資産をサポートする CI と CI 間の関係がグラフィカルに表示されます。

14. オプション: [その他のオプション] アイコン () を選択し、[パックを追加] を選択して構成アイテム (CI) レコードの属性をキャプチャします。
詳細については、「[CI レコードの属性パックの使用](#)」を参照してください。

15. オプション: [その他のオプション] アイコン () を選択し、[廃止] を選択して CI レコードを廃止します。
詳細については、「[インベントリレコードの廃止](#)」を参照してください。

次のタスク

- 他のネットワーク資産との関係を確立する場合は、関連タブに詳細を入力します。詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。
- インベントリレコードを削除するには、「[レコードの削除](#)」を参照してください。

関連情報

通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデル化

ラックとキャビネットの作成とメンテナンス

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、ラックとキャビネットに対して後続アクションを作成して実行します。

ラックを作成

ラックを作成して、機器やラックユニットを追加、整理し、すべての資産を管理します。通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用してラックを編集することもできます。

始める前に

- 必要なロール :
sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_reporter
- スロットをラックユニットとして作成し、ラックとの関係を作成してラックユニットでラックを表す必要があります。

このタスクについて

ラックには、シェルフを備えたスロットとして表されるラックユニットと、その中に機器が含まれています。ラックレコードを作成すると、対応する構成アイテム (CI) レコードがラック [cmdb_ci_container_rack] テーブルに作成されます。

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。インベントリ > ラック。
3. [新規] を選択します。
4. 機器ホルダー フォームで、フィールドに入力します。
詳細については、「[機器ホルダーフォーム](#)」を参照してください。
5. [インベントリ属性の設定] を選択します。
6. TNI CI 属性 フォームフィールドに入力します。
フィールドの詳細については、「[TNI CI 属性フォーム](#)」を参照してください。
7. [Save (保存)] をクリックする。

タスクの結果

ラックレコードが作成され、関連するタブが作成されます。詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

次のタスク

次のステップについては、[ラックとキャビネットの使用の最適化](#) を参照してください。

ラックを編集

ラックを編集して、選択したラックから機器を削除、追加、または移動します。通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、ラック内のコンポーネントを整理およびアップグレードします。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

ラックを編集すると、ラックに追加されたすべての機器とその詳細を表示できます。

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。インベントリ > ラック。
3. 表示されたリストからラックを選択します。
KPI (重要業績評価指標) を選択すると そのそれぞれのメトリクスに寄与する機器のリストが表示されます。
ダッシュボードには、ラックの正面図と背面図とともに、KPI (占有ユニット、重量キャパシティ、電力使用量、機器タイプ) が表示されます。
4. [ラックの編集] を選択します。
すべての機器のリストと、編集した構成と現在の構成の両方の正面図が表示されます。
5. 表示された機器のリストから、フィルターまたは検索ボックスを使用してラックに追加する機器を検索。

i 注:

- 検索を入力すると、既存のフィルターは自動的にクリアされます。また、フィルターを適用すると、検索用語がクリアされます。
- 機器リストは、最新の作成日、ラックユニットの最大数、および重量に基づいてソートすることもできます。
- リストには、sn_ni_core.equipment システムプロパティに含まれるすべての機器レコードと、ラックにない機器が表示されます。ただし、ラック内に設置された機器はリストに表示されますが、非アクティブのままです。
- 情報 **i**)は、機器または情報ボタンを選択すると、機器の詳細が展開されて表示されます。

6. ラックの編集に次のいずれかフォームを実行します。

アクション	ステップ
追加	a. 選択 () > ラックに追加. b. フィールドに入力し、[追加] を選択します。 フィールドの詳細については、「変更要求フォームと変更タスクフォームのラックテーブルに機器を追加する」を参照してください。 i 注: コーナーから目的のラックユニットに機器をドラッグできます。非 TNI の場合、カテゴリが設備である TNI エンティティが作成されます。変更を元に戻したり、やり直したりすることができます。
移行	a. 選択 () > 移行. b. フィールドに入力し、[移動] を選択します。 フィールドの詳細については、「変更要求フォームと変更タスクフォームのラックテーブルに機器を追加する」を参照してください。 i 注: ○ コーナーから目的のラックユニットに機器をドラッグすることもできます。 ○ 変更を元に戻したり、やり直したりすることができます
削除	選択 () > 削除.

アクション	ステップ
	注: - 変更を元に戻したり、やり直したりすることができます - 複数の機器の削除に対して複数の変更タスクが作成されます。さらに、削除された機器とラックの両方が [影響を受ける CI] の下に追加されます。
ラックユニットを予約する	予約するラックユニットの [オプション] ⓘ を選択し、[予約] を選択します。 注: - 変更を元に戻したり、やり直したりすることができます - ラックユニットを予約すると、ライフサイクルステージが [展開] に設定され、ライフサイクルステージのステータスが [予約済み] に設定されます。

7. [Save (保存)] をクリックする。

実装された変更を使用して変更要求が [変更タスク] タブに作成されます。各変更タスクの簡単な説明は、変更に基づいて更新されます。変更が適用されると、タスクの作業メモが更新され、クローズ済みとしてマークされます。

注:

- 表示された変更要求を選択して、変更タスクなどを表示します。
- 機器がラックに追加された場合、[簡単な説明] が [開始済み] に更新され、ラック rack_name に機器 equipment_name が追加されます。ラック rack_name から機器 equipment_name が取り外された場合に、ラックから取り外すために開始されました。機器 equipment_name がラック内で移動された場合、ラック rack_name 内で移動するために開始されます。ラックスロットが予約されている場合、機器 equipment_name 用にラック rack_name ユニットの予約するために開始されます。
- 変更要求は、ラックが変更された場合にのみ作成されます。
- 次の状況では、変更要求は作成されません。
 - 同じ機器を追加してから削除した場合。
 - 機器を取り外して、同じスロットのラックに戻した場合。
 - 機器を追加してからラック内の別の位置に移動した場合、最新のラックスロットの詳細で 1 つの追加のみが作成されます。
 - 技術的なエラーが発生した場合。ただし、作業メモはエラーの詳細で更新されます。
- 変更要求には、さまざまな変更タスクを含めることができます。

キャビネットの作成

キャビネットを作成して、機器を追加、整理し、すべての資産を管理します。通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用してキャビネットを編集することもできます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

キャビネットレコードを作成すると、対応する構成アイテム (CI) レコードがキャビネット [cmdb_ci_container_cabinet] テーブルに作成されます。

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。インベントリ > キャビネット。
3. [新規] を選択してキャビネットを作成します。
4. 表示されるフォームのフィールドに入力します。
詳細については、「[機器ホルダーフォーム](#)」を参照してください。
5. [インベントリ属性の設定] を選択します。
6. 表示されるフォームのフィールドに入力します。
フィールドの詳細については、「[TNI CI 属性フォーム](#)」を参照してください。
7. [Save (保存)] をクリックする。
キャビネットレコードが作成され、関連するタブが作成されます。詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

関連情報

[キャビネットを編集する](#)

キャビネットを編集する

キャビネットを編集して、選択したキャビネットから機器を削除、追加、または移動します。通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、キャビネット内のコンポーネントを整理およびアップグレードします。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。インベントリ > キャビネット。
3. 表示されたリストからキャビネットを選択します。
ダッシュボードには、キャビネットの下に追加されたすべての機器タイプと、選択した機器のキャビネットビューおよび情報が表示されます。
4. [キャビネットの編集] を選択します。
機器タイプとキャビネットビューの代わりに、すべての機器のリストと、編集構成と現在の構成の両方の正面図が表示されます。
5. 表示された機器のリストから、フィルターまたは検索ボックスを使用してキャビネットに追加する機器を検索。
 - 検索を入力すると、既存のフィルターは自動的にクリアされます。また、フィルターを適用すると、検索用語がクリアされます。
 - 機器リストは、最新の作成日、ラックユニットの最大数、および重量に基づいてソートすることもできます。

- リストには、sn_ni_core.equipment システムプロパティに含まれるすべての機器レコードと、キャビネットにない機器が表示されます。
- 情報 (i) は、機器または情報ボタンを選択すると、機器の詳細が展開されて表示されます。

6. キャビネットの編集集中にerform次のいずれかのアクション を実行します。

アクション	ステップ
追加	a. 選択 (⋮) > キャビネットに追加. b. フィールドに入力し、[追加] を選択します。 フィールドの詳細については、 変更要求フォームと変更タスクフォーム のラック/キャビネットテーブルに機器を追加するを参照してください。 コーナーから目的のラックユニットに機器をドラッグすることもできます。
移行	a. 選択 (⋮) > 移行. b. フィールドに入力し、[移動] を選択します。 フィールドの詳細については、 変更要求フォームと変更タスクフォーム のラック/キャビネットテーブルに機器を追加するを参照してください。 コーナーから目的のラックユニットに機器をドラッグすることもできます。
削除	選択 (⋮) > 削除.
ラックユニットを予約する	予約するラックユニットの [オプション] (⋮) を選択し、[予約] を選択します。

7. [Save (保存)] をクリックする。

実装された変更を使用して変更要求が [変更タスク] タブに作成されます。変更が適用されると、タスクの作業メモが更新され、クローズ済みとしてマークされます。

表示された変更要求を選択して、変更タスクなどを表示します。

i 注:

変更要求は、キャビネットが変更された場合にのみ作成されます。

次のタスク

さらにアクションを実行するについては、「[ラックとキャビネットの使用の最適化](#)」を参照してください。

ラックとキャビネットの使用の最適化

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用し、他のコンポーネントを追加、構成、および計算するためのガイドラインに従って、ラックの容量を最適化します。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。インベントリ > ラック。
3. 表示されたリストからラックを選択します。
4. ラックまたはキャビネットのビューから、次のいずれかのアクションを実行します。

ラックでのアクション

アクション	ステップ
ラックを編集	詳細については、「 ラックを編集 」を参照してください。
キャビネットを編集	詳細については、「 キャビネットを編集する 」を参照してください。
ラック機器のリフレッシュ	更新 () アイコンを選択して、変更が実行された場合にラックの更新された機器を表示します。
機器を作成	選択 () > 機器を作成. 表示されるフォームのフィールドに入力します。詳細については、「 ラックビューから機器を作成 」を参照してください。
Save (保存)	ラックまたはキャビネットを保存します。
パックを追加	その他のオプションアイコン () を選択し、[パックを追加 (Add Packs)] を選択して構成アイテム (CI) レコードの属性をキャプチャします。詳細については、「 CI レコードの属性パックの使用 」を参照してください。
キャパシティを計算	[キャパシティメトリック (Capacity Metrics)] タブを選択してリダイレクトし、更新されたキャパシティメトリックを表示します。
廃止	選択 () > 廃止 をクリックして、このラックをデコミッションします。詳細については、「 インベントリレコードの廃止 」を参照してください。
削除	選択 () > 削除 このラックまたはキャビネットを削除します。このラックまたはキャビネットを削除すると、すべての関連レコードが削除されます。

関連情報

[ラックを編集](#)

機器用のスロットの作成

スロットを作成して、機器がすべてのタイプの機器の保守、更新、およびアクセスを行うための指定スペースを提供します。通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用してケーブルをルーティングできます。

始める前に

必要なロール：

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_template_manager

このタスクについて

スロットは ラックが機器の重量をラック全体に均等に分散するのに役立ちます。スロットを作成すると、スロット [cmdb_ci_container_slot] テーブルにレコードが作成されます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。 インベントリ > スロット。
3. 新規 を選択してスロット を作成します。
4. [機器所有者] フォームのフィールドに入力します。
詳細については、「[機器ホルダーフォーム](#)」を参照してください。
5. [インベントリ属性の設定] を選択します。
6. TNI CI 属性フォームのフィールドに入力します。
フィールドの詳細については、「[TNI CI 属性フォーム](#)」を参照してください。
7. [Save (保存)] をクリックする。

カードの詳細を定義

通信機器で使用するカードのネットワーク資産インスタンスを確認、更新、または作成します。これらの属性を定義すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワーク資産を追跡および管理できます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

機器ポートは、物理ポートまたは論理 (仮想) ポートにすることができます。ネットワークインターフェイスデータには、ポートの可用性、帯域幅、スロット、ソフトウェアバージョン、MAC アドレス、ファームウェアメーカー、およびバージョンが含まれます。カードレコードを作成すると、対応する構成アイテム (CI) レコードがカード [cmdb_ci_ni_interface_card] テーブルに作成されます。詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル](#)」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。 インベントリ > カード。
3. [New (新規)] を選択します。
4. [詳細] タブの [カード] セクションで、カードの一般的な情報を入力します。
[カードフォーム](#) では、カードフォームに固有のフィールドについて説明します。

ほとんどの インベントリ フォーム および インベントリ番号割り当てメニュー フォームに共通する残りの識別フィールドについては、[一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド](#) を参照してください。

5. [詳細] タブの [構成] セクションで、カードの構成情報を入力します。

次の表に、[構成] セクションに固有のフィールドを示します。

ほとんどの [インベントリ] メニュー フォームに共通する残りの構成フィールドについては、「[一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド](#)」を参照してください。

カードフォーム:構成

フィールド	説明
ソフトウェアバージョン	このネットワーク資産で使用されているファームウェアのバージョン。
MAC アドレス	ネットワーク資産にアサインされたメディアアクセス制御 (MAC) アドレス。これは、ネットワークセグメント内の通信で使用されるネットワークアドレスです。
ファームウェアメーカー	ファームウェアのメーカー。
ファームウェアバージョン	このネットワーク資産で使用されているファームウェアのバージョン。

6. カードフォームの 通信事業ネットワークインベントリ 属性を作成するには、[インベントリ属性の設定] をクリックします。

[インベントリ属性の設定] ボタンを選択すると、CI テーブルに参照が作成されます。

注:

[インベントリ属性の設定] をクリックせずに [保存] をクリックすると、CI レコードは作成されますが、通信事業ネットワークインベントリ CI レコードは作成されません。

7. TNI CI 属性フォームのフィールドに入力します。

通信事業ネットワークインベントリ属性フィールドの詳細については、「[TNI CI 属性フォーム](#)」を参照してください。

8. [Save (保存)] をクリックします。

TNI CI 属性フォームを保存すると、通信事業ネットワークインベントリ 属性フィールドがカードフォームに表示されます。CI レコードを再度開くと、[インベントリ属性を設定] は表示されません。

9. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルの [添付ファイル]



をクリックします。

10. [Save (保存)] をクリックする。

関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連タブの詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

11. オプション: 依存関係ビューマップを表示するには、[その他のオプション] アイコン () を選択し、[依存関係ビュー] を選択します。

(Optional) 依存関係ビューマップには、特定のネットワーク資産をサポートする CI と CI 間の関係がグラフィカルに表示されます。

12. 選択したレコードを視覚的に表示するには、[マップを開く] ボタンを選択します。

i 注:

インスタンスでこのボタンを取得するには、CMDB ワークスペース 3.5.0 以降のバージョンをインストールします。詳細については、「[CMDB ワークスペース](#)」を参照してください。

13. オプション: その他のオプションアイコン () を選択し、[パックを追加 (Add Packs)] を選択して構成アイテム (CI) レコードの属性をキャプチャします。
詳細については、「[CI レコードの属性パックの使用](#)」を参照してください。

14. オプション: その他のオプションアイコン () を選択し、[廃止] を選択して CI レコードを廃止します。
詳細については、「[インベントリレコードの廃止](#)」を参照してください。

15. 関連するネットワークインベントリを表示するには、ブリックアイコン()

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク資産インスタンス別にグループ化されたすべての関連ネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

- 他のネットワーク資産との関係を確立する場合は、関連タブに詳細を入力します。詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。
- インベントリレコードを削除するには、「[レコードの削除](#)」を参照してください。

ネットワークインターフェイスの詳細を定義する

ネットワーク間のシグナリングおよび管理機能を制御するネットワークインターフェイスのネットワーク インスタンスを確認、更新、または作成します。これらの属性を定義すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワーク インスタンス を追跡および管理できます。

始める前に

必要なロール: sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

ネットワークインターフェイスは、シグナリングの相互接続、またはインターネットプロトコル(IP) または ATM ネットワークに使用されます。ネットワークインターフェイスレコードを作成すると、対応する構成アイテム (CI) レコードがネットワークインターフェイス [cmdb_ci_interface] テーブルに作成されます。詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル](#)」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リスト  から、インベントリ > ネットワーク インターフェイス。
3. [新規] を選択します。
4. [詳細] タブの [ネットワークインターフェイス] セクションで、ネットワークインターフェイスの一般情報を入力します。
次の表のフィールドは、ネットワークインターフェイスフォームに固有のものです。

ほとんどの インベントリ フォーム および インベントリ番号割り当てメニュー フォームに共通する残りの識別フィールドについては、[一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド](#) を参照してください。

ネットワークインターフェイスフォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	ネットワークインターフェイスの名前。Now Platformは、この名前を使用してネットワークインベントリ内で識別します。

5. [詳細] タブの [構成] セクションで、ネットワークインターフェイスの構成情報を入力します。次の表に、[構成] セクションに固有のフィールドを示します。

ほとんどの [インベントリ] メニュー フォームに共通する残りの構成フィールドについては、「一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド」を参照してください。

ネットワークインターフェイスフォーム:構成

フィールド	説明
Equipment	ネットワークに技術的な機能を提供するデバイス。
管理オプション	このエンドポイントの管理担当者または担当者を示す属性。
コネクタタイプ	ケーブルをネットワークインターフェイスに接続するために使用される物理ケーブルコネクタのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ BNC (Bayonet Neill-Concelman) - 同軸ケーブルに使用される小型無線周波数コネクタのタイプ。 ○ SC (スクエアコネクタ) - プッシュプルラッチとして使用される正方形の一般的なタイプの光ファイバーコネクタで、光ファイバーを整列させて効率的な光伝送を実現します。 ○ LC (Lucent Connector) - 高密度アプリケーション向けに設計された SC コネクタの別バージョン。 ○ ST (ストレートトリップ)-電気通信およびデータ通信アプリケーションで光ファイバーを接続するために一般的に使用される光ファイバーコネクタの一種。 ○ ワイヤラップ -回路基板に電気接続を作成するための技術。 ○ RJ45 - 8P8C(8ポジション8コンタクト)コネクタとも呼ばれ、有線イーサネットネットワークで広く使用されているタイプのコネクタです。
ポートタイプ	ネットワークインターフェイス上のポートのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ イーサネット:ネットワークに接続するためのデバイスの物理的な接続と速度の機能。これには、ケーブルの種類、速度、および標準が含まれます。 ○ 光トランシーバーで使用されるコネクタの光固有の設計。光インターフェイスにはさまざまなタイプがあり、それぞれに異なる形状とデータ速度機能があります。 ○ シリアル - シリアル インターフェイスは、複数のビットを同時に送信するパラレル インターフェイスとは対照的に、一度に 1 ビットずつデータを送信します。
方向性	ネットワークのノード間の接続のタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。

フィールド	説明
	○ Tx:TXはTransmitの略です。デバイスからデータが送信される方向を指します。 ○ Rx:RX は、データを受信するエンドポイントを示します。これは、別のソースから送信された情報を受信するための入力側であり、多くの場合、TX(送信)というラベルが付けられています。 ○ Tx/Rx ○ バス:バスの方向性とは、通信チャネル上のデータの流れを指します。 ○ ブロードキャスト-ブロードキャストの方向性とは、ブロードキャストシステムにおける信号の送受信の性質を指します。
ポートの帯域幅	このネットワークインターフェイス上のポートで測定された帯域幅。検索アイコン (🔍) を選択し、帯域幅を選択します。
エンドポイントロール	このネットワーク資産のサービスエンドポイントに関連付けられているエンドポイントロール。エンドポイントロールは、提供しているサービスのエンドポイントによって提供される関数です。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ メトロ イーサネット フォーラム (MEF) で定義されている ROOT または LEAF エンドポイント ロール。 ○ -- なし -- エンドポイントロールが割り当てられていない場合。
仮想	ネットワークインターフェイスが物理か仮想かを確認するオプション。 i 注: [仮想] を選択した場合、[コネクタタイプ] フィールドは表示されません。
ケーブルあり	インターフェイスが事前にケーブル接続されているかどうかを確認するオプション。

6. ネットワークインターフェイスフォームの 通信事業ネットワークインベントリ 属性を作成するには、[インベントリ属性の設定] をクリックします。
[インベントリ属性の設定] ボタンをクリックすると、CI テーブルと 通信事業ネットワークインベントリ CI 属性テーブルに TNI CI 属性レコードが作成され、CI レコードとの関係が作成されます。

i 注:

[インベントリ属性の設定] をクリックせずに [保存] をクリックすると、CI レコードは作成されますが、通信事業ネットワークインベントリ CI レコードは作成されません。ネットワークインベントリワークスペースでは、[インベントリ属性の設定] は 通信事業ネットワークインベントリ ロールにのみ表示されます。

7. TNI CI 属性フォームのフィールドに入力します。

通信事業ネットワークインベントリ属性フィールドの詳細については、「[TNI CI 属性フォーム](#)」を参照してください。

8. [Save (保存)] をクリックします。

TNI CI 属性フォームを保存すると、通信事業ネットワークインベントリ 属性フィールドがネットワークインターフェイスフォームに表示されます。CI レコードを再度開くと、[インベントリ属性を設定] は表示されません。

9. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルの添付ファイルアイコン () をクリックします。
10. オプション: 依存関係ビューマップを表示するには、[その他のオプション] アイコン () を選択し、[依存関係ビュー] を選択します。

(Optional) 依存関係ビューマップには、特定のネットワーク資産をサポートする CI と CI 間の関係がグラフィカルに表示されます。
11. オプション: [その他のオプション] アイコン () を選択し、[パックを追加] を選択して構成アイテム (CI) レコードの属性をキャプチャします。
詳細については、「[CI レコードの属性パックの使用](#)」を参照してください。
12. オプション: [その他のオプション] アイコン () を選択し、[廃止] を選択して CI レコードを廃止します。
詳細については、「[インベントリレコードの廃止](#)」を参照してください。
13. **[Save (保存)]** をクリックします。
関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連タブの詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。
14. 関連するネットワークインベントリを表示するには、ブリックアイコン ()

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク インスタンス別にグループ化されたすべての関連ネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

- 他のネットワーク資産との関係を確立する場合は、関連タブに詳細を入力します。詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。
- インベントリレコードを削除するには、「[レコードの削除](#)」を参照してください。

関連情報

[通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデル化](#)

ケーブル詳細の定義

ネットワーク内のさまざまなサイトを接続するケーブルのネットワーク資産インスタンスを確認、更新、または作成します。これらの属性を定義すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワーク資産を追跡および管理できます。

始める前に

必要なロール: sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

光ファイバケーブルは、エンドポイントが開いているサイト間に設置され、ケーブルが機器で直接終端しないことを示します。ケーブルはユーティリティホールに通され、距離要件に応じてサイト間の接続を延長するために接続されます。ケーブルレコードを作成すると、対応する構成アイテム (CI) レコードが光ファイバケーブル [cmdb_ci_fiber_optical_cable] テーブルに作成されます。詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル](#)」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。 インベントリ > ケーブル。

3. [新規] を選択し、一覧から [光ファイバー ケーブル] を選択します。
4. [詳細] タブで、フィールドに入力します。
ケーブルフォームのフィールドの詳細については、「[ケーブルフォーム](#)」を参照してください。
5. ケーブルフォームの 通信事業ネットワークインベントリ 属性を作成するには、[インベントリ属性の設定] を選択します。
[インベントリ属性を設定] ボタンを選択すると、CI テーブルと 通信事業ネットワークインベントリ CI 属性テーブルに TNI CI 属性レコードが作成され、CI レコードとの関係が作成されます。

i 注:

[インベントリ属性の設定] を選択せずに [保存] を選択すると、CI レコードは作成されますが、通信事業ネットワークインベントリ CI レコードは作成されません。ネットワークインベントリワークスペースでは、[インベントリ属性の設定] は 通信事業ネットワークインベントリ ロールにのみ表示されます。

6. TNI CI 属性フォームのフィールドに入力します。

通信事業ネットワークインベントリ属性フィールドの詳細については、「[TNI CI 属性フォーム](#)」を参照してください。

7. [Save (保存)] をクリックする。

TNI CI 属性フォームを保存すると、通信事業ネットワークインベントリ 属性フィールドがケーブルフォームに表示されます。CI レコードを再度開くと、[インベントリ属性を設定] は表示されません。

8. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択します。

9. [Save (保存)] をクリックする。

関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連タブの詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

10. 選択したレコードの視覚的表現を表示するには、[その他のオプション] アイコン () を選択し、[マップを開く] を選択します。

i 注:

インスタンスでこのボタンを取得するには、CMDB ワークスペース 3.5.0 以降のバージョンをインストールします。詳細については、「[CMDB ワークスペース](#)」 を参照してください。

11. オプション: [パックを追加] を選択して、構成アイテム (CI) レコードの属性をキャプチャします。
詳細については、「[CI レコードの属性パックの使用](#)」を参照してください。

12. 関連するネットワークインベントリを表示するには、ブリックアイコン()

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク資産インスタンス別にグループ化されたすべての関連ネットワークインベントリが表示されます。

関連情報

[通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデル化](#)

ストランドの詳細の定義

ケーブルのストランドのネットワーク資産インスタンスを確認、更新、または作成します。これらの属性を定義すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワーク資産を追跡および管理できます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

ストランドとは、ケーブル内の個々の導体またはワイヤを指します。ケーブルは、複数のストランドをツイストまたはグループ化して構成されています。ストランドレコードを作成すると、対応する構成アイテム (CI) レコードがファイバーストランド [cmdb_ci_fiber_strand] テーブルに作成されます。詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル](#)」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。 インベントリ > ストランド。
3. [新規] を選択し、リストから光ファイバーストランドを選択します。
4. [詳細] タブで、フィールドに入力します。
フィールドの詳細については、「[ストランドフォーム](#)」を参照してください。
5. [インベントリ属性の設定] を選択して、ストランドフォームの通信事業ネットワークインベントリ属性を作成します。
[インベントリ属性を設定] ボタンを選択すると、CI テーブルと 通信事業ネットワークインベントリ CI 属性テーブルに TNI CI 属性レコードが作成され、CI レコードとの関係が作成されます。

注:

[インベントリ属性の設定] を選択せずに [保存] を選択すると、CI レコードは作成されますが、通信事業ネットワークインベントリ CI レコードは作成されません。ネットワークインベントリワークスペースでは、[インベントリ属性を設定] は 通信事業ネットワークインベントリ ロールにのみ表示されます。

6. TNI CI 属性フォームのフィールドに入力します。

通信事業ネットワークインベントリ属性フィールドの詳細については、「[TNI CI 属性フォーム](#)」を参照してください。

7. [Save (保存)] をクリックする。

TNI CI 属性フォームを保存すると、通信事業ネットワークインベントリ 属性フィールドがストランドフォームに表示されます。CI レコードを再度開くと、[インベントリ属性を設定] は表示されません。

8. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。

9. [Save (保存)] をクリックする。

関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連タブの詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

10. [マップを開く] ボタンを選択して、選択したレコードを視覚的に表示します。

**注:**

インスタンスでこのボタンを取得するには、CMDB ワークスペース 3.5.0 以降のバージョンをインストールします。詳細については、「[CMDB ワークスペース](#)」を参照してください。

11. オプション: [パックを追加] を選択して、構成アイテム (CI) レコードの属性をキャプチャします。

詳細については、「[CI レコードの属性パックの使用](#)」を参照してください。

12. ブロックアイコン () を選択して、関連するネットワークインベントリを表示します。

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク資産インスタンス別にグループ化されたすべての関連ネットワークインベントリが表示されます。

関連情報[通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデル化](#)**物理接続の詳細の定義**

ネットワーク内のインターフェイスカードで、物理ポート接続のネットワーク資産インスタンスを確認、更新、または作成します。これらの属性を定義すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワーク資産を追跡および管理できます。

始める前に

必要なロール: sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

物理接続データには、リンクタイプ、帯域幅、ポート、サイト、トポロジが含まれます。物理接続レコードを作成すると、対応する構成アイテム (CI) レコードが物理接続 [cmdb_ci_ni_physical_link] テーブルに作成されます。詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル](#)」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。

2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。インベントリ > 物理接続。

3. **[New (新規)]** を選択します。

4. [詳細] タブの [物理接続] セクションで、物理接続の一般情報を入力します。

物理接続フォームに固有のフィールドの詳細については、「[物理接続フォーム](#)」を参照してください。

ほとんどの インベントリ フォーム および インベントリ番号割り当てメニュー フォームに共通する残りの識別フィールドについては、[一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド](#) を参照してください。

[製品モデル] フィールドで [光ファイバー ケーブル] を選択した場合は、[ケーブル パラメーター] フォームが表示され、ケーブル パラメーターに関する情報を入力できます。フィールドの詳細については、「[ケーブルパラメータフォーム](#)」を参照してください。

5. [詳細] タブの [構成] セクションで、物理接続の構成情報を入力します。

[構成] セクションに固有のフィールドの詳細については、「[物理接続フォーム - 構成](#)」を参照してください。

ほとんどの [インベントリ] メニュー フォームに共通する残りの構成フィールドについては、「[一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド](#)」を参照してください。

6. 物理接続フォームの 通信事業ネットワークインベントリ 属性を作成するには、[インベントリ属性の設定] を選択します。
[インベントリ属性を設定] ボタンを選択すると、CI テーブルと 通信事業ネットワークインベントリ CI 属性テーブルに TNI CI 属性レコードが作成され、CI レコードとの関係が作成されます。

i 注:

[インベントリ属性の設定] を選択せずに [保存] を選択すると、CI レコードは作成されますが、通信事業ネットワークインベントリ CI レコードは作成されません。ネットワークインベントリワークスペースでは、[インベントリ属性の設定] は 通信事業ネットワークインベントリ ロールにのみ表示されます。

7. TNI CI 属性フォームのフィールドに入力します。

通信事業ネットワークインベントリ属性フィールドの詳細については、「[TNI CI 属性フォーム](#)」を参照してください。

8. [Save (保存)] をクリックする。

TNI CI 属性フォームを保存すると、通信事業ネットワークインベントリ 属性フィールドが物理接続フォームに表示されます。CI レコードを再度開くと、[インベントリ属性を設定] は表示されません。

9. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択します。

10. [Save (保存)] をクリックする。

関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連タブの詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

11. 選択したレコードの視覚的表現を表示するには、[その他のオプション] アイコン () を選択し、[マップを開く] を選択します。

i 注:

インスタンスでこのボタンを取得するには、CMDB ワークスペース 3.5.0 以降のバージョンをインストールします。詳細については、「[CMDB ワークスペース](#)」  を参照してください。

12. オプション: [その他のオプション] アイコン () を選択し、[パックを追加] を選択して構成アイテム (CI) レコードの属性をキャプチャします。
詳細については、「[CI レコードの属性パックの使用](#)」を参照してください。

13. オプション: [その他のオプション] アイコン () を選択し、[廃止] を選択して CI レコードを廃止します。
詳細については、「[インベントリレコードの廃止](#)」を参照してください。

14. 関連するネットワークインベントリを表示するには、ブリックアイコン()

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク資産インスタンス別にグループ化されたすべての関連ネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

- 他のネットワーク資産との関係を確立する場合は、関連タブに詳細を入力します。詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。
- インベントリレコードを削除するには、「[レコードの削除](#)」を参照してください。

関連情報

通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデル化

論理接続の詳細の定義

ネットワークインターフェイスカードの論理ポート接続または仮想ポート接続のネットワーク資産インスタンスを確認、更新、または作成します。これらの属性を定義すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワーク資産を追跡および管理できます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

論理接続は通常、インターフェイスカード上の複数の物理接続を表します。論理接続データには、リンクタイプ、帯域幅、ポート、 および サイトが含まれます。

論理接続レコードを作成すると、対応する構成アイテム (CI) レコードが論理接続 [cmdb_ci_ni_logical_path] テーブルに作成されます。詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル](#)」を参照してください。

論理接続レコードの [概要] タブには、論理接続、その接続要素、および A と Z の端の統合された詳細が表示されます。拡張ポイントsn_ni_advのカスタム実装を作成することで、接続要素テーブルをカスタマイズできます。TNConnectionOverviewです。また、システム プロパティ sn_ni_adv.clr_max_rows を設定することで、このテーブルの行数を決定することもできます。このプロパティのデフォルト値は 500 です。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次を選択します。 インベントリ > 論理接続。

注:

ネットワークエンティティで 論理接続 数を選択して、論理接続リストにアクセスすることもできます。論理接続数は、ネットワークインベントリワークスペースランディングページのカテゴリウィジェットの下にあります。詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースでのネットワークインベントリの確認と更新](#)」を参照してください。

3. [New (新規)] を選択します。
4. [詳細] タブの [論理接続] セクションで、論理接続の一般情報を入力します。
論理接続フォームに固有のフィールドの詳細については、「[論理接続フォーム](#)」を参照してください。

ほとんどの インベントリ フォーム および インベントリ番号割り当てメニュー フォームに共通する残りの識別フィールドについては、[一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド](#) を参照してください。
5. [詳細] タブの [構成] セクションで、論理接続の構成情報を入力します。
[構成] セクションに固有のフィールドの詳細については、「[論理接続フォーム - 構成](#)」を参照してください。

ほとんどの [インベントリ] メニュー フォームに共通する残りの構成フィールドについては、「一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド」を参照してください。

6. 論理接続フォームの 通信事業ネットワークインベントリ 属性を作成するには、[インベントリ属性の設定] を選択します。

[インベントリ属性を設定] ボタンを選択すると、CI テーブルと 通信事業ネットワークインベントリ CI 属性テーブルに TNI CI 属性レコードが作成され、CI レコードとの関係が作成されます。

i 注:

[インベントリ属性の設定] を選択せずに [保存] を選択すると、CI レコードは作成されますが、通信事業ネットワークインベントリ CI レコードは作成されません。ネットワークインベントリワークスペースでは、[インベントリ属性の設定] は 通信事業ネットワークインベントリ ロールにのみ表示されます。

7. TNI CI 属性フォームのフィールドに入力します。

通信事業ネットワークインベントリ属性フィールドの詳細については、「[TNI CI 属性フォーム](#)」を参照してください。

8. [Save (保存)] をクリックする。

TNI CI 属性フォームを保存すると、通信事業ネットワークインベントリ 属性フィールドが論理接続フォームに表示されます。CI レコードを再度開くと、[インベントリ属性を設定] は表示されません。

9. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択します。

10. [Save (保存)] をクリックする。

関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連タブの詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

11. 選択したレコードの視覚的表現を表示するには、[その他のオプション] アイコン () を選択し、[マップを開く] を選択します。

i 注:

インスタンスでこのボタンを取得するには、CMDB ワークスペース 3.5.0 以降のバージョンをインストールします。詳細については、「[CMDB ワークスペース](#)」  を参照してください。

12. オプション: [その他のオプション] アイコン () を選択し、[パックを追加] を選択して構成アイテム (CI) レコードの属性をキャプチャします。
詳細については、「[CI レコードの属性パックの使用](#)」を参照してください。

13. オプション: [その他のオプション] アイコン () を選択し、[廃止] を選択して CI レコードを廃止します。
詳細については、「[インベントリレコードの廃止](#)」を参照してください。

14. 関連するネットワークインベントリを表示するには、ブリックアイコン()

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク資産インスタンス別にグループ化されたすべての関連ネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

- 他のネットワーク資産との関係を確立する場合は、関連タブに詳細を入力します。詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。
- インベントリレコードを削除するには、「[レコードの削除](#)」を参照してください。

関連情報

通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデル化

ネットワーク トポロジの手動作成

ネットワーク エLEMENTの組織内で可視化するネットワークのトポロジ レコードを作成します。ネットワーク トポロジを作成することで、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワーク エLEMENTがどのように編成され、相互に接続されているかを視覚化できます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

ネットワークトポロジレコードを作成すると、対応する構成アイテム (CI) レコードがネットワークトポロジ [cmdb_ci_network_topology] テーブルに作成されます。ルートノードはトポロジルートノード [cmdb_network_topology_root_node] テーブルに格納されます。トポロジデータモデルの詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル](#)」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () から、 インベントリ > ネットワークトポロジ。
3. **[New (新規)]** を選択します。
4. **[詳細]** タブで、フォームに入力します。
ネットワークトポロジフォームのフィールドの詳細については、「[ネットワークトポロジフォーム](#)」を参照してください。
5. **[ネットワークトポロジ ルート ノード]** タブで、**[新規]** を選択し、フィールドに入力してルートノードを追加します。

ネットワークトポロジルートノードフォーム

フィールド	説明
ルートノード	トポロジのルートノード。
ネットワークトポロジ	作成したネットワークトポロジ。

6. **[Save (保存)]** をクリックする。
7. **[詳細]** タブで、**[送信]** を選択します。

次のタスク

トポロジは **[ネットワーク ビューアー]** ウィンドウで表示できます。詳細については、「[ネットワーク トポロジの表示](#)」を参照してください。

関連情報

ネットワークトポロジの可視化

在庫グループを定義

インベントリグループは、アプリケーション内のすべての CI に CI アクションを一括して適用できるようにする CI の集合 通信事業ネットワークインベントリ。インベントリグループを定義すると、さまざまな CI をグループ化し、すべての CI にアクションを適用できます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

i 注:

インベントリエージェントとインベントリアドミンは、インベントリグループを確認、作成、更新できます。また、グループを削除できるのはインベントリアドミンのみです。

このタスクについて

インベントリグループは、構成アイテム (CI) のグループを表します。グループでは、任意の CI を追加できますが、CI を複製することはできません。

インベントリグループを作成すると、インベントリグループ [cmdb_group] テーブルにグループが作成されます。詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル](#)」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () をクリックし、次をクリックします。インベントリ > インベントリグループ
3. **[New]** をクリックします。
4. **[詳細]** タブの **[CMDB グループ]** セクションで、フォームに入力します。

CMDB グループ

フィールド	説明
グループ名	インベントリグループの名前
グループタイプ	次のいずれかのグループタイプを選択します ○ CMDB Workspace ○ デフォルト ○ Health ○ ネットワークインベントリグループ
説明	インベントリグループの説明
カテゴリ	次のいずれかのカテゴリを選択します ○ セグメント ○ セクション ○ ルーティング ○ その他

5. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルの **[添付ファイル]**  をクリックします。
6. **[Save (保存)]** をクリックします。

関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連タブの詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

i 注:

最後に変更または更新された情報を確認するには、インベントリグループのリストビューを参照してください。

次のタスク

他のネットワーク資産との関係を確立する場合は、関連タブに詳細を入力します。詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

インベントリレコードの廃止

通信事業ネットワークインベントリから削除するインベントリレコードを廃止します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_template_manager

このタスクについて

CI レコードを廃止すると、CI のすべての関連テーブルが削除され、この CI の ライフサイクル ステージ、 ライフサイクルステージステータス が変更されます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。 インベントリ。
3. インベントリリストを開き、廃止するインベントリ CI レコードを選択します。
4. [その他のオプション] アイコン () を選択し、[廃止] を選択します。
すべての関連テーブルが削除されます。また、資産が CI で使用されていない場合、[ライフサイクルステージ] フィールドは [提供終了] に設定され、[ライフサイクルステージステータス] フィールドは [廃止] に設定されます。それ以外の場合は、[ライフサイクルステージ] フィールドが [インベントリ] に設定され、[ライフサイクルステージステータス] フィールドが [利用可能] に設定されます。

i 注:

選択した CI に子 CI がある場合、次のように廃止は失敗します。

インベントリ名	廃止に失敗した関係
ネットワークサイト	サイト、機器、または機器所有者
インターフェイスカード	物理接続または論理接続で使用されるインターフェイス
ネットワークインターフェイス	物理接続または論理接続にリンクされたインターフェイス
物理/論理接続	別の接続によって接続要素として使用されている任意の接続。
機器所有者	機器またはシェルフにリンクされたラック、カードにリンクされた機器、スロット、またはサブスロットにリンクされたシェルフ。
設備	接続または論理接続を持つ物理インターフェイスにリンクされた物理インターフェイスまたは論理インターフェイス。

レコードの削除

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションで関連性がなくなった、または不要になったインベントリレコードを削除します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

構成アイテム (CI) レコードを削除しても、CI に関連付けられている子要素は削除されません。これらは手動で削除する必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン ()
3. 表示されたリストからカテゴリを選択します。
4. 削除する CI レコードを選択します。
5. その他のオプションアイコン () をクリックし、[削除] を選択します。
6. [はい] を選択して削除を確定します

タスクの結果

CI レコードが削除され、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで使用できなくなります。

インベントリ番号の割り当て

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでインベントリ番号を割り当てると、LAG、VLAN、IP アドレス、および電話番号を管理できます。さまざまな LAG、VLAN、IP アドレス、および電話番号レコードを確認、作成、更新、または削除できます。

詳細については、「[IP アドレスの割り当てを作成](#)」と「[電話インフラストラクチャの作成](#)」を参照してください。

インベントリの番号付けを定義する

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションで仮想ローカルエリアネットワーク (VLAN) 接続またはリンクアグリゲーショングループ (LAG) 接続の番号付けを定義します。これらのインベントリ番号を定義することで、ネットワーク接続をアクティブ化するようにネットワーク資産を構成できます。

始める前に

必要なロール：

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_template_manager

このタスクについて

このプロセスで定義する番号付けでは、VLAN と LAG の番号範囲が作成され、これらの範囲からネットワーク接続と機器ポートに番号を割り当てることができます。顧客の注文を履行するためにイーサネットネットワークインターフェイス経由でネットワーク接続をプロビジョニングする場合は、ネットワークポートをサポートする VLAN インターフェイスを作成します。このインターフェイスには、1 ～ 4096 の VLAN 番号を割り当てる必要があります。この VLAN 番号を使用してインターフェイス名を作成し、ネットワーク上でインターフェイスをアクティブ化できるようにします。

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. list アイコン () を選択し、インベントリ 番号割り当て > インベントリ番号。
3. [新規] を選択します。
4. 詳細 タブで、在庫採番の一般情報を入力します。
在庫番号フォームに固有のフィールドの詳細については、[インベントリ番号フォーム](#) を参照してください。
5. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルを選択アイコン () を選択します。
6. [保存] を選択します。
関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連タブの詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

次のタスク

在庫番号レコードを更新または削除するには、「[インベントリ番号割り当てのレコードの更新または削除](#)」を参照してください。

IP アドレスの割り当てを作成

IP プール、IP ネットワークサブネット、割り当て済み IP アドレス、および IP アドレスレコードを作成、レビュー、更新、および削除して、IP アドレスの割り当てを作成します。通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、すべての IP アドレスを管理できます。

IP プールレコードの作成

IP プールレコードを作成して、ネットワーク内のすべての順次 IP アドレスを整理および分類できるようにします。IP プールレコードは、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して作成できます。

始める前に

- すべての高度なプラグインがインストールされていることを確認して、IP サブネットワークにアクセスします。
- 必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

ネットワーク内の IP プールを確認、作成、または削除できます。

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。インベントリ番号の割り当て > IP プール。
3. [New (新規)] を選択します。
4. [詳細] タブの [IP アドレス] セクションで、フィールドに入力します。

[IP ネットワークサブネット] フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	この IP プールの分かりやすい名前。

他のフィールドの詳細については、「[インベントリ番号割り当てフィールド](#)」を参照してください。

5. [インベントリ属性の設定] ボタンを選択して、この IP プールフォームの通信事業ネットワークインベントリ属性を作成します。
[インベントリ属性の設定] ボタンを選択すると、CI テーブルと 通信事業ネットワークインベントリ CI 属性テーブルに TNI CI 属性レコードが作成され、CI レコードとの関係が作成されます。

i 注:

- [インベントリ属性の設定] を選択せずに [保存] を選択すると、CI レコードは作成されますが、通信事業ネットワークインベントリ CI レコードは作成されません。ネットワークインベントリワークスペースでは、[インベントリ属性の設定] は 通信事業ネットワークインベントリ ロールにのみ表示されます。
- TNI CI 属性フォームでは、デフォルトで名前が [名前] フィールドから取得され、[インベントリカテゴリ] が **[IP アドレス]** に設定されます。

6. [パックの追加] を選択して、このサービスにパックを追加します。

パックの詳細については、「[属性パック](#)」を参照してください。

7. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。

8. [Save (保存)] をクリックする。

関連するタブがフォームに表示されます。詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

9. [依存関係ビュー] ボタンを選択して、作成された IP プールの階層またはフローチャートを表示します。

10. ブロックアイコン () を選択して、関連するネットワークインベントリを表示します。

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワークインスタンス別にグループ化されたすべての関連ネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

フィールドの確認と更新、関連するタブレコードの作成、レコードの削除を行うことができます。詳細については、「[インベントリ番号割り当てのレコードの更新または削除](#)」を参照してください。

IP ネットワークサブネットレコードの作成

IP ネットワークサブネットを定義して、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用してネットワーク内のすべての子 IP ネットワークサブネットを分類および管理できるようにします。IP サブネットワークを確認、作成、または削除することもできます。

始める前に

- すべての高度なプラグインがインストールされていることを確認して、IP サブネットワークにアクセスします。
- 必要なロール: sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

IP サブネットワークを確認、作成、または削除できます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。 インベントリ > **IP ネットワークサブネット**。

3. **[New (新規)]** を選択します。

4. **[詳細]** タブの IP ネットワークサブネット セクションで、フィールドに入力します。

[IP ネットワークサブネット] フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	この IP ネットワークサブネットの分かりやすい名前。

他のフィールドの詳細については、「[インベントリ番号割り当てフィールド](#)」を参照してください。

5. **[インベントリ属性の設定]** を選択して、この IP ネットワークサブネットの通信事業ネットワークインベントリ属性フォームを作成します。

[インベントリ属性の設定] ボタンを選択すると、CI テーブルと 通信事業ネットワークインベントリ CI 属性テーブルに TNI CI 属性レコードが作成され、CI レコードとの関係が作成されます。

i 注:

- **[インベントリ属性の設定]** を選択せずに **[保存]** を選択すると、CI レコードは作成されますが、通信事業ネットワークインベントリ CI レコードは作成されません。ネットワークインベントリワークスペースでは、**[インベントリ属性の設定]** は 通信事業ネットワークインベントリ ロールにのみ表示されます。
- TNI CI 属性フォームでは、デフォルトで名前が **[名前]** フィールドから取得され、**[インベントリカテゴリ]** が **[IP アドレス]** に設定されます。

6. **[パックの追加]** を選択して、このサービスにパックを追加します。

パックの詳細については、「[属性パック](#)」を参照してください。

7. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。

8. **[Save (保存)]** をクリックする。

9. **[依存関係ビュー]** ボタンを選択して、作成された IP プールの階層またはフローチャートを表示します。

10. ブリックアイコン () を選択して、関連するネットワークインベントリを表示します。

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワークインスタンス別にグループ化されたすべての関連ネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

フィールドの確認と更新、関連するタブレコードの作成、レコードの削除を行うことができます。詳細については、「[インベントリ番号割り当てのレコードの更新または削除](#)」を参照してください。

割り当てられた IP アドレスレコードの作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、割り当ての準備ができているすべての IP アドレスを定義して分類します。ネットワークに割り当てられた IP アドレスを確認、作成、更新、または削除できます。

始める前に

- すべての高度なプラグインをインストールし、IP サブネットワークにアクセスします。
- 必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

IP プール、IP サブネットワーク、および割り当てられた IP アドレスが互いにどのように関連しているかを理解するには、[IP アドレスインベントリ管理データモデル](#)を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。インベントリ > 割り当て済み IP アドレスes。
3. **[New (新規)]** を選択します。
4. **[詳細]** タブの **[IP アドレス]** セクションで、フィールドに入力します。

[割り当て済み IP アドレス] フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	この IP アドレスの分かりやすい名前。
IP アドレス	IPv4 または IPv6 IP アドレス。
ブロードキャストである	この IP アドレスがブロードキャストタイプの IP アドレスである場合に true に設定する値。
DHCP である	グリッド レベルの DHCP オプションをネットワーク レベルでこのオプションで上書きするには、true に設定します。
DNS である	この IP アドレスにドメイン名システム (DNS) 名が指定されている場合に true に設定する値。

5. **[インベントリ属性の設定]** ボタンを選択して、この IP プールフォームの通信事業ネットワークインベントリ属性を作成します。
[インベントリ属性の設定] ボタンを選択すると、CI テーブルと 通信事業ネットワークインベントリ CI 属性テーブルに TNI CI 属性レコードが作成され、CI レコードとの関係が作成されます。

i 注:

- **[インベントリ属性の設定]** ボタンを選択せずに **[保存]** を選択すると、CI レコードは作成されますが、通信事業ネットワークインベントリ CI レコードは作成されません。ネットワークインベントリワークスペースでは、**[インベントリ属性の設定]** は 通信事業ネットワークインベントリ ロールにのみ表示されます。
- TNI CI 属性フォームでは、デフォルトで名前が **[名前]** フィールドから取得され、**[インベントリカテゴリ]** が **[IP アドレス]** に設定されます。

6. **[パックの追加]** を選択して、このサービスにパックを追加します。
 パックの詳細については、「[属性パック](#)」を参照してください。
7. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
8. **[Save (保存)]** をクリックする。

9. [依存関係ビュー] ボタンを選択して、作成された IP プールの階層またはフローチャートを表示します。

10. ブリックアイコン () を選択して、関連するネットワークインベントリを表示します。

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク インスタンス別にグループ化されたすべての関連ネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

フィールドの確認と更新、関連するタブレコードの作成、レコードの削除を行うことができます。詳細については、「[インベントリ番号割り当てのレコードの更新または削除](#)」を参照してください。

IP アドレスの作成

IP アドレスの属性を定義して、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで追跡および管理できるようにします。IP アドレスを確認、更新、または作成することもできます。

始める前に

必要なロール：

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_viewer

このタスクについて

注:

インベントリエージェントは、IP アドレスを作成、レビュー、更新、削除できます。

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. list アイコン () を選択し、インベントリ > IP アドレスes。
3. [新規] を選択します。
4. [詳細] タブの [IP アドレス] セクションで、一般情報を入力します。

IP アドレスフォーム

フィールド	説明
IP アドレス	ネットワークインベントリ内で識別するために Now Platform で使用するこのネットワーク機能の名前。
IP バージョン	データベースの名前。次のいずれかを選択します。 ○ IPv4 - インターネットプロトコルの 4 番目のバージョン ○ IPv6 - インターネットプロトコルの 6 番目のバージョン
ネットマスク	ネットワーク instance の一意の ID。
構成アイテムが所有	ネットワーク機能のタイプ、仮想ネットワーク機能 (VNF)、またはクラウドネイティブ機能 (CNF)。

5. この IP プールフォームの 通信事業ネットワークインベントリ 属性を作成するには、[インベントリ属性の設定] ボタンを選択します。

[インベントリ属性を設定] ボタンを選択すると、CI テーブルと 通信事業ネットワークインベントリ CI 属性テーブルに TNI CI 属性レコードが作成され、CI レコードとの関係が作成されます。

i 注:

- [インベントリ属性の設定] を選択せずに [保存] を選択すると、CI レコードは作成されますが、通信事業ネットワークインベントリ CI レコードは作成されません。ネットワークインベントリワークスペースでは、[インベントリ属性の設定] は 通信事業ネットワークインベントリ ロールにのみ表示されます。
- TNI CI 属性フォームでは、デフォルトで名前が [名前] フィールドから取得され、[インベントリカテゴリ] が **[IP アドレス]** に設定されます。

6. [パックの追加] を選択して、このサービスにパックを追加します。

パックの詳細については、「[属性パック](#)」を参照してください。

7. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルを選択アイコン (📎) を選択します。

8. [保存] を選択します。

関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブ情報を表示または変更できます。関連タブの詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

9. 関連するネットワークインベントリを表示するには、ブリックアイコン(🧱)を選択します。

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク インスタンス別にグループ化されたすべての関連ネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

フィールドを確認または更新したり、関連するタブレコードを作成したり、レコードを削除したりすることができます。詳細については、「[インベントリ番号割り当てのレコードの更新または削除](#)」を参照してください。

電話インフラストラクチャの作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションによって提供される電話インフラストラクチャを使用して、電話ブロックと番号の割り当てを作成し、電話番号を割り当てます。

電話ブロックの作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、エリア内にあるすべての連続する電話番号を整理および分類するための電話ブロックを作成します。

始める前に

- 通信事業ネットワークインベントリアプリケーションに電話番号の必要なすべてのコンポーネントが含まれていることを確認します。詳細については、「[電話番号のコンポーネントの作成](#)」を参照してください。
- 必要なロール:sn_inv_num_mgmt.inventory_number_manager

このタスクについて

1 つの電話ブロックに対して複数の電話番号割り当てと電話番号を作成できます。また、電話ブロックを確認、作成、更新、または削除することもできます。

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。インベントリ番号の割り当て > 電話ブロック。
3. **[New (新規)]** を選択します。

i 注:

ポートイン番号またはブロックを必要としない番号にブロックを使用せずに電話番号を作成して割り当てることができます。

4. フォームのフィールドに入力します。

電話番号ブロック

フィールド	説明
電話番号の割り当てと番号の作成	デフォルトでは、このフィールドは true に設定されています。その結果、個々の電話番号と電話番号の割り当ては、指定された発信番号と宛先番号を使用して作成されます。このチェックボックスをオフにすると、電話ブロックのみが作成されます。 i 注: a. 作成された割り当て数と電話番号が割り当て可能として表示されます。 b. デフォルトでは、作成された番号のステータスは [新規] に設定されています。
発信番号	このブロックに番号を追加し始める系列の開始番号。
宛先番号	このブロックへの番号の追加を停止するシリーズの最後の番号。 i 注: 同じまたは重複する一連の番号をブロックに含めることはできません。たとえば、ブロック 100 ~ 200 が存在する場合、150 ~ 200 または 100 ~ 200 の新しいブロックは有効にできません。

他のフィールドの詳細については、「[インベントリ番号割り当てフィールド](#)」を参照してください。

5. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
6. [送信] を選択します。
入力した詳細に応じて、電話ブロックが作成されます。
7. [詳細] タブ電話ブロックフォームで、追加フィールドに入力します。

電話番号ブロックフォーム

フィールド	説明
数量	選択した電話番号ブロックにある電話番号の数。 i 注: このフィールドは、電話ブロックの作成後に自動入力されます。ただし、このフィールドは必要に応じていつでも更新できます。
利用可能数量	アサインされていない、または利用できない電話番号の数。 i 注: このフィールドは、電話ブロックの作成後に自動入力されます。ただし、このフィールドは必要に応じていつでも更新できます。

ほとんどの インベントリ フォーム および インベントリ番号割り当てメニュー フォームに共通する残りの識別フィールドについては、[一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド](#) を参照してください。

8. **[Save (保存)]** をクリックする。

9. 関連タブで、関連するタブ情報を表示または更新します。

関連タブの詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

10. ブロックアイコン () を選択して、関連するネットワークインベントリを表示します。

[インフラストラクチャ関係] セクションには、network インスタンス別にグループ化されたすべての関連ネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

フィールドの確認と更新、関連するタブレコードの作成、レコードの削除を行うことができます。詳細については、「[インベントリ番号割り当てのレコードの更新または削除](#)」を参照してください。

電話番号割り当ての作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、一連の電話番号をグループ化し、必要な条件を適用できるように、電話番号割り当てを作成します。電話番号の割り当てを確認、作成、更新、または削除することもできます。

始める前に

- 通信事業ネットワークインベントリアプリケーションに電話番号の必要なすべてのコンポーネントが含まれていることを確認します。それ以外の場合は、「[電話番号のコンポーネントの作成](#)」を参照してください。
- 必要なロール:sn_inv_num_mgmt.inventory_number_manager

このタスクについて

電話ブロックの作成中に [電話番号の割り当てと番号を作成] チェックボックスを true に設定すると、個々の番号と電話番号の割り当てが作成されます。1 つの電話番号の割り当てに複数の電話番号

を割り当てることができます。単一の電話番号割り当てを電話番号ブロックに割り当てると、そのブロックに一連の番号を割り当てることができます。

このタスクを完了すると、電話番号ブロックに単一の電話番号を割り当てると、そのブロックに一連の番号が割り当てられます。

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。インベントリ番号の割り当て > 電話番号。
3. **[New (新規)]** を選択します。
4. [詳細] タブの [IP アドレスセクション] フォームで、フィールドに入力します。

電話番号割り当てフォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	この割り当ての名前。
電話番号ブロック	番号を追加する電話番号ブロック。 i 注: ポートイン番号またはブロックを割り当てない番号については、ブロックを参照せずに電話番号と電話番号の割り当てを作成できます。
可用性	このブロックの可用性。このブロックが利用可能な場合は、可用性を true に設定します。また、未アサインステータスで使用可能な番号の数を指定することもできます。
開始番号	このブロックをアサインできるシリーズの開始電話番号。
終了番号	このブロックにアサインできる系列の終了電話番号。

他のフィールドの詳細については、「[インベントリ番号割り当てフィールド](#)」を参照してください。

5. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
6. **[Save (保存)]** をクリックする。
関連するタブがフォームに表示されます。関連するタブの情報を表示または変更できます。関連タブの詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。

i 注:

アサイン済みまたは割り当て済みの電話番号に基づいて、既存の割り当ては個別の割り当てに分割されます。たとえば、1 ~ 100 のシリーズで、1 ~ 10 と 90 ~ 100 がアサインされている場合、1 ~ 100 の割り当ては 3 つの割り当てに分割されます。可用性が [いいえ] および 11 ~ 89 の 3 つの割り当て 1 ~ 10 および 90 ~ 100 が作成されます。

エリアまたは地域の電話番号を作成する

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して電話番号を作成し、その番号をエリアまたは地域に追加します。電話番号を確認、作成、更新、または削除できます。

始める前に

- 通信事業ネットワークインベントリアプリケーションに電話番号の必要なすべてのコンポーネントが含まれていることを確認します。それ以外の場合は、「[電話番号のコンポーネントの作成](#)」を参照してください。
- 必要なロール:sn_inv_num_mgmt.inventory_number_manager

このタスクについて

電話ブロックの作成中に [電話番号の割り当てと番号を作成] チェックボックスを true に設定すると、個々の番号と電話番号の割り当てが作成されます。電話番号割り当てに電話番号を追加することもできます。

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。インベントリ番号の割り当て > 電話番号。
3. **[New (新規)]** を選択します。
4. **[詳細]** タブの電話番号セクションで、フィールドに入力します。

電話番号フォーム

フィールド名	説明
スイッチ CLLI	任意の構成アイテムへの参照ですが、電話通信機器に推奨するのが理想的です。
行番号	エリア内の個々の電話回線を一意に識別する電話番号の部分。シリーズまたは個々の回線番号を xxxx-xxxx または xxxx, xxxx-xxxx の形式で指定できます。 i 注: 指定された行番号が一連の番号でない場合、複数の番号割り当てが作成されます。

他のフィールドの詳細については、「[インベントリ番号割り当てフィールド](#)」を参照してください。

5. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
6. **[Save (保存)]** をクリックする。
電話番号は、市外局番、本社コード、番号のステータス、スイッチ CLLI、回線番号、および電話番号を使用して作成されます。

次のタスク

フィールドの確認と更新、関連するタブレコードの作成、レコードの削除を行うことができます。詳細については、「[インベントリ番号割り当てのレコードの更新または削除](#)」を参照してください。

管理対象ネットワークを作成

管理対象ネットワークを作成し、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用してすべてのネットワークと IP アドレスを管理します。ネットワークを作成、レビュー、更新、および削除できます。

始める前に

- ネットワークディスカバリープラグインをインストールします。詳細については、「[ネットワークディスカバリー](#)」を参照してください。
- 必要なロール: sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_template_manager

このタスクについて

管理対象ネットワークを使用すると、ネットワークに IP プールと IP ネットワークサブネットを追加できます。また、ネットワークに重複した IP アドレスを含めることはできません。

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。インベントリ番号の割り当て > 管理対象ネットワーク。
3. **[New (新規)]** を選択します。
4. フォームの [詳細] タブで、フィールドに入力します。
詳細については、「[\[管理対象ネットワーク\] フォーム](#)」を参照してください。
5. [パックの追加] を選択して、このサービスにパックを追加します。

パックの詳細については、「[属性パック](#)」を参照してください。
6. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
7. **[Save (保存)]** をクリックする。
CMDB 360 データとパックに関連するタブがフォームに表示されます。詳細については、「[ネットワークインベントリフォームの関連タブ](#)」を参照してください。
8. ブロックアイコン () を選択して、関連するネットワークインベントリを表示します。

[インフラストラクチャ関係] セクションには、個々のネットワーク資産インスタンス別にグループ化されたすべての関連ネットワークインベントリが表示されます。

次のタスク

フィールドを確認または更新したり、関連するタブレコードを作成したり、レコードを削除したりすることができます。詳細については、「[インベントリ番号割り当てのレコードの更新または削除](#)」を参照してください。

インベントリ番号割り当てのレコードの更新または削除

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、IP アドレススペース要素のレコードを確認、更新、および削除します。

始める前に

必要なロール: sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

このタスクを使用すると、任意のインベントリ番号割り当てのアイテムのレコードを更新および削除できます。

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、インベントリ番号の割り当て。
3. インベントリ番号割り当ての次のアイテムのいずれかを選択します。
 - 電話ブロック
 - 電話番号の割り当て
 - 電話番号
 - インベントリ番号
 - IP プール
 - IP ネットワークサブネット
 - 割り当て済み IP アドレス
 - IP アドレス
 - 管理対象ネットワーク
4. 各アイテムの表示リストから更新するレコードを選択します。
レコードを削除するには、レコードを選択した後、次の手順を実行します。
 - a. オプションの選択 () アイコン。
 - b. [削除] を選択します。

注:
警告ウィンドウに、この削除によって影響を受けるトピックのリストが表示されます。

 - c. レコードを削除するには [削除] を選択し、削除をキャンセルするには [キャンセル] を選択します。
5. 一般情報を更新するには、[詳細] タブにアクセスします。
さらに、このアイテムに関連付けられた関連タブを更新するには、その目的に指定された対応するタブを選択します。たとえば、[電話番号の割り当て] がビジネスアプリケーションの関連タブである場合は、そのタブに移動して必要な更新を行います。
6. 詳細タブフォームで更新するフィールドの値を変更します。
7. 開いたアイテムの関連タブを 1 つ選択します。
8. 関連タブでは、次のことができます。
 - 既存の関連タブレコードの詳細を表示します。
 - 既存のレコードを選択し、フィールドを更新します。
 - 新規 を選択して、関連タブの別のレコードを作成します。
 - 関連タブで [新規] を選択すると、関連タブに対応するフォームが表示されます。フォームでフィールドに入力し、[保存] を選択します。
 - 新しく作成されたレコードは、現在開いているインベントリ番号割り当てのアイテムに自動的に関連付けられます。
9. [Save (保存)] をクリックする。
フィールドとレコードリストが更新されます。

xNF および xNF インスタンスの作成

すべての xNF を管理するためのアプリケーションサービス、ビジネスアプリケーション、およびネットワークインターフェイスを作成します。ここでは、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、アプリケーションサービスとビジネスアプリケーションを作成、レビュー、更新、および削除できます。

5G ネットワークをモデル化するには、次の手順を実行します。

- xNF を作成します。詳細については、「[xNF を作成](#)」を参照してください。
- xNF インスタンスの作成詳細については、「[xNF インスタンスの作成または追加](#)」を参照してください。
- ネットワークインターフェイスを作成し、アプリケーションサービスとの関係を作成します。詳細については、「[ネットワークインターフェイスの詳細を定義する](#)」を参照してください。

xNF インスタンスの作成または追加

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、既存の xNF (さまざまなタイプのネットワーク機能) インスタンスを作成または追加します。xNF インスタンスを作成して、5G ネットワークをモデル化できます。

始める前に

- テーブル名:[cmdb_ci_service_auto]。
- 必要なロール:
sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

アプリケーションサービスは、ビジネスサービスまたはテクニカルサービスをサポートし、一般的なレポートのために CMDB アプリケーションサービステーブル [cmdb_ci_service_auto] にマッピングされます。このタスクでは、複数のインスタンスを作成、レビュー、更新、および削除できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > インベントリ > **xNF** インスタンス。
2. **[New (新規)]** を選択します。
3. アプリケーションサービスを作成フォームの [基本的な詳細] セクションで、フィールドに入力します。
フィールド値の説明については、「[Create an application service](#)」を参照してください。
4. [関係を設定] セクションで、[ビジネスアプリケーション] タブを選択します。
5. [利用可能] ボックスでビジネスアプリケーションを検索して選択します。
6. 選択したビジネスアプリケーションを [選択済み] ボックスに移動します。
選択したビジネスアプリケーションがこのアプリケーションサービスにアサインされます。
7. 該当する場合は、[親アプリケーションサービス] タブを選択し、このアプリケーションサービスに親アプリケーションサービスを割り当てます。
8. **[Next (次へ)]** を選択します。
9. [メソッドを選択] を選択します。
10. [メソッドを選択してください] フォームで、フィールドに入力します。

[メソッドを選択] フォーム

フィールド	説明
サービスの作成方法	アプリケーションサービスに構成アイテム (CI) を設定する方法。
CMDB テーブル	CMDB テーブル。選択した方法に基づいて、このフィールドは自動的に入力されます。
グループ名	グループ名。 i 注: このフィールドは、ダイナミック CI グループにのみ適用されます。
クラス	このアプリケーションサービスに追加する CI を選択できるクラス。 i 注: このフィールドは手動でのみ適用されます。
CI	このアプリケーションサービスに追加できる CI。 i 注: このフィールドは手動でのみ適用されます。
レベル	このアプリケーションサービスに適用する相互接続された CI レベルの数。 i 注: このフィールドは、動的サービスメソッドにのみ適用されます。

11. 選択 保存します。

12. オプション: [メソッドの追加] を選択して、別のメソッドを追加します。

13. **[Next (次へ)]** を選択します。

14. オプション: 次のタブで、[リレーションシップの編集] を選択します。

- 関係: ビジネスアプリケーションおよび親アプリケーションサービスとの関係を更新します。
- 作成方法の概要: 既存の方法を更新するか、別の方法を追加します。

15. **[Done (完了)]** を選択します。

16. ネットワークインベントリワークスペースで、[マップを開く] ボタンを選択して、選択したレコードを視覚的に表示します。

i 注:
ネットワークインベントリワークスペースでこのボタンを有効にするには、CMDB ワークスペース 3.5.0 以降のバージョンをインストールします。詳細については、「[CMDB ワークスペース](#)」を参照してください。

次のタスク

レコードを確認、更新、関連するタブレコードの作成、または削除を行うことができます。詳細については、「[サービスレコードの更新または削除](#)」を参照してください。

xNF を作成

ビジネスアプリケーションを作成して、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーション内のすべての xNF (さまざまなタイプのネットワーク機能) を管理します。xNF を作成して、5G ネットワークをモデル化できます。

始める前に

- テーブル名:[cmdb_ci_business_app]
- 必要なロール
ル:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

このタスクでは、すべての xNF を作成、レビュー、および更新できます。デフォルトでは、19 個の関数が含まれており、各レコードは関数です。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > インベントリ > **xNF**.
2. **[New (新規)]** を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
フィールドの説明については、「[Design domain in the CSDM framework](#)」を参照してください。
4. **[Submit (送信)]** を選択します。

次のタスク

レコードを確認、更新、関連するタブレコードの作成、または削除を行うことができます。詳細については、「[サービスレコードの更新または削除](#)」を参照してください。

サービスレコードの更新または削除

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、サービスレコードを確認、更新、または削除します。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

このタスクを使用すると、任意のビジネス、アプリケーション、テクニカルサービス、またはビジネスアプリケーションのレコードを確認、更新、または削除できます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース.
2. **[リスト]** アイコン () を選択し、次に移動します。 インベントリ番号の割り当て.
3. インベントリ番号割り当ての次のいずれかのアイテムを選択します。
 - ビジネスサービス
 - アプリケーションサービス
 - テクニカルサービス
 - ビジネスアプリケーション

4. アイテムの表示リストから更新するレコードを選択します。
レコードを削除するには、次のアクションを実行します。

- a. [オプション] アイコン () を選択します。
- b. [削除] を選択します。



注:

警告ウィンドウに、この削除によって影響を受けるトピックのリストが表示されます。

- c. レコードを削除するには [削除] を選択し、削除をキャンセルするには [キャンセル] を選択します。
5. [詳細] タブで、一般情報を更新します。
このアイテムに関連付けられている関連タブを更新するには、その目的に指定されたタブを選択します。たとえば、[**CMDB 360 データ**] がビジネスアプリケーションの関連タブである場合は、そのタブに移動して更新します。
6. [詳細] タブフォームで更新するフィールドの値を変更します。
7. 開いたアイテムの関連タブを選択します。
8. 関連タブでは、次のタスクを実行できます。
 - 既存の関連タブレコードの詳細を表示します。
 - 既存のレコードを選択し、フィールドを更新します。
 - [新規] を選択して、関連するタブの別のレコードを作成します。関連タブで [新規] ボタンを選択すると、関連タブにフォームが表示されます。フォームでフィールドに入力し、保存 を選択します。新しいレコードは、インベントリ番号割り当ての開いた品目に自動的に関連付けられます。
9. [Save (保存)] をクリックする。
フィールドとレコードリストが更新されます。

ネットワークインベントリワークスペースウィジェットのデータ収集と更新

ネットワークインベントリワークスペースのランディングページに表示される 通信事業ネットワークインベントリ データの収集方法と更新方法について説明します。

ネットワークインベントリワークスペースの応答性と速度を向上させるために、スケジュール済みジョブを 1 日に 1 回実行して、ランディングページに表示されるカウントデータを収集します。このジョブは、構成管理データベース (CMDB) グループ [cmdb_group] テーブルからこのデータを収集します。

各ランディングページセクションまたはウィジェットには、アサインされた 構成管理データベース (CMDB) グループがあり、表示されるカウントデータが提供されます。たとえば、ネットワークサイトの概要ウィジェットには、サイトの合計数と現在メンテナンス中のサイトの数が含まれています。[カテゴリ別のネットワークエンティティ] ウィジェットには、インターフェイスカードや接続など、組織が保有するネットワーク機器の各カテゴリの数が含まれています。

CMDB グループテーブル

CMDB グループテーブルには、各ランディングページウィジェットのカウント合計の基になるコンポーネントアイテム (CI) レコードが含まれています。スケジュール済みジョブが CMDB グループデータベースで実行されると、次のアクションが実行されます。

1. CMDB グループに記載されているクエリ条件を評価し、カウントデータを収集します。特定のロールが割り当てられた管理ユーザーは、ランディングページのカウントデータを収集するためにこれらのクエリに使用する特定の条件を定義して適用することができます。詳細については、

「ネットワークインベントリワークスペースウィジェットのコンテンツのカスタマイズ」を参照してください。

2. CMDB グループメタデータ [sn_cmdb_ws_group_metadata] テーブルにレコードを生成します。
3. CMDB グループメタデータテーブルで収集されたデータを使用して、ランディングページに表示される各カウントを更新します。

関連情報

ネットワークインベントリワークスペース

ネットワークインベントリワークスペースウィジェットのコンテンツのカスタマイズ

ネットワークインベントリワークスペースは、各ランディングページウィジェットの標準的な情報セットとともにベースシステムで提供されます。このコンテンツを簡単にカスタマイズして、他の通信事業ネットワークインベントリ データを含めることができます。

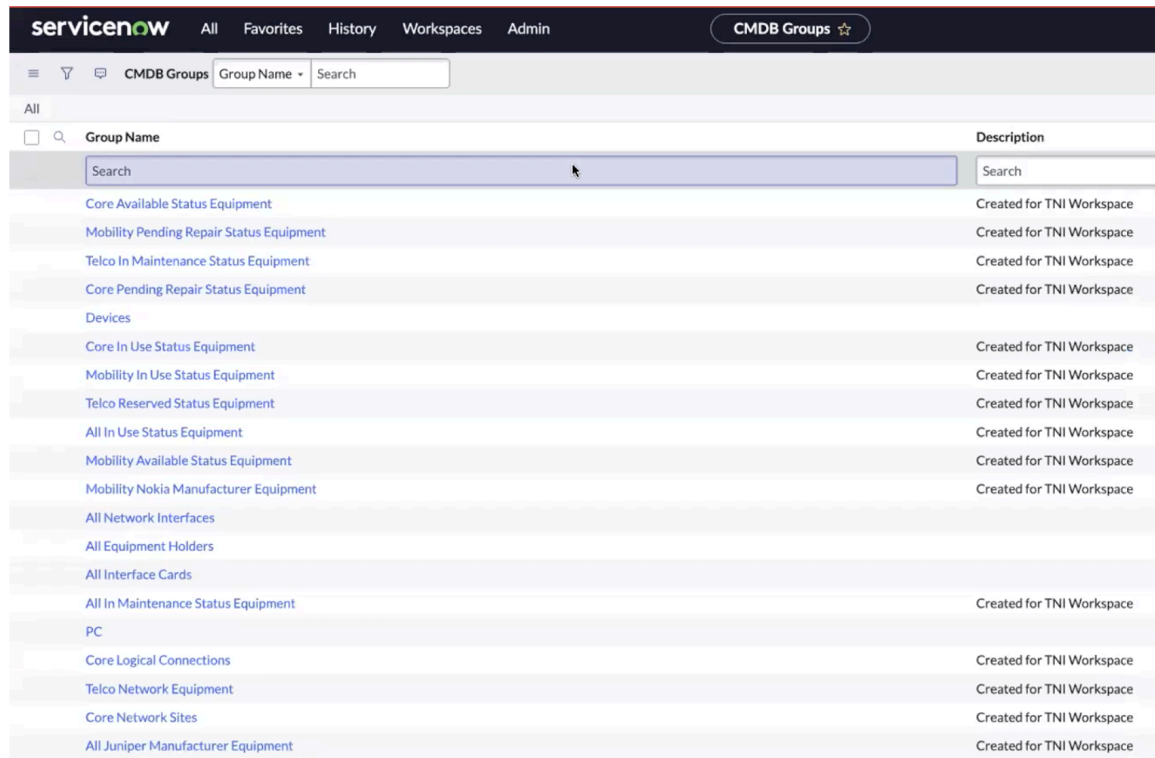
ネットワークインベントリワークスペースウィジェットデータの標準的な CMDB グループと命名規則

ネットワークインベントリワークスペースランディングページのデータ収集プロセスでは、標準の CMDB グループ構造を使用して、ウィジェットに表示される次のようなデータを取得します。

- ネットワークサイトの概要
- カテゴリ別のネットワークエンティティ
- メーカー別のネットワーク機器
- ステータス別のネットワーク機器

たとえば、ネットワークインベントリワークスペースのデータ収集に使用される CMDB グループの一部のリストを次に示します。

ネットワークインベントリワークスペースの標準 CMDB グループ



Group Name	Description
Core Available Status Equipment	Created for TNI Workspace
Mobility Pending Repair Status Equipment	Created for TNI Workspace
Telco In Maintenance Status Equipment	Created for TNI Workspace
Core Pending Repair Status Equipment	Created for TNI Workspace
Devices	
Core In Use Status Equipment	Created for TNI Workspace
Mobility In Use Status Equipment	Created for TNI Workspace
Telco Reserved Status Equipment	Created for TNI Workspace
All In Use Status Equipment	Created for TNI Workspace
Mobility Available Status Equipment	Created for TNI Workspace
Mobility Nokia Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace
All Network Interfaces	
All Equipment Holders	
All Interface Cards	
All In Maintenance Status Equipment	Created for TNI Workspace
PC	
Core Logical Connections	Created for TNI Workspace
Telco Network Equipment	Created for TNI Workspace
Core Network Sites	Created for TNI Workspace
All Juniper Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace



注:

データ収集プロセスの動作方法については、「[ネットワークインベントリワークスペースウィジェットのデータ収集と更新](#)」を参照してください。

これらの CMDB グループは、次の標準の命名規則に従います。

- 最初のセグメントは、ネットワーク サイトとエンティティに割り当てられたドメインを表します。ネットワークインベントリワークスペースのネットワークドメインセクターを使用して、次のいずれかのタイプのネットワークドメインを選択することで、表示されるデータをフィルタリングします。

Core

コア電気通信機器のネットワークドメイン。

モビリティ

モバイル通信機器のネットワークドメイン。

Telco

電気通信機器全般のネットワークドメイン。

All (すべて)

レポート目的で 1 つのドメインに結合されたすべての機器のネットワークドメイン。

- 残りのセグメントは、特定のタイプのフィールドデータを表します。例：

利用可能なステータス 設備

機器の利用可能なステータスをレポートします。

修理待ちステータス 設備

機器の修理待ちステータスを報告します。

エリクソンメーカー設備

Ericsson から供給された機器全体に対する割合をレポートします。

ノキアメーカー設備

Nokia から供給される機器全体に対する割合をレポートします。

次の例は、ネットワークインベントリワークスペースのウィジェットに表示されるデータをレポートするために、CMDB グループで名前セグメントがどのように組み合わせられるかを示しています。

利用可能なすべてのステータス機器

CMDB [状況別にネットワーク機器] ウィジェットで使用されるデータをグループ化し、すべてのネットワークドメインで [利用可能] ステータスになっている機器の割合を報告します。

コアの利用可能ステータス機器

CMDB [ネットワーク機器] ウィジェットで使用されるデータをグループ化して、コアネットワークドメインで [利用可能] ステータスになっている機器の割合を報告します。

モビリティ 修理待ちステータス 設備

CMDB 状態別にネットワーク機器ウィジェットで使用されるデータをグループ化して、Mobilityネットワークドメインで修理待ちステータスになっている機器の割合を報告します。

すべてのEricssonメーカー機器

すべてのネットワークドメインで Ericsson から供給される機器の合計個数を報告するために、[メーカー別のネットワーク機器] ウィジェットで使用される CMDB グループデータ。

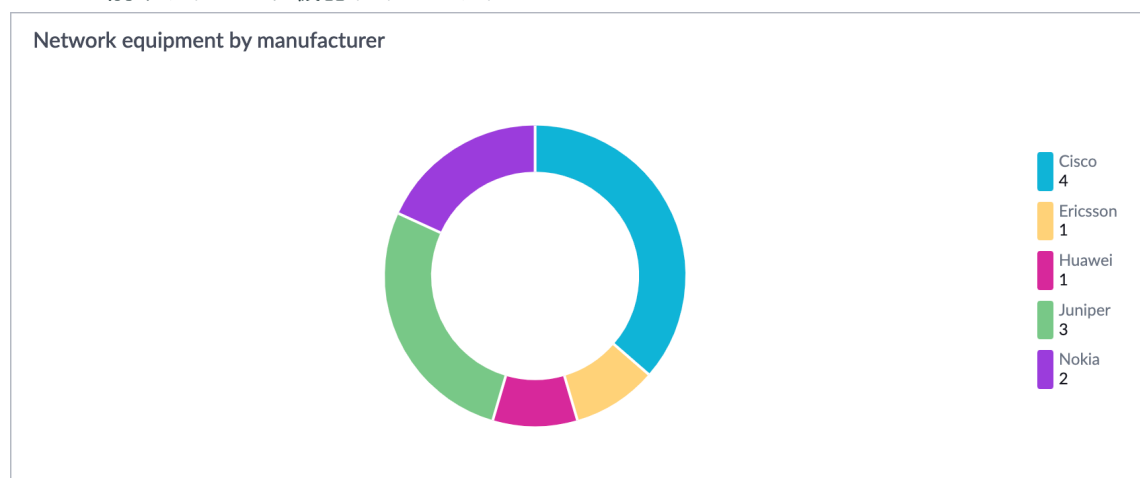
Telecom Nokia メーカー機器

電気通信ネットワークドメイン内で Nokia から供給される機器の合計個数を報告するために、[メーカー別ネットワーク機器] ウィジェットで使用される CMDB グループデータ。

[メーカー別のネットワーク機器] ウィジェットの変更

このウィジェットには、最も有名な電気通信機器メーカー 5 社の標準セットを含む円グラフが含まれています。

メーカー別ネットワーク機器ウィジェット



事前定義された CMDB グループ構造は、ウィジェット円グラフに表示されるデータの取得をサポートしています。次の例は、ネットワークインベントリワークスペースのメーカーデータを取得するために使用される標準 CMDB グループを示しています。

[メーカー別のネットワーク機器] ウィジェットに使用される標準 CMDB グループ

Group Name	Description
*manufact	Search
All Cisco Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace
All Ericsson Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace
All Huawei Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace
All Juniper Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace
All Nokia Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace
Core Cisco Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace
Core Ericsson Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace
Core Huawei Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace
Core Juniper Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace
Core Nokia Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace
Mobility Cisco Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace
Mobility Ericsson Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace
Mobility Huawei Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace
Mobility Juniper Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace
Mobility Nokia Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace
Telco Cisco Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace
Telco Ericsson Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace
Telco Huawei Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace
Telco Juniper Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace
Telco Nokia Manufacturer Equipment	Created for TNI Workspace

ウィジェットのデータを追加または変更するには、[グループ CMDB] 機能を使用して CMDB グループコードを作成するか、既存のコードに付随するクエリ条件を変更します。既存の CMDB グループを更新するには、ネットワークインベントリワークスペースウィジェットで使用される標準の CMDB グループ命名規則に従う必要があります。

i 注:

CMDBグループの作成、更新、または命名の詳細については、「[CMDB グループ](#)」を参照してください。

たとえば、別の機器メーカーをウィジェットに追加するとします。このタスクを実行するには、各ネットワークドメインの製造元の既存の CMDB グループを新しい製造元のベースとして使用できます。この例では、Ericsson の既存の CMDB グループを、新しいメーカー用に作成する CMDB グループのベースとして使用します。

この表は、Ericsson の既存の CMDB グループコードと、Dell の CMDB グループコードを作成したときの CMDB グループコードを示しています。

CMDB グループの例

既存の CMDB グループ	既存の CMDB グループ
すべてのEricssonメーカー機器	すべてのDellメーカー機器
コアエリクソンメーカー機器	Dell のコア製造元機器
モビリティエリクソンメーカー設備	モビリティ Dell メーカー機器
Telco Ericsson メーカー設備	Telco Dell 製造元機器

関連情報

[ネットワークインベントリワークスペース](#)

データ収集プロセスで使用する **CMDB** グループを更新します

[グループ CMDB 機能を使用して、ネットワークインベントリワークスペースウィジェットに表示するデータを追加または変更します。必要に応じて CMDB グループコードを作成するか、既存のグループのクエリ条件を変更します。CMDBグループを変更すると、ネットワークインベントリワークスペースランディングページのウィジェットに対して収集プロセスが取得するデータに影響します。

始める前に

必要なロール:admin、cmdb_query_builder、itil、sn_cmdb_editor

このタスクについて

ネットワークインベントリワークスペースウィジェットで使用される標準の CMDB グループ命名規則に従う必要があります。詳細については、「ネットワークインベントリワークスペースウィジェットデータの標準 CMDB グループと命名規則」というセクションを参照してください。CMDB グループの作成、更新、または命名の詳細については、「[CMDB グループ](#)」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 構成 > **CMDB** グループ。
2. ネットワークインベントリワークスペースウィジェットに関連付けられている CMDB グループのリストを表示するには、次の表を参照してください。
3. [グループ命名] リストで、[すべて] ドメイン内の既存のメーカーの CMDB グループを選択します。
たとえば、[すべてのエリクソン製造設備] を選択します。CMDB グループフォームが表示されます。
4. [名前] フィールドで、追加するメーカーの名前で Ericsson を上書きします。
たとえば、[すべての **Ericsson** 製造元の装置 (**All Ericsson Manufacturer Equipment**)] を [すべての Dell 製造元の装置 (All Dell Manufacturer Equipment)] に変更します。
5. [**CMDB** グループにエンコードされたクエリが含まれる (n)] タブをクリックします。ここで、(n) は CMDB グループのエンコードされたクエリの数を表します。
6. [**CMDB** グループにエンコードクエリが含まれる (n)] タブの [クラス] フィールドで、[cmdb_ci_ni_telco_equipment] を選択します。
CMDB グループを選択すると、選択した CMDB グループクラスのエンコードされたクエリの詳細が表示されます。
7. [条件] フィールドで、追加するメーカーの名前で Ericsson を上書きします。
たとえば、Ericsson を Dell で上書きします。
8. [Update (更新)] をクリックします。
9. 新しいメーカーの残りのネットワークドメインごとに、これらの手順を繰り返します。
次の表では、残りのネットワークドメインに対して次の CMDB グループを作成します。これらのグループは、Ericsson の CMDB コードに基づいています。

CMDB グループの例

既存の CMDB グループ	既存の CMDB グループ
コアエリクソンメーカー機器	Dell のコア製造元機器
モビリティエリクソンメーカー設備	モビリティ Dell メーカー機器
Telco Ericsson メーカー設備	Telco Dell 製造元機器

タスクの結果

ネットワークインベントリワークスペースのデータ収集プロセスが実行されると、新しいネットワークメーカーが [メーカー別のネットワーク機器] ウィジェットの円グラフに表示されます。新しい CMDB グループには、新しいメーカーに割り当てられたネットワーク機器レコードが含まれています。

関連情報

ネットワークインベントリワークスペース

ネットワークインベントリワークスペースへのアクセス

ネットワークインベントリワークスペースでネットワークドメインを設定し、選択したドメインに基づいてインベントリデータと割り当てを表示します。

始める前に

必要なロール：

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_data_loader

このタスクについて

ネットワークドメインを設定して、インベントリと割り当てを表示します。

- 選択したドメインに応じて、各ランディングページウィジェットに表示される情報が更新されます。
- ランディングページには、ドメインフィルタリングを変更するまで、選択したドメインのデータが表示され続けます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. ネットワークインベントリワークスペースに表示されるデータをフィルタリングするには、[ネットワークドメイン] を選択します
デフォルトでは、ネットワークインベントリワークスペースのランディングページに表示されるデータは、すべてのネットワークドメイン用です。
3. ネットワークドメインを選択します。
選択したネットワークドメインが [適用済み] フィールドに表示されます。
4. [利用可能] フィールドで、ネットワークドメインを検索するか、その下のボックスに表示された名前を選択します。
次のいずれかのドメインを選択できます。
5. [適用] を選択します。

関連情報

ネットワークインベントリワークスペース

ハードウェアカタログへの資産の公開

資産をハードウェアカタログに公開し、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションとハードウェア資産管理 アプリケーションの統合を使用して資産を調達できるようにします。

始める前に

資産をハードウェアカタログに公開する前に、その資産のインベントリモデルレコードが既に作成されていることを確認してください。レコードがない場合は、インベントリモデルレコードを作成できます。詳細については、「[在庫モデルの作成](#)」を参照してください。

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

資産をハードウェアカタログに公開して、カタログアイテムとして利用できるようにすることができません。サービス要求を作成することで資産を調達できます。サービス要求の作成方法の詳細については、「[資産を調達するサービス要求を作成](#)」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。インベントリモデル > 設備モデル。インターフェイスカードを公開するには、[インターフェイスカードモデル] を選択します。
3. レコードのリストから、必要なインベントリモデルレコードを選択します。
4. [ハードウェアカタログに公開] を選択します。
インベントリモデルが既にハードウェアカタログに追加されている場合、[ハードウェアカタログに公開] ボタンは表示されません。
5. [カテゴリ] フィールドで、ハードウェア資産を選択します。
6. [OK] を選択します。

タスクの結果

資産のカタログアイテムが作成されます。

関連情報

[通信事業ネットワークインベントリとハードウェア資産管理との統合](#)

在庫モデルの作成

インベントリ カatalog マネージャは、一連のフォームを使用して、通信事業ネットワークインベントリ内の各ネットワーク モデルのメタデータを定義できます。このプロセスでは、これらの各モデル間の関係も指定します。

インベントリモデルの概要

インベントリモデルで定義するメタデータは、関連するテンプレートを作成したり、機器のインスタンスをインスタンス化したりするときに重要な役割を果たします。これにより、サポートされていない機器を作成しないように、機器ベンダーによって実施された検証を確実に遵守できます。

- 名前、モデル番号、高さ、奥行きなどのインベントリモデルに含まれるメタデータは、その特定のタイプの機器のすべての個々のインスタンスで一貫性を保ちます。
- インベントリモデルの機器インスタンスを生成すると、それらすべてにこの標準メーカー情報が含まれます。

注:

テンプレートの作成と、モデルとテンプレートレコードからのネットワーク資産の生成の詳細については、以下を参照してください。

- [ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレートの作成](#)
- [設計とアサインを使用したネットワークインベントリのインスタンス化](#)

通信ネットワークの包括的なデジタルモデルを作成するには、次のタスクを実行します。

1. [機器モデル] フォームで、通信機器のインベントリモデルを作成します。
 - 機器インベントリモデルの作成は、インベントリテンプレートを使用する場合にネットワーク資産インスタンスを生成するプロセスを設定するための最初の要件です。
 - ベンダーまたは相手先ブランド供給 (OEM) が新しい機器を導入するたびに、機器モデルレコードを作成します。詳細については、「[機器モデルの作成](#)」を参照してください。
2. [機器ホルダーモデル] フォームで、機器ホルダーのインベントリモデルレコードを作成します。詳細については、「[機器所有者モデルを作成](#)」を参照してください。
3. [ネットワークインターフェイスモデル] フォームで、ネットワークインターフェイスのインベントリモデルレコードを作成します。詳細については、「[カードモデルの作成](#)」を参照してください。
4. [インターフェイスカードモデル] フォームで、ネットワークインターフェイスカードのインベントリモデルレコードを作成します。詳細については、「[ネットワークインターフェイスモデルの作成](#)」を参照してください。
5. [物理接続モデル] フォームで、各物理接続または有線接続のインベントリモデルレコードを作成します。詳細については、「[物理接続モデルの作成](#)」を参照してください。
6. [論理接続モデル] フォームで、各論理接続のインベントリモデルレコードを作成します。詳細については、「[論理接続モデルの作成](#)」を参照してください。
7. [ネットワークモデル関係] フォームで、ネットワークインベントリ内の各モデルレコード間の関係を定義します。詳細については、「[ネットワーク モデル関係の定義](#)」を参照してください。

インベントリモデル関連タブ

インベントリモデルを作成すると、次の表の情報が各インベントリモデルレコードのこれらのタブに表示されます。

インベントリモデルタブ

タブ	包含
帯域幅機能	帯域幅と、追加する必要がある物理接続モデルおよび論理接続モデルとの関係。 i 注: [帯域幅機能] タブは、物理モデルと論理モデルでのみ使用できます。
資産	ネットワーク資産情報。
構成アイテム	モデルに関連付けられている構成アイテム (CI)。
モデルコンポーネント	モデル内のコンポーネント。
ベンダーカタログアイテム	さまざまなベンダーから入手できるネットワーク資産。
ハードウェアモデルのライフサイクル	ネットワーク資産に関するライフサイクル情報。
ネットワークモデルの関係	関連するネットワークインベントリモデル

関連情報

ネットワークインベントリモデル

機器モデルの作成

ネットワーク資産インスタンスを生成するプロセスを設定するための最初の要件として、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで機器モデルを作成します。ベンダーまたは相手先ブランド供給 (OEM) が新しい機器を導入するたびに、機器モデルレコードを作成します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

機器モデルは、ベンダーまたはメーカーから提供される機器のメタデータを表します。これは、機器用に作成されたさまざまなインスタンス全体で一貫した特性を定義します。インスタンスは、サイトまたはデータセンターでのネットワーク資産の個々の発生です。このアプリケーションでは、製品メーカーの推奨事項に従ってネットワーク機器の物理的特性データを定義します。機器モデルレコードを作成すると、機器モデル [sn_ent_nw_equipment_model] にモデルレコードが作成されます 表示されます。

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. list アイコン () を選択し、インベントリモデル > 設備モデル。
3. [新規] を選択します。
4. [詳細] タブで、フィールドに入力します。

装置モデル

フィールド	説明
表示名	機器モデルに表示される名前。glide.cmdb_model.display_name.shortenシステムプロパティは、機器モデルの表示名の生成方法を制御します。
メーカー	ネットワーク資産のメーカーの名前。検索アイコン () を選択し、製造元コードを選択します。詳細については、「 メーカーコードとベンダーコードの作成 」を参照してください。
[Name (名前)]	機器モデルの名前。Now Platformは、この名前を使用してネットワークインベントリ内で識別します。

5. [詳細] タブで、[情報] セクションに入力します。

i 注:
フィールドの詳細については、「[インベントリモデルフォーム:情報](#)」を参照してください。

6. [詳細] タブで、[全般] セクションに入力します。

i 注:
フィールドの詳細については、「[インベントリモデルフォーム:一般](#)」を参照してください。

7. 互換性のある機器モデルを追加するには、[互換性を追加] を選択します。
機器モデルを操作するネットワーク資産を追跡できます。

i 注:
クラシック環境では、この機能はアドミンのみが使用できます。

8. 代替機器モデルを追加するには、[代替を追加] を選択します。
別の機器モデルを置き換えるために使用できる機器モデルを追跡できます。

i 注:

クラシック環境では、この機能はアドミンのみが使用できます。

9. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルを選択アイコン (📎) を選択します。
10. [保存] を選択します。
関連するタブがフォームに表示されます。これらのタブで情報を表示または変更できます。関連タブの詳細については、「[インベントリモデルの追加タブ](#)」を参照してください。
11. モデルを削除するには、[保存]ボタンの横にあるオプションアイコン (⋮) を選択し、[削除]を選択します。

関連情報

ネットワークインベントリモデル

機器所有者モデルを作成

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションで機器ホルダーモデルを作成し、製品メーカーの推奨事項に従って機器ホルダーの物理的特性データを定義します。機器ホルダーモデルは、ベンダーまたは相手先ブランド供給 (OEM) が新しい機器ホルダーを導入するたびに作成します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

機器所有者モデルを作成すると、機器所有者モデル [sn_ent_nw_holder_model] テーブルにモデルレコードが作成されます。

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. list アイコン (☰) を選択し、インベントリモデル > 機器所有者モデル。
3. [新規] を選択します。
4. [詳細] タブで、フィールドに入力します。

機器ホルダーモデル

フィールド	説明
表示名	機器所有者モデルに表示される名前。 <i>glide.cmdb_model.display_name.shorten</i> システムプロパティは、機器所有者モデルの表示名を生成する方法を制御します。
メーカー	ネットワーク資産のメーカーの名前。検索アイコン (🔍) を選択し、製造元コードを選択します。詳細については、「 メーカーコードとベンダーコードの作成 」を参照してください。
[Name (名前)]	機器所有者モデルの名前。Now Platformは、この名前を使用してネットワークインベントリ内で識別します。

5. [詳細] タブで、[全般] セクションに入力します。

i 注:

フィールドの詳細については、「[インベントリモデルフォーム:一般](#)」を参照してください。

6. [詳細] タブで、[情報] セクションに入力します。

i 注:

フィールドの詳細については、「[インベントリモデルフォーム:情報](#)」を参照してください。

7. 互換性のある機器所有者モデルを追加するには、[互換性を追加] を選択します。
機器モデルを操作できるネットワーク資産を追跡できます。

i 注:

クラシック環境では、この機能はアドミンのみが使用できます。

8. 代替機器所有者モデルを追加するには、[代替を追加] を選択します。
別の機器モデルを置き換えるために使用する機器モデルを追跡できます。

i 注:

クラシック環境では、この機能はアドミンのみが使用できます。

9. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルを選択()を選択します。

10. [保存] を選択します。

関連するタブがフォームに表示されます。タブ情報を表示または変更できます。関連タブの詳細については、「[インベントリモデルの追加タブ](#)」を参照してください。

11. モデルを削除するには、[保存]ボタンの横にあるオプションアイコン()を選択し、[削除]を選択します。

関連情報

[ネットワークインベントリモデル](#)

カードモデルの作成

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションでカードモデルを作成し、製品メーカーの推奨事項に従ってカードの物理的特性データを定義します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

カードモデルは、カードのメタデータを定義します。メタデータは、そのモデルのインスタンス化されたさまざまなカード間で一貫した属性です。カードモデルを作成すると カードモデル [カードモデル [sn_ent_nw_card_model] テーブルにモデルレコードが作成されます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. list アイコン ()を選択) し、 インベントリモデル > カードモデル。
3. [新規] を選択します。

4. [詳細] タブで、フィールドに入力します。

カードモデル

フィールド	説明
表示名	カードモデルに表示される名前。 <code>glide.cmdb_model.display_name.shorten</code> システムプロパティは、インターフェイスカードモデルの表示名の生成方法を制御します。
メーカー	ネットワーク資産のメーカーの名前。検索アイコン () を選択し、製造元コードを選択します。詳細については、「 メーカーコードとベンダーコードの作成 」を参照してください。
[Name (名前)]	カードモデルの名前。Now Platformは、この名前を使用してネットワークインベントリ内で識別します。

5. [詳細] タブで、[全般] セクションに入力します。

- i** 注:
フィールドの詳細については、「[インベントリモデルフォーム:一般](#)」を参照してください。

6. [詳細] タブで、[情報] セクションに入力します。

- i** 注:
フィールドの詳細については、「[インベントリモデルフォーム:情報](#)」を参照してください。

7. 互換性のあるカードモデルを追加するには [互換性を追加] を選択します。 カードモデルで動作するネットワーク資産を追跡できます。

- i** 注:
クラシック環境では、この機能はアドミンのみが使用できます。

8. 代替カードモデルを追加するには、[代替を追加]を選択します。 別のカードモデル代替に使用するカードモデルを追跡できます。

- i** 注:
クラシック環境では、この機能はアドミンのみが使用できます。

9. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルを選択アイコン () を選択します。

10. [保存] を選択します。 関連するタブがフォームに表示されます。タブ情報を表示または変更できます。関連タブの詳細については、「[インベントリモデルの追加タブ](#)」を参照してください。

11. モデルを削除するには、「保存」(Save) ボタンの横にあるオプションアイコン () を選択し、「削除」(Delete) をクリックします。

関連情報

[ネットワークインベントリモデル](#)

ネットワークインターフェイスモデルの作成

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションでネットワークインターフェイスモデルを作成し、メーカーの製品 推奨事項に従ってネットワークインターフェイスの物理的特性データを定義します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

ネットワークインターフェイスモデルを作成すると、ネットワークインターフェイスモデル [sn_ent_nw_interface_model] テーブルにモデルレコードが作成されます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. list アイコン () を選択し、 インベントリモデル > インターフェイスモデル。
3. [新規] を選択します。
4. [詳細] タブで、フィールドに入力します。

ネットワークインターフェイスモデル

フィールド	説明
表示名	ネットワークインターフェイスモデルに表示される名前。 <code>glide.cmdb_model.display_name.shorten</code> システムプロパティは、ネットワークインターフェイスモデルの表示名を生成する方法を制御します。
メーカー	ネットワーク資産のメーカーの名前。 検索アイコン () を選択し、 製造元コードを選択します。 詳細については、「 メーカーコードとベンダーコードの作成 」を参照してください。
[Name (名前)]	ネットワークインターフェイスモデルの名前。 Now Platformは、この名前を使用してネットワークインベントリ内で識別します。

5. [詳細] タブで、[全般] セクションに入力します。

注:
フィールドの詳細については、「[インベントリモデルフォーム:一般](#)」を参照してください。

6. フォーム の [詳細] タブでフィールド に入力します。

注:
フィールドの詳細については、「[ネットワークインターフェイスモデルフォーム - \[情報\] タブ](#)」を参照してください。

7. 互換性のあるネットワークインターフェイスモデルを追加するには、[互換性を追加] を選択します。
ネットワークインターフェイスモデルで動作するネットワーク資産を追跡できます。

注:
クラシック環境では、この機能はアドミンのみが使用できます。

8. 代替ネットワークインターフェイスモデルを追加するには、[代替を追加] を選択します。
別のネットワークインターフェイスモデルの代わりに使用するネットワークインターフェイスモデルを追跡できます。

i 注:

クラシック環境では、この機能はアドミンのみが使用できます。

9. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルを選択アイコン (📎) を選択します。
10. [保存] を選択します。
関連するタブがフォームに表示されます。タブ情報を表示または変更できます。関連タブの詳細については、「[インベントリモデルの追加タブ](#)」を参照してください。
11. モデルを削除するには、[保存] ボタンの横にあるオプションアイコン (⋮) を選択し、[削除] を選択します。

関連情報

ネットワークインベントリモデル

ケーブル モデルの作成

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションでケーブルモデルを作成し、メーカーの推奨製品に従ってケーブルの物理的特性データを定義します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

ケーブルモデルを作成すると、ケーブルモデル [sn_ent_cable_model] テーブルにモデルレコードが作成されます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン (☰) を選択し、次に移動します。 インベントリモデル > ケーブルモデル。
3. [New (新規)] を選択します。
4. [詳細] タブで、フィールドに入力します。

i 注:

フィールドの詳細については、「[ケーブルモデルフォーム](#)」を参照してください。

5. 右側のパネルで添付ファイルアイコン (📎) を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
6. [Save (保存)] をクリックする。
関連するタブがフォームに表示されます。タブ情報を表示または変更できます。関連タブの詳細については、「[インベントリモデルの追加タブ](#)」を参照してください。

次のタスク

モデルを削除するには、[保存] ボタンの横にある (⋮) を選択し、[削除] を選択します。

関連情報

ネットワークインベントリモデル

ストランドモデルを作成

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションでストランドモデルを作成し、メーカーの製品推奨事項に従ってストランドの物理的特性データを定義します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

ストランドモデルを作成すると、ストランドモデル [sn_ent_strand_model] テーブルにモデルレコードが作成されます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。 インベントリモデル > ストランドモデル。
3. **[New (新規)]** を選択します。
4. **[詳細]** タブで、フィールドに入力します。

i 注:

フィールドの詳細については、「[ストランドモデルフォーム](#)」を参照してください。

5. 右側のパネルで添付ファイルアイコン () を選択して、グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加します。
6. **[Save (保存)]** をクリックする。
関連するタブがフォームに表示されます。タブ情報を表示または変更できます。関連タブの詳細については、「[インベントリモデルの追加タブ](#)」を参照してください。

次のタスク

モデルを削除するには、[保存] ボタンの横にある () を選択し、[削除] を選択します。

関連情報

ネットワークインベントリモデル

物理接続モデルの作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで物理接続モデルを作成して、さまざまな物理接続のメタデータを定義します。物理接続モデルでは、モデルのインポート、ファイルまたは画像の添付、オプションのフィールドの追加または削除、互換性と代入の追加を行うことができます。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

物理接続モデルレコードを作成すると、物理接続モデル [sn_ent_physical_nw_connection_model] テーブルにモデルが作成されます。

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. list アイコン () を選択し、インベントリモデル > 物理接続モデル。
3. [新規] を選択します。
4. [詳細] タブで、物理接続モデルの共通情報を入力します。
次の表に、物理接続フォームに固有のフィールドを示します。

物理接続モデル

フィールド	説明
表示名	物理接続モデルに表示される名前。 <code>glide.cmdb_model.display_name.shorten</code> システムプロパティは、物理接続モデルの表示名を生成する方法を制御します。
メーカー	物理接続モデルのメーカー名を選択します。
[Name (名前)]	モデルマネージャーによって指定された、メーカーが割り当てた物理接続モデルの名前。

5. [詳細] タブで、物理接続モデルのフォームの [全般] セクションに入力します。

注:
フィールドの詳細については、「[インベントリモデルフォーム:一般](#)」を参照してください。

6. [詳細] タブで、物理接続モデルのフォームの情報セクションに入力します。
フィールドの詳細については、「[インベントリモデルフォーム:情報](#)」を参照してください。
7. 互換性のあるモデルを追加するには、[互換性を追加] を選択します。
歯車アイコン () を使用して、互換性のリストをカスタマイズできます。

注:
クラシック環境では、この機能はアドミンのみが使用できます。

8. 代替物理接続モデルを追加するには、[代替を追加] を選択します。
別のネットワークインターフェイスモデルの代わりに使用するネットワークインターフェイスモデルを追跡できます。

注:
クラシック環境では、この機能はアドミンのみが使用できます。

9. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルを選択アイコン () を選択します。
10. [保存] を選択します。
関連するタブがフォームに表示されます。タブ情報を表示または変更できます。関連タブの詳細については、「[インベントリモデルの追加タブ](#)」を参照してください。
11. モデルを削除するには、「保存」(Save) ボタンの横にあるオプションアイコン () を選択し、「削除」(Delete) をクリックします。

関連情報

ネットワークインベントリモデル

論理接続モデルの作成

ServiceNow 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで論理接続モデルを作成して、さまざまな論理接続のメタデータを定義します。論理接続モデルでは、モデルのインポート、ファイルまたは画像の添付、オプションフィールドの追加または削除、互換性と代入の追加を行うことができます。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

論理接続モデル レコードを作成すると、論理接続モデル [sn_ent_logical_nw_connection_model] テーブルにモデルが作成されます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し インベントリモデル > 論理接続モデル。
3. [新規] を選択します。
4. [詳細] タブで、論理接続モデルの共通情報を入力します。
次の表に、論理接続フォームに固有のフィールドを示します。

論理接続モデル

フィールド	説明
表示名	論理接続モデルに表示される名前。 <i>glide.cmdb_model.display_name.shorten</i> システムプロパティは、論理接続モデルの表示名を生成する方法を制御します。
メーカー	ネットワーク資産のメーカーの名前。検索アイコン () を選択し、製造元コードを選択します。詳細については、「 メーカーコードとベンダーコードの作成 」を参照してください。
[Name (名前)]	モデルマネージャーによって指定された論理接続モデルのメーカー割り当て名。

5. [詳細] タブで、論理接続モデルの一般セクション情報を入力します。

i 注:

フィールドの詳細については、「[インベントリモデルフォーム:一般](#)」を参照してください。

6. [詳細] タブで、論理接続モデルの情報セクションを入力します。
フィールドの詳細については、「[インベントリモデルフォーム:情報](#)」を参照してください。
7. 互換性のあるモデルを追加するには、[互換性を追加] を選択します。

歯車 () アイコンを使用して、互換性テーブルのリストをカスタマイズできます。

i 注:

クラシック環境では、この機能はアドミンのみが使用できます。

8. 代替論理接続モデルを追加するには、[代替の追加] を選択します。

別のネットワークインターフェイスモデルの代わりに使用するネットワークインターフェイスモデルを追跡できます。

i 注:

クラシック環境では、この機能はアドミンのみが使用できます。

9. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルで添付ファイルアイコン (📎) を選択します。

10. [保存] を選択します。

関連するタブがフォームに表示されます。タブ情報を表示または変更できます。関連タブの詳細については、「[インベントリモデルの追加タブ](#)」を参照してください。

11. モデルを削除するには、[保存]ボタンの横にあるオプションアイコン(⋮)を選択し、[削除]を選択します。

関連情報

ネットワークインベントリモデル

ネットワークトポロジモデルの作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワークトポロジモデルを作成し、推奨事項に従ってトポロジのメタデータを定義します。トポロジモデルを使用して、設計およびアサイン機能を使用してレコードを作成できます。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

ネットワーク トポロジ モデル レコードを作成すると、ネットワーク トポロジ モデル [sn_ent_network_topology_model] テーブルにモデルが作成されます。

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン (☰) を選択し、次に移動します。インベントリモデル > ネットワークトポロジモデル。
3. **[New (新規)]** を選択します。
4. **[詳細]** タブで、フィールドに入力します。

ネットワークトポロジモデルフォーム

フィールド	説明
動作	トポロジ構造のタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 - リング 各ノードは隣接するノードとリンクされ、閉じたネットワークを形成します。 - リニアバス すべてのノードは、順次チェーンで次々に接続されます。 - メッシュ

フィールド	説明
星	ノードは、できるだけ多くの他のノードに直接、動的に、非階層的に接続され、互いに連携してデータをルーティングします。
ツリー	すべてのノードは、通信リンクを使用して中央ハブに接続されます。
	ノードは、木の葉、枝、幹に似た構成で配置されています。
ノード数	トポロジで許可されているノードの合計数。
タイプ	トポロジのタイプ。次のいずれかを選択します。 - 汎用 - 製品

共通フィールドの詳細については、「[インベントリモデルフォーム:一般](#)」を参照してください。

5. [Save (保存)] をクリックする。

関連するタブがフォームに表示されます。タブ情報を表示または変更できます。関連タブの詳細については、「[インベントリモデルの追加タブ](#)」を参照してください。

次のタスク

設計およびアサイン機能を使用して、トポロジレコードを作成します。詳細については、「[設計とアサインを使用したネットワークトポロジレコードの作成](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワークトポロジの可視化](#)

[ネットワークインベントリモデル](#)

ネットワーク モデル関係の定義

ネットワークモデルエンティティ間の関係をキャプチャする 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワークモデル関係を作成します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

モデル関係は、インベントリモデル間の関係をキャプチャします。さまざまなネットワークモデルエンティティ間の関係を定義することで、これらのエンティティ間の互換性を定義することもできます。

たとえば、[関係タイプ] フィールドで [スロットに機器] を選択した場合、特定の機器インベントリモデルと特定のスロットインベントリモデル間の関係を定義できます。この場合、指定されたスロットモデルのスロット数が、指定された機器モデルと互換性があることがわかります。詳細については、「[ネットワークインベントリ関係のモデル化](#)」を参照してください。

ネットワーク モデル リレーションシップを作成すると、ネットワーク モデル [sn_ni_core_network_model_relationship] テーブルにモデルが作成されます。

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
 2. リストアイコン () をクリックし、インベントリモデル > ネットワークモデルの関係。
 3. **[New]** をクリックします。
 4. 一般情報を入力して、ネットワークモデル関係を作成します。
- 注:**
フィールドの詳細については、「[\[ネットワークモデルの関係\] フィールド](#)」を参照してください。
5. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、右側のパネルの [添付ファイル]  をクリックします。
 6. **[Save (保存)]** をクリックします。
 7. モデルを削除するには、「保存」(Save) ボタンの横にあるオプションアイコン () をクリックし、「削除」(**Delete**) をクリックします。

関連情報

[ネットワークインベントリモデル](#)

[ネットワークインベントリ関係のモデル化](#)

ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレートの作成

インベントリテンプレートマネージャーは、ネットワークインベントリワークスペースのリストビューからアクセスする機能を使用してテンプレートを作成します。これらのテンプレートには、機器を適切に構成できるように詳細なビジネスガイダンスルールが含まれています。このプロセスでは、各インベントリテンプレート間の関係も指定します。

インベントリテンプレートには、機器を構成するための適切な方法に関するルールが含まれています。これらのルールは、メーカーからの運用要件に基づいています。テンプレートには、利用可能なスロットの数や、機器のハードウェアが関連する機器と互換性があるかどうかなどの情報も含まれています。

ネットワークインベントリテンプレートは、ネットワークサービスプロバイダーがビジネスガイダンスに基づいてインスタンス化するネットワークエンティティの一意の構成を表します。テンプレートとその関係を適切に定義すると、インスタンス化プロセスではベンダーの設定ルールが使用され、サポートされていないネットワーク資産インスタンスは生成されません。

- 注:**
テンプレートの作成と、モデルとテンプレート レコードからのネットワーク資産の生成の詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデル化](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワークインベントリテンプレート](#)

インベントリテンプレートを作成する

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションでインベントリテンプレートを作成して、作成したインベントリモデルの構成を表します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_template_manager

このタスクについて

ネットワークインベントリテンプレートには、通信プロバイダーからの詳細なビジネスガイドンスルールのセットが含まれています。これらのルールは、特定の運用要件に基づいて機器構成を生成する方法を示しています。インベントリテンプレートを作成すると、インベントリテンプレート [sn_ni_core_inventory_template] テーブルにテンプレートが作成されます。インベントリテンプレートの詳細については、次のトピックを参照してください。

- [ネットワークインベントリテンプレート](#)
- [作成 インベントリテンプレート 関係](#)

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。 ネットワークインベントリテンプレート > インベントリテンプレート。
3. [New (新規)] を選択します。
4. [詳細] タブで、一般情報を入力してインベントリテンプレートを作成します。
次の表に、インベントリテンプレートに固有のフィールドを示します。

インベントリテンプレート

フィールド	説明
[Name (名前)]	モデルマネージャーによって指定された、このインベントリテンプレートにメーカーが割り当てた名前。
インベントリモデル	通信事業ネットワークインベントリに関連するすべての製品モデルのリスト。検索アイコン () を選択し、モデルを選択します。詳細については、「 在庫モデルの作成 」を参照してください。
デフォルトフィールド値	デフォルトの CI 属性値を定義できるデフォルトテンプレート。リストの値は、選択したインベントリモデルによって異なります。検索アイコン () を選択し、タイプコードを選択します。詳細については、「 デフォルトテンプレートの作成 」を参照してください。
バージョン	テンプレートのバージョン
親帯域幅	親製品モデルの帯域幅。 i 注: この属性は、論理接続モデルを選択し、関係タイプが [論理接続からチャンネル] である場合にのみ表示されます。
子帯域幅	子製品モデルの帯域幅。 i 注: この属性は、論理接続モデルを選択し、関係タイプが [論理接続からチャンネル] である場合にのみ表示されます。

5. グラフィックやドキュメントなどの添付ファイルを追加するには、[添付ファイル] アイコン ()

6. [Save (保存)] をクリックする。

[関連テンプレート] タブは、関連テンプレートを表示、追加、更新、および削除できる [詳細] タブの横に表示されます。関連テンプレートの下に関連テンプレートを追加することもできます。

注:

- a. ラックとスロット、機器とスロット、機器とインターフェイス、インターフェイスカードとスロット、またはインターフェイスカードとインターフェイス間のネットワークモデル関係を定義した場合、スロットとインターフェイスは、機器またはインターフェイスカードの [関連テンプレート] の下に自動的に作成されます。それ以外の場合は、[新規] を使用して手動で追加します。
- b. 作成した各ラックユニットまたはスロットの [関連テンプレート] タブで、ラックまたはシェルフにシェルフ/機器を追加します。各シェルフに機器を追加することもできます。詳細については、「[関連テンプレートフォーム](#)」を参照してください。
- c. 関連するテンプレートの [名前パターン] 列から、各テンプレートの命名パターンを直接更新できます。作成されたスロットまたはインターフェイスの名前パターンは、モデルのデフォルトパターンからフェッチされます。詳細については、「[インベントリモデルフォーム:情報](#)」を参照してください。
- d. スロットにインターフェイスカードを追加するには、スロット > 関連テンプレート > 新規 をクリックし、必要な詳細を入力します。

次のタスク

テンプレートを削除するには、オプションアイコン () を選択し、削除 を選択します。

デフォルトテンプレートの作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでデフォルトのテンプレートを作成して、特定の構成アイテム (CI) クラスのデフォルトの属性定義をキャプチャします。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_template_manager

このタスクについて

デフォルトテンプレートは、構成アイテム (CI) クラスのデフォルトの属性値をキャプチャします。テンプレートは、任意のリソース (機器、カードなど) の属性値のセットを定義します。このデフォルトテンプレートがインベントリテンプレートに関連付けられると、そのテンプレートを使用してインスタンス化されたリソースにこれらの属性値が追加されます。

[テンプレート] フィールドを使用して CI クラス情報を格納するテーブルを選択すると、特定の属性を選択して各属性のデフォルト値を設定できます。デフォルトテンプレートを作成すると、テンプレート [sn_ni_core_default_template] テーブルにデフォルトのテンプレートレコードが作成されます。デフォルトのテンプレートの詳細については、「[ネットワークインベントリテンプレート](#)」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [list アイコン () をクリックし、ネットワークインベントリテンプレート > デフォルトテンプレート。
3. [New] をクリックします。
4. フォームで、一般情報を入力してデフォルトのテンプレートを作成します。

フィールドの詳細については、「[デフォルトテンプレートフォーム](#)」を参照してください。

5. **[Save (保存)]** をクリックします。

6. フォームをスケジュールするには、**[スケジュール]** をクリックし、**[スケジュール済みエンティティ生成]** フォームに入力します。

i 注:

スケジュールはクラシック環境でのみ使用できます。

フィールドの詳細については、「[予定エンティティ生成フォーム](#)」を参照してください。

作成 インベントリテンプレート 関係

このシーケンスは、機器のインベントリテンプレートを作成し、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで適切なテンプレート関係を確立するときにガイドとして使用してください。

テンプレートの関係を作成する順序

機器のインスタンス化、または作成したインベントリテンプレート関係からネットワーク資産インスタンスを生成するタスクは、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの重要な機能です。適切に運用するには、正確なインベントリモデル、デフォルトテンプレート、およびインベントリテンプレートを特定の順序で作成して、適切な機器関係を確立する必要があります。

i 注:

機器のインスタンス化の詳細については、「[電気通信の設計とアサイン](#)」を参照してください。

機器またはカードテンプレートを作成すると、モデル関係のデータを使用して、関連するスロットとインターフェイステンプレートが自動的に作成されます。モデル関係が作成されていない場合、関連するテンプレートは作成されません。この場合、テンプレートを手動で作成する必要があります。モデル関係の詳細については、「[ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレートの作成](#)」を参照してください。たとえば、機器モデルのテンプレートを作成すると、Telco 機器ホルダー (スロット) やインターフェイスなど、関連するテンプレートが自動的に作成されます。

これらの関連テンプレートの名前は、機器モデルフォームまたはインターフェイスモデルフォームの **[情報]** タブにある **[スロット命名パターン]** または **[インターフェイス命名パターン]** フィールドからマッピングされます。

- **[スロット命名パターン]** または **[インターフェイス命名パターン]** フィールドの詳細については、「[インベントリモデルフォーム:情報](#)」を参照してください。
- 命名規則の詳細については、「[関連テンプレートの命名規則](#)」を参照してください。

機器のこれらの要素間の適切な関係を確立するには、次の順序でこれらのタスクを実行します。

デフォルトテンプレートの確立

このプロセスの最初のステップは、在庫テンプレートの関係シーケンスで使用する適切な既定のテンプレートを作成することです。

デフォルトテンプレートは、構成アイテム (CI) クラスのデフォルトの属性値をキャプチャします。テンプレートは、任意のリソース (機器、カードなど) の属性値のセットを定義します。このデフォルトテンプレートがインベントリテンプレートに関連付けられると、そのテンプレートを使用してインスタンス化されたリソースにこれらの属性値が追加されます。

詳細については、「[デフォルトテンプレートの作成](#)」を参照してください。

次のステップ

デフォルトのテンプレートを作成したら、機器モデルのインベントリテンプレートを作成することからシーケンスを開始します。詳細については、「[機器モデルのインベントリテンプレートの作成](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレートの作成](#)

機器モデルのインベントリテンプレートの作成

ネットワークインベントリワークスペースのリストビューのインベントリテンプレートフォームで、機器モデルのインベントリテンプレートを作成できます。

手順

機器インベントリモデルを作成するときは、次の情報を入力する必要があります。

1. 名前 フィールドとインベントリ モデル フィールドでは、名前とインベントリ モデル番号はその機器に対して一意である必要があり、他の機器と同じにすることはできません。
2. インベントリモデルフィールドに、機器モデルの参照修飾子を入力する必要があります。
3. [デフォルトフィールド値] フィールドで、デフォルトの属性値にタグ付けするためのデフォルトテンプレートを選択する必要があります。

i 注:

これらのルールは、このプロセスの残りのステップにも適用されます。詳細については、以下を参照してください。

- [インベントリテンプレートを作成する](#)
- [デフォルトテンプレートの作成](#)

機器モデルのインベントリテンプレート

次のステップ

次に、関連するインターフェイスカードモデルのインベントリテンプレートを作成します。詳細については、「[関連するインターフェイスカードモデルのインベントリテンプレートの作成](#)」を参照してください。

関連情報

ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレートの作成

関連するインターフェイスカードモデルのインベントリテンプレートの作成

[ネットワークインベントリワークスペース] リストビューの [インベントリテンプレート] フォームで、機器インベントリテンプレートに関連付けられているインターフェイスカードモデルのインベントリテンプレートを作成できます。

手順

次の例は、インターフェイスカードモデルのインベントリテンプレートを示しています。

インターフェイスカードモデルのインベントリテンプレート

注:

機器モデルがインターフェイスカードの複数のモデルをサポートしている場合は、モデルごとに個別のインベントリテンプレートを作成する必要があります。

次のステップ

次に、関連するネットワークインターフェイスモデルのインベントリテンプレートを作成します。詳細については、「[関連するネットワークインターフェイスモデルのインベントリテンプレートの作成](#)」を参照してください。

関連情報

ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレートの作成

関連するネットワークインターフェイスモデルのインベントリテンプレートの作成

[ネットワークインベントリワークスペース] リストビューの [インベントリテンプレート] フォームで、機器インベントリテンプレートに関連付けられているネットワークインターフェイスモデルのインベントリテンプレートを作成できます。

手順

次の例は、ネットワークインターフェイスモデルのインベントリテンプレートを示しています。

ネットワークインターフェイスモデルのインベントリテンプレート

GE

Details

Inventory Template

Name *

GE

Inventory model *

GigabitEthernet

Inventory template

Available templates

Default Field Values

High Speed Interface Default Data

Version

Name Pattern

GE

Attachments

No Attachments Available

Browse for a file to add it as an attachment

Browse

注:

機器モデルが複数のネットワークインターフェイスモデルをサポートしている場合は、モデルごとに個別のインベントリテンプレートを作成する必要があります。

次のステップ

次に、機器テンプレートにスロットを追加します。詳細については、「[機器インベントリテンプレートへのスロットの追加](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレートの作成](#)

機器インベントリテンプレートへのスロットの追加

ネットワークインベントリワークスペースのリストビューで作成した機器インベントリテンプレートで、[関連テンプレート] タブを使用してスロットの関連付けを作成します。次の例は、機器モデルの関連インベントリテンプレートを追加する方法を示しています。

手順

1. [関連テンプレート] タブで、[新規] をクリックします。

機器モデルインベントリテンプレート:関連テンプレート

7450 ESS-1 Template

Details

Related Templates

Related Templates

Last refreshed just now.

Attachments

2. [名前] フィールドに、スロットの一意の名前を入力します。ネットワーク資産インスタンスを生成すると、生成プロセスによってこの名前がスロットに割り当てられます。

3. インベントリ モデル フィールドに、この機器インベントリ テンプレートに関連付けられている機器所有者モデルが表示されます。機器所有者関係との既存の関係がない場合は、必要に応じて任意のスロットモデルを選択できます。

注:

[関連テンプレート] タブに接続されているスロットに対してインベントリテンプレートが作成されているように見えますが、デフォルトのテンプレート値のみが作成および保存されます。作成されたレコードは正式なインベントリテンプレートとは見なされず、Template=N 属性で内部的にフラグが付けられます。

スロットへのインターフェイスカードの追加

The screenshot shows the 'Slot-1' details page. The 'Inventory Template' section includes the following fields:

- Name *: Slot-1
- Inventory model *: Nokia 7450 ESS-1 Traffic Slot
- Relationship type *: Contains::Contained by
- Inventory template: (empty)
- Parent: 7450 ESS-1 Template
- Available templates: (empty)
- Default Field Values: Traffic Slot Default Data
- Version: (empty)
- Name Pattern: Slot-1

The 'Attachments' section on the right indicates 'No Attachments Available' and provides a 'Browse' button.

関連するスロットをすべて作成すると、すべてのスロットが [関連テンプレート] タブに表示されます。

すべての関連スロットを含む機器インベントリテンプレート

The screenshot shows the '7450 ESS-1 Template' details page. The 'Related Templates' section displays the following table:

Name	Inventory model	Available templates	Updated	Name Pattern
Slot-2	Nokia 7450 ESS-1 Traffic Slot		2022-06-13 05:05:32	Slot-2
Slot-1	Nokia 7450 ESS-1 Traffic Slot		2022-06-13 05:12:08	Slot-1

The 'Attachments' section on the right indicates 'No Attachments Available' and provides a 'Browse' button.

注:

スロットのインベントリテンプレートがない場合は、[デフォルトフィールド値] フィールドでデフォルトテンプレートを選択して、割り当てられたスロットのデフォルト属性を設定します。

次のステップ

次に、機器テンプレートにネットワークインターフェイスを追加します。詳細については、「[機器テンプレートへのネットワークインターフェイスの追加](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレートの作成](#)

機器テンプレートへのネットワークインターフェイスの追加

ネットワークインベントリワークスペースのリストビューで作成した機器インベントリテンプレートで、[関連テンプレート] タブを使用して、関連するネットワークインターフェイスを追加します。

手順

ネットワークインターフェイスを追加するには、スロットを追加したのと同じ方法で行います。詳細については、「[機器インベントリテンプレートへのスロットの追加](#)」を参照してください。

機器モデルのインベントリテンプレート:関連テンプレート

The screenshot shows the '7450 ESS-1 Template' details page. The 'Related Templates (2)' tab is active. The form contains the following fields:

- Name *: 7450 ESS-1 Template
- Inventory model *: Nokia 7450 ESS-1
- Inventory template: [Empty]
- Parent: [Empty]
- Available templates: [Empty]
- Default Field Values: Edge Router Default Data
- Version: [Empty]
- Name Pattern: [Empty]

The 'Attachments' panel on the right indicates 'No Attachments Available' and provides a 'Browse' button to add attachments.

1. [関連テンプレート] タブで、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドに、ネットワークインターフェイスの一意の名前を入力します。ネットワーク資産インスタンスを生成すると、生成プロセスによってこの名前がスロットに割り当てられます。

インベントリ モデル フィールドに、機器インベントリ テンプレートに関連付けられている機器インベントリ モデルが表示されます。関連するインベントリモデルがある場合は、必要に応じて選択できます。

ネットワークインターフェ이스の追加

10 GigabitEthernet Template Save ...

Details

Inventory Template

Name *
10 GigabitEthernet Template

Inventory model *
10 GigabitEthernet

Inventory template
[Search]

Available templates
[Search]

Default Field Values
High Speed Interface Default Data

Version
[Search]

Name Pattern
10 GigabitEthernet Template

Attachments

No Attachments Available
Browse for a file to add it as an attachment
Browse

次のステップ

次に、スロットにインターフェイスカードを追加します。詳細については、「[スロットテンプレートへのインターフェイスカードテンプレートの追加](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレートの作成](#)

スロットテンプレートへのインターフェイスカードテンプレートの追加

ネットワークインベントリワークスペースのリストビューで作成した機器インベントリテンプレートで、[関連テンプレート] タブを使用して、選択したスロットにインターフェイスカードを追加します。

手順

[関連テンプレート] タブで、インターフェイスカードを追加するスロットを選択します。

すべての関連スロットを含む機器インベントリテンプレート

7450 ESS-1 Template Save ...

Details Related Templates (2)

Related Templates 2
Last refreshed just now.

Name	Inventory model	Available templates	Updated	Name Pattern
Slot-2	Nokia 7450 ESS-1 Traffic Slot		2022-06-13 05:05:32	Slot-2
Slot-1	Nokia 7450 ESS-1 Traffic Slot		2022-06-13 05:12:08	Slot-1

Attachments

No Attachments Available
Browse for a file to add it as an attachment
Browse

スロットレコードが表示されたら、[関連テンプレート] タブで [新規] をクリックします。関連付けられたインターフェイスカードのインベントリテンプレートを作成します。

関連付けられたインターフェイスカードのインベントリテンプレート

1. [名前] フィールドにインターフェイスカードの名前を入力します。
2. [インベントリモデル] フィールドで、指定されたスロットとインターフェイスカードモデルの関係に従って関連付けられたネットワークインターフェイスカード。関連するインベントリモデルがある場合は、必要に応じて選択できます。

フォームを送信すると、関連付けられたスロットの [関連テンプレート] タブにインターフェイスが表示されます。関連するインターフェイスカードがある場合は、機器テンプレートのすべてのスロットをペアリングするまでこの手順を繰り返します。

次の例は、関連付けられたインターフェイスカードを持つスロットのインベントリテンプレートを示しています。

インターフェイスカードが関連付けられているスロット

Name	Inventory model	Available templates	Updated
card compatibilities of ESS	Nokia 7450 ESS-1 MDA CARD MODULE	ESP 20 Card Template, 4780423f54e18110f87749bbc4ad3822	2022-06-12 02:49:29

カードモデルに [スロット占有] 属性があり、その値が 1 より大きい場合、[スロット占有] フィールドがフォームに表示されます。これにより、このカードがインスタンス化されるときに、他のスロットもアタッチされていることを識別できるようになります。このフィールドを使用して、その機器に接続されている他のスロットが、選択しているネットワークインターフェイスと互換性があるかどうかを示すことができます。

次のステップ

次に、ネットワークインターフェイステンプレートにサブスロットを追加します。詳細については、「[インターフェイスカードテンプレートへのサブスロットテンプレートの追加](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレートの作成](#)

インターフェイスカードテンプレートへのサブスロットテンプレートの追加

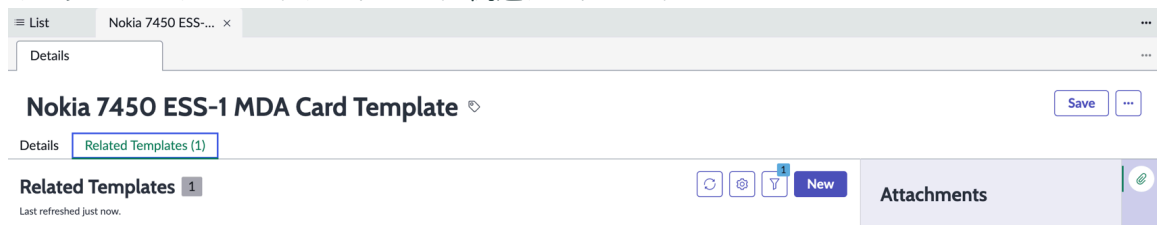
[ネットワークインベントリワークスペース] リストビューの [インベントリテンプレート] フォームで、作成したインターフェイスカードテンプレートにサブスロットを追加できます。この手順は、既存の機器インベントリテンプレートに新しいカードモデルを追加するたびに実行します。

手順

インターフェイスカードが SFP(Small Form Pluggable)をサポートしている場合、カードにはスロットがあります。この関係を作成するには、機器インベントリテンプレートでスロットを追加するために使用したのと同じ手順を使用できます。詳細については、「[機器インベントリテンプレートへのスロットの追加](#)」を参照してください。

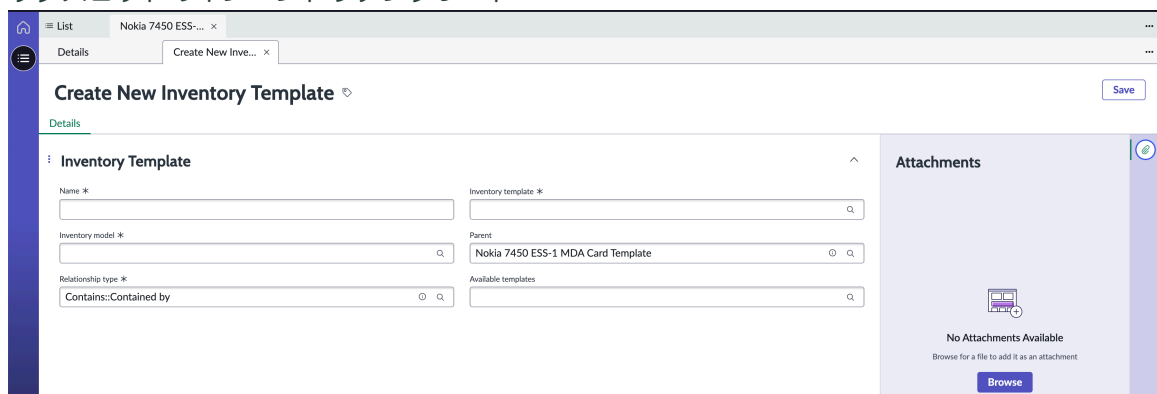
次の例は、サブスロットが追加されたインベントリカードテンプレートを示しています。

インターフェイスカードテンプレート:関連テンプレート



インターフェイスカードテンプレートの [関連テンプレート(**Related Templates**)] タブで、[新規(**New**)] をクリックしてサブスロットインベントリテンプレートを作成します。

サブスロットのインベントリテンプレート



サブスロットインベントリテンプレートを送信すると、インターフェイスカードの [関連テンプレート] タブに表示されます。

関連するサブスロットを持つインターフェイスカードテンプレート

sub slot-1

Details Related Templates (1)

Inventory Template

Name * sub slot-1

Parent Nokia 7450 ESS-1 MDA Card Template

Inventory model * Nokia 7450 ESS-1 Traffic SFP Slot

Relationship type * Contains: Contained by

Default Field Values

Name Pattern *Sub-slot -*+position

次のステップ

次に、ネットワークインターフェイスをインターフェイスカードテンプレートに追加します。詳細については、「[インターフェイスカードテンプレートへのネットワークインターフェイステンプレートの追加](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレートの作成](#)

インターフェイスカードテンプレートへのネットワークインターフェイステンプレートの追加

インターフェイスカードが直接ネットワークインターフェイスをサポートしている場合は、[ネットワークインベントリワークスペース] リストビューで 2 つのインターフェイス間にインターフェイステンプレートの関係を作成します。

手順

インターフェイステンプレートの [関連テンプレート] タブで、[新規] をクリックしてインターフェイスカードテンプレートを作成します。

インターフェイスカードのインベントリテンプレート: 関連テンプレート

Nokia ess-m10-1gb-sfp template

Details Related Templates

Related Templates

Last refreshed just now.

New

Attachments

[インベントリテンプレート] フォームで、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのインターフェイスカードのインベントリテンプレートを作成します。

ネットワークインターフェイスのインベントリテンプレート

Port-1 Save ...

Inventory Template

Name *
Port-1

Inventory model *
GigabitEthernet

Relationship type *
Contains::Contained by

Inventory template
Available templates
Default Field Values
Version
Name Pattern
Port-1

Attachments

No Attachments Available
Browse for a file to add it as an attachment
Browse

インベントリテンプレートを送信すると、インターフェイスカードの [関連テンプレート] タブに関係が表示されます。

関連するインターフェイスカードを含むインターフェイスカードテンプレート

Nokia ess-m10-1gb-sfp template Save ...

Related Templates 2
Last refreshed 7m ago.

Name	Inventory model	Available templates	Updated	Name Pattern
Port-2	GigabitEthernet		2022-06-13 09:04:28	Port-2
Port-1	GigabitEthernet		2022-06-13 09:04:23	Port-1

Attachments

No Attachments Available
Browse for a file to add it as an attachment
Browse

次のステップ

次に、サブスロットにインターフェイスカードを追加します。詳細については、「[サブスロット テンプレートへのインターフェイス カード テンプレートの追加](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレートの作成](#)

サブスロット テンプレートへのインターフェイス カード テンプレートの追加

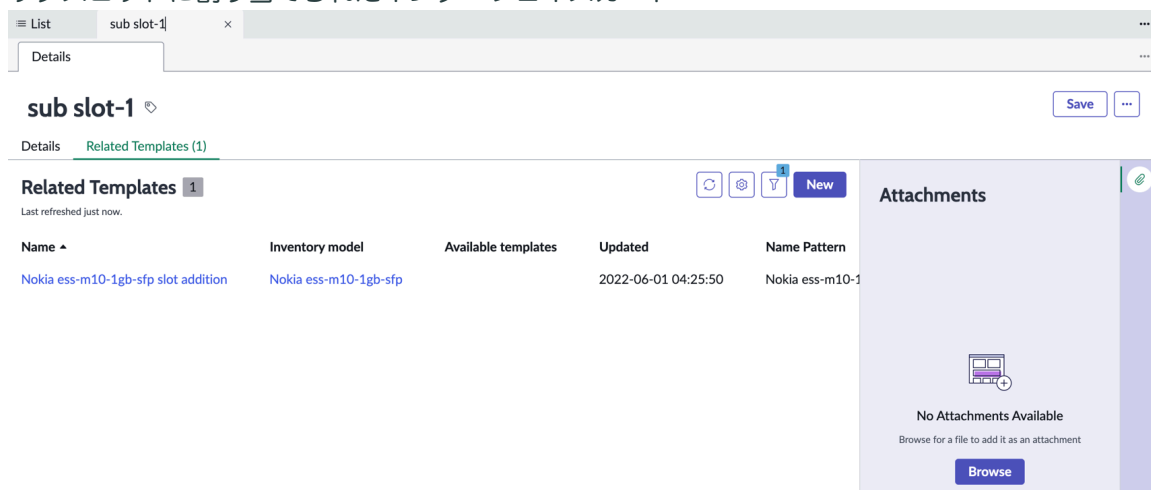
ネットワークインベントリワークスペースのリストビューで機器に関連付けられているサブスロットにインターフェイスカードを追加します。

手順

このタスクは、関連するインターフェイスカードを機器テンプレートに追加する手順と同じ方法で実行します。この前の手順の詳細については、「[機器テンプレートへのネットワークインターフェイスの追加](#)」を参照してください。

次の例は、サブスロットに割り当てられたインターフェイスカードモデルを示しています。

サブスロットに割り当てられたインターフェイスカード



子カードへのサブスロットの追加

サブスロットに追加するインターフェイス カード テンプレートは、子カードとドーター カードと呼ばれます。

- これらのサブスロット内に入るインターフェイスカードテンプレートは、子カードと呼ばれます。
- 子カードはスロットにサブスロットを持つことができ、子カードのサブスロット内に入るインターフェイスカードテンプレートはドーターカードと呼ばれます。

次のステップ

次に、ネットワークインターフェイスを子カードまたはドーターカードに追加します。詳細については、「[ネットワークインターフェイステンプレートを子または娘のカードテンプレートに追加する](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレートの作成](#)

ネットワークインターフェイステンプレートを子または娘のカードテンプレートに追加する

最後の手順として、必要に応じて、[ネットワークインベントリワークスペース] リストビューの子カードテンプレートとドーターカードテンプレートにネットワークインターフェイステンプレートを追加できます。

手順

次の例は、子カードまたはドーターカードに追加されたネットワークインターフェイステンプレートを示しています。

インベントリテンプレート:ネットワークインターフェイスカード

Nokia ess-m10-1gb-sfp template [Save] [More]

Details Related Templates (2)

Related Templates 2
Last refreshed just now.

Name	Inventory model	Available templates	Updated	Name Pattern
Port-2	GigabitEthernet		2022-06-13 09:04:28	Port-2
Port-1	GigabitEthernet		2022-06-13 09:04:23	Port-1

Attachments

No Attachments Available
Browse for a file to add it as an attachment
[Browse]

i 注:

すべてのインベントリテンプレートがネットワークインターフェイステンプレートと関係があるわけではありません。一部の機器インベントリテンプレートには 1 つのネットワークインターフェイス関係しかありませんが、一部のインターフェイスカードテンプレートには、親としてスロットとの関係がありません。ただし、機器およびインターフェイスカードのテンプレートには、モデル関係に従って定義されたこれらの多くのスロットまたはインターフェイスが必要です。

次のステップ

この機器のインベントリテンプレート関係の作成が完了しました。別の機器の別のインベントリテンプレートを作成するには、次のアクションを実行します。

1. そのインベントリテンプレートの関係シーケンスで使用するデフォルトのテンプレートを作成します。
2. 「機器モデルのインベントリテンプレートの作成」トピックに進み、プロセス全体をもう一度繰り返します。詳細については、「[機器モデルのインベントリテンプレートの作成](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレートの作成](#)

ケーブルモデルのインベントリテンプレートの作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでケーブルモデルのインベントリテンプレートを作成します。このテンプレートを使用して、ケーブル レコードと関連するスタンド レコードをインスタンス化できます。

ユースケース

次の例は、ケーブルモデルのインベントリテンプレートを示しています。

カードモデルのインベントリテンプレート

インベントリレコードを保存した後、ネットワークモデル関係に記載されている数に応じて、関連するストランドテンプレートが作成されます。

ケーブルテンプレートの関連ストランドテンプレート

Name	Inventory model	Available templates	Updated	Name Pattern
Strand-000	Optical Fiber Strand OP_FS		2024-04-22 09:10:18	*Strand-*+position
Strand-003	Optical Fiber Strand OP_FS		2024-04-22 09:10:18	*Strand-*+position
Strand-001	Optical Fiber Strand OP_FS		2024-04-22 09:10:18	*Strand-*+position
Strand-002	Optical Fiber Strand OP_FS		2024-04-22 09:10:18	*Strand-*+position

ストランドレコードのデフォルトの命名パターンは「Strand-+position」です。[名前パターン]フィールドを編集できます。

ストランドテンプレートの詳細

次のステップ

ケーブルテンプレートを使用して、設計とアサインでケーブルとストランドのレコードをインスタンス化します。詳細については、「設計とアサインを使用したケーブルレコードの作成」を参照してください。

関連情報

[ケーブル モデルの作成](#)

[ネットワークインベントリテンプレート](#)

[通信事業ネットワークインベントリワークフローのモデル化](#)

論理複合のインベントリテンプレートの作成

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションで論理複合のインベントリテンプレートを作成します。このテンプレートを使用して、論理複合レコードとそれに関連する機器およびラックレコードをインスタンス化できます。

ユースケース

次の例は、論理コンポジットのインベントリテンプレートを示しています。

論理コンポジットのインベントリテンプレート

Create New Inventory Template

Save

Details

Inventory Template

Name *

Leaf template

Default field values

Inventory model *

3Com X Leaf

Version

インベントリモデルには、[マルチシャーシから機器 (**Multi Chassis to Equipment**)] や [マルチシャーシからラック (**Multi Chassis to Rack**)] などのインベントリ関係がアタッチされています。

ネットワーク関係の例

Create New Network Model Relationships

Save

Details

Network Model Relationships

Name

3Com X Leaf to 7450

Parent product model *

3Com X Leaf

Relationship type *

Multi Chassis to Equipment

Child product model *

Nokia 7450 ESS-1

Count

☐ Is Extensible

インベントリテンプレートを保存した後、ネットワークモデル関係に記載されている数に応じて、関連する機器とラックのテンプレートが作成されます。

論理複合テンプレートの関連テンプレート

Demo x leaf template

Details Related Templates (3)

Related Templates 3

Last refreshed just now

Name	Inventory model	Available templates	Updated	Name Pattern
Equipment-000	Nokia 7450 ESS-1		2024-10-28 08:04:37	"Equipment-"+position
Equipment-001	Nokia 7450 ESS-1		2024-10-28 08:04:37	"Equipment-"+position
Equipment Rack-000	Demo_Rack_Model		2024-10-28 08:04:38	"Equipment Rack-"+position

自動翻訳

論理複合関連テンプレートの詳細

Equipment-000

Details Related Templates

Inventory Template

Name *
Equipment-000

Inventory model *
Nokia 7450 ESS-1

Relationship type *
Contains::Contained by

Inventory template
7450 ESS-1 Template

Parent
leaf template

Available templates

Default field values

Slot Span

機器の下に作成されるスロット、サブスロット、およびポートレコードのデフォルトの命名パターンは次のとおりです。

命名パターン

インベントリレコード	命名パターン
スロット	"slot-"+chassis_position+"/"+position"
サブスロット	"subslot-"+chassis_position +"/"+equipment_slot_position+"/"+position"
ポート	"port-"+chassis_position +"/"+equipment_slot_position +"/"+parent_slot_position+"/"+position"

[名前パターン] フィールドを編集できます。

次のステップ

このテンプレートを使用して、設計とアサインを使用して論理コンポジット、関連機器、およびラックレコードをインスタンス化します。詳細については、「[設計とアサインを使用した機器レコードの作成](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワーク モデル関係の定義](#)

[設計とアサインを使用した機器レコードの作成](#)

[設備拡張クラス](#)

モデルとテンプレートのインポート

モデルとテンプレートをインポートして、一貫性と再利用性を高め、エラーを減らします。事前定義された Excel テンプレート をインポートし、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用したタスクを簡素化できます。

モデルのインポート

モデルのインポート要求を作成してモデルのコレクションをインポートし、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用してワークフローを簡素化します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager

このタスクについて

インポートテンプレート要求を作成すると、合計レコード数、スキップされたレコード、挿入されたレコード、無視されたレコード、更新されたレコード、失敗したレコードなど、処理されたレコードを分類する詳細なサマリーが生成されます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。 インポート > インポート。
3. **[New (新規)]** を選択します。
4. [インポートファイルタイプを選択] ウィンドウで、リストから **[モデルのインポート (xls)]** を選択します。
5. [詳細] タブで、一般情報を入力します。
次の表に、インポートモデル要求に固有のフィールドを示します。

モデル要求をインポート

フィールド	説明
[Name (名前)]	インポートモデルの識別。
説明	インポートモデルの簡単な説明。
ファイル	インポートモデルファイルを添付するには、[ファイルの添付] を選択します。  注: ○ モデルのインポートは、 機器モデル、 機器所有者モデル、 カードモデル、 および インターフェイスモデルのみが対象です。 ○ サポートされていない画像をインポートします。

6. オプション: [**Excel** テンプレートを作成] を選択して、デモデータとモデルテンプレートをダウンロードします。

Entity ID
Unique ID for each row and not mapped to any target table fields. This shall be unique for each row

Parent Entity ID
Entity ID reference which must be present in Column A of another row

Root Entity ID
Entity ID reference which must be present in Column A of another row

Columns
Each column matches to a field in the target table. The column heading identifies the purpose of the field

Model Category
Must be a valid model category of model category table

Rows
Each row corresponds to a record in the target table

Relationship Type
Equipment to Slot
Slot to Card
Equipment to Network Interface
Card to Slot
Card to Network Interface
Rack/Cabinet to Rack/Cabinet Slot
Rack/Cabinet Slot to Equipment

Model Class
Network Holder Model
Network Equipment Model
Network Card Model
Network Interface Model

Parts of the spreadsheet
Directions : quick tips on using Excel for inserting the records
Page 1 : Use this page to update existing records
Note : This template only imports records on the page 1 sheet. The import process ignores all other pages.

servicenow © 2023 ServiceNow, Inc. All Rights Reserved. Confidential. 54

- Excel テンプレートは、インポートモデルテンプレート [sn_ni_adv_import_model_template] テーブルに基づいて作成されます。アドミンはテンプレートをカスタマイズし、必要に応じて更新できます。
- インポートモデルでは、次の関係性タイプがサポートされています。
 - スロットへの機器
 - スロットからカード
 - 機器からネットワークインターフェイス
 - カードからネットワークインターフェイス
 - ラック/キャビネットからラック/キャビネットスロット
 - ラック/キャビネットスロットから機器

7. [インポート] を選択します。

- データインポート手順中:
 - CMDB 共通統合: プラグインは自動的に有効になり、デフォルトではデフォルトで有効になります。詳細については、「[Integration Commons for CMDB](#)」を参照してください。
 - 正規化データサービスクライアント (オプション): インストールおよび構成されている場合、次の正規化ルールが適用されます。
 - メーカー名から特殊文字を削除します。
 - 新しい値が既存の値の 5 文字と一致する場合、置き換えられます。
 - 標準およびバリエーションの会社名をダウンロードします。
 - 会社名を標準の同等の名前に置き換えます。詳細については、「[Normalization data services](#)」を参照してください。正規化ルールをカスタマイズするには、「[Normalized company names table](#)」を参照してください。
- レコードを生成すると、インポート結果へのレコードの自動追加がトリガーされます。このタブから、インポートステータスを確認し、生成されたモデルを選択できます。
- すべてのラック/キャビネット機器ホルダー、機器モデル、およびカードモデルに対して、専用のインベントリテンプレートが生成されます。さらに、関連するテンプレートは、定義されたモデル関係に基づいて生成されます。

タスクの結果

[詳細] タブの横に [インポート結果] タブが表示され、インポートセット行を表示、追加、更新、削除できます。

次のタスク

- [結果のインポート] タブから生成されたモデルにリダイレクトします。
- レコードを削除します。詳細については、「[レコードの削除](#)」を参照してください。

テンプレートのインポート

インポートテンプレート要求を作成して、インベントリテンプレートをインポートし、データの書式設定を適用し、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用してプロセスを簡素化します。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_catalog_manager、および sn_ni_core.inventory_template_manager

このタスクについて

インポートテンプレート要求を作成すると、合計レコード数、スキップされたレコード、挿入されたレコード、無視されたレコード、更新されたレコード、失敗したレコードなど、処理されたレコードを分類する詳細なサマリーが生成されます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。 インポート > インポート。
3. **[New (新規)]** を選択します。
4. [インポートファイルタイプの選択] ウィンドウで、リストから [テンプレートのインポート (xls)] を選択します。
5. [詳細] タブで、一般情報を入力します。
次の表に、インポートテンプレート要求に固有のフィールドを示します。

テンプレート要求をインポート

フィールド	説明
[Name (名前)]	インポートテンプレートの識別。
説明	インポートテンプレートの簡単な説明。
ファイル	[ファイルの添付] を選択して、インポートインベントリテンプレートファイルを添付します。

6. オプション: [**Excel** テンプレートを作成] を選択して、デモデータとテンプレートをダウンロードします。
テンプレートは、インポートテンプレートテンプレート [sn_ni_adv_import_template_template] テーブルに基づいて作成されます。テンプレートをカスタマイズし、必要に応じて更新できます。
7. [インポート] を選択します。

- レコードを生成すると、インポート結果へのレコードの自動追加がトリガーされます。このタブでは、インポートステータスを確認し、生成されたインベントリテンプレートを選択できません。
- 関連テンプレートは、ラックや機器、カードインベントリテンプレートなど、モデル関係が定義されている場合にのみ生成されます。スロットの関連テンプレートが生成されます。

タスクの結果

[詳細] タブの横に [インポート結果] タブが表示され、インポートセット行を表示、追加、更新、削除できます。

次のタスク

- [インポート結果] タブから生成されたインベントリテンプレートにリダイレクトします。
- レコードを削除します。詳細については、「[レコードの削除](#)」を参照してください。

JSON 形式でのモデルとテンプレートのインポート

インポート要求を作成して、モデルとテンプレートのコレクションを JSON 形式でインポートし、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用してワークフローを簡素化します。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin

このタスクについて

インポートテンプレート要求を作成すると、合計レコード数、スキップされたレコード、挿入されたレコード、無視されたレコード、更新されたレコード、失敗したレコードなど、処理されたレコードを分類する詳細なサマリーが生成されます。

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。インポート > インポート。
3. [New (新規)] を選択します。
4. [インポートファイルタイプを選択] ウィンドウで、リストから [モデルとテンプレート (JSON) のインポート] を選択します。
5. [詳細] タブで、一般情報を入力します。
次の表に、インポートモデル要求に固有のフィールドを示します。

モデル要求をインポート

フィールド	説明
[Name (名前)]	インポートモデルまたはテンプレートの識別。
説明	モデルまたはテンプレートのインポートに関する簡単な説明。
ファイル	インポートモデルファイルを JSON 形式で添付するには、[ファイルを添付] を選択します。

フィールド	説明
	注: - モデルのインポートは、機器モデル、機器所有者モデル、カードモデル、およびインターフェイスモデルのみが対象です。 - サポートされていない画像をインポートします。

6. オプション: [**Excel** テンプレートを作成] を選択して、デモデータとモデルテンプレートをダウンロードします。

7. [インポート] を選択します。

○ データインポート手順中:

- CMDB 共通統合: プラグインは自動的に有効になり、デフォルトではデフォルトで有効になります。詳細については、「[Integration Commons for CMDB](#)」を参照してください。
- 正規化データサービスクライアント (オプション): インストールおよび構成されている場合、次の正規化ルールが適用されます。
 - メーカー名から特殊文字を削除します。
 - 新しい値が既存の値の 5 文字と一致する場合、置き換えられます。
 - 標準およびバリエーションの会社名をダウンロードします。
 - 会社名を標準の同等の名前に置き換えます。詳細については、「[Normalization data services](#)」を参照してください。正規化ルールをカスタマイズするには、「[Normalized company names table](#)」を参照してください。
- レコードを生成すると、インポート結果へのレコードの自動追加がトリガーされます。このタブから、インポートステータスを確認し、生成されたモデルを選択できます。
- すべてのラック/キャビネット機器ホルダー、機器モデル、およびカードモデルに対して、専用のインベントリテンプレートが生成されます。さらに、関連するテンプレートは、定義されたモデル関係に基づいて生成されます。

モデルとテンプレートの階層をエクスポート

アプリケーションを使用して、モデル、インベントリテンプレート、およびすべての関連レコードの階層を効率的にエクスポートします。

始める前に

必要なロール: sn_ni_core.inventory_admin

手順

- 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
- リストアイコン (≡) を選択し、任意のモデルまたはインベントリテンプレートに移動します。
- 目的のレコードを選択します。
- [階層をエクスポート (**Export Hierarchy**)] を選択して、選択したモデルまたはインベントリテンプレートのすべての関連レコードをエクスポートします。
最大 5 つのモデルまたはテンプレートを選択し、リストビューから [階層のエクスポート (**Export Hierarchy**)] を選択することもできます。
選択したモデルまたはインベントリテンプレートのすべての関連レコードのリストが表示されます。

5. 関連レコードのリンクを選択します。

6. 選択  > エクスポート。

7. [エクスポート] ウィンドウで、データをエクスポートするファイルタイプを選択します。
ファイルは次の形式でエクスポートできます。

- Excel
- CSV
- JSON
- PDF

8. [エクスポート] ウィンドウで、データをエクスポートする配信タイプを選択します
次の形式を選択できます。

- ダウンロード
- メール

9. [Export (エクスポート)] を選択します。

親子関係を持つモデルまたはテンプレートをエクスポートする場合、親とその子のみが含まれます。兄弟はエクスポートされません。

タスクの結果

選択したモデルまたはインベントリテンプレートとすべての関連レコードが、選択した形式でダウンロードされます。

設計とアサインを使用したネットワークインベントリのインスタンス化

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションでネットワークインベントリをインスタンス化することで、サイトレベルでインベントリレコードを生成して検証できます。また、定義済みのインベントリテンプレートとモデルから個々のネットワークインスタンスを生成し、それらが適切に構成されていることを検証することもできます。

詳細の設計とアサイン

次のタスクを実行することで、設計およびアサイン機能を使用してネットワークインベントリをインスタンス化できます。

1. 変更モデルを使用して変更要求を作成します。

変更要求は、ネットワークの変更理由、優先度、リスク、変更のタイプ、変更カテゴリなど、変更に関する詳細を記録します。変更要求を使用すると、既存のネットワークワークフローを変更できます。また、アプリケーション機能の拡張、新しいサービスの要求、ネットワーク構造の変更などを行うこともできます。詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成](#)」を参照してください。

2. 変更タスクを実行します。

タスクのリストは、変更によってトリガーされたワークフローから作成されるか、手動で作成することができます。変更タスクは、要求された変更を実装するために必要なさまざまなタスクの追跡と管理に役立ちます。変更タスクのリストを使用することで、アクションを実行して構成アイテムを作成できるインベントリエージェントにタスクをアサインできます。同時に、他のエージェントは、アサインされた変更タスクを処理することができます。すべてのタスクが完了し、エージェントがクローズした後、コメントを付けて変更要求をクローズすることもできます。詳細については、「[での変更タスクの作成と実行 通信事業ネットワークインベントリ](#)」を参照してください。

設計およびアサイン機能でのレコードプロデューサーの使用

指定された入力に基づいて、選択した変更モデルにレコードプロデューサーフォームがアサインされている場合、変更要求が自動的に生成されます。レコードプロデューサーフォームがアサインされていない場合は、レコードプロデューサーをアサインできます。詳細については、「[変更モデルへのレコードプロデューサーフォームのアサイン](#)」を参照してください。

レコードプロデューサーは、インベントリ割り当てタスクを実行するために入力する必要があるデータをキャプチャします。レコードプロデューサーフォームをマッピングすると、次のタスクを実行できます。

- サードパーティアプリケーションパラメーターを 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションに渡します。電気通信およびメディア向け注文管理 (OMT) 統合はその一例です。レコードプロデューサーフォームを変更モデルにアサインした後、その変更モデルを選択すると、アサインされたフォームが表示されます。フォームに入力すると、変更要求フォームに詳細が入力され、変更タスクが自動的に作成されます。詳細については、「[変更モデルへのレコードプロデューサーフォームのアサイン](#)」を参照してください。
- 変更要求のタイプを変更します。変更タスクフォームには、変更要求のタイプを説明する [要求タイプ] フィールドが含まれています。選択内容に基づいて、[タスク属性] タブにフォームが表示されます。レコードプロデューサーフォームを変更タスクの要求タイプフィールドにアサインすることで、タイプを選択したときに表示するフォームを決定できます。選択した 要求タイプ フィールドに基づいて、[タスク属性] タブにフォームが表示されます。フォームのフィールドに入力すると、変更要求フォームが更新されます。詳細については、「[変更タスクの要求タイプに対するレコードプロデューサーフォームのアサイン](#)」を参照してください。

ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのネットワークインベントリワークスペースから、変更モデルの変更要求を作成、レビュー、更新、またはクローズします。ネットワークインスタンスのインスタンス化の詳細を分析することもできます。

始める前に

必要なロール：

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_template_manager

このタスクについて

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで変更要求タスクを作成、レビュー、更新、またはクローズできます。

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。変更 > **All** (すべて)。
3. オプション: [自分にアサイン済み] を選択して、アサインされた変更タスクのリストを表示します。

i 注:

[変更] のリストビューには、ドメインに関係なく、すべての変更要求のリストが表示されます。通信ネットワークインベントリ (TNI) 関連の変更要求のみを表示するフィルターを追加します。

4. [新規] を選択します。
5. 検索フィールドで、フィルターを使用して、変更要求の作成対象となる次の変更モデルのいずれかを選択します。

- カードを追加
- インベントリ機器を作成
- 論理接続を作成
- 物理接続を作成
- ラック/キャビネットを作成
- ラック/キャビネットに機器を追加
- ラック/キャビネットから機器/シェルフを削除
- IP アドレスの割り当て
- 電話番号割り当て

i 注:

デザインアサインリンクアグリゲーショングループと GPON ブロードバンドサービスについては、「[デザインアサインリンクアグリゲーションを使用した変更要求の作成](#)」および「[GPON ブロードバンドサービス変更モデルを使用して変更要求を作成する](#)」を参照してください。

6. [次へ] を選択します。

ディシジョンテーブルのエントリに応じて、レコードプロデューサーまたは変更要求フォームが表示されます。詳細については、「[変更モデルへのレコードプロデューサーフォームのアサイン](#)」を参照してください。

7. [Save (保存)] を選択します。

変更要求が作成され、関連するタブが表示されます。詳細については、「[変更要求関連タブ](#)」を参照してください。

8. [概要] タブで、次のアクションを 1 つ以上実行します。

- この変更要求の概要を表示または更新します。
 - スコープを追加します。
- 詳細については、「[スコープ](#)」を参照してください。
- この変更要求をグループまたはユーザーにアサインします。

i 注:

この変更要求をアサインするには、次を選択します: アサイン > アサイン先グループを入力し、アサイン先 > 保存します。

- この変更要求のスケジュールを設定します。詳細については、「[スケジュール](#)」を参照してください。
 - この変更要求のリスクを計算します。
- [リスクを計算] を選択すると、[詳細] タブの [リスク] フィールドで更新が分析されます。
- [新規] を選択して、変更タスクを表示および作成します。
- 詳細については、「[での変更タスクの作成と実行 通信事業ネットワークインベントリ](#)」を参照してください。

9. [詳細] タブで、フィールドに入力します。

フィールド値の説明については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。

10. [Save (保存)] を選択します。

入力された詳細情報に基づいて変更タスクが作成されます。[影響を受ける CI] や [影響するサービス/CI] など、その他の関連タブも更新されます。

11. オプション: タブを選択して、変更要求に与える影響を確認します。**次のタスク**

変更タスクを作成、レビュー、更新、またはクローズします。

詳細については、「[での変更タスクの作成と実行 通信事業ネットワークインベントリ](#)」を参照してください。

デザインアサインリンクアグリゲーションを使用した変更要求の作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、デザインアサインリンクアグリゲーションの変更要求を作成します。デザインアサインリンクアグリゲーショングループのレコードを確認、更新、または削除することもできます。

始める前に

必要なロール: sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。

2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。変更 > All (すべて)。

3. **[New (新規)]** ボタンをクリックします。

4. [デザインアサインリンクアグリゲーショングループ] を選択します。

5. [次へ] を選択します。

6. [レコードプロデューサー] フォームで、フィールドに入力します。

フィールド値の説明については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」のフォームを参照してください。

注:

デフォルトでは、[レコードプロデューサー] フォームがデザインおよびアサインアグリゲーショングループにアサインされます。その他の変更モデルについては、「[変更モデルへのレコードプロデューサーフォームのアサイン](#)」を参照してください。

7. [送信] を選択します。

新しい変更要求が作成され、TNI LAG テンプレートを変更するワークフローがトリガーされます。3 つの変更タスクが作成されています。

8. [概要] タブで変更タスクセクションを展開するか、[変更タスク] タブを選択します。

注:

[概要] タブの詳細については、「[ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成](#)」を参照してください。

変更タスクを作成するには、「[での変更タスクの作成と実行 通信事業ネットワークインベントリ](#)」を参照してください。

9. タスクを開きます。

10. [詳細] タブの変更タスクフォームで、フィールドに入力します。

フィールド値の説明については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」の「変更タスクフォーム」を参照してください。

11. [影響を受ける CI] 関連タブを選択して、影響を受ける構成アイテムを作成、レビュー、更新、または削除します。

12. [Save (保存)] を選択します。

次のタスク

リンクアグリゲーションにメンバーを追加または削除する変更要求の作成 を使用して LAG に対してメンバーを追加または削除します。

リンクアグリゲーションにメンバーを追加または削除する変更要求の作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、デザインアサインリンクアグリゲーションの変更要求にメンバーを追加または削除する変更要求を作成します。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。 変更 > All (すべて)。
3. [New (新規)] ボタンをクリックします。
4. [リンクアグリゲーションにメンバーを追加/削除] を選択します。
5. [次へ] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

リンクアグリゲーションにメンバーを追加/削除

フィールド	説明
LAG	リストから LAG を選択する
帯域幅	選択した LAG のリストから帯域幅を変更または選択する
リビジョンを作成	選択した LAG のリビジョンを作成するオプション。 i 注: LAG の改訂は、すでにアクティブな改訂プロセスが行われている間は不可能です。
メンバーインターフェイス A	選択した LAG のインターフェイス A。追加または削除して、選択した LAG のメンバーインターフェイス A を変更します。 i 注: リストには、物理接続のポート A またはポート Z として設定されている子モデルインタフェースのみが表示されます。
メンバーインターフェイス Z	選択した LAG のインターフェイス Z。追加または削除して、選択した LAG のメンバーインターフェイス Z を変更します。

フィールド	説明
	注: リストには、物理接続のポート A またはポート Z として設定されている子モデルインタフェースのみが表示されます。

7. [送信] を選択します。
8. オプション: [影響を受ける CI] タブを選択します。
9. オプション: V1 という接尾辞のある変更済み CI を選択します。
[リビジョンを作成] チェックボックスがオンになっている場合のみ、変更された CI が [影響を受ける CI] タブに追加されます。
10. オプション: 必要に応じてフィールドを変更します。
 - 新しいメンバーインターフェイスを追加すると、対応する論理インターフェイスを持つ新しい ENET が自動的に作成されます。
 - 既存の ENET 接続に属するインターフェイスを追加すると、ENET を作成する代わりに、そのインターフェイスが既存の ENET 接続に自動的にリンクされます。
11. オプション: 運用化のための変更タスクを作成します。
詳細については、「[構成アイテムの運用化](#)」を参照してください。

GPON ブロードバンドサービス変更モデルを使用して変更要求を作成する

Gigabyte Passive Optical Network (GPON) ブロードバンドサービスを設計できるように、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーション内で変更要求を作成します。GPON ブロードバンドサービス変更モデルを使用すると、GPON ブロードバンドサービスの注文要求を満たせるように、複数の変更タスクを作成できます。

始める前に

GPON ブロードバンドサービスの変更要求を確立し、関連する変更タスクを完了する前に、インベントリカタログマネージャーとテンプレートマネージャーは次のネットワーク構成セットアップを行う必要があります。

1. 次のように移動する。 **Telecom Network Inventory** (通信事業ネットワークインベントリ) > インベントリモデルで、インベントリモデルを作成して、それらの関係を定義します。

詳細については、「[ネットワーク資産インスタンスの手動作成とレビュー](#)」を参照してください。

2. 次のように移動する。 **Telecom Network Inventory** (通信事業ネットワークインベントリ) > ネットワークインベントリテンプレートで、機器のインベントリテンプレートを作成し、テンプレートの関係を確立します。

詳細については、「[ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレートの作成](#)」を参照してください。

通信事業ネットワークインベントリ の詳細デモデータとコアデモデータをインストールします。

必要なロール: sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。 変更 > All (すべて)。

3. **[New (新規)]** ボタンをクリックします。
4. 選択 **GPON** ブロードバンドサービス > 次。
5. レコードプロデューサーフォームで、フィールドを更新できます。
レコードプロデューサーフォームのフィールドは自動入力されます。このデモでは、GPON ブロードバンドサービスの設計とアサインを示す構成アイテム (CI) を作成する方法を説明します。フローは必要に応じて変更できます。フィールドの詳細については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
6. **[保存]** を選択します。
変更 (設計とアサイン) フローがトリガーされ、変更要求が作成されます。指定された入力内容に応じて、変更タスクが自動的に作成され、他の関連タブが表示されます。詳細については、「[変更要求関連タブ](#)」を参照してください。
7. 各変更タスクレコードを開いてレビューします。
[タスク属性] フォームのフィールドに入力します。フィールド値の説明については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
8. **[送信]** を選択します。
[詳細] タブが更新されます。
9. **[影響を受ける CI]** 関連タブで、この変更タスクによって影響を受けるすべての構成アイテムを確認します。
10. **[Save (保存)]** を選択します。

論理接続エンドポイントの変更モデルを使用した変更要求の作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、論理接続とその詳細を変更する論理接続エンドポイントの変更モデルを使用して変更要求を作成します。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. **[リスト]** アイコン () を選択し、次に移動します。変更 > **All** (すべて)。
3. **[New (新規)]** ボタンをクリックします。
4. 選択 論理接続エンドポイントを変更 > 次。
5. フォームのフィールドに入力します。
詳細については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
6. **[送信]** を選択します。
新しい変更要求が作成されます。さらに、変更タスクが自動的に作成され、他の関連タブが表示されます。詳細については、「[変更要求関連タブ](#)」を参照してください。
7. **[変更タスク]** タブを選択します。
8. 変更タスクレコードを開いてレビューします。
9. **[タスク属性]** フォームで、必要に応じて論理接続のエンドポイントと詳細を更新します。
フィールド値の説明については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
10. **[送信]** を選択します。
[詳細] タブが更新されます。

11. [影響を受ける CI] 関連タブで、この変更タスクによって影響を受けるすべての構成アイテムを確認します。

12. [Save (保存)] を選択します。

物理接続の変更を使用した変更要求の作成

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、物理接続とその詳細を変更する物理接続エンドポイントの変更モデルを使用して変更要求を作成します。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。 変更 > All (すべて)。
3. [New (新規)] ボタンをクリックします。
4. 選択 物理接続エンドポイントを変更 > 次。
5. フォームのフィールドに入力します。
詳細については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
6. [送信] を選択します。
新しい変更要求が作成されます。さらに、変更タスクが自動的に作成され、他の関連タブが表示されます。詳細については、「[変更要求関連タブ](#)」を参照してください。
7. [変更タスク] タブを選択します。
8. 変更タスクレコードを開いてレビューします。
9. [タスク属性] フォームで、必要に応じて物理接続のエンドポイントと詳細を更新します。
フィールド値の説明については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
10. [送信] を選択します。
[詳細] タブが更新されます。
11. [影響を受ける CI] 関連タブで、この変更タスクによって影響を受けるすべての構成アイテムを確認します。
12. [Save (保存)] を選択します。

設計とアサインを使用したネットワークトポロジレコードの作成

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションの設計およびアサイン機能を使用して、ネットワークトポロジレコードを作成します。ネットワーク トポロジを作成することで、ネットワーク エlementがどのように編成され、相互に接続されているかを視覚化できます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

テンプレートをインスタンス化すると、対応する構成アイテム (CI) レコードがネットワークトポロジ [cmdb_ci_network_topology] テーブルに作成されます。ルートノードはトポロジルートノード [cmdb_network_topology_root_node] テーブルに格納されます。トポロジデータモデルの詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル](#)」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、変更 > **All** (すべて)。
3. **[New (新規)]** ボタンをクリックします。
4. [トポロジの設計と割り当て] を選択します。
5. **[Next (次へ)]** を選択します。
6. [詳細] タブで、フィールドに入力します。
フィールド値の説明については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
7. **[Save (保存)]** をクリックする。
変更タスクが作成されます。
8. 変更タスクを開きます。
9. [タスク属性] タブで、フィールドに入力します。
タスク属性フィールドの詳細については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
10. **[Submit (送信)]** を選択します。

タスクの結果

トポロジおよびネットワークトポロジルートノードレコードが作成されます。

次のタスク

トポロジは [ネットワーク ビューアー] ウィンドウで表示できます。詳細については、「[ネットワーク トポロジの表示](#)」を参照してください。

関連情報

[ネットワーク トポロジ モデルの作成](#)

設計とアサインを使用したネットワークトポロジレコードの変更

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションの設計およびアサイン機能を使用して、ネットワークトポロジレコードを変更します。既存のネットワーク トポロジ レコードのエLEMENTを追加または削除して、ネットワーク ELEMENTがどのように編成され、相互に接続されているかを視覚化できます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、変更 > **All** (すべて)。
3. **[New (新規)]** ボタンをクリックします。
4. [トポロジへのメンバーの追加/削除] を選択します。
5. **[Next (次へ)]** を選択します。
6. [トポロジを選択] フィールドで、変更するネットワークトポロジレコードを選択します。
次のフィールド値を追加または削除できます。
 - トポロジノード
 - トポロジサイト

- ルートノード
- トポロジ接続

7. [Submit (送信)] を選択します。

タスクの結果

ネットワーク トポロジ レコードを変更すると、次のアクションが行われます。

- トポロジ サイトを削除すると、トポロジ内のそのサイトに関連付けられているすべてのノードと接続が関係から削除されます。
- トポロジまたはルート ノードを削除すると、トポロジ内のノードに関連付けられているすべての接続が関係から削除されます。
- トポロジ接続を削除すると、関係から削除されます。
- ノードが関係から削除されると、ルートノードの一部である場合、そのエントリも削除されます。

関連情報

[ネットワークトポロジの可視化](#)

[ネットワーク トポロジの使用](#)

設計とアサインを使用したケーブルレコードの作成

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションの設計およびアサイン機能を使用して、ケーブルレコードを作成します。ケーブルと関連するストランドレコードを作成することで、光ファイバーケーブルレコードの注文要求を履行できます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

ケーブルテンプレートをインスタンス化すると、対応する構成アイテム (CI) レコードが光ファイバーケーブル [cmdb_ci_fiber_optical_cable] テーブルとファイバーストランド [cmdb_ci_fiber_strand] テーブルに作成されます。ケーブルデータモデルの詳細については、「[通信事業ネットワークインベントリ のデータモデル](#)」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、 変更 > **All** (すべて)。
3. **[New (新規)]** ボタンをクリックします。
4. [ケーブルの追加] を選択します。
5. **[Next (次へ)]** を選択します。
6. [詳細] タブで、フィールドに入力します。
フィールド値の説明については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
7. **[Save (保存)]** をクリックする。
変更タスクが作成されます。
8. 変更タスクを開きます。
9. [タスク属性] タブで、フィールドに入力します。

ストランドフォーム

フィールド	説明
A 側終端	このケーブルの始点であるネットワークサイト。
Z 側終端	ケーブルが終了するネットワークサイト。
インベントリテンプレート	ケーブルモデルのインベントリテンプレートの名前。

10. [Submit (送信)] を選択します。

タスクの結果

ケーブルと関連するストランドレコードが作成されます。

関連情報

[ケーブルモデルのインベントリテンプレートの作成](#)

[ケーブル モデルの作成](#)

設計とアサインを使用した機器レコードの作成

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションの設計およびアサイン機能を使用して、機器レコードを作成します。機器とその関連インベントリレコードを作成することで、機器レコードの注文要求を満たすことができます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

機器テンプレートをインスタンス化すると、対応する構成アイテム (CI) レコードが機器テーブルに作成されます。機器テーブルの詳細については、「[設備拡張クラス](#)」を参照してください。

手順

- 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
- オプション: 設備レコードをインスタンス化する変更要求を作成します。
 - [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。 インベントリ > すべての機器。
 - [機器の作成] を選択します。
 - [インベントリテンプレートの適用] フィールドでインベントリテンプレートを選択します。
 - [機器の詳細を追加] セクションで、フィールドに入力します。
フィールド値の説明については、「[機器フォーム](#)」を参照してください。
 - [Next (次へ)] を選択します。
 - 詳細を確認し、[作成] を選択します。

設備レコードが作成されます。
- リストアイコン () を選択し、 変更 > All (すべて)。
- [New (新規)] ボタンをクリックします。

5. インベントリ機器の作成 を選択します。
6. **[Next (次へ)]** を選択します。
変更要求が作成されます。
7. **[詳細]** タブで、フィールドに入力します。
フィールド値の説明については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
8. **[Save (保存)]** をクリックする。
変更タスクが作成されます。
9. 変更タスクを開きます。
10. **[タスク属性]** タブで、フィールドに入力します。
フィールド値の説明については、「[機器タスク属性フォーム](#)」を参照してください。
11. **[Submit (送信)]** を選択します。

タスクの結果

機器レコードは、関連するインベントリレコードとともに作成されます。これらのレコードは、インベントリモデルに添付されたモデル関係に応じて生成されます。

関連情報

[論理複合のインベントリテンプレートの作成](#)

[論理コンポジットへの機器またはラックの追加](#)

[論理コンポジットから機器またはラックを削除する](#)

論理コンポジットへの機器またはラックの追加

設計とアサインを使用して、機器またはラックを論理コンポジットに追加します。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

論理コンポジットに追加できるのは、機器またはラックのみです。論理複合モデルには、機器モデルまたはラックモデルとのマルチシャーンシから機器、またはマルチシャーンシからラックの関係が必要です。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、 変更 > **All (すべて)**。
3. **[New (新規)]** ボタンをクリックします。
4. **[マルチシャーンシ機器に機器/ラックを追加(Add Equipment/Rack to Multi chassis equipment)]** を選択します。
5. **[Next (次へ)]** を選択します。
変更要求が作成されます。
6. **[詳細]** タブで、フィールドに入力します。
フィールド値の説明については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
7. **[Save (保存)]** をクリックする。
変更タスクが作成されます。
8. 変更タスクを開きます。

9. [タスク属性] タブで、フィールドに入力します。

[マルチシャーシ機器に機器/ラックを追加] フォーム

フィールド	説明
マルチシャーシ機器	機器またはラックを追加する論理コンポジット。
エンティティタイプ	論理コンポジットに追加する機器またはラックのタイプ。次のいずれかを選択します。 機器ラック 論理コンポジットにラックを追加するには、このオプションを選択します。 設備 論理コンポジットに機器を追加するには、このオプションを選択します。
ラックリスト	論理コンポジットに追加するラックのリスト。 注: このフィールドは、[エンティティタイプ] として [機器ラック] を選択した場合にのみ使用できます。
機器リスト	論理コンポジットに追加する機器のリスト。 注: このフィールドは、[エンティティタイプ] として [機器] を選択した場合にのみ使用できます。

10. [Submit (送信)] を選択します。

タスクの結果

機器またはラックレコードが論理複合レコードに追加されます。

関連情報

[設計とアサインを使用した機器レコードの作成](#)

[ネットワーク モデル関係の定義](#)

論理コンポジットから機器またはラックを削除する

設計とアサインを使用して、論理コンポジットからラックまたは機器を削除します。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、 変更 > **All** (すべて)。
3. **[New (新規)]** ボタンをクリックします。

4. [マルチシャーシ機器から機器/ラックを取り外す (**Remove Equipment/Rack from Multi Chassis Equipment**)] を選択します。
5. **[Next (次へ)]** を選択します。
変更要求が作成されます。
6. [詳細] タブで、フィールドに入力します。
フィールド値の説明については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
7. **[Save (保存)]** をクリックする。
変更タスクが作成されます。
8. 変更タスクを開きます。
9. [タスク属性] タブで、フィールドに入力します。

ストランドフォーム

フィールド	説明
マルチシャーシ機器	機器またはラックを取り外す論理コンポジット。
機器/ラック	論理コンポジットから削除する機器またはラック。
添付ファイル	[追加] を選択して添付ファイルを追加します。

10. **[Submit (送信)]** を選択します。

タスクの結果

機器またはラックレコードが論理複合レコードから削除されます。

関連情報

[設計とアサインを使用した機器レコードの作成](#)

[ネットワーク モデル関係の定義](#)

設計およびアサイン機能を使用して機器にカードを追加する

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションの設計およびアサイン機能を使用して、ケーブルレコードを作成します。ケーブルと関連するストランドレコードを作成することで、光ファイバーケーブルレコードの注文要求を履行できます。

始める前に

設計基準のカードレコード、モデル、モデル関係、テンプレート、およびテンプレート関係を定義します。

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、変更 > **All** (すべて)。
3. **[New (新規)]** ボタンをクリックします。
4. [ケーブルの追加] を選択します。
5. **[Next (次へ)]** を選択します。

変更要求が作成されます。

6. [詳細] タブで、フィールドに入力します。
フィールド値の説明については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
7. [Save (保存)] をクリックする。
変更タスクが作成されます。
8. [変更タスク] タブで、変更タスクを選択します。
9. [タスク属性] タブで、フィールドに入力します。

タスク属性フォーム

フィールド	説明
サイト	
設備	
スロット	
倉庫の場所	
資産	

10. [Submit (送信)] を選択します。

関連情報

- [カードの詳細を定義](#)
- [カードモデルの作成](#)
- [ネットワーク モデル関係の定義](#)

での変更タスクの作成と実行 通信事業ネットワークインベントリ

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで変更要求を作成した後、変更タスクを作成します。変更タスクを作成することで、要求された変更を完了できます。

始める前に

- 1. 次のように移動する。 **Telecom Network Inventory** (通信事業ネットワークインベントリ) > インベントリモデルで、インベントリモデルを作成して、それらの関係を定義します。

詳細については、「[ネットワーク資産インスタンスの手動作成とレビュー](#)」を参照してください。

- 2. 次のように移動する。 **Telecom Network Inventory** (通信事業ネットワークインベントリ) > ネットワークインベントリテンプレートで、機器のインベントリテンプレートを作成し、テンプレートの関係を確立します。

詳細については、「[ネットワーク資産のインスタンス化のためのインベントリテンプレートの作成](#)」を参照してください。

- 必要なロー

ル:sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.telco_inventory_cat

このタスクについて

変更要求フォームの詳細に基づいて、変更タスクが自動的に作成されます。変更タスクは、[概要] タブまたは変更要求の [変更タスク] タブから表示、作成、更新、またはクローズできます。レコードプロデューサーフォームを変更タスクにアサインすることもできます。詳細については、「[変更タスクの要求タイプに対するレコードプロデューサーフォームのアサイン](#)」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
 2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。変更 > **All** (すべて)。
 3. 変更要求を開きます。
 4. [概要] タブで、下にスクロールして [変更タスク] セクションを展開します。
 5. オプション: **[Change tasks (変更タスク)]** タブを選択します。
 6. 変更要求が作成されたら、[概要] タブで、下にスクロールして [変更タスク] セクションを展開します。
[概要] タブに移動して、変更タスクの作成を開始することもできます。
 7. **[New (新規)]** を選択します。
 8. 変更タスクタイプを選択します。
 - 計画
 - 実装
 - テスト
 - レビュー
 9. **[Create (作成)]** を選択します。
選択した変更モデルに基づく変更タスクフォームが表示されます。
 10. オプション: 既存の変更タスクを選択します。
 11. フォームのフィールドに入力します。
フィールドの詳細については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
- i 注:**
デザイン アサイン リンク集計グループと GPON ブロードバンド サービスについては、「[デザインアサインリンクアグリゲーションを使用した変更要求の作成と GPON ブロードバンドサービス変更モデルを使用して変更要求を作成する](#)」を参照してください。
12. **[Submit (送信)]** を選択します。
[詳細] タブが指定された詳細で更新され、CI に対する必要な変更が実行されます。実行されたすべての変更が作業メモで更新されます。フィールドの詳細については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
- i 注:**
ラックから機器またはシェルフを取り外すと、選択した CI とともに、機器/シェルフとラックの間に関連付けられたすべての CI 関係も削除されます。
13. [影響を受ける **CI**] 関連タブで、この変更タスクによって影響を受けるすべての構成アイテムを確認します。
ラックを作成したら、[構成アイテム] または [影響を受ける **CI**] に移動して、ラックの正面図と背面図を可視化します。

14. オプション: 変更モデルがラックの場合は、構成アイテムを選択してラックを可視化します。

15. **[Save (保存)]** をクリックする。

構成アイテムの変更

接続の CI (構成アイテム) を変更して、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの CI を更新します。

始める前に

必要なロール: sn_ni_core.inventory_admin

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。変更 > **All (すべて)**。
3. 目的の変更要求を選択します。
変更要求を作成するには、「[ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成](#)」を参照してください。
4. [変更タスク] タブを選択します。
5. **[New (新規)]** を選択します。
6. 変更タスクタイプを選択します。
 - 計画
 - 実装
 - テスト
 - レビュー
7. **[Create (作成)]** を選択します。
選択した変更モデルに基づく変更タスクフォームが表示されます。
8. [要求タイプ (Request type)] フィールドで **[CI を変更 (Revise CI)]** を選択し、他のフィールドに入力します。
他のフィールドの詳細については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
9. [保存] を選択します。
10. [タスク属性 (Task Attributes)] フォームで、[変更される CI (CI to be revised)] フィールドのリストから CI を選択します。
11. [送信] を選択します。
[インベントリのリビジョン履歴 (Inventory Revision Histories)] テーブルにレコードが作成されます。選択した CI と関連テーブルがクローン作成され、クローン作成された CI 名が [構成アイテム (Configuration item)] フィールドに入力されます。また、元の CI とクローン作成された CI の両方が [影響を受ける CI (Affected CIs)] タブに追加されます。

i 注:

- クローン作成プロセス、およびクローン作成する必要がある関連テーブルをカスタマイズするには、「[CI クローン作成プロセスのカスタマイズ](#)」を参照してください。
- リビジョンデータは、CI 作成から 1 年が経過すると、リビジョン履歴アーカイブルール (アーカイブルール→インベントリリビジョン履歴アーカイブルール [sn_ni_core_inventory_revision_history]) テーブルに自動的にアーカイブされます。その後、アーカイブテーブル内のすべてのデータは、さらに 1 年後に完全に削除されます (ar_sn_ni_core_inventory_revision_history)。関連するテーブルを変更することでカスタマイズを実行できます。
- 現在、リビジョン履歴は、構成アイテム (CI) 属性、関連データ、および CI 関係のみをキャプチャします。他のテーブルからの追加データを含めるために、論理接続 (audit_reference_tableinfo_logical_connection) および物理接続 (audit_reference_tableinfo_physical_connection) システムプロパティを更新できます。これらのプロパティ内でテーブル名と列名を指定する形式は、「table1_name:column1_name, table1_name:column2_name」です。

12. オプション: 変更タスクに移動し、[リビジョンを検証 (Validate Revision)] を選択して、元の CI と変更済み CI の両方を検証します。

- 運用化する前に、クローン作成された CI で実行された変更を検証して追跡できます。データが元の CI と一致しない場合、検証は失敗し、クローン作成後にクローン作成された CI が更新されることを示すメッセージが表示されます。
- 検証プロセスをカスタマイズするには、[CI リビジョンを検証 (Validate CI Revision)] アクションフローを更新します。詳細については、「[リビジョン CI の検証のカスタマイズ](#)」を参照してください。
- 検証プロセスのフィールドをスキップするには、論理接続 CI の (sn_ni_core.revision_val_ignore_fields_logical_connection) テーブルと物理接続 CI の (sn_ni_core.revision_val_ignore_fields_physical_connection) テーブルを編集します。

次のタスク

クローン作成された CI を更新し、CI を運用化できます。運用化の詳細については、「[構成アイテムの運用化](#)」を参照してください。

関連情報

[構成アイテムの改訂、運用化、および廃止](#)

構成アイテムの運用化

変更を確定して元の CI に適用できるように、構成アイテムを運用化します。

始める前に

- CI が改訂されていることを確認してください。
- 必要なロール: sn_ni_core.inventory_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、次に移動します。 変更 > **All** (すべて)。
3. 目的の変更要求を選択します。
変更要求を作成するには、「[ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成](#)」を参照してください。

4. [変更タスク] タブを選択します。
5. **[New (新規)]** を選択します。
6. 変更タスクタイプを選択します。
 - 計画
 - 実装
 - テスト
 - レビュー
7. **[Create (作成)]** を選択します。
選択した変更モデルに基づく変更タスクフォームが表示されます。
8. [要求タイプ] フィールドで **[CI を運用化]** を選択し、他のフィールドに入力します。
他のフィールドの詳細については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。
9. **[Save (保存)]** をクリックする。
10. [タスク属性] フォームで、[運用化する **CI**] フィールドのリストから CI を選択するか、[変更要求 **ID**] フィールドから変更要求を選択します。
11. **[Submit (送信)]** を選択します。
変更タスク の状態 が [クローズ済み] に変わります。作業メモは、運用化された CI の詳細で更新されます。

i 注:

変更要求を選択すると、[影響を受ける **CI**] タブにリストされているすべての変更済み構成アイテム (CI) が運用可能になり、それに応じて作業メモが更新されます。

CMDBワークスペースでのネットワークインベントリ構成アイテムの表示

CMDBワークスペースを使用して、CMDBの検索と探索、その健全性と最近のアクティビティの調査、組織内のタスクをサポートするさまざまなダッシュボードとツールへのアクセスを行うことができます。

CMDBワークスペースの前提条件

- プラグイン: CMDB ワークスペースを使用する前に、次のプラグインをアクティブ化する必要があります。
 - CMDB CSDM サポート (com.snc.cmdb.csdm)
 - CMDB アクティベーション (com.snc.cmdb.csdm.activation)
- ロール: CMDB ワークスペースにアクセスするには、少なくとも次のいずれかのロールが必要です。
 - sn_cmdb_admin
 - sn_cmdb_editor
 - sn_cmdb_user

i 注:

CMDBワークスペースでは、一部のダッシュボードとリストビューで、主要なアドミン、エディター、またはユーザーロールに加えて特定のロールが必要です。割り当てられているロールによっては、CMDB ワークスペースで利用可能な一部の機能にしかアクセスできない場合があります。

- 機能: CMDB ワークスペースでは、さまざまなアプリケーションと機能にアクセスできます。ただし、意味のあるレポート、概要、および傾向を提供するには、生成されたデータをワークスペース CMDB 使用できるように、これらの機能の一部をセットアップして構成する必要があります。

CMDBワークスペースへのアクセス

ServiceNow Storeからアプリをインストールしたら、ネットワークインベントリ > **CMDB Workspace**.

CI 検索

クラスの構成アイテム (ネットワーク資産 CI) を検索するには、最大 5 つの条件を指定します。これらの条件は、選択したクラスの属性に基づいています。結果リストでネットワーク資産 CI をクリックすると、タイムライン、健全性の概要、ネットワーク資産 CI の属性など、ネットワーク資産 CI の詳細が表示されます。

詳細については、[CI の詳細] ページのセクションを参照してください。

CI 概要

Applications、*Cloud*、*Server*などの共通クラスカテゴリ別にグループ化されたCMDBネットワーク資産 CI の概要を確認します。

クラスグループを選択して、グループに含まれるすべてのクラスを表示し、ネットワーク資産 CI を表示するクラスを選択します。

[結果] リストでネットワーク資産 CI をクリックすると、ネットワーク資産 CI のタイムライン、健全性の概要、および属性を含む概要ページが表示されます。詳細については、[CI の詳細] ページのセクションを参照してください。

CMDB ヘルス

ネットワーク資産 CI のメトリクスを取得し、関係の健全性を確認します。パーセンテージの数字をクリックして、[CMDB 健全性] および [CMDB リレーションシップ健全性] ダッシュボードに移動すると、次の情報が表示されます。

- 全体のパーセンテージの数値は、すべてのネットワーク資産 CI の健全性を、正確性、コンプライアンス、完全性の 3 つの重要業績評価指標 (KPI) すべてのアグリゲーションとして表しています。各ネットワーク資産 CI にはサブメトリクスが含まれています。
- 関係のパーセンテージの数値は、孤立、重複、および古い関係 KPI のアグリゲーションとして、関係の全体的な健全性を表します。

7 日間のアクティビティの傾向

CMDB ワークスペースには、過去 7 日間の CMDB アクティビティの概要を示す次のチャートが含まれています。

過去 7 日間の CI アクティビティ

ネットワーク資産 CI に関連するメトリクスを示すチャートを表示します。たとえば、新しいネットワーク資産 CI、更新されたネットワーク資産 CI、および重複ネットワーク資産 CI の数に関するメトリクスを確認できます。

7 日間のアプリケーションサービスアクティビティ

アプリケーションサービスに関連するメトリクスを示すチャートを表示します。たとえば、アプリケーションサービスの合計数、新しいアプリケーションサービス、更新され

たアプリケーションサービス、および機能停止のあるアプリケーションサービスの数を確認できます。

自分が管理する CI

ネットワーク資産 CI クラス別にグループ化して、管理するネットワーク資産 CI のリストを表示します。ネットワーク資産 CI の *Managed by Group* 属性にアサインされているグループのメンバーである場合、ネットワーク資産 CI はこのリストに表示されます。

クイックリンク

CMDBダッシュボードとツールへのリンクのリストを表示します。

i 注:

リンクは、アプリケーションのインストール、アクティブなプラグイン、およびアサインされたロールに基づいて、条件付きで利用できます。リンクが表示されない場合は、リンクのすべての要件が満たされていることを確認してください。

- CI クラスマネージャー:基本的なクラス定義、ならびに識別および調整 (IRE) および CMDB の健全性のためのクラス設定を表示、作成、または編集できます。
- CMDB 健全性ダッシュボード:ヘルスレポートを表示し、ネットワーク資産 CI が評価されるヘルス KPI とメトリクスを CMDB ヘルスダッシュボードで設定できます。

CI 詳細ページ

ネットワーク資産 CI レコードにドリルダウンすると、ネットワーク資産 CI の次の詳細を確認できます。

- CI タイムライン - 過去 14 日間:変更要求などのネットワーク資産 CI アクティビティのタイムライン。
- CI 健全性:ネットワーク資産 CI の重大なインシデント、不完全な属性、古い関係などの関連アイテムを示す、ネットワーク資産 CI の健全性の概要。
- 詳細:ネットワーク資産の CI 属性。キー属性、資産属性、ディスカバリー属性、運用属性、その他の属性などのカテゴリにグループ化されます。

i 注:

ネットワーク資産 CI クラスの CMDB - *Workspace* フォームビューを使用して、属性の外観を設定できます。

- アクティビティ:ネットワーク資産 CI レコードの変更内容を追跡するアクティビティストリーム。
- インフラストラクチャ関係:ネットワーク資産 CI に関連するインフラストラクチャネットワーク資産 CI のリスト。
- サービス関係:ネットワーク資産 CI が関連している可能性があるビジネスアプリケーション、サービスオフリング、およびアプリケーションサービスのリスト。

CI の詳細ページでは、次のアクションを実行できます。

- 依存関係ビューを開き、ネットワーク資産 CI レコードのグラフィックインフラストラクチャビューを取得するには、[依存関係ビューを開く] をクリックします。
- マルチソースデータレポートビルダーを開き、ネットワーク資産 CI レコードのネットワーク資産 CI 属性レベルでさまざまなディスカバリーソースによって CMDB がどのように入力されているかを追跡するには、[マルチソースデータの表示] をクリックします。
- ネットワーク資産 CI レコードの属性への変更を保存するには、[保存] をクリックします。

CI エラーメッセージ

次の表は、CI の削除中に表示される CI エラーメッセージと、エラーを解決するために使用できるソリューションを理解するのに役立ちます。

エラーメッセージ

エラー	解決
現在の操作は次のステータスで終了しました:エラー。詳細:操作(すべての TNI CI 階層の削除/終了)が次のエラーで失敗しました:エラー:関連する CI 「XXXX/XXXX/ PON アクセスパス/100Mbps/000030」(sys_script_include.989afcd1cb330110202b2c52f8076d7e.script; 行 52)があるため、CI 「XXXX/XXXX/ COPPER LINK/000118」を削除できません	親 CI を削除するには、子または関連 CI (構成アイテム) を削除します。 1. [関連テンプレート] で関連 CI または子 CI をクリックします。 2. [削除] をクリックします。 ただし、アドミニストレーターはいつでも削除アクションをカスタマイズできます。詳細については、「削除アクションのカスタマイズ」を参照してください。

削除アクションのカスタマイズ

削除アクションをカスタマイズすると、独自の削除プロセスを作成できます。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセス自動化 > **Flow Designer** (フローデザイナー) > 新規 > アクション。
2. [アクションのプロパティ] フォームに入力して、アクションを作成します。
3. [Submit (送信)] を選択します。
4. 意思決定管理 → [ディシジョンビルダー] に移動して、新しいアクションを適用します。
5. **TNI CI** 削除ポリシーを選択します。
6. [ディシジョンテーブル] で、適切な **CI** タイプに対してアクションタイプを更新します。

ネットワーク図の使用

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのネットワーク図を使用して、回路とその基礎となる接続要素の階層マップを表示します。

関連情報

[回路の可視化](#)

ネットワーク図の詳細を表示する

通信事業ネットワークインベントリのネットワーク図を使用して、接続ノードの詳細を表示し、論理接続の基礎となる接続要素を可視化します。論理接続の詳細な概要と、接続要素が互いにどのように接続されているかを理解できます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

ネットワーク ダイアグラムを使用すると、次のことができます。

- ネットワーク図にドリルダウンして、基礎となる要素を表示します。
- ネットワーク図を構成する接続ノードの詳細を表示します。
- 論理接続のリビジョンの詳細を表示します。
- 論理接続の保護パスを表示します。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択します。
3. 検索項目 インベントリ > 論理接続。
4. レコードを開き、[接続の表示] を選択します。
5. 基礎となる要素または接続ノードの詳細を表示します。
ネットワーク図では、次のアクションを実行できます。

関連情報

[回路の可視化](#)

ネットワーク図のダウンロード

マップの選択に基づいて、ネットワーク図のキャンバス全体をダウンロードします (通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで)。回路を視覚化するためのリファレンスとして使用できます。

始める前に

必要なロール : sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

このタスクについて

ネットワーク ダイアグラムのキャンバス全体を PNG 形式でダウンロードし、ダイアグラム全体をローカル システムに保存できます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択します。
3. 検索項目 インベントリ > 論理 接続。
4. レコードを開き、[接続の表示] を選択します。
5. 追加 () を選択してノードを展開し、目的のビューを取得します。
6. マップペインで、ダウンロードアイコン()を選択します。

タスクの結果

画像は PNG 形式でダウンロードされます。

関連情報

[回路の可視化](#)

保護パスの作成

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションで論理接続の保護パスを作成します。この保護パスは、プライマリパス（論理接続）に障害が発生した場合や重大な問題が発生した場合の代替ルートとして使用できます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン (☰) を選択します。
3. 検索項目 インベントリ > 論理接続。
4. レコードを開き、[接続の表示] を選択します。
5. [保護パス] タブを選択し、[新規] を選択します。
6. フォームの次のフィールドに入力します。

CI 関係フォーム

フィールド	説明
親	保護パスを追加する親 CI。
タイプ	CI リレーションシップタイプ。保護パスの場合、CI 関係タイプは Redundancy Provided by::Redundancy provided for です。
子	保護パスとして追加する論理接続レコード。

次のタスク

ネットワーク図で保護パスを表示できます。詳細については、「[ネットワーク図の詳細を表示する](#)」を参照してください。

CI レコードの属性パックの使用

属性パックを使用して、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの構成アイテム (CI) レコードに定義した属性をキャプチャし、属性値を更新します。

CI レコードで属性パックを使用する

属性パックを使用して、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの構成アイテム (CI) レコードに定義する属性をキャプチャします。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン (☰) を選択し、新しい在庫クラスを開きます。
3. **[New (新規)]** を選択します。

4. [パックの追加] を選択します。

5. [Submit (送信)] を選択します。

タスクの結果

属性パックテーブルが [パック] タブに追加されます。

次のタスク

追加したパックテーブルのフィールドを更新できます。詳細については、「[CI レコードのパックの確認と更新](#)」を参照してください。

CI レコードのパックの確認と更新

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの構成アイテム (CI) レコードのパックテーブルで定義した属性を確認して更新します。

始める前に

CI レコードのパックテーブルを追加します。詳細については、「[CI レコードで属性パックを使用する](#)」を参照してください。

必要なロール:sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () を選択し、パックテーブル属性を更新するインベントリレコードを開きます。
3. [パック] タブで、更新するパックテーブルを選択します。
4. フィールドに入力します。
5. [Save (保存)] をクリックする。

ネットワーク トポロジの使用

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのネットワークトポロジを使用して、ネットワーク内のさまざまな要素がどのように編成され、相互に接続されているかを表示します。

ネットワークトポロジを表示するには、トポロジレコードを手動で作成するか、design and assign」機能を使用して作成する必要があります。詳細については、以下を参照してください。

- [ネットワーク トポロジの手動作成](#)。
- [設計とアサインを使用したネットワークトポロジレコードの作成](#)。

関連情報

[ネットワークトポロジの可視化](#)

ネットワーク トポロジの表示

ネットワーク トポロジの詳細を表示し、ネットワーク エLEMENTがどのように編成され、相互に接続されているかを視覚化します。通信事業ネットワークインベントリアプリケーションで、トポロジのネットワークインフラストラクチャの詳細な概要を理解できます。

始める前に

必要なロール：

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_viewer

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. ネットワークビューアアイコン()を選択します。
3. 検索ボックスにトポロジ名を入力して選択することで、トポロジを可視化します。
選択した複数のトポロジを選択できます。詳細フィルターオプションを使用して、フィルターアイコン()を選択してトポロジを検索することもできます。
4. 詳細を表示するノードを選択し、詳細ペインで関連情報を表示します。
5. 詳細ペインで、[詳細を表示] を選択して CI レコードにリダイレクトします (オプション)。

ネットワークサイトマップの使用

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのネットワークサイトマップを使用して、ネットワークサイトの場所とその詳細を表示します。

関連情報

マップの可視化

ネットワークサイトマップの詳細を表示する

ネットワークサイトマップを使用して、ネットワークサイトの地理的位置とその詳細を 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで表示します。ネットワーク サイトの詳細な概要と接続に関する情報理解できます。

始める前に

必要なロール:sn_ni_core.network_planning_agent

このタスクについて

ネットワーク サイト マップを使用して、次の操作を行います。

- ネットワークサイトの詳細を表示します。
- 同じ場所にあるサイトの詳細を表示します。
- ネットワークサイトに関連付けられている物理的および論理的な接続とトポロジを表示します。
- ネットワークサイトに関連付けられているケーブルルートを表示します。
- キャパシティ情報を表示します。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. ネットワークサイトマップアイコン()を選択します。
3. マップペインで次のアクションを実行して、ネットワークサイトの詳細を表示します。

関連情報

マップの可視化

ネットワークインベントリレコードに画像を追加する

ネットワークインベントリレコードに画像を追加します。アップロードされた画像でネットワーク資産を区別できます。

始める前に
必要なロール：

sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.inventory_template_manager、sn_ni_core.inventory_site

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. [リスト] アイコン () を選択し、 ネットワークサイト > すべてのサイト。
画像を追加する在庫の種類を選択できます。
3. 画像を追加するレコードを開きます。
4. [メディア] タブで、[新規] を選択します。
5. [詳細] タブで、フィールドに入力します。

ネットワークサイトフォーム - サイト詳細

フィールド	説明
[Name (名前)]	イメージ名。
レコードテーブル	画像をアップロードするテーブル名。たとえば、ネットワーク サイトにイメージを追加する場合は、[ネットワーク サイト (cmdb_ci_ni_site)] を選択します。
取得日	ネットワークリソースが組織によって合法的に取得された日付。
ステータス	イメージの現在のステータス。インベントリレコードに画像を表示するには、[アクティブ] を選択します。
メディアタイプ	メディアファイルのタイプ。
説明	イメージに関する簡単な説明。
デフォルト	インベントリレコードに画像を表示するには、このチェックボックスをオンにします。
取得者	この画像を取得した人に名前を付けます。
レコードID	インベントリレコード。
イメージ	ファイルをアップロードするには、[画像の追加] を選択します。
ビュータイプ	複数の画像をアップロードする場合は、表示タイプを選択します。
シーケンス	複数の画像をアップロードする場合は、シーケンスを選択します。

6. [Save (保存)] をクリックする。

タスクの結果

イメージがネットワークインベントリレコードに追加されます。

関連情報

[ネットワークサイトマップの詳細を表示する](#)

ネットワークサイトからサイトマップを開くフォーム

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのネットワークサイトフォームからネットワークサイトマップを開きます。ネットワークサイトの地理的な場所と接続に関する情報を把握できます。

始める前に

必要なロール：sn_ni_core.inventory_admin、sn_ni_core.inventory_agent

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. リストアイコン () をクリックし、 ネットワークサイト > すべてのサイト。

管理しているサイトを表示するには、 ネットワークサイト > 自分のサイト。

3. 詳細を表示するネットワーク サイトを開きます。
4. [ネットワークサイトマップ] を選択します。

ネットワークサイトフォームには、サイトの場所に有効な緯度と経度がある場合にのみ、[ネットワークサイトマップ] ボタンが表示されます。

タスクの結果

[ネットワーク サイト マップ] ページが開き、ネットワーク サイトが表示されます。

設計とアサイン機能の使用

通信事業ネットワークインベントリアプリケーションでネットワークサービスの設計とアサイン機能を使用します。インベントリエージェントは、プレイブックを使用してガイド付きタスクを完了し、ネットワークインベントリレコードとそれに関連する構成アイテム (CI) レコードを設計してアサインすることができます。

設計およびアサイン機能には、エージェントが設計要求の要件を満たすための複数のアクティビティが含まれています。設計とアサイン機能を使用する場合、エージェントは次のことができます。

- プレイブックのアクティビティを表示します。
- アクティビティを選択し、そのアクティビティを完了するために必要な作業を実行する。
- アクティビティを完了としてマークし、次のアクティビティに移動します。
- インベントリレコードを設計して割り当てるために必要なアクティビティを完了します。

関連情報

[ネットワークサービスの設計とアサイン](#)

設計およびアサイン機能を使用して論理接続レコードを作成

設計とアサイン機能を使用して、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで論理接続を作成します。論理接続を作成することで、ネットワークサービスの設計要求を満たすことができます。

始める前に

設計基準のインベントリレコード、モデル、モデルの関係、テンプレート、およびテンプレートの関係を定義します。

必要なロール:sn_ni_core.inventory_agent、sn_ni_core.network_planning_manager

このタスクについて

[設計とアサイン] ホームページには、[設計が進行中] ステータスの変更要求が一覧表示されます。要件に応じて、リストから変更要求を選択するか、変更要求を作成して論理接続を設計できます。設計およびアサイン機能のプレイブックの各アクティビティを完了すると、次のアクティビティの変更タスクが作成されます。

各アクティビティを完了すると、ネットワーク図が更新され、データが表示されます。ネットワーク図に不完全性がないか確認し、それに応じてアクティビティを更新できます。

手順

1. 次のように移動する。ワークスペース > ネットワークインベントリワークスペース。
2. 設計してアサインアイコン () を選択します。
[設計とアサイン] ホームページが表示されます。
3. 選択 新規 > 論理接続を作成。
[設計が進行中] で変更要求が作成され、[設計とアサイン] ウィンドウが表示されます。
4. [セットアップ要求の詳細] カードで、フィールドに入力します。

セットアップ要求の詳細フォーム

フィールド	説明
[Number (番号)]	[設計が進行中] ステータスの論理接続をインスタンス化するために、変更要求番号が自動的に生成されます。
カテゴリ	この変更要求のカテゴリ。カテゴリがリストには、場合は、[その他] を選択します。
優先度	この変更要求の優先度。
簡単な説明	設計のサマリー。
説明	設計の詳細な説明。

5. [完了としてマーク] を選択します。
6. [論理接続のセットアップ] カードで、フィールドに入力します。

[論理接続のセットアップ] フォーム

フィールド	説明
論理接続モデル	この論理接続が構成されている論理接続モデル。
帯域幅	この論理接続の帯域幅。論理接続モデルと互換性のある帯域幅のみがここにリストされます。 注: 互換性のある帯域幅が利用できない場合、すべての帯域幅をリストします。
ネットワークドメイン	このネットワーク資産または接続の所有権および責任のドメイン。次のオプションのいずれかを選択します。 モビリティ

フィールド	説明
	モビリティ機器ドメインに関連付けられたネットワーク資産。 Telco 電気通信機器ドメインに関連付けられているネットワーク資産。 Core コア機器ドメインに関連付けられているネットワーク資産。
論理接続テンプレート	選択した論理接続モデルに基づくすべてのテンプレートのリスト。

7. [完了としてマーク] を選択します。

8. [エンドポイントの定義] カードで、フィールドに入力します。

[エンドポイントの定義] フォーム

フィールド	説明
開始サイト	この接続の発信元ネットワークサイト。
開始機器	この接続の発信元機器。
開始インターフェイス	この接続の発信元ネットワークインターフェイス。
終了サイト	この接続の宛先ネットワークサイト。
終了機器	この接続の宛先機器。
終了インターフェイス	この接続の宛先ネットワークインターフェイス。

9. [完了としてマーク] を選択します。

10. [接続要素のアサイン] カードで [追加] を選択し、フィールドに入力して接続要素を選択します。

このアクティビティをスキップするには、[スキップ] を選択します。

接続要素のアサインフォーム

フィールド	説明
要素タイプ	接続要素のタイプ。リストから 1 つ選択します。 - ネットワークインターフェイス - 物理接続 - 論理接続 - 設備 - トポロジ
要素名	選択されているイベントタイプに基づく接続要素。接続要素を選択すると、[利用可能なキャパシティ] フィールドと [使用済みキャパシティ] フィールドに接続要素のキャパシティ情報が表示されます。

フィールド	説明
モデル	この接続要素が構成されているモデル。モデル関係に基づく互換性のあるモデルのみが表示されます。
開始サイト	この接続要素の発信元ネットワークサイト。 i 注: このフィールドは、物理接続と論理接続の要素タイプで使用できます。
終了サイト	この接続要素の宛先ネットワークサイト。 i 注: このフィールドは、物理接続および論理接続の要素タイプでのみ使用できます。
開始機器	この接続要素の作成元機器。 i 注: このフィールドは、物理接続および論理接続の要素タイプでのみ使用できます。
終了機器	この接続要素の宛先機器。 i 注: このフィールドは、物理接続および論理接続の要素タイプでのみ使用できます。
ルーティング	ルートの数。
シーケンス	シーケンスの数。

11. [完了としてマーク] を選択します。

12. [保護要素の割り当て] カードで [追加] を選択し、フィールドに入力して保護要素を選択します。

この手順をスキップするには、[スキップ] を選択します。

[保護要素のアサイン] フォーム

フィールド	説明
開始サイト	この保護パスの作成元ネットワークサイト。
開始機器	この保護パスの発信元機器。
モデル	この保護論理接続が構成されているモデル。モデル関係に基づく互換性のあるモデルのみが表示されます。
終了サイト	この保護パスの宛先ネットワークサイト。
終了機器	この保護パスの宛先機器。
論理接続の保護	冗長性パスとして機能する論理接続。

13. [完了としてマーク] を選択します。

14. 番号要素の定義 カードで、追加 を選択し、フィールドに入力して番号要素を選択します。

この手順をスキップするには、[スキップ] を選択します。

[番号要素の定義] フォーム

フィールド	説明
構成アイテムが所有	インベントリ番号レコードに関連する構成アイテム (CI)。
親番号タイプ	親レコードが属するインベントリ番号のタイプ。次のいずれかを選択します。 - LAG - リンクアグリゲーション範囲 - VLAN - VLAN 範囲
親番号範囲	親番号の範囲。
番号タイプ	このネットワークインベントリが属するインベントリ番号のタイプ。次のいずれかを選択します。 - LAG - リンクアグリゲーション範囲 - VLAN - VLAN 範囲
[Number (番号)]	アサインされていない番号がここに表示され、複数選択できます。

15. [完了としてマーク] を選択します。

16. [IP アドレスの定義] カードで [追加] を選択し、フィールドに入力して IP アドレスを選択します。

この手順をスキップするには、[スキップ] を選択します。

IP アドレスカードの定義

フィールド	説明
IP プール	この IP アドレス割り当ての親プール。
IP サブネットワーク	この IP アドレス割り当ての IP ネットワークサブネット。
IP アドレス	IP アドレスを選択します。
割り当て済み IP アドレス	割り当て済みの IP アドレスを選択します。  注: このフィールドは、IP ネットワークサブネットに IP アドレスが割り当てられている場合にのみ表示されます。

17. オプション: [完了としてマーク] を選択します。
18. オプション: 属性の設定 カードで、追加 を選択し、フィールドに入力して接続要素を選択します。
- (Optional) この手順をスキップする場合は、[スキップ] を選択します。

属性カードの設定

フィールド	説明
接続名	論理接続レコードの名前。接続名を追加します。追加しない場合はデフォルト名が追加されます
ライフサイクルステージ	このネットワーク資産が属するライフサイクルのステージ: 展開 ネットワークに展開されているネットワーク資産。 設計 設計目的で使用されるネットワーク資産。 サポート終了 耐用年数の終わりにあるネットワーク資産。 インベントリ ネットワークで使用されているインベントリアイテムであるネットワーク資産。 サポート終了 見つからないネットワーク資産。 運用 運用中のネットワーク資産。 購入 ライフサイクルの購入段階にあるネットワーク資産。
ライフサイクルステージステータス	ライフサイクルステージに関連するネットワーク資産のステータス: メンテナンス中 現在メンテナンス中のネットワーク資産。 使用中 現在使用されているネットワーク資産。 廃止待ち 現在メンテナンス中のネットワーク資産。
サポート担当者	このネットワーク資産をサポートするユーザーの名前。
サポートグループ	ネットワークインベントリをサポートするグループ。
コメント (顧客に表示)	コメントがあれば。
業務メモ	(Optional) このネットワーク資産のフリーフォームの操作メモテキスト。 たとえば、発電機のディーゼル燃料を確認します。

19. [レビューおよび送信] カードで、フィールドに入力します。

レビューおよび送信フォーム

フィールド	説明
メモ	追加のメモ。

20. [Submit (送信)] を選択します。

タスクの結果

アクティビティごとに変更タスクが作成され、実行されます。論理接続レコードは、関連する構成アイテム (CI) とともに作成されます。

関連情報

[論理接続の設計とアサイン機能](#)

通信事業ネットワークインベントリ 参照

参照トピックには、通信事業ネットワークインベントリに関する追加情報が記載されています。

ケーブルフォーム

[ケーブル] フォームでは、光ファイバーケーブルレコードの詳細を記述できます。

ケーブルフォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	このケーブルレコードの名前。Now Platformは、この名前を使用してネットワークインベントリ内で識別します。
サポートグループ	ネットワークインベントリをサポートするグループ。
資産	このレコードに関連付けられている資産の名前。
管理担当者	このネットワーク資産を管理するユーザーの名前。検索アイコン (🔍) を選択し、リストからユーザーを選択します。
Life Cycle Stage (ライフサイクルステージ)	このネットワーク資産が属するライフサイクルのステージ: 展開 ネットワークに展開されているネットワーク資産。 設計 設計目的で使用されるネットワーク資産。 サポート終了 耐用年数の終わりにあるネットワーク資産。 インベントリ ネットワークで使用されているインベントリアイテムであるネットワーク資産。 サポート終了

ケーブルフォーム (続く)

フィールド	説明
	見つからないネットワーク資産。 運用 運用中のネットワーク資産。 購入 ライフサイクルの購入段階にあるネットワーク資産。
Life Cycle Stage Status (ライフサイクルステージステータス)	ライフサイクルステージに関連するネットワーク資産のステータス: メンテナンス中 現在メンテナンス中のネットワーク資産。 使用中 現在使用されているネットワーク資産。 廃止待ち 現在メンテナンス中のネットワーク資産。
モデル ID	資産のモデル ID。
ドメイン	ドメイン内のデバイスにアサインされた一意の名前またはアドレス。
A 側終端	このケーブルが接続されているインターフェイスやスロットなどの開始点。
Z 側終端	このケーブルが接続されているインターフェイスまたはスロットなどのエンドポイント。
A 終端コネクタ	ケーブルの始点に使用される物理ケーブルコネクタのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 BNC Bayonet Neill Concelman (BNC) コネクタは、ビデオおよび RF 用途に使用され、同軸ケーブル ネットワークで使用されています。 SC 正方形のスナップインコネクタ。 LC ラッチ機構を備えた小型でプッシュアンドプル設計。 ST バヨネットスタイルのツイストロックと長い円筒形のフェルール。 ワイヤーラップ 細い剥き出しのワイヤーを支柱またはピンに巻き付けて接続を確立します。 RJ45 コネクタには 8 つのピンがあり、ツイストペアケーブルの端に使用されます。

ケーブルフォーム (続く)

フィールド	説明
Z 終端コネクタ	ケーブルの終端点に使用される物理ケーブルコネクタのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 BNC Bayonet Neill Concelman (BNC) コネクタは、ビデオおよび RF 用途に使用され、同軸ケーブル ネットワークで使用されています。 SC 正方形のスナップインコネクタ。 LC ラッチ機構を備えた小型でプッシュアンドプル設計。 ST バヨネットスタイルのツイストロックと長い円筒形のフェルール。 ワイヤーラップ 細い剥き出しのワイヤーを支柱またはピンに巻き付けて接続を確立します。 RJ45 コネクタには 8 つのピンがあり、ツイストペアケーブルの端に使用されます。
長さ	ケーブルの全長。
長さ単位	ケーブルのルートの長さを表す測定単位。次のオプションのいずれかを選択します。 -- なし -- 接続ルートの長さは、距離の測定値として表されません。 インチ 距離はインチで表されます。 フィート 距離はフィートで表されます。 マイル 距離はマイルで表されます。 メートル 距離はメートルで表されます。 センチメートル 距離はセンチメートルで表されます。 キロメートル 距離はキロメートルで表されます。
コメント	ネットワーク資産へのコメントに使用する自由形式のテキスト。たとえば、Duty tech は Rahul Dev です。

ケーブルフォーム (続く)

フィールド	説明
Operational status (運用ステータス)	ネットワークインベントリ資産の運用ステータス。

関連情報

[ケーブル詳細の定義](#)

ケーブルモデルフォーム

[ケーブルモデル] フォームでは、光ファイバーケーブルモデルレコードの詳細を記述できます。

ケーブルモデルフォーム

フィールド	説明
メーカー	ネットワーク資産のメーカーの名前。検索アイコン (🔍) を選択し、製造元コードを選択します。詳細については、「 メーカーコードとベンダーコードの作成 」を参照してください。
[Name (名前)]	ケーブルモデルの名前。Now Platformは、この名前を使用してネットワークインベントリ内で識別します。
簡単な説明	定義しているケーブルモデルの説明。
モデルカテゴリ	CI クラスにマップするモデルカテゴリのリスト。モデルカテゴリは 製品カタログ アプリケーションの一部です。
モデル番号	メーカーによってモデルに割り当てられたモデル番号。
資産追跡戦略	このネットワーク資産で使用できる機器所有者ユニットの数。
バーコード	メーカーによってモデルに割り当てられたバーコード番号。
耐用寿命 (月数)	モデルを使用できる月数。
資産トラッキング単位	このネットワーク資産で使用できる機器所有者ユニットの数。
Owner (オーナー)	モデルの責任者。
取得方法	モデルの取得方法: 購入 モデルが購入されました。 リース済み モデルはリースされました。

ケーブルモデルフォーム (続く)

フィールド	説明
	双方向 モデルは購入され、リースされました。
ステータス	モデルの本番ステータス: 構築 モデルをビルドする必要があります。 In Production (本番環境) モデルは本番環境です。 販売済み モデルは販売されました。 廃止 モデルは廃止されました。
コスト	モデル 1 つのコスト。
支出タイプ	支出の種類。次のオプションのいずれかを選択します。 投資 資本的支出とは、一度の支出でその価値を何年にも渡って実感するものです。たとえばコピー機が該当します。 経費 運用支出は継続的な支出です。たとえばコピー機のトナーが該当します。
減価償却	ケーブルモデルの減価償却スケジュール。
認定	このネットワーク資産が認定されているかどうかを指定するオプション。
残存価額	耐用年数の終了時に資産が売却された場合に実現する推定価値。この値は資産のコスト以下でなければなりません。
コメント	モデルに関する有用な追加情報。
電力 (W)	ネットワーク資産の電力 (ワット)。
寸法単位	寸法を表す測定単位。次のオプションのいずれかを選択します。 -- なし -- 接続ルートのは長さは、距離の測定値として表されません。 インチ 距離はインチで表されます。 フィート 距離はフィートで表されます。 マイル 距離はマイルで表されます。
音響出力 (ベル)	ネットワーク資産のエネルギーが放出される速度 (ベル)。
長さ	[単位] フィールドで指定した測定単位で表されるネットワーク資産の長さ。

ケーブルモデルフォーム (続く)

フィールド	説明
	- たとえば、資産が 1 フィートの場合は 12 を入力し、資産が 60 インチで [単位] フィールドの測定単位として [インチ] を選択した場合は 60 を入力します。 - Now Platformはこの情報を使用して資産の 3 次寸法を計算し、指定されたネットワーク サイト内での物理的な配置を決定します。
特性	ケーブルのタイプ。次のいずれかを選択します。 オプティカル 光パルスを使用して信号を伝送します。 電気関係 電流を使用して信号を伝送します。
幅	[単位] フィールドで指定した測定単位で表されるネットワーク資産の長さ。 - たとえば、資産が 1 フィートの場合は 12 を入力し、資産が 60 インチで [単位] フィールドの測定単位として [インチ] を選択した場合は 60 を入力します。 - Now Platformはこの情報を使用して資産の 3 次寸法を計算し、指定されたネットワーク サイト内での物理的な配置を決定します。
高さ	[単位] フィールドで指定した測定単位で表されるネットワーク資産の高さ。 - たとえば、資産の高さが 60 インチで、[単位] フィールドの測定単位として [インチ] を選択した場合は、60 と入力します。 - Now Platformはこの情報を使用して資産の 3 次寸法を計算し、指定されたネットワーク サイト内の物理的な配置を決定します。
奥行	[単位] フィールドで指定した測定単位で表されるネットワーク資産の奥行。 i 注: このフィールドは、機器モデルと機器所有者モデルに適用されます。

関連情報

[ケーブル モデルの作成](#)

キャパシティ定義フォーム

[キャパシティ定義] フォームでは、キャパシティ定義レコードの詳細を記述することができます。

キャパシティ定義フォーム

フィールド	値
[Name (名前)]	キャパシティ定義レコードの名前。
アプリケーション	キャパシティ機能が作成されるアプリケーション名。

キャパシティ定義フォーム (続く)

フィールド	値
[Active (アクティブ)]	キャパシティ計算の定義を有効にするオプション。
関数	キャパシティの計算に使用するキャパシティ機能レコード。複数の機能を選択できます。
説明	キャパシティ定義に関する簡単な説明。
エンティティテーブル	クエリを実行しているエンティティテーブル。システムクラス名は、エンティティテーブルか、エンティティテーブルから派生したサブクラスのいずれかである必要があります。
条件	追加のクエリ条件。キャパシティ定義を実行するには、クエリ条件が有効である必要があります。

関連情報

[キャパシティ定義を作成](#)[キャパシティ管理](#)

キャパシティ機能の追加フィールド

[戦略] フィールドで選択したオプションに応じて、次のフィールドが [キャパシティ機能] フォームに表示されます。

静的値:追加フィールド

フィールド	説明
静的値	キャパシティ計算のカウント数。

アグリゲートクエリ数:追加フィールド

フィールド	説明
エンティティテーブル	クエリを実行しているデータベース内のエンティティテーブル。
クエリ テーブル	クエリしているテーブルの名前。
クエリ条件	追加のクエリ条件。
関連フィールド	クエリしているクエリテーブルのフィールド。リストから 1 つ選択します。

値フィールド:追加フィールド

フィールド	説明
クエリ テーブル	クエリしているテーブルの名前。
クエリ条件	追加のクエリ条件。
値フィールド	クエリしているレコードのフィールド。リストから 1 つ選択します。

スクリプト:追加フィールド

フィールド	説明
エンティティテーブル	クエリを実行しているデータベース内のエンティティテーブル。
スクリプト	目的のデータのクエリ方法を決定するスクリプト。スクリプトには回答変数を含める必要があり、変数のタイプは数値または文字列です。

関連情報

[キャパシティ機能フォーム](#)[キャパシティ機能を作成](#)

キャパシティ機能フォーム

キャパシティ機能フォームでは、キャパシティ機能レコードの詳細を記述することができます。

キャパシティ機能フォーム

フィールド	値
[Name (名前)]	キャパシティ機能レコードの名前。
アプリケーション	キャパシティ機能が作成されるアプリケーション名。
説明	キャパシティ機能に関する簡単な説明。
関数	キャパシティ計算のタイプ。次のいずれかを選択します。 最大 ネットワーク資産の最大数。 占有済み 占有されているネットワーク資産の合計数。 利用可能 利用可能なネットワーク資産の合計数。これは、最大資産と占有資産の違いです。 最大隣接数 利用可能な最大隣接ネットワーク資産。
戦略	キャパシティ計算の方法。次のいずれかを選択します。 静的値 固定値または定数値を使用してキャパシティを計算します。静的値アプローチでは、クエリするレコード内のフィールドを考慮せずに、事前定義されたメトリクスを使用してキャパシティを計算します。 アグリゲートクエリカウント アグリゲート関数を使用してキャパシティを計算するデータベースクエリ。この戦略では、エンティティテーブルに存在するレコードの関連フィールドをクエリします。このタイプのクエリは、特定の条件を満たすレコードの合

キャパシティ機能フォーム (続く)

フィールド	値
	計数など、テーブル内のフィールドに関するサマリー情報を取得する場合に便利です。 値フィールド この戦略を使用して、データベースに存在するクエリテーブルの特定の値を確認します。 スクリプト クエリにスクリプトを使用する高度な戦略アプローチ。 選択した戦略に応じて、追加のフィールドがフォームに表示されます。追加フィールドの詳細については、「キャパシティ機能の追加フィールド」を参照してください。
測定タイプ	測定単位は、計算するキャパシティのタイプによって異なります。次のいずれかを選択します。 • 単位 • 電力 • 重み付け • スロットユニット • ポートユニット
順序	順番フィールドの値。

関連情報

[キャパシティ機能を作成](#)[キャパシティ管理](#)

変更要求関連タブ

変更要求フォームの関連タブには、変更要求のコンテキストに基づいて動的に変化する関連レコードが表示されます。

変更要求関連タブ

タブ	説明
影響を受ける CI	構成アイテム (CI) のリスト。これらのアイテム (CMDB から) は変更要求の影響を受けます。影響を受ける複数の CI を変更に関連付けることができます。

変更要求関連タブ (続く)

タブ	説明
	i 注: - 変更要求フォームの [影響を受ける CI] タブには、その変更要求の変更タスクを通じて作成されたすべての CI が一覧表示されます。このタブには、変更タスクの影響を受けるすべての CI もリストされます。 - 変更タスクの影響を受ける CI リスト内の CI が手動で (または API を介して) 別の CI に変更されると、対応する変更要求の影響を受ける CI リストでも変更が更新されます。 - 変更タスクの影響を受ける CI リスト内の CI が手動で (または API を介して) 削除された場合、同じ CI が対応する変更要求の影響を受ける CI リストで削除されます。
影響するサービス/CI	ビジネスサービスや他の CI クラスなどの CI のリスト。これらのアイテムは、変更要求で影響を受ける CI の影響を受けます。影響を受ける複数の CI を変更に関連付けることができます。
承認者	承認者のリスト。これらのアイテムは、ワークフローから自動的に生成されます。タスクにアサインされている承認者のグループを表示することもできます。
変更タスク	変更タスクのリスト。これらのアイテムはワークフローから作成されます。デフォルトのワークフローでは、[実装] ステータスでタスクが生成されます。新規変更タスクを作成することもできます。タスクの開始 予定日 と 終了予定日は、変更要求で指定された開始予定日と終了予定日の範囲内に収まる必要があります。
問題	問題の説明のリスト。変更が問題から生成された場合、このリストが自動的に生成されます。
変更により修正されたインシデント	変更の解決が必要なインシデント。
変更によるインシデント	変更の実装によって引き起こされたインシデントのリスト。
[Task SLAs (タスク SLA)]	特定の変更タスクに添付されている SLA のタスク SLA レコードのリスト。
機能停止	CI の利用不可または機能停止のリスト。いずれかの CI アイテムに実際のダウンタイムがある場合は、機能停止の情報が表示されます。

関連情報

ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成

一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド

一部のネットワーク資産インスタンスフィールドは、通信事業ネットワークインベントリ フォームの識別セクションで共通です。Now Platformこれらのフィールドを使用して、ネットワークインベントリ資産を識別して分類します。

共通識別フィールド

フィールド	説明
アラーム可能か	このネットワーク資産にアラームシステムをアサインできるかどうかを指定するオプション。
資産	このレコードに関連付けられている資産の名前。
可用性	リソースが使用されているかどうかの現在のステータス。次のオプションのいずれかを選択します。 • 利用可能 • 使用済み • 予約済み • 共有しました
CLEI コード	このネットワーク資産にアサインされた共通言語装置識別 (CLEI)。CLEI コードは、構造化された命名形式で機器を識別する、グローバルに一意の 10 文字の英数字インテリジェントコードです。CLEI コードとメーカーの製品コード (ハードウェアのバージョンを含む部品番号) の間には 1 対 1 の関係があります。
CLLI コード	このネットワーク資産のアサインされた機器の共通場所識別子コード (CLLI)。北米の電気通信業界では、電気通信機器の場所と機能を指定するために CLLI コードを使用しています。
関数	さまざまなネットワークエンティティまたは資産の機能を分類するために使用するオプションのユーザー定義関数コード。検索アイコン (🔍) を選択し、関数コードを選択します。
Life Cycle Stage (ライフサイクルステージ)	このネットワーク資産が属するライフサイクルのステージ: - 展開 - ネットワークに展開されているネットワーク資産。 - 設計 - 設計目的で使用されるネットワーク資産。 - サポート終了 - 耐用年数の終わりにあるネットワーク資産。 - インベントリ

共通識別フィールド (続く)

フィールド	説明
	ネットワークで使用されているインベントリアイテムであるネットワーク資産。 サポート終了 見つからないネットワーク資産。 運用 運用中のネットワーク資産。 購入 ライフサイクルの購入段階にあるネットワーク資産。
Life Cycle Stage Status (ライフサイクルステージステータス)	ライフサイクルステージに関連するネットワーク資産のステータス: メンテナンス中 現在メンテナンス中のネットワーク資産。 使用中 現在使用されているネットワーク資産。 廃止待ち 現在メンテナンス中のネットワーク資産。
場所	ネットワークサイトの地理的な場所。検索アイコン (🔍) を選択し、場所階層から場所を選択します。場所階層の詳細については、「product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-locations.dita」を参照してください。
管理担当者	このネットワーク資産を管理するユーザーの名前。検索アイコン (🔍) を選択し、リストからユーザーを選択します。
ネットワークドメイン	このネットワーク資産または接続の所有権および責任のドメイン。次のオプションのいずれかを選択します。 モビリティ モビリティ機器ドメインに関連付けられたネットワーク資産。 Telco 電気通信機器ドメインに関連付けられているネットワーク資産。 Core コア機器ドメインに関連付けられているネットワーク資産。
製品モデル	このネットワーク資産に関連付けられている製品モデル (存在する場合)。検索アイコン (🔍) を選択し、製品モデルを選択します。
交換可能	このネットワーク資産が誤動作した場合、またはネットワーク停止の影響を受けた場合に交換できるかどうかを指定するオプション。

共通識別フィールド (続く)

フィールド	説明
ロール	さまざまなネットワークエンティティまたは資産のロールまたは目的を分類するために使用するオプションのユーザー定義ロールコード。検索アイコン (🔍) を選択し、ロールコードを選択します。
シリアル番号	このネットワーク資産に割り当てられたシリアル番号。
サポートグループ	ネットワークインベントリをサポートするグループ。
タイプ	さまざまなネットワークエンティティまたは資産のタイプを分類するために使用するオプションのユーザー定義タイプコード。検索アイコン (🔍) を選択し、タイプコードを選択します。
[Name (名前)]	この IP プールまたは IP ネットワークサブネットのわかりやすい名前。
CIDR	サブネットに関連付けられているクラスレスドメイン間ルーティング (CIDR)、ゲートウェイの IP アドレス、およびサブネットマスク。VMware の場合、[CIDR]、[ゲートウェイ]、および [サブネットマスク] フィールドは必須です。
管理対象ネットワーク	この IP プールと IP サブネットワークに関連付けられている管理対象ネットワークの名前。
親プール	この IP プールまたは IP ネットワークサブネットの親である IP プールの名前。
説明	この IP プールまたは IP ネットワークサブネットに関する説明的な情報。
DNS ドメイン	IP アドレスの名前。
使用中の報告済みアドレス	この IP プールまたは IP サブネットで使用されているアドレスの数。
報告済みフリーアドレス	この IP プールまたは IP サブネットに対して空いているアドレスの数。
報告済み予約アドレス	この IP プールまたは IP サブネットに予約されているアドレスの数。

ケーブルパラメーターフォーム

フィールド	説明
ケーブルタイプ	ケーブルタイプの名前。
ケーブル番号	物理接続で使用されるケーブルの番号。
スタンド数	このケーブルに含まれるファイバーの数。
ケーブル長	ケーブルの長さ (ミリメートル (mm) 単位)。
親ケーブル	最上層の物理接続を指定するオプション。
カラー コード	ケーブルラインの色。
予備の長さ A	サイト A に接続するケーブルの長さ (ミリメートル (mm) 単位)。
予備の長さ Z	サイト Z に接続するケーブルの長さ (ミリメートル (mm) 単位)。

ケーブルパラメーターフォーム (続く)

フィールド	説明
KML ルート	ファイバールートマップを KML 形式で指定するオプション。

一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド

アルファベット順にリストされているこれらのフィールドは、通信事業ネットワークインベントリフォームの一部またはほとんどの構成セクションに共通しています。Now Platformは、ネットワーク資産インスタンスを定義するときに、それらを使用して個々のネットワーク資産を構成します。

フィールド	説明
コメント	ネットワーク資産へのコメントに使用する自由形式のテキスト。たとえば、Duty tech は Rahul Dev です。
ディメンション	ネットワーク資産の物理的な寸法。
識別名	他の関連ネットワーク資産から連結された名前と ID に基づくネットワーク資産の代替名参照。
メーカー	ネットワーク資産のメーカーの名前。検索アイコン (🔍) を選択し、製造元コードを選択します。詳細については、「 メーカーコードとベンダーコードの作成 」を参照してください。
モデル番号	このネットワーク資産のメーカーのモデル番号。
向き	このネットワーク資産のスロットの物理的な向き: -- なし -- 特定の物理スロットの向きはありません。 水平 水平スロットの向き。 垂直 垂直スロットの向き。
ネットワークドメイン	このネットワーク資産または接続の所有権および責任のドメイン。次のオプションのいずれかを選択します。 モビリティ ワイヤレスデバイスと接続を表します。 Telco エッジまたはアクセスネットワークを表します。 Core コアネットワークインフラストラクチャを表します。

フィールド	説明
業務メモ	このネットワーク資産のフリーフォームの操作メモテキスト。たとえば、発電機のディーゼル燃料を確認します。
POTS 番号	このネットワーク サイトに関連付けるプレーン オールド電話サービス番号。
製品モデル	このネットワーク資産に関連付けられている製品モデル (存在する場合)。検索アイコン () を選択し、製品モデルを選択します。
シリアル番号	このネットワーク資産に割り当てられたシリアル番号。

[会社] フォーム

[会社] フォームを使用すると、会社コードの会社の詳細を確認、作成、および変更できます。

[会社] フォーム

フィールド	説明
名前	会社の名前
電話	会社の電話番号
FAX	会社の FAX 番号
カスタマー	顧客を示すオプション。
銘柄コード	会社の 3 文字または 4 文字の銘柄記号。
株価	会社の在庫が販売されている現在の価格。
番地	会社の番地
市区町村	会社が所在する市
都道府県	会社が所在する都道府県
郵便番号	会社の郵便番号
メモ	会社に関する有用な情報

関連情報

[メーカーコードとベンダーコードの作成](#)

接続要素フォーム

[接続要素] フォームを使用すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの物理接続と論理接続の接続要素を定義できます。このフォームで要素を作成、レビュー、更新、および削除できます。

接続要素フォーム

フィールド	説明
論理接続	接続要素が作成される論理接続の名前。

接続要素フォーム (続く)

フィールド	説明
物理接続	接続要素が作成される物理接続の名前。
要素タイプ	選択できる接続要素のタイプ: • ネットワークインターフェイス • 物理接続 • 論理接続 • 管理対象ネットワーク機能 • 設備 • トポロジ
要素	要素タイプの要素。
シーケンス	シーケンスの数。
ルーティング	ルートの数。
ケーブル	物理要素のケーブル。
ストランド番号	物理要素のケーブル番号。

ラックビューから機器を作成

[新規機器を作成] フォームでは、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションを使用して、選択したラックから機器を作成できます。

新しい機器を作成

フィールド	説明
インベントリテンプレートを適用	機器のテンプレートを選択
[Name (名前)]	機器の名前
Life Cycle Stage (ライフサイクルステージ)	このネットワーク資産が属するライフサイクルのステージ: 展開 ネットワーク資産がネットワークに展開されます。 設計 ネットワーク資産は設計目的で使用されています。 サポート終了 ネットワーク資産の耐用年数が終了しようとしています。 インベントリ ネットワーク資産は、ネットワークで使用されているインベントリアイテムです。

新しい機器を作成 (続く)

フィールド	説明
	サポート終了 ネットワーク資産が見つからないため、見つかりません。 運用 ネットワーク資産は運用可能です。 購入 ネットワーク資産は、その寿命の購入段階にあります。
機器 CLLI	このネットワーク資産のアサインされた機器の共通場所識別子コード (CLLI)。北米の電気通信業界では、電気通信機器の場所と機能を指定するために CLLI コードを使用しています。
ネットワークドメイン	このネットワーク資産または接続の所有権および責任のドメイン。次のオプションのいずれかを選択します。 モビリティ ネットワーク資産は、モビリティ機器のドメインに関連付けられています。 Telco ネットワーク資産は、電気通信機器ドメインに関連付けられています。 Core ネットワーク資産は、コア機器のドメインに関連付けられています。
管理担当者	このネットワーク資産を管理するユーザーの名前。検索アイコン (🔍) を選択し、リストからユーザーを選択します。
Life Cycle Stage Status (ライフサイクルステータス)	ライフサイクルステージに関連するネットワーク資産のステータス: メンテナンス中 ネットワーク資産は現在メンテナンス中です。 使用中 ネットワーク資産は現在使用されています。 廃止待ち ネットワーク資産は現在メンテナンス中です。

新しい機器を作成 (続く)

フィールド	説明
サポートグループ	ネットワークインベントリをサポートするグループ。
ネットワークサイト	この装置の設置場所
構成	[オプションのテンプレート] セクションで、マルチスロットのテンプレートを選択します。 i 注: このフィールドは、マルチスロットテンプレートの場合にのみ表示されます。

[論理接続を作成] フォーム

[論理接続を作成] フォームを使用すると、論理接続の変更要求の接続の詳細を確認、作成、および変更できます。

[論理接続を作成] フォーム

フィールド	説明
A 終了サイト	この論理接続が構成されている開始ネットワーク サイト。
A 終了機器	この論理接続が構成されているネットワーク機器を起動します。
A 終了インターフェイス	この論理接続が構成されている開始ネットワークインターフェイス。
論理接続モデル	この論理接続が構成されている論理接続モデル。 i 注: 変更要求で論理接続を作成する場合、トポロジ接続モデルはリストされません。
Z 終了サイト	この論理接続が構成されている終了ネットワーク サイト。
Z 終了機器	この論理接続が構成されているネットワーク機器を終了します。
Z 終了インターフェイス	この論理接続が構成されている終了ネットワークインターフェイス。
帯域幅	この論理接続の帯域幅。

関連情報

[GPON ブロードバンド サービスの設計と割り当て](#)

[物理接続を作成] フォーム

[物理接続を作成] フォームを使用すると、物理接続変更要求の接続の詳細を確認、作成、および変更できます。

[物理接続を作成] フォーム

フィールド	説明
A 終了サイト	この物理接続が構成されている開始ネットワーク サイト。
A 終了機器	この物理接続が構成されているネットワーク機器を起動します。
A 終了インターフェイス	この物理接続が構成されている開始ネットワークインターフェイス。
物理接続モデル	この物理接続が構成されている論理接続モデル。
Z 終了サイト	この物理接続が構成されている終了ネットワーク サイト。
Z 終了機器	この物理接続が構成されているネットワーク機器の終了。
Z 終了インターフェイス	この物理接続が構成されている終了ネットワークインターフェイス。
帯域幅	この物理接続の帯域幅。

関連情報

[GPON ブロードバンド サービスの設計と割り当て](#)

変更要求フォームと変更タスクフォーム

変更要求フォームを使用すると、変更を要求できます。

変更モデルの [変更タスク] フォーム

変更モデル	説明
ケーブルを追加	カードを追加するための変更タスクを作成するための変更モデル。詳細については、 変更要求フォームと変更タスクフォーム のカード追加フォームを参照してください。
Card を追加	インターフェイスカードを追加するための変更要求を作成するための変更モデル。詳細については、 変更要求フォームと変更タスクフォーム のカード追加フォームを参照してください。
インベントリ機器を作成	インベントリ機器を作成するための変更要求を作成するための変更モデル。詳細については、 変更要求フォームと変更タスクフォーム の機器の作成フォームを参照してください。

変更モデルの [変更タスク] フォーム (続く)

変更モデル	説明
	i 注: 計算および論理接続の作成フォームを確認するには、「[論理接続の計算および作成] フォーム」を参照してください。
論理接続を作成	論理接続を作成するための変更要求を作成するための変更モデル。詳細については、変更要求フォームと変更タスクフォームを参照してください。 i 注: - 論理接続 CI を更新または変更するには、「構成アイテムの変更」を参照してください。 - 論理接続エンドポイントを変更するには、「論理接続エンドポイントの変更モデルを使用した変更要求の作成」を参照してください。
物理接続を作成	物理接続を作成するための変更要求を作成するための変更モデル。詳細については、「変更要求フォームと変更タスクフォーム」を参照してください。 i 注: - 物理接続 CI を更新または変更するには、「構成アイテムの変更」を参照してください。 - 物理接続エンドポイントを変更するには、「物理接続の変更を使用した変更要求の作成」を参照してください。
ラック/キャビネットを作成	ラックまたはキャビネットを作成および可視化するための変更要求を作成するための変更モデル。詳細については、「変更要求フォームと変更タスクフォーム」を参照してください。

変更モデルの [変更タスク] フォーム (続く)

変更モデル	説明
	i 注: - ラックまたはキャビネットを作成するには、以下が存在することを確認します。 - モデルカテゴリが [機器ラック] の機器ホルダーモデルのモデル。 - 関係タイプが [ラック - スロット (Rack to Slot)] であるネットワークモデル関係の関係。 - インベントリモデルにラックモデルがあるインベントリテンプレート内のテンプレート。 ラックはテンプレートで選択されたラックモデルに基づいて作成され、ラックスロットはラックテンプレートに基づいて作成されます。 - ラックに機器を追加するには、「ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成」を参照してください。
ラック/キャビネットに機器を追加	新規または既存の機器をラックに追加するための変更モデル。詳細については、「 変更要求フォームと変更タスクフォーム 」を参照してください。
ラック/キャビネットから機器またはシェルフを削除	モデルを変更して、ラックまたはキャビネットスロットから機器またはシェルフを削除します。詳細については、「変更要求フォームと変更タスクフォーム」を参照してください。 i 注: シェルフが機器に関連している場合、シェルフは取り外すことができません。
IP アドレスの割り当て	IP アドレス割り当ての変更要求を作成するための変更モデル。詳細については、 変更要求フォームと変更タスクフォーム の IP アドレス割り当てフォームを参照してください。
電話番号の割り当て	電話番号割り当ての変更要求を作成するための変更モデル。詳細については、 変更要求フォームと変更タスクフォーム の [電話番号の管理] フォームを参照してください。

GPON ブロードバンド - レコードプロデューサーフォーム

フィールド	説明
顧客サイト	ネットワークサイト。

GPON ブロードバンド - レコードプロデューサーフォーム (続く)

フィールド	説明
ONT 機器テンプレート	機器テンプレート。
スプリッター	備品。
スプリッターポート	ポートインターフェイス。
PON ネットワークパス	Pon 論理接続。
ISPN VLAN	ISPN VLAN 論理接続。
ISP EVPN VPWS	ISP EVPN VPWS 論理接続。
IP バージョン	IP バージョン。
IP アドレスの数	IP アドレスの合計数。
開始 IP アドレス	開始 IP アドレス。

レコードプロデューサーフォーム - デザインアサインリンク集計グループ

フィールド	説明
期日	この要求の終了予定日。
Site A (サイト A)	ソースサイトを選択できるテキストフィールド。
機器 A	ソース機器を選択できるテキストフィールド。 i 注: このリストは、選択したサイト A によって異なります。
Interface A (インターフェイス A)	ソースインターフェイスを選択できるテキストフィールド。 i 注: - リストは、選択した機器によって異なります。 - 仮想としてマークされているインターフェイスはリストに表示されません。
帯域幅	送信元インターフェイスと宛先インターフェイス間で送信する合計帯域幅を選択できるテキストフィールド。
開始日	この要求の開始予定日。
Site Z (サイト Z)	宛先サイトを選択できるテキストフィールド。
機器 Z	宛先機器を選択できるテキストフィールド。
Interface Z (インターフェイス Z)	宛先インターフェイスを選択できるテキストフィールド。

レコードプロデューサーフォーム - デザインアサインリンク集計グループ (続く)

フィールド	説明
	i 注: インターフェイス Z リストには、仮想としてマークされたインターフェイスは表示されません。

変更要求フォーム

フィールド	説明
[Number (番号)]	変更要求番号。
要求者	変更を要求したユーザー。このフィールドは、[変更要求] リストビューで利用可能で、特定の変更を誰が要求したかを確認できます。
カテゴリ	この変更要求のカテゴリ。カテゴリがリストにない場合は、[その他] を選択します。
サービス	この変更要求に対して使用できるようにするビジネスサービス。
サービスオフファリング	サービスのレベルを一意に定義する 1 つ以上のサービスコミットメントで構成されるサービスオプション。サービスオフファリングを通じて、サービスのさまざまなレベルのパフォーマンスと機能を選択できます。利用可能なサービスオフファリングをフィルタリングするには、サービスを選択する必要があります。
構成アイテム (CI)	変更が適用される構成アイテム (CI)。
優先度	この変更要求の優先度。
Risk	変更のリスク レベル。 次のオプションのいずれかを選択します。 • 高 • 中 • やや複雑
影響	ビジネスプロセスに対する変更の影響の測定。
簡単な説明	変更の概要。
説明	変更の詳細な説明。
モデル	通信事業ネットワークインベントリ変更要求に関連付けられている変更モデル。 変更モデルタイルを選択すると、関連するモデルがこのフィールドに表示されます。次のいずれかのオプションを手動で選択することもできます。 インターフェイスカードを追加

変更要求フォーム (続く)

フィールド	説明
	機器スロットにインターフェイスカードを追加するために使用される変更モデル。 インベントリ機器を作成 サイトまたは機器ホルダーでインベントリテンプレートを使用するときに機器を追加するために使用される変更モデル。 論理接続を作成 2つのネットワークインターフェイス間の論理接続を作成するために使用される変更モデル。 物理接続を作成 2つのネットワークインターフェイス間の物理接続を作成するために使用される変更モデル。 緊急 テレコムネットワークインベントリの緊急変更で使用される変更モデル。 GPON ブロードバンドサービス ギガバイトパッシブ光ネットワーク (GPON) ブロードバンド注文要求を履行するために使用される変更モデル。 標準 通信事業ネットワークインベントリ通常の変更に使用される変更モデル。 i 注: これらの変更モデルは、次で入手可能です: 変更 > All (すべて) > 新規 スクリーンショットです
ステータス	この変更要求の現在のステータス (新規、またはクローズ済み)。
アサイン先グループ	変更要求を処理するグループ。
Assigned to (アサイン先)	変更がアサインされているユーザー。アサインルールが適用される場合、変更は適切なユーザーまたはグループに自動的にアサインされます。 - 新規 - 設計が進行中

変更要求フォーム (続く)

フィールド	説明
	• 設計のレビュー • 設計が完了

変更要求フォーム - [スケジュール] タブ

フィールド	説明
開始予定日	実装の予測開始日。開始予定日は、現在の日付または将来の日付にすることができます。このフィールドのデフォルト値は現在の日付です。開始予定日を変更するには、カレンダーアイコン  、新しい日付を選択します。
終了予定日	実装の予測終了日。終了予定日は開始予定日より後にする必要があります。このフィールドのデフォルト値は、開始予定日の 1 日後です。終了予定日を変更するには、カレンダーアイコン  、新しい日付を選択します。
CAB 必須	この変更要求が実装前に変更諮問委員会 (CAB) の承認を必要とするかどうかを指定するオプション。
CAB 実施日時	実装の CAB 承認日。
実開始日	実装の実際の開始日。開始実績日時は、開始予定日以前にすることができます。
実終了日	実装の実際の終了日。終了実績日時は、開始予定日より前にすることはできませんが、開始実績日時より前にすることはできません。
CAB 委任者	変更諮問委員会 (CAB) 会議に出席して変更を説明するユーザー。
CAB の提言	CAB 会議に関連するメモまたは推奨事項。

変更要求フォーム - [メモ] タブ

フィールド	説明
ウォッチリスト	変更要求に関する通知を受け取るユーザー。通知を受信し、ウォッチトピックを表示できるユーザーの名前を追加します。
追加コメント (顧客に表示)	変更を要求したユーザーと作業メモを共有する必要があるかどうかを指定するオプション。
作業メモ	変更要求の作業メモ。
作業メモリスト	作業メモに関する通知を取得できるユーザー。

変更要求フォーム - [クローズ情報] タブ

フィールド	説明
Close code (終了コード)	この変更要求をクローズする理由を最ims的確に表すクローズコード。次のオプションのいずれかを選択します。 • Successful (成功) • 問題ありで失敗 • 不成功
クローズメモ	この変更要求をクローズした結果を説明する追加のメモ。

タスクを変更フォーム

フィールド	説明
[Number (番号)]	変更タスクの識別番号。
変更要求	この変更タスクの作成に使用された変更要求番号。
構成アイテム (CI)	変更が適用される構成アイテム (CI)。
要求タイプ	要求タイプ。選択内容に応じて、タスク属性の下のレコードプロデューサーフォームが更新されます。このフィールドは、変更要求のタイプを表します。次のいずれかを選択します。 CI を変更 このタイプの要求定義を使用すると、変更する CI を選択し、選択した CI の詳細と関連アイテムのクローンを作成できます。[構成アイテム] フィールドは、サフィックス (改訂済み) が付いたクローン作成された CI 名で自動的に更新されます。 CI に加えられたすべての変更が、クローン作成された CI に適用されます。また、元の CI と重複 CI の両方が [影響を受ける CI] タブにあります。クローン作成プロセスをカスタマイズするには、「CI クローン作成プロセスのカスタマイズ」を参照してください。 ケーブルを追加 このタイプの要求定義を使用すると、ケーブル レコードを作成できます。 カードの追加

タスクを変更フォーム (続く)

フィールド	説明
	このタイプの要求定義を使用すると、インターフェイスカードを追加するときにサイトと機器モデルを選択できます。機器のインスタンス化の詳細については、「電気通信の設計とアサイン」を参照してください。 機器を作成 このタイプの要求定義を使用すると、機器をインスタンス化するためのネットワークサイトとインベントリテンプレートを選択できます。ラック内に機器を配置する場合は、機器ホルダーを選択できます。 物理接続の作成および論理接続の作成 これらのタイプの要求定義には、開始 (A) と終了 (Z) の場所間の物理的または論理的な接続のための、類似したサイトおよび機器選択フィールドのセットがあります。A 開始および Z 終了インターフェイスの指定された機器モデルに関連付けられているインターフェイスのみを選択できます。 物理接続または論理接続をインスタンス化する場合は、2 つのサイト間に作成する接続のタイプに応じて、物理接続モデルまたは論理接続モデルを選択する必要があります。論理接続の場合、この内部コードは CI レコードと追加のパス要素を作成します。 論理接続:パス計算 このタイプの要求定義には、開始場所と終了場所の一連のサイトフィールドと設備フィールドがあります。 論理接続のパス計算を開始するには、論理接続モデルを選択する必要があります。詳細については、「[論理接続の計算および作成] フォーム」を参照してください。 トポロジのメンバーの変更 このタイプの要求定義を使用すると、ケーブル レコードを作成できます。ネットワーク トポロジ レ

タスクを変更フォーム (続く)

フィールド	説明
	コードの変更の詳細については、「設計とアサインを使用したネットワークポロジレコードの変更」を参照してください。 IP アドレスの割り当て このタイプの要求定義を使用すると、IP アドレス割り当てをインスタンス化し、IP アドレスに新しいサービスを割り当てることができます。詳細については、「変更要求フォームと変更タスクフォームの IP アドレス割り当てフォーム」を参照してください。 電話番号の割り当て このタイプの要求定義を使用すると、電話番号割り当てをインスタンス化できます。外部から提供される番号を割り当て、割り当て解除、および作成できます。詳細については、変更要求フォームと変更タスクフォームの [電話番号の管理] フォームを参照してください。
簡単な説明	この注文タスクの簡単な説明。
説明	この注文タスクの説明。
ステータス	この変更タスクのステータス。次のオプションのいずれかを選択します。 保留 タスクはユーザーからのアクションを待機しています。 オープン このタスクに対してはまだアクションが実行されていません。 進行中 タスク処理が進行中です。 クローズ済み 変更タスクが完了しました。 キャンセル済み 変更タスクがキャンセルされました。
アサイン先グループ	このタスクを担当するグループの名前。検索アイコン (🔍) を選択して、リストからグループを選択します。

タスクを変更フォーム (続く)

フィールド	説明
Assigned to (アサイン先)	選択したグループに応じて、リストにアサインされているユーザーが表示されます。検索アイコン (🔍) を選択すると、ユーザーのリストが表示されます。
作業メモ	自由形式の作業指示メモテキスト。
更新	注文タスクに加えた変更を保存するオプション。
タスクをクローズ	注文タスクのステータスを [クローズ済み] に変更するオプション。
削除	この注文タスクを削除するオプション。

インベントリ機器の作成またはラック/キャビネットの作成:タスク属性

フィールド	説明
インベントリテンプレート	機器モデルのインベントリテンプレートの名前。インスタンス化プロセスでは、これを使用して、指定されたネットワークサイトにネットワーク資産インスタンスを生成します。 i 注: • 選択したインベントリテンプレートに応じて、オプションのテンプレートのリストがフォームの下部に表示されます。 • オプションのテンプレートを選択すると、現在のテンプレートの値が上書きされます。 • このフィールドは、[インベントリ機器を作成] にのみ適用されます。
機器所有者	電気通信機器所有者の名前。機器を設置できるラックまたはキャビネットを選択します。 i 注: • [Telco Equipment holder] フィールドには、すべてのラックとキャビネットが一覧表示されます。 • このフィールドは、[インベントリ機器を作成] にのみ適用されます。
ネットワークサイト	プロセスが機器をインスタンス化しているネットワークサイトの名前。
ラック/キャビネットテンプレート	すべてのスロットを追加するラックテンプレートのテンプレート名。

インベントリ機器の作成またはラック/キャビネットの作成:タスク属性 (続く)

フィールド	説明
	i 注: - 選択した ラックテンプレート、 倉庫の場所、 および資産 に基づいて、スロット、 ネットワークサイト、 および関連するネットワークサイトが追加されます。 - このフィールドは、[ラックを作成] にのみ適用されます。
倉庫の場所	資産が置かれているストックルームの場所の名前。 詳細については、「通信事業ネットワークインベントリとハードウェア資産管理との統合」を参照してください。
資産	このレコードに関連付けられている資産の名前。 詳細については、「通信事業ネットワークインベントリとハードウェア資産管理との統合」を参照してください。

カードフォームを追加:タスク属性

フィールド	説明
サイト	このカードをインストールするサイト。
設備	このカードを取り付けるための機器。
スロット	このカードを挿入するスロット。
Template (テンプレート)	このカードのテンプレートを選択します。
倉庫の場所	資産が置かれているストックルームの場所の名前。詳細については、「通信事業ネットワークインベントリとハードウェア資産管理との統合」を参照してください。
資産	このレコードに関連付けられている資産の名前。詳細については、「通信事業ネットワークインベントリとハードウェア資産管理との統合」を参照してください。
スロットスパン	選択したカードに必要な場合に複数のスロットを選択するための複数のスロットセクター。このフィールドは、選択したテンプレートに基づいて表示されます。

カードフォームを追加:タスク属性 (続く)

フィールド	説明
	i 注: リストには、カードが含まれていないスロットとサブスロットのリストのみが表示されます。

IP アドレス割り当てフォーム - タスク属性

フィールド	説明
操作タイプ	操作のタイプ次のオプションのいずれかを選択します。 • IP ネットワークサブネットを作成:CIDR 値を使用してネットワークサブネットを作成します。 i 注: IP ネットワークサブネットを作成すると、[IP サブネットワークを作成] フローアクションが開始されます。詳細については、「IP サブネットワーク機能の作成」を参照してください。 • CIDR を IP アドレスに変換:単一または複数の CIDR を IP アドレスに変換し、IP アドレス割り当てに保存します。 i 注: CIDR から IP アドレスへの変換では、CIDR から IP への範囲のフローアクションが開始されます。詳細については、「CIDR から IP 範囲機能」を参照してください。
[Name (名前)]	この IP 割り当ての名前。
IP プール	この IP アドレス割り当ての親プール。
IP ネットワークサブネット CIDR	CIDR 値。
管理対象ネットワーク	ネットワークを選択して割り当てることができる IP アドレスまたは割り当て。
構成アイテムが所有	この割り当てを所有する構成アイテム。
IP ネットワークサブネット	CIDR を IP アドレスに変換するために検索および選択したネットワークサブネット。 i 注: このフィールドは、CIDR から IP アドレスへの変換にのみ使用されます。

電話番号の管理 - タスク属性

フィールド	説明
アクション	選択できるアクション: • 割り当て:ブロックから番号を割り当てます • 割り当て解除:番号の割り当てを解除します。番号のステータスが [隔離] に変更されます。 i 注: このアクションを選択するときは、割り当てを解除する割り当てまたは選択した番号を選択する必要があります。このアクションにより、ステータスが [隔離] に変更されます。 • 移植済み:別のオペレーターから移動された番号が含まれます。番号は、電話番号の電話番号割り当てにのみ保存されます。 i 注: 番号が一連の番号でない場合、複数の割り当てが作成されます。また、デフォルトでは、番号はアサイン済みまたは移植済みステータスに変更されます。 • 作成:外部電話ブロックに割り当てられた番号の電話番号割り当てを作成します。ネットワークインベントリベースの電話番号の割り当てに番号を割り当てています。
サービス	これらの番号のサービス。選択したサービスが番号に割り当てられます。 i 注: この電話番号のサービスを作成したことを確認してください。詳細については、「xNF および xNF インスタンスの作成」を参照してください。
数量	必要な電話番号の合計数。 i 注: このフィールドは、割り当て解除されたアクションの場合には表示されません。
電話番号の割り当て	入力した情報に基づいた利用可能な割り当て数。回線番号の電話番号割り当てを選択できません。
行番号	必要な回線番号を xxxx-xxxx または xxx-xxx または xxx, xxx-xxx の形式で入力します。

電話番号の管理 - タスク属性 (続く)

フィールド	説明
	i 注: 回線番号が一連の番号にない場合は、複数の電話番号の割り当てが作成されます。また、これらの番号のステータスは [アサイン済み] または [移植済み] に更新され、可用性は [いいえ] になります。

トポロジの設計とアサインフォーム - タスク属性

フィールド	説明
[Name (名前)]	トポロジの名前。
トポロジモデル	トポロジに関連付けられたインベントリモデル
帯域幅	トポロジの帯域幅。
トポロジサイト	トポロジに関連付けられたサイト。複数のサイトを選択できます。
トポロジノード	トポロジに関連付けられた機器 (ノード)。複数のノードを選択できます。
ルートノード	トポロジノード間のルートノード。
トポロジ接続タイプ	接続のタイプ次のいずれかを選択します。 • 論理接続 • 物理接続
トポロジ接続	トポロジに関連付けられている接続。複数の接続レコードを選択できます。

論理/物理接続フォーム - タスク属性/物理/論理接続の変更 - タスク属性

フィールド	説明
論理接続モデル	この論理接続が構成されている論理接続モデル。 i 注: 変更要求で論理接続を作成する場合、トポロジ接続モデルはリストされません。
物理接続モデル	この物理接続が構成されている物理接続モデル。
論理接続テンプレート	選択した論理接続モデルに基づくすべてのテンプレートのリスト。
帯域幅 (昇順)	このネットワーク接続のサイト A からサイト Z までの合計帯域幅容量。

論理/物理接続フォーム - タスク属性/物理/論理接続の変更 - タスク属性 (続く)

フィールド	説明
帯域幅 (降順)	このネットワーク接続のサイト A からサイト Z までの合計帯域幅容量。
A 終了サイト	この論理接続が構成されている開始ネットワーク サイト。
Z 終了サイト	この論理接続が構成されている終了ネットワーク サイト。
A 終了機器	この論理接続が構成されているネットワーク機器を起動します。
Z 終了機器	この論理接続が構成されているネットワーク機器を終了します。
親ポート A	新しい論理インターフェイスが接続の ポート A を表すネットワークインターフェイス。 i 注: 新しい論理インターフェイスは、選択した論理/物理接続モデルに基づいてデフォルトで作成され、論理接続または物理接続の [Configuration] セクションのポート A フィールドに入力されます。論理インターフェイスには、ポート名と子ポートの数、および選択されたポートの 1 つが表示されます。
親ポート Z	新しい論理インターフェイスが接続の ポート Z を表すネットワークインターフェイス。 i 注: 新しい論理インターフェイスは、選択した論理/物理接続モデルに基づいてデフォルトで作成され、[設定] セクションの [論理接続] または [物理接続] の下の [ポート Z] フィールドに入力されます。論理インターフェイスには、ポート名と子ポートの数、および選択したポートの 1 つが表示されます。
オーバーレイ接続を移動	変更された接続のすべての依存接続を現在のインターフェイスから新しいインターフェイスに移動するオプション。このチェックボックスをオフにすることで、論理接続を手動で更新することもできます。 i 注: このフィールドは、物理接続エンドポイントの変更モデルにのみ適用されます。

論理/物理接続変更要求フォーム

フィールド	説明
A 終了サイト	開始ネットワーク (サイト A フィールド) この選択した論理接続または物理接続が構成されているサイト i 注: このフィールドは、選択したサイト、機器、インターフェイス、または接続に基づいて自動的に入力されます。
Z 終了サイト	この選択した論理接続または物理接続が構成されている終了ネットワークサイト ([サイト Z] フィールド)。 i 注: このフィールドは、選択したサイト、機器、インターフェイス、または接続に基づいて自動的に入力されます。
A 終了機器	この論理接続または物理接続が構成されている開始ネットワーク (サイト A フィールド) 機器。 i 注: このフィールドは、選択したサイト、機器、インターフェイス、または接続に基づいて自動的に入力されます。
Z 終了機器	この論理接続または物理接続が構成されている終了ネットワーク (サイト Z フィールド) 機器。 i 注: このフィールドは、選択したサイト、機器、インターフェイス、または接続に基づいて自動的に入力されます。
A 終了インターフェイス	この論理接続または物理接続が構成されている開始インターフェイス (サイト A フィールド) ポイント。 i 注: このフィールドは、選択したサイト、機器、インターフェイス、または接続に基づいて自動的に入力されます。
Z 終了インターフェイス	この論理接続または物理接続が構成されている終了インターフェイス ([サイト Z] フィールド) ポイント。

論理/物理接続変更要求フォーム (続く)

フィールド	説明
	i 注: このフィールドは、選択したサイト、機器、インターフェイス、または接続に基づいて自動的に入力されます。
論理接続	変更が必要な論理接続をリストから選択します。 i 注: - このリストには、論理接続とそのリビジョンの両方が含まれています。論理接続のリビジョンを選択すると、[リビジョンを作成] チェックボックスが非表示になります。 - このフィールドは、選択したサイト、機器、またはインターフェイスに基づいて自動的に入力されます。
物理接続	変更が必要な物理接続をリストから選択します。 i 注: - リストには、物理とそのリビジョンの両方が含まれています。物理接続のリビジョンを選択すると、[リビジョンを作成] チェックボックスが非表示になります。 - このフィールドは、物理的な接続変更フォームにのみ適用されます。 - このフィールドは、選択したサイト、機器、またはインターフェイスに基づいて自動的に入力されます。
リビジョンを作成	リビジョンプロセスを有効または無効にするオプション。

論理/物理接続変更要求フォーム (続く)

フィールド	説明
	i 注: - このチェックボックスをオンにすると、次のようになります。 - リビジョンプロセスが開始されます。詳細については、「構成アイテムの改訂、運用化、および廃止」を参照してください。 - 変更とリビジョンのための 2 つの変更タスクが、それぞれ [オープン] および [クローズ済み] ステータスで作成されます。 [論理接続または物理接続の変更] 変更タスクを開いて、重複した論理接続または物理接続の変更を開始し、さらに運用化します。詳細については、「構成アイテムの運用化」を参照してください。 - 物理接続変更の改訂プロセスでは、物理接続ポートに関連付けられた論理接続が運用化プロセス中に更新されます。

ラック/キャビネットに機器を追加する、またはラック/キャビネットから機器/シェルフを削除する:タスク属性

フィールド	説明
ネットワークサイト	追加または削除する機器またはシェルフを含むネットワークサイト。 i 注: - このフィールドは、ラックに機器を追加する場合と、ラックから機器またはシェルフを削除する場合にのみ適用されます。 - リストには、ラックがあるサイトのみが表示されます。
ラック/キャビネット	追加または削除する機器またはシェルフのラック名。 i 注: このフィールドは、ラックまたはキャビネットに機器を追加する場合と、ラックまたはキャビネットから機器を削除する場合にのみ適用されます。

ラック/キャビネットに機器を追加する、またはラック/キャビネットから機器/シェルフを削除する:タスク属性(続く)

フィールド	説明
機器/シェルフ	選択したラックまたはキャビネットに追加または削除する機器またはシェルフ。 i 注: このフィールドは、ラックまたはキャビネットに機器を追加する場合、およびラックまたはキャビネットから機器またはシェルフを取り外す場合にのみ適用されます。
使用可能な RU	選択した機器を配置するために利用可能なラックユニットのリスト。 i 注: - このリストは、選択した機器の RU にも基づいています。 - このフィールドは、機器の編集およびラックへの追加中に表示されます。
正面図	選択したラックまたはキャビネットの正面図。デフォルトでは、[はい] が選択されています。 i 注: [いいえ]を選択すると、機器は背面に配置されます view。 - 機器はラックユニットに取り付けて、フロントユニット全体またはその半分を占めることができます。
排他的に使用	デフォルトでは、[はい] として選択されています。複数の機器にラックユニットを使用する場合は、[いいえ] を選択します。また、このフィールドを選択しない場合は、ラックの前面と背面の両方に機器を配置できます。 i 注: [はい] を選択すると、選択した機器がラックユニットの前面と背面の両方を占有します。 - 複数の機器は、シェルフ 機器ホルダータイプにのみ配置できます。詳細については、「product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-equipment-holders.dita」を参照してください。

ラック/キャビネットに機器を追加する、またはラック/キャビネットから機器/シェルフを削除する:タスク属性(続く)

フィールド	説明
ラックスロット	選択したマウントする機器で利用可能なラックユニットのリスト。 i 注: • 選択した機器のラックユニットは、モデルの [高さ (U)] フィールドに基づいて自動的に入力されます。たとえば、選択した機器に 2 つのラック ユニットが必要であることがフィールドに示されている場合、RU-10 という 1 つのラック ユニットだけが明示的に選択されている場合でも、システムは機器を収容するために RU-10 と RU-11 の両方を自動的に予約します。 • 機器には連続ラックユニットを選択してください。 • [高さ (U)] フィールドを空のままにすると、ここで指定したラックスロットが代わりに使用されます。 • ラックが複数のネットワークモデル関係にリンクされている場合、ラックに割り当てられるラックスロットの合計数は、各モデル関係に指定された カウント 値を合計することによって決定されます。 • ラックスロットの数を変更するには、関連する [カウント] 値を調整し、それに応じて余分なスロットを管理します。ラックスロット数が未定義の場合、ラックスロットの作成と削除は無制限です。

関連情報

[設計とアサインを使用したネットワークインベントリのインスタンス化](#)

デフォルトテンプレートフォーム

[デフォルトテンプレート] フォームを使用すると、デフォルトテンプレートを作成、レビュー、変更し、テンプレートの生成をスケジュールできます。

デフォルトテンプレートフォーム

[デフォルトテンプレート] フォームを使用すると、デフォルトテンプレートの詳細を作成、レビュー、および変更できます。

デフォルトテンプレートフォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	このデフォルトテンプレートの名前。
テーブル	このデフォルトテンプレートの基になっている構成アイテム (CI) クラスの日付を含むテーブルの名前。検索アイコン (🔍) をクリックし、テーブルを選択します。
[Active (アクティブ)]	このデフォルトテンプレートがアクティブかどうかを指定するオプション。
簡単な説明	このネットワーク資産の簡単な概要。
アプリケーション	デフォルトテンプレートが関連付けられているアプリケーションの名前。会社が購入したライセンスに基づいて、[Network Inventory Core] または [Network Inventory Advanced] が表示されます。
ドメイン	テンプレートが作成されるシステムドメイン。
ユーザー	このデフォルトテンプレートに関連付けられているユーザーの名前。検索アイコン (🔍) をクリックし、ユーザーを選択します。
グループ	このデフォルトテンプレートに関連付けられているユーザーグループの名前。検索アイコン (🔍) をクリックし、ユーザーグループを選択します。
グローバル	デフォルトのテンプレートがグローバルスコープ内にあることを示すオプション。そうでない場合は、アサインされたスコープが表示されます。
Template (テンプレート)	テーブル属性の名前とその値。このフィールドを使用して、[テーブル] フィールドで選択したテーブルから属性を選択し、各属性に特定の値を設定できます。このテンプレートを使用して純資産インスタンスを生成する [機器インベントリの作成] 変更要求を作成すると、生成する構成に特定の値を渡すことができます。

関連情報

デフォルトテンプレートの作成

予定エンティティ生成フォーム

[スケジュール済みエンティティの生成] フォームを使用すると、デフォルトテンプレートのスケジュール生成の詳細を作成、確認、および変更できます。

予定エンティティ生成フォーム

フィールド	説明
名前	このスケジュール済みジョブを識別する名前。デフォルト値はテンプレート名です。必要に応じて、このフィールドを更新できます。
[Active (アクティブ)]	スケジュール済みジョブがアクティブであり、指定した日時に実行する必要があることを示すオプション。

予定エンティティ生成フォーム (続く)

フィールド	説明
アプリケーション	エンティティを含むアプリケーションの名前。エンティティがグローバルスコープ内にある場合、[グローバル] が表示されます。
実行	スケジュール済みジョブの実行に使用する時間間隔。詳細については、「 テンプレートから何かを自動的に生成する 」を参照してください。
タイムゾーン	公的な目的のために特定の標準時間に従うエリア。
時間	スケジュール済みジョブを実行する時刻。時間、分、秒を 24 時間形式で表します。[タイムゾーン] フィールドでの選択によって、このエントリのタイムゾーンが決まります。
条件付き	関連するスクリプトで特定の条件が満たされた場合にスケジュール済みジョブの実行を有効にするオプション。
条件	スケジュール済みジョブを実行するかどうかを決定する条件付きスクリプト。スクリプトの最後の式はブール値 (true または false) で評価されます。このテキストボックスは、[条件] を選択した場合にのみ表示されます。
内容	スケジュール済みジョブの生成元のテンプレートレコードへの参照。

関連情報

[デフォルトテンプレートの作成](#)

GPON ブロードバンド サービスの設計と割り当て

Gigabyte Passive Optical Network (GPON) ブロードバンドサービス変更モデルを使用すると、GPON ブロードバンド注文要求を履行するための自動化されたタスクセットを作成できます。

GPON ブロードバンドサービスの概要

製品マネージャーは、GPON ブロードバンドサービス変更モデルを使用して、GPON ブロードバンドサービスのインベントリを設計して割り当てることができます。このモデルを使用すると、ネットワーク拡張の顧客の注文や要求を満たすことができます。

GPON ブロードバンドサービス要求の実行プロセスの変更

変更要求の実行プロセスには、GPON ブロードバンドサービス要求に対して完了する必要があるタスクステージが含まれています。要求を正常に完了するには、これらのタスクステージを次の順序で実行する必要があります。

変更要求の作成

GPON ブロードバンドサービスの変更モデルを使用して変更要求を作成します。詳細については、[での変更タスクの作成と実行 通信事業ネットワークインベントリ](#)を参照してください。

パスの計算と論理接続の作成

ネットワーク サイト間の可能なパスを特定し、各サイト間に論理接続を作成します。詳細については、このトピックの次のセクション「GPON ブロードバンド サービス変更モデルのパス計算」を参照してください。

論理接続を作成

開始 (A) と終了 (Z) の場所の間の物理的および論理的な接続に、類似のサイト選択フィールドのセットを追加します。選択できるのは、A エンドおよび Z エンドインターフェイスの指定された機器モデルに関連付けられているインターフェイスのみです。詳細については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。

物理接続を作成

開始 (A) と終了 (Z) の場所の間の物理的および論理的な接続に類似のサイト選択フィールドのセットを追加して、インベントリ機器を構成します。選択できるのは、A エンドおよび Z エンドインターフェイスの指定された機器モデルに関連付けられているインターフェイスのみです。詳細については、このトピックの次のセクション「GPON ブロードバンド サービス変更モデルのパス計算」を参照してください。

インターフェイスカードを追加

インターフェイスカードを追加するときは、サイトと機器モデルを選択します。[スロット] フィールドを使用して、機器モデルに追加するスロットを選択します。詳細については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。

機器を作成

機器をインスタンス化するネットワークサイトと機器モデルを選択します。インスタンス化プロセスでは、サイトレベルで機器レコードを生成して検証します。詳細については、「[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)」を参照してください。[変更要求フォームと変更タスクフォーム](#)

このシーケンスを完了すると、GPON ブロードバンド サービスの設計と割り当ての手順を完了できます。

このプロセスを正常に実行するには、一連の条件とシナリオを考慮する必要があります。詳細については、このトピックの次のセクション「GPON ブロードバンド サービス変更モデルのパス計算」を参照してください。

GPON ブロードバンドサービス変更モデルのパス計算

内部パス計算関数は、GPON ブロードバンドサービス変更モデルの一部です。その目的は、ネットワーク サイト間の可能なパスを識別することです。この計算は、GPON ブロードバンドサービスの変更モデルに関連付けられた各変更タスクを完了するときに入力するパラメーターに基づきます。

GPON ブロードバンドサービスの変更モデルを使用して変更要求を作成し、その要求を保存すると、5 つのデフォルトの変更タスクが作成されます。詳細については、「[GPON ブロードバンド サービス変更モデルを使用して変更要求を作成する](#)」を参照してください。

次のシナリオは、GPON ブロードバンド サービス要求を完了するプロセスを実行するときに、パス計算で処理されます。

- すべての物理接続が使用可能になると、パッシブ光ネットワーク (PON) アクセスパスが作成されます。
- スプリッタとPFP間の物理接続が使用されている場合、PONアクセスパスは失敗します。
- すべての物理接続が利用可能な場合、PON ネットワーク パスが作成されます。

- OLT と FDP 間の物理接続が使用されている場合、PON ネットワーク パスの作成は失敗します。
- すべての論理接続が共有されている場合、VLAN パス検索で接続を作成できます。
- リンクアグリゲーショングループ(LAG)パスが使用されている場合、VLAN パス検索は失敗します。

パス計算では、GPON ブロードバンドサービス変更モデルに関連付けられた各変更タスクのレコードプロデューサーを使用して、必要なデータを収集します。GPON ブロードバンドサービスの変更モデルから作成した [計算して論理接続を作成] 変更タスクを完了すると、ほとんどの接続データが収集されます。

1. パス検索は、接続の A 接続側に指定した機器モデルと Z 側接続で指定した機器モデルの間で行われます。
2. パス検索は、接続の A 接続側に指定した機器モデルと Z 側接続で指定した機器タイプの間で行われます。
 - 論理接続モデルは、パス計算後に作成する必要がある論理接続のモデルを示します。
 - 帯域幅は帯域幅テーブルを参照します。
 - 許可された物理接続モデルは、パスを見つけるために使用でき、パス要素に追加される物理接続 CI モデルをキャプチャします。

パス計算は、次の条件で機能します。

1. インターフェイスまでの設備階層には、インベントリ機器の作成変更モデルを使用して機器をインスタンス化するときには更新される *Contains:: Contained By* 関係があります。
2. 機器はネットワークサイトに関連しています。この条件は、[インベントリ機器を作成] 変更モデルを使用して機器をインスタンス化する場合にも適用されます。
3. インターフェイス間に作成する物理接続は、有効なモデルに関連付けられています。
4. [物理接続を作成] 変更モデルを使用して物理接続を作成すると、サイト間に CI 関係が作成されます。
5. インターフェイス間に作成する論理接続は、有効なモデルに関連付けられています。
6. [物理接続を作成] 変更モデルを使用して論理接続を作成すると、それらのサイト間に CI 関係が作成されます。
7. 論理接続の接続要素が追加されます。これらの要素は、計算でパス検索が実行されるときに、サイト間の有効な物理接続である必要があります。
8. ポート A とポート Z は、物理接続と論理接続に設定する必要があります。
9. 物理接続と論理接続の [可用性] フィールドは、これらの接続をルーティングの可能な基本パスとして修飾するために使用可能である必要があります。この検証により、リソースが複数回使用されないようにします。

パス計算で発生するエラーの詳細については[パス計算エラーメッセージ](#)を参照してください。

関連情報

[GPON ブロードバンドサービス変更モデルを使用して変更要求を作成する](#)

機器フォーム

[新規機器を作成] フォームを使用すると、機器レコードの詳細を記述できます。

新しい機器の作成フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	機器レコードの名前。
管理担当者	このネットワーク資産を管理するユーザーの名前。検索アイコン (🔍) を選択し、リストからユーザーを選択します。
Life Cycle Stage (ライフサイクルステージ)	このネットワーク資産が属するライフサイクルのステージ: 展開 ネットワークに展開されているネットワーク資産。 設計 設計目的で使用されるネットワーク資産。 サポート終了 耐用年数の終わりにあるネットワーク資産。 インベントリ ネットワークで使用されているインベントリアイテムであるネットワーク資産。 サポート終了 見つからないネットワーク資産。 運用 運用中のネットワーク資産。 購入 ライフサイクルの購入段階にあるネットワーク資産。
Life Cycle Stage Status (ライフサイクルステージステータス)	ライフサイクルステージに関連するネットワーク資産のステータス: メンテナンス中 現在メンテナンス中のネットワーク資産。 使用中 現在使用されているネットワーク資産。 廃止待ち 現在メンテナンス中のネットワーク資産。
機器 CLLI	このネットワーク資産のアサインされた機器の共通場所識別子コード (CLLI)。北米の電気通信業界では、電気通信機器の場所と機能を指定するために CLLI コードを使用しています。
サポートグループ	ネットワークインベントリをサポートするグループ。
ネットワークドメイン	このネットワーク資産または接続の所有権および責任のドメイン。次のオプションのいずれかを選択します。 モビリティ モビリティ機器ドメインに関連付けられたネットワーク資産。 Telco

新しい機器の作成フォーム (続く)

フィールド	説明
	電気通信機器ドメインに関連付けられているネットワーク資産。 Core コア機器ドメインに関連付けられているネットワーク資産。
ネットワークサイト	プロセスが機器をインスタンス化しているネットワークサイトの名前。

関連情報

[設計とアサインを使用した機器レコードの作成](#)

機器ホルダーフォーム

[機器所有者] フォームでは、機器所有者のネットワーク資産の詳細を作成、レビュー、および変更できます。

機器所有者フォーム - 一般

フィールド	説明
[Name (名前)]	このネットワーク資産のスロットの物理的な向き: -- なし -- 特定の物理スロットの向きはありません。 水平 水平スロットの向き。 垂直 垂直スロットの向き。
シリアル番号	このネットワーク資産の占有済みおよび利用可能な機器ホルダーユニットの合計数。
資産	このネットワーク資産で使用されている機器所有者ユニットの数。
サポートグループ	このネットワーク資産で利用できる機器所有者ユニットの数。
Life Cycle Stage (ライフサイクルステージ)	このネットワーク資産が属するライフサイクルのステージ: 展開 ネットワークに展開されているネットワーク資産。 設計 設計目的で使用されるネットワーク資産。 サポート終了 耐用年数の終わりにあるネットワーク資産。

機器所有者フォーム - 一般 (続く)

フィールド	説明
	インベントリ ネットワークで使用されているインベントリアイテムであるネットワーク資産。 サポート終了 見つからないネットワーク資産。 運用 運用中のネットワーク資産。 購入 ライフサイクルの購入段階にあるネットワーク資産。
管理担当者	このネットワーク資産を管理するユーザーの名前。検索アイコン (🔍) を選択し、リストからユーザーを選択します。
Life Cycle Stage Status (ライフサイクルステージステータス)	ライフサイクルステージに関連するネットワーク資産のステータス: メンテナンス中 現在メンテナンス中のネットワーク資産。 使用中 現在使用されているネットワーク資産。 廃止待ち 現在メンテナンス中のネットワーク資産。
モデル ID	このネットワーク資産のメーカーによるモデル識別番号。
アラーム可能	このネットワーク資産にアラームシステムをアサインできるかどうかを指定するオプション。

機器所有者フォーム:構成

フィールド	説明
メーカー	ネットワーク資産のメーカーの名前。検索アイコン (🔍) を選択し、製造元コードを選択します。詳細については、「 メーカーコードとベンダーコードの作成 」を参照してください。
モデル番号	このネットワーク資産のメーカーのモデル番号。
向き	このネットワーク資産のスロットの物理的な向き: -- なし -- 特定の物理スロットの向きはありません。

機器所有者フォーム:構成 (続く)

フィールド	説明
	水平 水平スロットの向き。 垂直 垂直スロットの向き。
ユニットの位置	このネットワーク資産のユニット位置。
ネットワークドメイン	このネットワーク資産または接続の所有権および責任のドメイン。次のオプションのいずれかを選択します。 モビリティ モビリティ機器ドメインに関連付けられたネットワーク資産。 Telco Telco 機器ドメインに関連付けられているネットワーク資産。 Core コア機器ドメインに関連付けられているネットワーク資産。
占有ユニット	このネットワーク資産の占有済みおよび利用可能な機器ホルダーユニットの合計数。
使用中ユニット	このネットワーク資産で使用されている機器所有者ユニットの数。
利用可能なユニット	このネットワーク資産で使用できる機器所有者ユニットの数。
コメント	ネットワーク資産へのコメントに使用する自由形式のテキスト。たとえば、Duty tech は Rahul Dev です。
割り当て電力	資産に割り当てられた最大電力。  注: - ラック/キャビネットの電力容量を維持するには、最小値の10ワットを組み込むことが不可欠です。 - デフォルトでは、容量メトリクスで値はキロワット (KW) に変換されます。変換式は次のとおりです - ワット (W) - <電力入力ワット> / 1000 - メガワット (MW) - 1000 * <メガワット単位の電力> - 馬力(HP)-0.746 * <馬力>
割り当て電力単位	資産の割り当て電力を測定する単位。次のいずれかの単位を選択します。 - ワット (W) - キロワット (KW)

機器所有者フォーム:構成 (続く)

フィールド	説明
	• メガワット (MW) • 馬力 (HP)
測定系の単位	最大重量キャパシティの単位がフェッチされる測定タイプ。次のいずれかの測定タイプを選択します。 • メトリクス • 米国帝国単位
最大重量キャパシティ	資産の最大キャパシティ。 i 注: デフォルトでは、値はキャパシティメトリクスでポンド (lbs) に変換されます。変換式は次のとおりです • オンス: <オンス重量> / 16 • グラム: <グラム単位> / 453.59 • キログラム: 2.204 * <重量キログラム>
最大重量キャパシティユニット	資産の重量の測定単位。次のいずれかを選択します。 • グラム (g) i 注: このフィールドは、測定単位にメトリクスが使用されている場合にのみアクセスできます。 • キログラム (kg) i 注: このフィールドは、測定単位にメトリクスが使用されている場合にのみアクセスできます。 • オンス (oz) i 注: このフィールドは、測定単位に米国帝国単位システムを使用している場合にのみアクセスできます。 • ポンド (lbs) i 注: このフィールドは、測定単位に米国帝国単位システムを使用している場合にのみアクセスできます。

関連情報

<product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-equipment-holders.dita>

機器所有者拡張クラス

機器所有者拡張クラスは、機器所有者から拡張されたサブクラスです。これらのクラスの設備所有者レコードは、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで定義できます。

機器所有者の拡張クラス

クラス名	テーブル名	拡張元	説明
キャビネット	cmdb_ci_container_cabinet	cmdb_ci_equipment_holder	電気通信キャビネットは、電気通信キャビネットまたは機器キャビネットとも呼ばれ、スイッチ、ルーター、パッチパネル、電源などのさまざまな電気通信およびネットワーク機器を収容および保護するために使用される物理エンクロージャです。ネットワークまたはデータセンター内の電気通信インフラストラクチャのインストール、管理、および相互接続のための安全で組織化された環境を提供します。
マルチラック	cmdb_ci_container_multirack	cmdb_ci_equipment_holder	マルチラックは、マルチラックシステムまたはマルチラックエンクロージャとも呼ばれ、大量の通信機器またはネットワーク機器を集中的に収容および整理するために使用される、相互接続された複数の機器ラックで構成される構成です。容量と拡張性を拡張し、データセンターや通信施設内での機器の効率的な展開と管理を可能にします。
ラック	cmdb_ci_container_rack	cmdb_ci_equipment_holder	一般にサーバーラックまたは機器ラックと呼ばれるラックは、サーバー、ネットワークデバイス、ストレージユニットなどのさまざまな IT および電気通信機器を安全に保持して整理するために設計されたフレームワークです。標準化されたフォームファクタを提

機器所有者の拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	拡張元	説明
			供し、データセンターやその他のテクノロジー環境での機器の設置、整理、メンテナンスを容易にします。
シェルフ	cmdb_ci_container_shelf	cmdb_ci_equipment_holder	シェルフホルダーは、ラックシェルフまたは機器シェルフとも呼ばれ、ラックまたは機器キャビネット内でラックマウント以外の機器またはデバイスを支えて保持するように設計されたコンポーネントです。ラックマウント機能が組み込まれていない機器に安定したプラットフォームを提供し、ラックインフラストラクチャ内でさまざまなデバイスを効率的に整理および統合できます。
スロット	cmdb_ci_container_slot	cmdb_ci_equipment_holder	テクノロジーとハードウェアのコンテキストでは、スロットとは、拡張カードやメモリモジュールなどの特定のタイプのコンポーネントを保持して収容するように設計された物理または仮想レセプタクルを指します。コンポーネントを挿入してメインシステムまたはデバイスに接続するための標準化されたインターフェイスと場所を提供します。 ハードウェアに依存します (contains::contained by)。 通常、名前は検出可能です。利用できない場合は、このスロットに含まれているカードの名前を使用します。

機器所有者の拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	拡張元	説明
サブスロット	cmdb_ci_container_subslot	cmdb_ci_equipment_holder	このコンテキストでは、カードに存在し、子カードを収容できるスロットはサブスロットと見なされます。 ハードウェアに依存します (contains::contained by)。 識別: 名前 (100)。名前は SNMP から検出されます。利用できない場合は、このサブスロットに含まれているカードの名前を使用します。

関連情報

<product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-equipment-holders.dita>

設備拡張クラス

機器拡張クラスは、Telco 機器、ネットワーク機器、およびハードウェアテーブルから拡張されたサブクラスです。これらのクラスの設備レコードは、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで定義できます。

設備拡張クラス

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	説明
論理コンポジット	cmdb_ci_logical_composite	cmdb_ci	論理コンポジットは、複数の個別のエンティティで構成される論理デバイスであり、それらが集約されて機能が提供されます。これは、物理的に接続されるのではなく、特定の目的または機能を達成するために論理的に接続されている機器やラックなどのネットワーク要素のグループ化を指します。
パワーオーバーイーサネットデバイス	cmdb_ci_power_over_ethernet_device	cmdb_ci_device	Power over Ethernet(PoE)は、1本のイーサネットケーブルでデータと電力の

設備拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	説明
			両方を伝送できるテクノロジーであり、個別の電源が不要になることで、IPカメラ、ワイヤレスアクセスポイント、VoIP電話などのネットワークデバイスの展開と接続を簡素化します。これにより、ネットワークインフラストラクチャのインストールが容易になり、柔軟性が向上します。
サービスアグリゲーションルーター	cmdb_ci_service_aggregation_router	gateway_router	サービスアグリゲーションルーターは、複数のサービスプロバイダーまたはネットワーク接続からのトラフィックを単一のネットワークインフラストラクチャに統合してルーティングするネットワークデバイスであり、効率的な管理とエンドユーザーまたは複数の場所への配布を可能にします。さまざまなソースからのトラフィックを集約して転送するための一元化されたハブとして機能し、ネットワークパフォーマンスを最適化し、ネットワーク管理を簡素化します。
住宅ゲートウェイ	cmdb_ci_residential_gateway	cmdb_ci_modem_network_gateway	レジデンシャルゲートウェイは、モデム、ルーター、およびその他のネットワークコンポーネントの機能を組み合わせたデバイスであり、インターネット接続、ローカルネットワーク管理、およびWi-Fi、ファイアウォール、音声機能などの追加サービスを住宅ユーザーまたは小規模なホームネットワークに提供します。インターネットアクセスの

設備拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	説明
			主要な入口として機能し、ホームネットワーク内のデバイスの接続と通信を可能にします。
マルチサービスネットワークルーター	cmdb_ci_multi_service_network_router	network_router	マルチサービスネットワークルーターは、イーサネット、MPLS、IP などのさまざまなネットワークプロトコルまたはテクノロジーを介して、データ、音声、ビデオなどのさまざまなタイプのネットワークトラフィックをサポートおよびルーティングできる汎用性の高いネットワークデバイスです。単一のルーターインフラストラクチャ内で複数のサービスと多様なトラフィックタイプを処理する機能を提供し、さまざまなアプリケーションやシステムの効率的な通信と接続を促進します。
ファブリック相互接続	cmdb_ci_fabric_interconnect	cmdb_ci_netgear	ファブリックインターコネクトは、データセンターアーキテクチャのネットワークコンポーネントであり、複数のサーバ、ストレージシステム、およびその他のネットワークデバイスを接続および管理するための中央スイッチとして機能します。高速通信を提供し、データセンターインフラストラクチャ内のさまざまなコンポーネント間の効率的なデータフローを可能にします。
プロトコルコンバーター	cmdb_ci_protocol_converter	cmdb_ci_netgear	相互運用性を実現するために、あるデバイスの標準または独自のプロトコルを他のデバイ

設備拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	説明
			スまたはツールに適したプロトコルに変換するために使用されるデバイス。
ネットワークモニタリング	cmdb_ci_network_monitoring	cmdb_ci_network_testing	ネットワーク監視ユニットは、ネットワークトラフィック、パフォーマンス、セキュリティをリアルタイムで継続的に監視および分析する専用のデバイスまたはソフトウェアシステムであり、ネットワークインフラストラクチャの健全性とステータスに関するインサイト、アラート、および可視化をアドミニストレーターに提供します。これにより、最適なネットワークパフォーマンスの確保、異常の検出、問題のトラブルシューティング、ネットワークセキュリティの維持が可能になります。
ネットワークタップ	cmdb_ci_network_tap	cmdb_ci_network_monitoring	ネットワークタップは、特定のネットワークリンクを通過するデータのコピーを外部の監視ツールまたは分析ツールに提供することで、ネットワークトラフィックを非侵入的に監視またはキャプチャできるパッシブハードウェアデバイスです。これにより、ネットワークアドミニストレーターは、ネットワークの通常の運用を中断したり影響を与えたりすることなく、ネットワークトラフィックを可視化できます。
ネットワークテストユニット	cmdb_ci_network_testing	cmdb_ci_network_testing	ネットワークテストユニットは、コンピューターネットワークのパ

設備拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	説明
			パフォーマンス、機能、および信頼性を評価および評価するために使用されるデバイスまたはソフトウェアツールです。これは、多くの場合、テストトラフィックまたはシミュレートされたネットワーク条件の生成を通じて、ネットワークパラメーターの測定、問題の特定、構成の検証、最適なネットワークパフォーマンスの確保に役立ちます。
無線アクセスネットワーク	cmdb_ci_radio_access_network	network_ni_telco_equipment	無線アクセスネットワーク(RAN)は、ユーザーデバイスとコアネットワーク間のワイヤレス通信を担当するインフラストラクチャとコンポーネントを網羅するモバイル通信システムの一部であり、無線周波数を介した接続とデータ伝送を可能にします。
無線コントロールハードウェア	cmdb_ci_radio_control_hardware	cmdb_ci_radio_access_network	無線制御ハードウェアとは、無線周波数信号を使用してさまざまなデバイスまたはメカニズムのリモート制御を可能にするデバイス、コンポーネント、およびシステムを指します。通常、送信機、受信機、アンテナ、および関連回路が含まれており、ユーザーは車両、ドローン、ロボットシステム、またはその他の電子機器を離れた場所からワイヤレスで操作および制御できます。
分散型アンテナシステムリモート	cmdb_ci_distributed_antenna_system_remote	antenna_system_remote	分散型アンテナシステムリモコンとしても知られるDASリモコンは、中央のDASユニット

設備拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	説明
			トに接続し、遠隔地や建物に無線信号を配信し、それらの場所で信頼性の高いワイヤレス接続を確保することで、ワイヤレスネットワークのカバレッジと容量を拡張するワイヤレス通信インフラストラクチャのコンポーネントです。
分散型アンテナシステムコントローラー	cmdb_ci_distributed_antenna_system_controller	cmdb_ci_radio_control	DASコントローラー (分散アンテナ システム コントローラー) は、分散型アンテナシステムの動作を管理および制御するネットワーク デバイスです。複数のDASリモコンの信号配信、最適化、調整を監督し、特定のエリアや会場内の無線通信の効率的なカバレッジ、容量、品質を確保します。
スモールセル無線ゲートウェイ	cmdb_ci_small_cell_radio_gateway	cmdb_ci_radio_control	スモールセル無線ゲートウェイは、スモールセル基地局とコアネットワークインフラストラクチャ間のインターフェイスとして機能するデバイスです。スモールセル無線とより広いネットワーク間の通信を容易にし、ユーザー密度が高い地域やマクロセルのカバレッジが限られている地域でのワイヤレスカバレッジと容量の拡張を可能にします。
ベースバンドユニット	cmdb_ci_baseband_unit	cmdb_ci_radio_control	ベースバンドユニット (BBU) は、無線でデータを送受信するためのデジタルベースバンド信号を処理および管理するワイヤレス通信システムの重要なコンポーネントです。変調、コーディング、デ

設備拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	説明
			コード、信号処理などの機能を実行し、無線アクセスネットワークの背後にあるインテリジェンスとして機能します。
EnodeB	cmdb_ci_enode_b	cmdb_ci_baseband_unit	EnodeBは、Evolved Node Bの略で、無線通信の基地局として機能し、ユーザーデバイスをコアネットワークに接続し、無線リソースを管理する(Long Term) ネットワークアーキテクチャの重要なコンポーネントです。
GnodeB	cmdb_ci_gnode_b	cmdb_ci_baseband_unit	GNodeB(Next-Generation NodeB)とは、5Gネットワークにおいて、ユーザーデバイスと5Gコアネットワーク間のインターフェースとなる基地局を指し、高速な無線通信を可能にし、大規模な接続性や低遅延などの高度な機能をサポートするための用語です。
混合 NodeB	cmdb_ci_mixed_node_b	cmdb_ci_baseband_unit	混合NodeBデバイスとは、複数の無線アクセス技術をサポートする電気通信機器を指し、通常、2Gと3Gの両方の技術を1つの基地局に組み合わせます。
基地局コントローラー	cmdb_ci_base_station_controller	cmdb_ci_baseband_unit	基地局コントローラ(BSC)は、1つ以上の基地局(BTS)を管理および制御するセルラーシステム内のネットワーク要素です。無線リソース管理、通話制御、引き継ぎ管理などのタスクを処理し、BTSとモバイルスイッチングセンター(MSC)またはコアネッ

設備拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	説明
			トワーク間の効率的な運用と通信を保証します。
無線伝送ハードウェア	cmdb_ci_radio_transmission_device	cmdb_ci_radio_access_device	無線伝送ハードウェアとは、無線通信システムで無線信号を送信するプロセスで使用される物理的なコンポーネントおよび機器を指します。
スモールセル無線ノード	cmdb_ci_small_cell_radio_node	cmdb_ci_radio_transmission_device	スモールセル無線ノードは、コンパクトで低電力の基地局であり、ユーザー密度が高い地域やマクロセルのカバレッジが限られている地域でセルラーネットワークのカバレッジと容量を拡張します。ローカライズされたワイヤレス接続を提供し、通常は都市環境や屋内環境で、より小さな地理的領域にサービスを提供することでネットワークトラフィックを軽減します。
リモート無線ユニット	cmdb_ci_remote_radio_unit	cmdb_ci_radio_transmission_device	リモート無線ヘッドは、リモート無線ヘッド(RRH)とも呼ばれ、無線周波数(RF)コンポーネントをベースバンド処理装置から分離する分散アンテナシステム(DAS)または無線アクセスネットワーク(RAN)のコンポーネントです。これにより、アンテナの近くに無線トランシーバーを配置できるため、信号損失が削減され、柔軟なネットワーク設計と最適化が可能になります。
リピーター	cmdb_ci_repeater	cmdb_ci_radio_transmission_device	リピーターは電気通信やネットワークで使

設備拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	説明
			信号を増幅または再生して、到達範囲を拡大し、信号品質を向上させます。着信信号を受信して増幅し、再送信して、より長い距離をカバーしたり、有線または無線通信での信号劣化を克服したりします。
アンテナコントロール	cmdb_ci_antenna_control	cmdb_ci_radio_transmission	アンテナコントロールは、アンテナシステムの位置決め、構成、および動作を管理および制御するデバイスまたはコンポーネントです。アンテナの動き、位置合わせ、およびパラメータを調整して、通常、衛星通信、レーダーシステム、ワイヤレスネットワークなどのアプリケーションで、信号の受信、送信、およびカバレッジを最適化します。
アンテナ	cmdb_ci_antenna	cmdb_ci_radio_transmission	アンテナは、電磁信号を送受信するデバイスであり、通常、電流を電波に、またはその逆に変換することにより、無線通信を容易にするために使用されます。
ONT	cmdb_ci_optical_network_device	cmdb_ci_telco_equipment	ONT(光ネットワーク端末)は、光ファイバネットワークで使用されるデバイスであり、光信号を電気信号に変換し、エンドユーザーに高速インターネット、電話、およびテレビサービスを提供できるようにします。
ONU	cmdb_ci_optical_network_device	cmdb_ci_telco_equipment	ONU(光ネットワークユニット)は、光ファイバネットワーク内の顧客宅内に存在するデバイスであり、光ネッ

設備拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	説明
			トワークと顧客のデバイス間のインターフェイスとして機能し、高速インターネット、電話、およびテレビサービスの提供を可能にします。
音声ゲートウェイ	cmdb_ci_voice_gateway	cmdb_ci_ni_telco_equipment	音声ゲートウェイは、従来のテレフォニーシステム(アナログ電話回線やデジタル電話回線など)とIPベースのネットワーク間のインターフェイスとして機能するデバイスであり、音声信号をデジタルデータに変換してインターネットやその他のIPネットワークを介して送信できるようにします。これにより、音声通信をIPベースの通信システムに統合することが容易になります。
光ラインアンプ	cmdb_ci_optical_line_amp	cmdb_ci_ni_telco_equipment	光ラインアンプは、光ファイバー通信システムで使用されるデバイスで、光ファイバーケーブルを通過する光信号を増幅または増幅し、電子変換を必要とせずに長距離伝送を可能にします。
バッテリー分配ヒューズベイ	cmdb_ci_battery_distribution_circuit_breaker	cmdb_ci_ni_telco_equipment	バッテリー分配ヒューズベイは、さまざまな回路に電力を制御および分配することにより、バッテリーに接続された電気システムを保護し、安全な動作を保証し、過電流状態による損傷を防止するように設計されたヒューズを収容するコンパートメントまたはエンクロージャです。
コールサーバー	cmdb_ci_call_server	cmdb_ci_ni_telco_equipment	コール サーバは、電話を管理および制御し、適切な宛先にルー

設備拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	説明
			ディングし、テレフォニー ネットワークまたは VoIP (Voice over Internet Protocol) システム内でコールのセットアップ、終了、およびその他のコール関連機能処理する集中型通信システムです。
チャンネルバンク	cmdb_ci_channel_bank	cmdb_ci_ni_telco_equipment	チャンネルバンクは、複数のアナログまたはデジタル通信チャンネルを T1 または E1 回線などの単一の伝送媒体に多重化および逆多重化するために電気通信で使用するデバイスであり、音声またはデータ信号の効率的な送信と管理を可能にします。
メディアコンバータ	cmdb_ci_media_converter	cmdb_ci_ni_telco_equipment	メディアコンバーターは、銅線ケーブルと光ファイバーケーブル間の信号変換など、さまざまなタイプのネットワークメディアを橋渡しし、異種のネットワークテクノロジー間のシームレスな通信を可能にし、ネットワーク接続の範囲を拡張するデバイスです。
デジタルクロスコネクトシステム	cmdb_ci_digital_cross_connect	cmdb_ci_ni_telco_equipment	デジタル クロスコネクト システム (DCS) は、ネットワーク内のデジタル音声またはデータ チャンネルの効率的なルーティングと管理を可能にする通信デバイスです。これにより、通信パスの柔軟な相互接続と再構成が可能になり、複雑なネットワーク環境での信頼性とスケーラブルな接続が容易になります。
エコーキャンセレーションシステム	cmdb_ci_echo_cancellation	cmdb_ci_ni_telco_equipment	エコーキャンセレーションシステムは、送

設備拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	説明
			信されたオーディオ信号が送信者に反射することによって引き起こされるエコー効果を軽減または排除する信号処理技術またはデバイスです。不要なエコーを抑制し、会話の全体的な明瞭さを向上させることで、音声通信の音質と明瞭度を向上させます。
音声アクティビティ検出装置	cmdb_ci_voice_activity_detector	cmdb_ci_ni_telco_equipment	音声アクティビティ検出(VAD)機器は、音声信号を分析して人間の音声の有無を判断するシステムまたはデバイスです。音声通信システム、音声制御デバイス、音声認識システムなどのさまざまなアプリケーションで一般的に使用され、音声セグメントと非音声セグメントを正確に検出して区別します。
メディアゲートウェイ	cmdb_ci_media_gateway	cmdb_ci_ni_telco_equipment	メディアゲートウェイは、さまざまなタイプのネットワーク間の通信プロトコルを変換してブリッジするネットワークデバイスであり、従来の電話機ネットワークや Voice over IP (VoIP) ネットワークなどの多様なシステム間のシームレスな通信を可能にします。異なるネットワークを介した音声、ビデオ、およびデータの変換と送信を容易にし、相互運用性と効率的な通信を確保します。
マルチサービススイッチ	cmdb_ci_multi_service_switch	cmdb_ci_ni_telco_equipment	マルチサービススイッチは、音声、データ、ビデオなどの複数のタイプのトラフィックを 1 つのネットワーク

設備拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	説明
			インフラストラクチャ上で処理するための統合スイッチング機能を提供するネットワーク デバイスです。効率的で柔軟なトラフィック管理が可能になり、さまざまなサービスを統合プラットフォームに統合できます。
モビリティ管理エンティティ	cmdb_ci_mobility_management_entity	cmdb_ci_telco_equipment	モバイル管理エンティティ (TME) は、LTE (Long-Term Evolution) および 5G ワイヤレスネットワークの主要コンポーネントであり、認証、モビリティ管理、セッション管理、セキュリティなど、モバイルデバイスのコントロールプレーン機能処理します。これは、ネットワーク内のモバイルデバイスの移動を管理および調整するための主要な制御ポイントとして機能します。
モバイルスイッチングセンター	cmdb_ci_mobile_switching_center	cmdb_ci_telco_equipment	モバイルスイッチングセンター (MSC) は、モバイルデバイスを公衆交換電話網 (PSTN) またはその他のモバイルネットワークに接続するセルラーネットワークのコアコンポーネントです。コールルーティング、スイッチング、およびシグナリング機能を実行し、シームレスな接続を確保し、モバイル加入者とのネットワーク間の音声およびデータ通信を可能にします。
マイクロ波無線機器	cmdb_ci_microwave_radio_equipment	cmdb_ci_telco_equipment	マイクロ波無線機器とは、高周波マイクロ波信号を用いてデータを送受信する無線通信システムで使用され

設備拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	説明
			るハードウェアを指します。物理ケーブルを必要とせずに、音声、ビデオ、およびデータの長距離伝送を容易にし、ポイントツーポイントまたはポイントツーマルチポイントのワイヤレス接続を可能にします。
ネットワークインターフェイスデバイス	cmdb_ci_network_interface_device	cmdb_device_telco_equipment	NIC (ネットワークインターフェイスデバイス) は、サービスプロバイダーのネットワークと顧客の内部ネットワークの間の境界点として機能する、顧客の施設に設置された電気通信デバイスです。物理的な接続を提供し、多くの場合、接続のトラブルシューティングと監視のためのテストおよび診断機能が含まれています。
ネットワークインターフェイスユニット	cmdb_ci_network_interface_unit	cmdb_unit_telco_equipment	NIU (Network Interface Unit) は、電気通信ネットワークで使用されるデバイスで、サービスプロバイダーのネットワークと顧客の施設の間のインターフェイス (通常はデータサービス用) を提供します。これには、信頼性の高いデータ伝送を容易にするために、信号調整、プロトコル変換、回線終端などの機能が含まれる場合があります。
構内電話交換機	cmdb_ci_private_branch_exchange	cmdb_exchange_telco_equipment	PBX (構内交換機) は、組織内で使用されるテレフォニー システムであり、異なる内線番号間の内部通信を可能にし、公衆電話網に接続することで外部通話を容易にします。コールルーティング、コー

設備拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	説明
			ル転送、およびその他のテレフォニー機能を管理し、企業に効率的で一元化されたコミュニケーションソリューションを提供します。
信号転送ポイント	cmdb_ci_signal_transfer_point	cmdb_ci_ni_telco_equipment	信号転送ポイント (STP) は、異なるネットワーク間での信号メッセージのルーティングと転送を容易にする電気通信ネットワーク要素であり、さまざまな通信システム間の相互接続と相互運用性を可能にします。これは、シグナリングトラフィックを管理し、ネットワーク内の異なるノード間の効率的な通信を確保するための中央ハブとして機能します。
ネットワークタイミ ング	cmdb_ci_network_timing	cmdb_ci_ni_telco_equipment	ネットワークタイミ ングデバイスは、ネットワークタイムサーバーまたは時刻同期デバイスとも呼ばれ、ネットワーク接続されたデバイスとシステムに正確で同期された時刻情報を提供するデバイスです。これにより、ネットワーク内のさまざまなデバイスが、ネットワークアクティビティのロギング、認証、調整などのタスクに対して一貫した正確な時間を維持できるようになります。
ボイスメール装置	cmdb_ci_voicemail_equipment	cmdb_ci_ni_telco_equipment	ボイスメール機器とは、電気通信ネットワークでボイスメッセージを録音、保存、および取得するために使用されるハードウェアまたはシステムを指します。これにより、発信者は着信側が不

設備拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	説明
			在のときに録音されたメッセージを残すことができ、受信者は都合の良いときにこれらのメッセージを聞いて管理できます。
通信配信パネル	cmdb_ci_communication_distribution_panel	cmdb_ci_communication_distribution_panel	通信配電盤は、建物または敷地内で電話、データ、ビデオなどのさまざまな通信信号を整理および配布するために使用される集中型デバイスです。通信回線を接続および管理するためのハブとして機能し、ネットワークインフラストラクチャへのアクセス、整理、およびトラブルシューティングを容易にします。
ファイバーパネル	cmdb_ci_fiber_distribution_panel	cmdb_ci_fiber_distribution_panel	光ファイバーパネルとも呼ばれるファイバーパネルは、光ファイバーネットワークで使用されるハードウェアコンポーネントで、光ファイバーケーブルの終端、整理、および管理の中心点を提供します。これにより、効率的な接続、簡単なメンテナンス、および光ファイバー接続のルーティングとパッチ適用の柔軟性が可能になります。
ファイバーサービングターミナル	cmdb_ci_fiber_serving_terminal	cmdb_ci_fiber_serving_terminal	ファイバーサービングターミナル (FST) は、サービスプロバイダーの光ファイバーインフラストラクチャと顧客の内部ネットワークの間の境界点として機能する、光ファイバーネットワーク内の顧客施設に設置されたデバイスです。光ファイバケーブルの終端および接続ポイントを提供

設備拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	説明
			し、顧客の場所への高速ブロードバンドサービスの提供を容易にします。
PFP	cmdb_ci_primary_flexibility_point	flexibility_point communication interface	電気通信インターフェイスストラクチャのコンテキストでは、主要な柔軟性ポイント (PFP) は、電気通信ケーブルと経路が収束する指定された場所であり、容易なアクセスと将来の変更を可能にします。ケーブルのルーティング、終端、および分配の中心的なハブとして機能し、ネットワークインストールの柔軟性と拡張性を提供します。
サービングエリアインターフェイス	cmdb_ci_serving_area_interface	serving_area communication interface	サービングエリアインターフェイス (SAI) は、電気通信サービスプロバイダーのネットワークが顧客の施設または内部ネットワークに接続する境界または分界点です。これは、ネットワークを維持するサービスプロバイダーの責任と、敷地内の配線および機器に対する顧客の責任の間の移行を示しています。
デジタルクロスコネクtpatchパネル	cmdb_ci_digital_crossconnect_patch_panel	digital_crossconnect_patch_panel	デジタルクロスコネクtpatchパネルは、DCSパッチパネルとも呼ばれ、デジタル回路またはチャネルの相互接続と管理を容易にするために電気通信ネットワークで使用されるハードウェアコンポーネントです。デジタル信号の再構成とルーティングが容易になり、ネットワークインフラストラクチャ内の通信パスの効率的なプロビジョニングとト

設備拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	説明
			ラブルシューティングが可能になります。
ファイバークロスコネク トパネル	cmdb_ci_fiber_cross_connect	cmdb_ci_communication	ファイバークロスコネク トパネルは、光ファイ バーケーブルの相互 接続と管理を容易にす るために光ファイバー ネットワークで使用 されるデバイスです。 個々の光ファイバース トランドを整理、ルー ティング、および相互 接続するための一元 化された場所を提供 し、光ファイバーネッ トワークの設置にお ける効率的なメンテ ナンス、スケーラビリ ティ、および柔軟性を 可能にします。
RJ45 パッチパネル	cmdb_ci_rj45_patch_panel	cmdb_ci_communication	RJ45パッチパネルは、 イーサネットシステム でネットワーク接続を 終端および管理するた めに使用されるハード ウェアコンポーネント です。複数のRJ45ポー トを提供し、イーサ ネットケーブルの整理 された便利な終端を可 能にし、ネットワーク 接続のパッチ適用と再 配置を容易にします。
V35 パッチパネル	cmdb_ci_v35_patch_panel	cmdb_ci_communication	V.35パッチパネル は、V.35 ケーブルの終 端と管理を容易にする ために電気通信および ネットワークで使用さ れるハードウェアコン ポーネントです。複数 のV.35ポートを備えて いるため、V.35接続の 整理された便利な終端 が可能になり、V.35回 路のパッチ適用と再配 置が容易になります。
デジタル配電盤	cmdb_ci_digital_distribution	cmdb_ci_communication	デジタル配電盤は、デ ジタル配線盤とも呼 ばれ、通常はT1また

設備拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	説明
			はE1ラインの形式でデジタル信号を終端、管理、および配電するために電気通信ネットワークで使用されるデバイスです。デジタル回路を編成および相互接続するための集中ポイントを提供し、ネットワーク内のデジタル通信の効率的な送信と管理を容易にします。
マルチプレクサ	cmdb_ci_multiplexer	cmdb_ci_ni_telco_equipment	マルチプレクサは、マルチプレクサとも呼ばれ、電気通信やデータ伝送で使用されるデバイスであり、複数の信号またはデータストリームを単一の複合信号に結合して、共有メディア上でより効率的に伝送します。これにより、単一のチャンネルで異なる信号またはデータストリームを同時に送信できるため、通信システムの容量と効率が向上します。
DSLAM	cmdb_ci_dslam	cmdb_ci_multiplexer	DSLAM(Digital Subscriber Line Access Multiplexer) は、サービスプロバイダーのネットワーク内の複数のデジタル加入者線(DSL)を集約および管理するために電気通信で使用されるネットワークデバイスです。音声トラフィックとデータトラフィックを分離し、適切な宛先にルーティングすることで、既存の銅線電話回線を介した高速ブロードバンドサービスの提供を可能にします。
IP DSLAM	cmdb_ci_ipdslam	cmdb_ci_multiplexer	IP DSLAM(Internet Protocol Digital Subscriber Line

設備拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	説明
			Access Multiplexer) は、IPベースのサービスをサポートする DSLAMであり、デジタル加入者回線を介した高速ブロードバンドインターネットサービスの提供を可能にします。IP ベースのトラフィックを処理するために必要な IP ルーティングおよび処理機能を提供し、エンドユーザーへのインターネット接続の効率的かつスケーラブルな配信を可能にします。
WDM	cmdb_ci_wdm	cmdb_ci_multiplexer	WDM(Wavelength Division Multiplexing) は、複数の波長の光を同時に伝送することで、1本の光ファイバの容量を増やす光ファイバ通信システムで使用される技術です。これにより、さまざまな光信号の多重化と逆多重化が可能になり、より高いデータ転送速度と光ファイバーインフラストラクチャの効率的な利用が可能になります。
OLT	cmdb_ci_optical_line_terminal	cmdb_ci_multiplexer	OLT(Optical Line Terminal)は、パッシブ光ネットワーク(PON)のエンドポイントとして機能する光ファイバー通信システムで使用されるネットワークデバイスです。サービスプロバイダーのネットワークを加入者の施設に接続し、光信号の配信を管理および制御し、サービスプロバイダーとPON内の複数のONU(光ネットワークユニット)またはONT(光ネットワーク

設備拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	説明
			端末)間の通信を容易にします。
オプティカルスプリッター	cmdb_ci_optical_splitter	cmdb_ci_multiplexer	ビームスプリッターとも呼ばれる光スプリッターは、光ファイバーネットワークで使用されるパッシブデバイスで、着信光信号を同等またはさまざまなパワーレベルの複数の出力信号に分割します。これにより、複数のユーザーまたはデバイス間で単一の光ファイバー接続を共有できるため、ネットワーク内で光信号を効率的に配信できます。
光キャリアトランスポートノード	cmdb_ci_optical_carrier_transport_node	cmdb_ci_multiplexer	光キャリアトランスポートノードは、OXC(光クロスコネクト)またはOTN(光トランスポートネットワーク)ノードとも呼ばれ、光トランスポートネットワークでの大容量光信号のルーティング、グルーミング、およびオフを容易にするネットワーク要素です。光チャンネルを効率的かつ柔軟に管理できるため、通信ネットワーク内の長距離にわたって大量のデータを伝送できます。
ファンシェルフ	cmdb_ci_fan_module	cmdb_ci_hardware	ファンシェルフは、ラックまたは機器キャビネット内のアクティブな冷却とエアフロー管理を提供するように設計されたハードウェアコンポーネントです。通常、機器から発生する熱を放散し、適切な換気を確保し、過熱を防ぐのに役立つ複数のファンが含まれています。

設備拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	説明
モニタリングユニットシェルフ	cmdb_ci_monitoring_unit	cmdb_ci_hardware	監視ユニットシェルフは、監視ユニットラックまたはシャーシとも呼ばれ、ネットワークの監視と管理の目的で使用される監視ユニットまたはデバイスを収容するために設計された専用エンクロージャです。ネットワークアナライザー、プローブ、監視アプライアンスなどの監視機器を設置および整理するための一元化された安全な場所を提供し、ネットワークトラフィックとパフォーマンスの効率的な監視と分析を可能にします。
キーボードビデオマウススイッチ	cmdb_ci_keyboard_video_mouse	cmdb_ci_hardware	キーボードビデオマウス (KVM) スwitch は、ユーザーが単一のキーボード、モニター、およびマウスデバイスのセットを使用して複数のコンピューターまたはサーバーを制御できるようにするハードウェアデバイスです。これにより、中央のワークステーションから複数のシステムのシームレスな切り替えと管理が可能になります。
サービング GPRS サポートノード	cmdb_ci_serving_gprs_support_node	support_modelco_equipment	GSM (Global System for Mobile Communications) または GPRS (General Packet Radio Service) ネットワークのネットワークノード。サービング GPRS サポートノード (SGSN) は、サービスエリア内の移動ステーションとの間のデータパケットの配信を担当します。これは、パ

設備拡張クラス (続く)

クラス名	テーブル名	汎用 CI クラスを拡張します	説明
			ケット交換ネットワークで重要な役割を果たし、スマートフォンやその他のモバイル通信デバイスなどのデバイスのモビリティとセッション情報を管理します。
論理コンポジット	cmdb_ci_logical_compo	電気通信ネットワーク内の論理要素、コンポーネント、またはエンティティのグループ化または組み合わせ。これらの論理コンポジットは、多くの場合、連携して特定の機能またはサービスを実行するように設計されています。	
スプライスクローズ	cmdb_ci_splice_closure	光ファイバのスプライス部分を覆い、保護するために使用される保護エンクロージャ。スプライスクローザーは、光ファイバーネットワークに不可欠なコンポーネントであり、湿気、ほこり、温度変動などの環境要因からスプライスされたファイバーを物理的に保護します。	

※LTEはETSIの商標です。

関連情報

[通信機器インスタンスの作成](#)

機器タスク属性フォーム

機器タスク属性フォームを使用すると、機器レコードの詳細を記述できます。

機器の作成 - タスク属性フォーム

フィールド	説明
インベントリテンプレート	機器モデルのインベントリテンプレート。インスタンス化プロセスでは、これを使用して、指定されたネットワークサイトにネットワーク資産インスタンスを生成します。

機器の作成 - タスク属性フォーム (続く)

フィールド	説明
	i 注: • 選択したインベントリテンプレートに応じて、オプションのテンプレートのリストがフォームの下部に表示されます。 • オプションのテンプレートを選択すると、現在のテンプレートの値が上書きされます。 • このフィールドは、[インベントリ機器を作成] にのみ適用されます。
倉庫の場所	資産が置かれているストックルームの場所の名前。 詳細については、「通信事業ネットワークインベントリとハードウェア資産管理との統合」を参照してください。
ネットワークサイト	プロセスが機器をインスタンス化しているネットワークサイトの名前。
機器のラック/キャビネット	機器のラックまたはキャビネットの名前。
資産	このレコードに関連付けられている資産の名前。 詳細については、「通信事業ネットワークインベントリとハードウェア資産管理との統合」を参照してください。

関連情報

[設計とアサインを使用した機器レコードの作成](#)

GPON ブロードバンド変更モデルフォーム

GPON ブロードバンド変更モデルフォームを使用すると、物理接続の接続の詳細を作成、レビュー、および変更し、論理接続を計算および作成できます。

関連情報

[GPON ブロードバンド サービスの設計と割り当て](#)

[物理接続を作成] フォーム

[物理接続を作成] フォームでは、物理接続のネットワーク詳細を作成、レビュー、および変更できます。

[物理接続を作成] フォーム

フィールド	説明
A 終了サイト	この物理接続が構成されている開始ネットワーク サイト。
A 終了機器	この物理接続が構成されているネットワーク機器を起動します。

[物理接続を作成] フォーム (続く)

フィールド	説明
A 終了インターフェイス	この物理接続が構成されている開始ネットワークインターフェイス。
物理接続モデル	この物理接続が構成されている物理接続モデル。
Z 終了サイト	この物理接続が構成されている終了ネットワーク サイト。
Z 終了機器	この物理接続が構成されているネットワーク機器の終了。
Z 終了インターフェイス	この物理接続が構成されている終了ネットワークインターフェイス。
帯域幅	この物理接続の帯域幅。

[論理接続の計算および作成] フォーム

[計算して論理接続を作成] フォームでは、論理接続の接続の詳細を作成、確認、および変更できます。

[論理接続の計算および作成] フォーム

フィールド	説明
開始サイト	この接続が構成されている開始ネットワーク サイト。
開始機器	この接続が構成されているネットワーク機器を起動します。
開始インターフェイス	この接続が構成されている開始ネットワークインターフェイス。 i 注: このフィールドを空のままにすると、パス計算と作成された論理接続を使用して自動的に設定されます。
論理接続モデル	この接続が構成されている論理接続モデル。 i 注: トポロジ接続モデルは表示されません。
終了サイト	この接続が構成されている終了ネットワーク サイト。
終了機器	この接続が構成されているネットワーク機器を終了します。
終了インターフェイス	この接続が構成されている終了ネットワークインターフェイス。

[論理接続の計算および作成] フォーム (続く)

フィールド	説明
	i 注: このフィールドを空のままにすると、パス計算と作成された論理接続を使用して自動的に設定されます。
終了機器タイプ	この接続が構成されている終了ネットワーク機器タイプ。
終了機器のロール	この接続が構成されているネットワーク機器のロールの終了。
終了機器の機能	この接続が構成されているネットワーク機器機能の終了。
帯域幅	この物理接続の帯域幅。
許可されている論理接続モデル	論理接続でサポートされているすべてのモデルをキャプチャするフィルター。 i 注: [モデル関係] フィールドから論理接続モデルが選択されている場合に、使用可能な論理接続モデルのリストが変更されます。
許可されている物理接続モデル	物理接続でサポートされているすべてのモデルをキャプチャするフィルター。 i 注: [モデル関係] フィールドから論理接続モデルを選択すると、使用可能な物理接続モデルのリストが変更されます。

カードフォーム

カードフォームでは、ネットワークカードの詳細を作成、確認、および変更できます。

インターフェイスカードフォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	このネットワークインターフェイスカードの名前。Now Platformは、この名前を使用してネットワークインベントリ内で識別します。
ポート	このネットワークインターフェイスカード上のポートの合計数。
使用中のポート	このネットワークインターフェイスカードで使用されているポートの数。
スロット	このネットワークインターフェイスカード上のスロットの合計数。

関連情報

[カードの詳細を定義](#)

インベントリモデルフォーム

[インベントリモデル] フォームを使用すると、機器ホルダー、機器、インターフェイスカード、論理接続、物理接続、ネットワークインターフェイス、およびネットワークモデル関係のモデルの詳細を作成、レビュー、および変更できます。

インベントリモデルフォーム:一般

在庫モデル フォームの 全般 セクションでは、モデルの詳細を作成、確認、および変更できます。

[全般] セクション - [インベントリモデル] フォーム

フィールド	説明
簡単な説明	定義している機器ホルダーモデルの説明。
モデルカテゴリ	CI クラスにマップするモデルカテゴリのリスト。モデルカテゴリは 製品カタログ アプリケーションの一部です。 i 注: • インスタンスは、選択したモデルカテゴリのマッピングされた CI クラスに作成されます。 • 通信事業ネットワークインベントリ機能を実現するには、次のいずれかのオプションを選択します。 ◦ 機器ラック ◦ キャビネット ◦ スロット ◦ サブスロット • [機器ラック] カテゴリを選択すると、[RU 命名パターン] フィールドと [投稿タイプ] フィールドが情報セクションの下に表示されます。
資産追跡戦略	モデルを追跡するプロセス。次のオプションのいずれかを選択します。 • カテゴリに任せる:モデルは透明で、カテゴリによって資産クラスが定義されます。 • 消耗資産を作成:モデルは、カテゴリが資産クラスとして定義する内容に関わらず、資産クラスを消耗品とします。 • 資産を作成しない:カテゴリが資産クラスとして定義する内容に関係なく、モデルは資産のインスタンス化をブロックします。
耐用寿命 (月数)	モデルを使用できる月数。
資産トラッキング単位	このネットワーク資産で使用できる機器所有者ユニットの数。
取得方法	モデルの取得方法: 購入

[全般] セクション - [インベントリモデル] フォーム (続く)

フィールド	説明
	モデルが購入されました。 リース済み モデルはリースされました。 双方向 モデルは購入され、リースされました。
コスト	モデル 1 つのコスト。
減価償却	機器モデルの減価償却スケジュール。
残存価額	耐用年数の終了時に資産が売却された場合に実現する推定価値。この値は資産のコスト以下でなければなりません。
コメント	モデルに関する有用な追加情報。
モデル番号	メーカーによってモデルに割り当てられたモデル番号。
バーコード	メーカーによってモデルに割り当てられたバーコード番号。
Owner (オーナー)	モデルの責任者。
ステータス	モデルの本番ステータス: 構築 モデルをビルドする必要があります。 In Production (本番環境) モデルは本番環境です。 販売済み モデルは販売されました。 廃止 モデルは廃止されました。
支出タイプ	支出の種類。次のオプションのいずれかを選択します。 投資 資本的支出とは、一度の支出でその価値を何年にも渡って実感するものです。たとえばコピー機が該当します。 経費 運用支出は継続的な支出です。たとえばコピー機のトナーが該当します。
認定	このネットワーク資産が認定されているかどうかを指定するオプション。

関連情報

[在庫モデルの作成](#)

インベントリモデルフォーム:情報

インベントリモデルフォームの情報セクションでは、モデルのネットワーク資産の詳細を作成、レビュー、および変更できます。

[情報] セクション - [インベントリモデル] フォーム

フィールド	説明
高さ (U)	モデルに必要なラックユニット数。 i 注: このフィールドは、機器モデルにのみ適用されます。
電力	電力 (ワット)。
音響出力	ノイズ測定 (ベル単位) (1 ベル = 10 デシベル)。
Connection type (接続タイプ)	接続のタイプ: ケーブル マルチカラーケーブル接続。 接続 機器と確立する標準の接続。たとえば、モニターとコンピューター間の接続などです。 ストランド マルチストランドファイバー接続。 ワイヤレス 3G、4G、または5Gワイヤレス接続。
電力単位	資産のべき乗を測定する単位。次のいずれかの単位を選択します。 • ワット (W) • キロワット (KW) • メガワット (MW) • 馬力 (HP)
定格出力	資産に割り当てられた最大電力。
測定システムの単位	最大重量キャパシティの単位がフェッチされる測定タイプ。次のいずれかの測定タイプを選択します。 • メトリクス • 米国帝国単位
重量単位	資産の重量の測定単位。次のいずれかを選択します。 • グラム (g) i 注: このフィールドは、測定単位にメトリクスが使用されている場合にのみアクセスできます。

[情報] セクション - [インベントリモデル] フォーム (続く)

フィールド	説明
	• キログラム (kg) i 注: このフィールドは、測定単位にメトリクスが使用されている場合にのみアクセスできます。 • オンス (oz) i 注: このフィールドは、測定単位に米国帝国単位システムを使用している場合にのみアクセスできます。 • ポンド (lbs) i 注: このフィールドは、測定単位に米国帝国単位システムを使用している場合にのみアクセスできます。
重み付け	ラック、キャビネット、スロット、またはサブスロットの最大重量。
スロット命名パターン	機器またはカード上のスロットとインターフェイスに対して生成される名前を定義するために使用される名前パターン。これらの名前パターンはモデルレベルであるため、そのモデルのすべてのテンプレートにデフォルトで適用されます。これらの名前パターンは、同じモデルの異なるインスタンスに対して編集可能です。命名規則の詳細については、「関連テンプレートの命名規則」を参照してください。 名前は自動的に生成されますが、テンプレートの名前は手動で編集できます。 i 注: 1. このフィールドは、機器モデルとインターフェイスカードモデルに適用されます。 2. 次の場合、生成された名前は空のままです。 ○ 変数名のスペルが間違っています。 ○ 機器にあるインターフェイスまたはスロットのparent_slotまたはequipment_slot情報を使用します。 3. このフィールドを空のままにすると、デフォルトの命名パターンが考慮されます。ここで、デフォルトの名前は Slot-001 で、001 はスロット開始番号です。 このフィールドは、機器モデルとインターフェイスカードモデルに適用されます。
インターフェイス命名パターン	機器またはカードのスロットとインターフェイスに対して生成される名前を定義するために使用される名前パターン。これらの名前パターンはモデルレベルであるため、そのモデルのすべてのテンプレートにデフォルトで適用されます。これらの名前パターンは、同じモデルの異なるインスタンスに対して編集可能です。命名規則の詳細については、「関連テンプレートの命名規則」を参照してください。

[情報] セクション - [インベントリモデル] フォーム (続く)

フィールド	説明
	名前は自動的に生成されますが、テンプレートの名前は手動で編集できます。 i 注: - このフィールドは、機器モデルとインターフェイスカードモデルでのみ使用できます。 - 次の場合、生成された名前は空のままです。 - 変数名のスペルが間違っています。 - 機器にあるインターフェイスまたはスロットのparent_slotまたはequipment_slot情報を使用します。 - このフィールドを空のままにすると、デフォルトの命名パターンが考慮されます。ここで、デフォルトの命名は Port-001 で、001 はインターフェイスの開始番号です。 このフィールドは、機器モデルとインターフェイスカードモデルでのみ使用できます。
寸法s 単位	資産の物理的な寸法の測定に使用される単位。 次のいずれかを選択します。 - インチ (in) - フィート (ft) - マイル (mi) i 注: このフィールドは、機器モデル、機器所有者モデル、および物理接続モデルに適用されます。
高さ	[単位] フィールドで指定した測定単位で表されるネットワーク資産の高さ。 - たとえば、資産の高さが 60 インチで、[単位] フィールドの測定単位として [インチ] を選択した場合は、60 と入力します。 - Now Platformはこの情報を使用して資産の 3 次寸法を計算し、指定されたネットワーク サイト内の物理的な配置を決定します。 i 注: このフィールドは、機器モデルと機器所有者モデルに適用されます。
幅	[単位] フィールドで指定した測定単位で表されるネットワーク資産の長さ。 - たとえば、資産が 1 フィートの場合は 12 を入力し、資産が 60 インチで [単位] フィールドの測定単位として [インチ] を選択した場合は 60 を入力します。 - Now Platformはこの情報を使用して資産の 3 次寸法を計算し、指定されたネットワーク サイト内での物理的な配置を決定します。 i 注: このフィールドは、機器モデルと機器所有者モデルに適用されます。

[情報] セクション - [インベントリモデル] フォーム (続く)

フィールド	説明
奥行	[単位] フィールドで指定した測定単位で表されるネットワーク資産の奥行。 i 注: このフィールドは、機器モデルと機器所有者モデルに適用されます。
スロット開始番号	このモデルのスロットにアサインする最初の番号。スロット名は、開始番号に応じて自動的に生成されます。 i 注: - 入力した値は単位の位置には影響しません。ユニットの位置は常に 1 から始まり、スロット命名パターンで使用されます。 - このフィールドは、機器モデルとインターフェイスカードモデルに適用されます。
インターフェイス開始番号	機器またはカードのインターフェイスに割り当てる開始番号。たとえば、20 個のインターフェイスの開始番号が 10 の場合、ポート 010、ポート 011 などの 10 から始まり、ポート 029 までのインターフェイス番号になります。 i 注: - インターフェイス番号は、入力された値に基づいて自動的に生成されます。ユニットの位置は影響を受けません。ユニットの位置は常に 1 から始まり、インターフェイスの命名パターンで使用されます。 - このフィールドは、機器モデルとインターフェイスカードモデルに適用されます。
CLEI コード	このネットワーク資産にアサインされた共通言語装置識別 (CLEI)。CLEI コードは、構造化された命名形式で機器を識別する、グローバルに一意の 10 文字の英数字インテリジェントコードです。CLEI コードとメーカーの製品コード (ハードウェアのバージョンを含む部品番号) の間には 1 対 1 の関係があります。 i 注: このフィールドは、物理接続モデル、論理接続モデル、およびネットワークインターフェイスモデルを除くすべてのタイプのモデルに適用できます。
コネクタタイプ	ケーブルをネットワークインターフェイスに接続するために使用される物理ケーブルコネクタのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 - BNC (Bayonet Neill-Concelman) - 同軸ケーブルに使用される小型無線周波数コネクタのタイプ。 - SC (スクエアコネクタ) - プッシュプルラッチとして使用される正方形の一般的なタイプの光ファイバーコネクタで、光ファイバーを整列させて効率的な光伝送を実現します。 - LC (Lucent Connector) - 高密度アプリケーション向けに設計された SC コネクタの別バージョン。 - ST (ストレートトリップ)-電気通信およびデータ通信アプリケーションで光ファイバーを接続するために一般的に使用される光ファイバーコネクタの一種。

[情報] セクション - [インベントリモデル] フォーム (続く)

フィールド	説明
	• ワイヤラップ - 回路基板に電気接続を作成するための技術。 • RJ45 - 8P8C(8ポジション8コンタクト)コネクタとも呼ばれ、有線イーサネットネットワークで広く使用されているタイプのコネクタです。 i 注: このフィールドは、ネットワークインターフェイスモデルにのみ適用されます。
占有スロット	カードで占有されているスロットの数。 i 注: このフィールドは、インターフェイスカードモデルにのみ適用されます。
長さ	[単位] フィールドで指定した測定単位で表されるネットワーク資産の長さ。 • たとえば、資産が 1 フィートの場合は 12 を入力し、資産が 60 インチで [単位] フィールドの測定単位として [インチ] を選択した場合は 60 を入力します。 • Now Platformはこの情報を使用して資産の 3 次寸法を計算し、指定されたネットワーク サイト内での物理的な配置を決定します。
相互接続を有効にする	機器上のすべてのインターフェイスが相互に相互接続されるように選択できるオプション。 i 注: • 相互接続のデフォルトのアルゴリズムは $(N/2)+1$ (N は機器上のインターフェイスの総数)が適用されます。奇数ポート番号の場合、システムは N を前の番号 ($N-1$) として受け取り、相互接続を作成します。たとえば、10 個のインターフェイスを持つ機器があるとした場合、このオプションを選択すると、最初のインターフェイスが 6 番目のインターフェイス (2-7、3-8、4-9、および 5-10) と相互接続されます。 • このフィールドは、機器モデルにのみ適用されます。 作成されたすべての相互接続は、構成アイテム (CI) 関係として一覧表示されます。
向き	このネットワーク資産のスロットの物理的な向き: -- なし -- 特定の物理スロットの向きはありません。 水平 水平スロットの向き。 垂直 垂直スロットの向き。 i 注: このフィールドは、機器所有者モデルにのみ適用されます。

[情報] セクション - [インベントリモデル] フォーム (続く)

フィールド	説明
仮想	ネットワークインターフェイスが物理か仮想かを確認するオプション。 i 注: [仮想] を選択した場合、[コネクタタイプ] フィールドは表示されません。 このフィールドは、ネットワークインターフェイスモデルにのみ適用されます。
最大物理接続サポート	このインターフェイスモデルに接続できる最大接続数。デフォルトでは、1 と見なされます。 i 注: このフィールドは、ネットワークインターフェイスモデルにのみ適用されます。
ポートの帯域幅	このネットワークインターフェイス上のポートで測定された帯域幅。検索アイコン (🔍) を選択し、帯域幅を選択します。 i 注: このフィールドは、ネットワークインターフェイスモデルにのみ適用されます。
方向性	ネットワークのノード間の接続のタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 • Tx:TXはTransmitの略です。デバイスからデータが送信される方向を指します。 • Rx:RX は、データを受信するエンドポイントを示します。これは、別のソースから送信された情報を受信するための入力側であり、多くの場合、TX(送信)というラベルが付けられています。 • Tx/Rx • バス:バスの方向性とは、通信チャネル上のデータの流れを指します。 • ブロードキャスト-ブロードキャストの方向性とは、ブロードキャストシステムにおける信号の送受信の性質を指します。 i 注: このフィールドは、ネットワークインターフェイスモデルにのみ適用されます。
インターフェイスタイプ	ネットワークインターフェイスのポートのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 • イーサネット:ネットワークに接続するためのデバイスの物理的な接続と速度の機能。これには、ケーブルの種類、速度、および標準が含まれます。 • 光-光トランシーバーで使用されるコネクタの特定の設計。光インターフェイスにはさまざまなタイプがあり、それぞれに異なる形状とデータ速度機能があります。 • シリアル:シリアルインターフェイスは一度に 1 ビットずつデータを送信しますが、複数のビットを同時に送信するパラレルインターフェイスは異なります。

[情報] セクション - [インベントリモデル] フォーム (続く)

フィールド	説明
	i 注: このフィールドは、ネットワークインターフェイスモデルにのみ適用されます。
動作	接続、多重化、またはデータのモードを選択するオプション。ただし、多重モードでは、チャンネルが自動的に作成されます。次のオプションのいずれかを選択します。 • 多重化トレイル • 多重化パス • データ記録 • データパス i 注: このフィールドは、論理接続モデルにのみ適用されます。
ルーティング動作	ルーティングの適用を制御するルーティング動作属性。 • この接続タイプにルートが必要ない場合は [ルートなし] を選択し、 • [並列順次] を選択して、接続のルーティングに使用されるマルチルート接続リソースを有効にします。ここでは、ルーティングされた接続にパス要素が必要です。 i 注: このフィールドは、論理接続モデルにのみ適用されます。
論理インターフェイスモデル	選択した論理接続モデルのすべての論理インターフェイスモデルのリスト。 i 注: 論理接続の作成中に、ポート A とポート Z の論理インターフェイスは、選択した論理インターフェイスモデルに基づいて作成されます。
RU 名前付けパターン	ラックテンプレートの命名パターン。 i 注: • デフォルトでは、命名パターンは "RU-"+position です。 • このフィールドは、 機器ラック モデルカテゴリの場合にのみ表示されます。
通知タイプ	次のいずれかのタイプを選択します • 2ポスト:ラックに2つの垂直サポートがある場合に選択します。 • 4ポスト:ラックに4つの垂直サポートがある場合に選択します。 i 注: このフィールドは、選択した モデルカテゴリ が 機器ラックである場合にのみ適用されます。

関連情報

[在庫モデルの作成](#)

インベントリモデルの追加タブ

インベントリモデルの追加タブは、モデルの作成後に表示されます。これらのタブには、モデルのすべての関連情報が表示されます。必要に応じて、いつでも情報を表示、更新、保存、および削除できます。

インベントリモデルの追加タブ

[Name (名前)]	説明
資産	モデルに関連する資産のリスト。
構成アイテム (CI)	モデルに対して作成されたすべての構成アイテム (CI) のリスト。
モデルコンポーネント	モデルを構成するコンポーネントのリスト。
モデルライフサイクル	モデルのライフサイクルのリスト。
ベンダーカタログアイテム	製品モデルに関連付けられたベンダーカタログアイテムのリスト。
ハードウェアモデルのライフサイクル	ハードウェアモデルのライフサイクルフェーズとライフサイクルタイプのリスト。
ネットワークモデルの関係	モデルのすべてのネットワークモデル関係のリスト。 i 注: このフィールドは、接続モデルには適用されません。
モデル画像	モデルの画像。ここでアップロードされた画像は、このモデル用に作成された構成アイテムに表示されます。 i 注: このフィールドは、機器モデルにのみ適用されます。
帯域幅の互換性	それぞれの接続と互換性のある帯域幅のリスト。さらに、関連する接続モデルと帯域幅グループを作成および更新できます。 i 注: [帯域幅の互換性] フィールドは、接続モデルにのみ適用されます。

関連情報

[在庫モデルの作成](#)

インベントリ番号割り当てフィールド

インベントリ番号割り当てフィールドでは、LAG、VLAN、IP アドレス、および電話番号レコードの詳細を記述することができます。

インベントリ番号の割り当てフィールド

フィールド	説明
電話番号	e164 命名規則に準拠する電話番号。詳細については、「 E.164 phone number field configuration 」を参照してください。
電話番号割り当て	電話番号割り当てレコード。
国コード	電話番号を作成する国を選択します。
市外局番	国または地域内の地理的リージョンを識別するコード。通常、電話番号の最初の 3 桁です。市外局番の目的は、受信者の場所に基づいて電話を宛先にルーティングすることです。たとえば、電話番号 (123) 456-7890 の「123」は市外局番を表します。
本社コード	NXX と呼ばれる本社コード。電話番号の NXX 部分は、特定の地理的領域に属する中央オフィスまたはローカル交換機に関する情報を提供します。各本社コードは、市外局番内の地理的な場所またはサービス プロバイダーに関連付けられています。 たとえば、電話番号 (123) 456-7890 の「456」は本社コードを表します。
回線番号の桁数	市外局番と本社コードに続く数字のセット。これらの数字は、本社コードがサービスを提供するエリア内の個々の回線を識別します。 たとえば、電話番号 (123) 456-7890 では、「7890」のセットは 4 桁の回線番号を表します。
ステータス	電話番号のステータス: - 新規: この番号が新規であることを示します。 - 予約済み: 番号がサービス用に予約されているが、まだ割り当てられていないことを示します。 - 未アサイン: 番号がまだ誰にも割り当てられていないか、番号が数日間隔離ステータスになっていることを示します。 - アサイン済み: 番号がアサインされていることを示します。 - 隔離: その番号が長期間使用されていないことを示します。ネットワークオペレーターによっては、この数は数日後に隔離ステータス

インベントリ番号の割り当てフィールド (続く)

フィールド	説明
	に変わります。しばらくすると、ステータスが未アサインに変わります。 • Ported in: 番号が他のネットワークに属していたが、現在はこのネットワークに移動されたことを示します。 • ポートアウト: 番号が他のネットワークに移動したことを示します。
番号カテゴリ	カテゴリ： • 所有: これらの番号が組織によって所有されていることを示します。 • サードパーティ: これらの番号がサードパーティ組織によって提供されていることを示します。 • Ported in: これらの番号が別のネットワークから移動されたことを示します。
キャリア	ブロック内の一定範囲の電話番号を所有および管理する電気通信事業者またはサービスプロバイダーの名前。顧客に番号を割り当て、それらの番号に関連するコールのルーティングを処理します。
親ブロック	親ブロック (存在する場合)。
モデル ID	資産のモデル ID。
[Number (番号)]	子インベントリを関連付ける親インベントリの名前。この名前は Now Platform 自動的に割り当てられます。 i 注: このフィールドは、インベントリ番号の番号要素でのみ使用できます。
要素タイプ	VLAN または LAG 番号を関連付けるネットワークインベントリのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 • ネットワークインターフェイス • 物理接続 • 論理接続 i 注: このフィールドは、インベントリ番号の番号要素でのみ使用できます。
要素	構成に使用する要素タイプのネットワーク資産。

インベントリ番号の割り当てフィールド (続く)

フィールド	説明
	i 注: このフィールドは、インベントリ番号の番号要素でのみ使用できます。
シーケンス	ネットワーク接続のシーケンス番号。 i 注: このフィールドは、インベントリ番号の番号要素でのみ使用できます。
CIDR	サブネットに関連付けられているクラスレスドメイン間ルーティング (CIDR)、ゲートウェイの IP アドレス、およびサブネットマスク。VMware の場合、CIDR、ゲートウェイ、およびサブネットマスクのフィールドは必須です。
管理対象ネットワーク	この IP プールと IP サブネットワークに関連付けられている管理対象ネットワークの名前。
親プール	この IP プールまたは IP ネットワークサブネットの親である IP プールの名前。
DNS ドメイン	IP アドレスの名前。
報告済みフリーアドレス	この IP プールまたは IP サブネットに対して空いているアドレスの数。
使用中の報告済みアドレス	この IP プールまたは IP サブネットで使用されているアドレスの数。
報告済み予約アドレス	この IP プールまたは IP サブネットに予約されているアドレスの数。
サービス	サービスのタイプ。

関連情報

[インベントリ番号の割り当て](#)

インベントリ番号フォーム

インベントリ番号フォームを使用すると、ネットワークインベントリのインベントリの詳細を作成、確認、および変更できます。

インベントリ番号フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	構成するインベントリの名前。[タイプ] フィールドを使用して、リストから 1 つを選択します。
[Number (番号)]	テクノロジー標準で指定されているネットワークインベントリの最小値。

インベントリ番号フォーム (続く)

フィールド	説明
終了番号	ネットワークインベントリの最高値。
タイプ	このネットワーク資産が属するインベントリのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 VLAN 範囲 ネットワーク資産が属する VLAN 番号の範囲。 VLAN サブ範囲 ネットワーク資産が属する VLAN 番号のサブ範囲。 VLAN ネットワーク資産の VLAN 番号。 リンクアグリゲーション範囲 ネットワーク資産が属する LAG 番号の範囲。 LAG ネットワーク資産の LAG 番号。
親	ネットワーク資産の親インベントリ番号: - 親アイテムの場合は、フィールドを空白のままにします。 - 子在庫番号の場合は、Now Platform によって値が自動的に割り当てられます。
簡単な説明	ネットワークインベントリ番号の簡単な説明。

関連情報

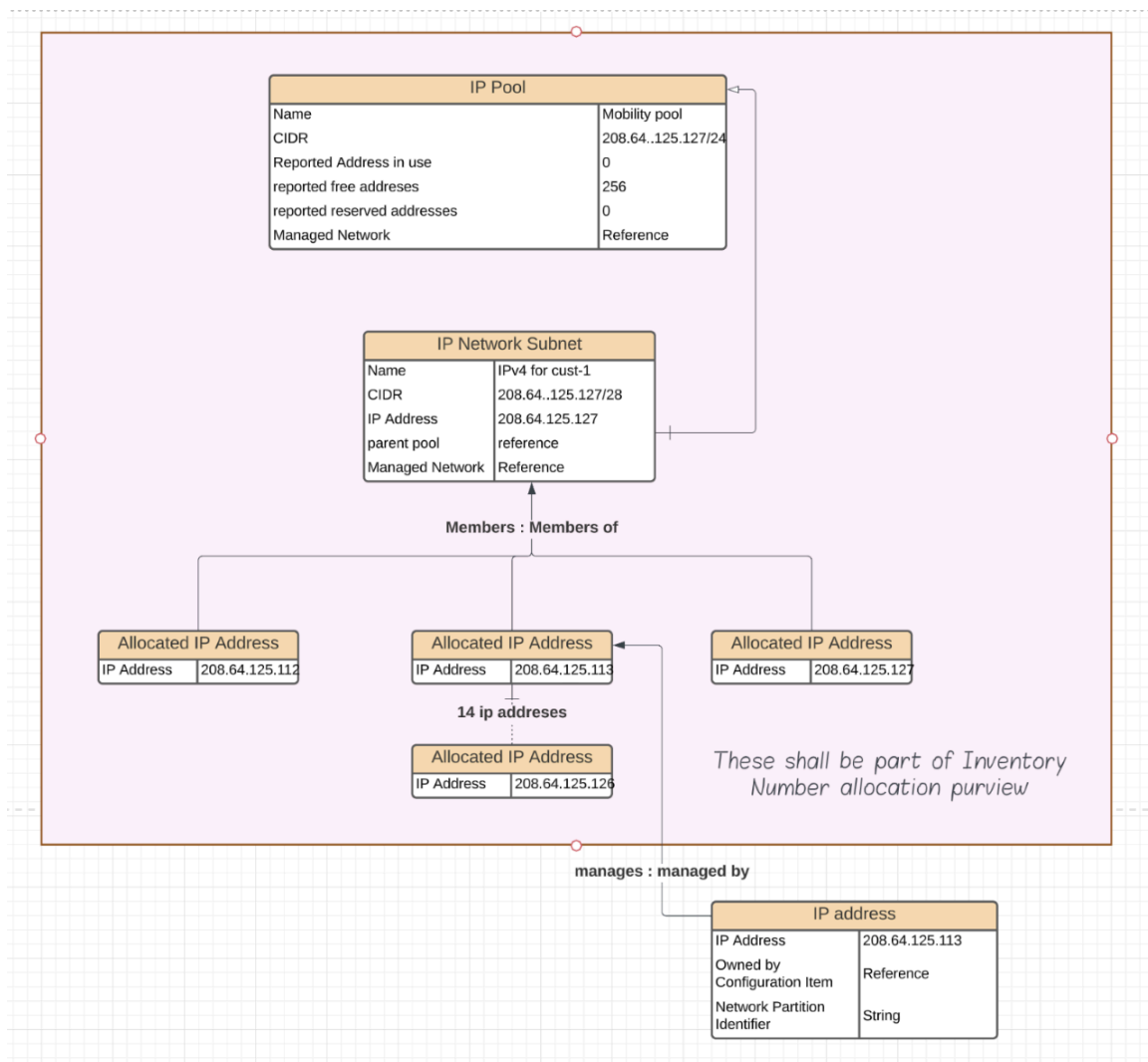
[インベントリの番号付けを定義する](#)

IP アドレスインベントリ管理データモデル

IP アドレスインベントリ管理データモデルを使用すると、IP プール、IP サブネットワーク、割り当て済み IP アドレス、および IP アドレスに使用されるテーブルがすべて互いにどのように関連しているかを理解できます。

データモデル

次の図は、IP アドレスインベントリ管理データモデルを示しています。



このデータモデルを使用すると、IP プールの関連テーブル、IP サブネットワークアドレス、または割り当てられた IP アドレスを保存できます。IP プールテーブルまたは IP サブネットワークテーブルを作成して、サービスを割り当てることもできます。このタスクを実行するには、IP プールまたは IP サブネットワークを作成します。サブネット内の各 IP アドレスは、割り当てられた IP アドレステーブルに作成されます。その後、ディスカバリーおよび構成アイテム (CI) マッピングのために、割り当てられた IP アドレステーブルの IP アドレスを IP アドレステーブルに関連付けることができます。

IP アドレスは、次の方法で割り当てられます。

1. 電話会社のオペレーターは、外部システムから顧客に割り当てられた IP サブネットワークを取得します。この IP サブネットワークは、IP ネットワークサブネットワークテーブルに格納されます。
2. 電話会社のオペレーターは、サブネットの IP アドレスを作成して、IP アドレスの割り当てを追跡できます。この場合、このサブネットの各 IP アドレスは、割り当てられた IP アドレステーブルに格納されます。
3. 割り当てられた IP アドレステーブルですぐに使用できる IP アドレスは、IP アドレステーブルのレコードに関連付けられます。

関連情報

[IP アドレスの割り当てを作成](#)

[IP アドレスの割り当て](#)

場所フォーム

[場所] フォームを使用すると、場所階層を作成してネットワーク資産を追跡および管理できます。

場所フォーム

場所フォームを使用すると、ネットワーク資産の場所の詳細を作成、確認、および変更できます。

場所 フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	場所を識別するわかりやすい名前。
番地	この場所が示す番地。
市区町村	この場所がある都市の名前。
都道府県	この場所がある都道府県の名前。
郵便番号	この場所がある郵便番号。
Country (国)	この場所がある国の名前。
連絡先	この場所の連絡先の名前 (存在する場合)。連絡先を選択するには、検索アイコン (🔍)
電話	この場所の連絡先の電話番号 (ある場合)。
FAX	この場所の連絡先のファックス番号 (存在する場合)。
親	この場所の親場所 (存在する場合)。検索アイコン (🔍) をクリックし、作成済みの場所番号を選択します。このフィールドを使用して、場所の階層を作成できます。
緯度	場所の緯度 (10 進数の度数)。正の数は赤道より北の緯度を示し、負の数は赤道より南の緯度を示します。 このプロパティの値は -90.0 ~ 90.0 の範囲でなければなりません。
経度	位置の経度 (10 進数の度数)。

関連情報

<product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-locations.dita>

場所フォーム:親

場所フォーム (親) を使用すると、ネットワーク資産の親場所の詳細を作成、確認、および変更できます。

場所フォーム

フィールド	説明
親	この場所の親場所 (存在する場合)。検索アイコン (🔍) をクリックし、作成済みの場所番号を選択します。このフィールドを使用して、場所の階層を作成できます。
緯度	場所の緯度 (10 進数の度数)。正の数は赤道より北の緯度を示し、負の数は赤道より南の緯度を示します。 このプロパティの値は -90.0 ~ 90.0 の範囲でなければなりません。
勤務タイプ	このレコードが表す場所のタイプ: • Country (国) • 州/地域/都道府県 • 市区町村 • 建物/敷地 • サイト • 大洋 • 軌道
コード	この場所に割り当てられている地理コード。ない場合は、フィールドを空のままにします。
代替コード	この場所に割り当てられている代替の地理コード。ない場合は、フィールドを空のままにします。
代替名	この場所に割り当てられている代替の地理的名。ない場合は、フィールドを空のままにします。
リージョン	この場所があるリージョンの名前。
サブリージョン	この場所があるサブリージョンの名前 (存在する場合)。
中間リージョン	この場所がある中間リージョンの名前 (存在する場合)。

論理接続フォーム

[論理接続] フォームでは、構成と接続の詳細を記述して、論理接続を定義できます。

論理接続フォーム

[論理接続] フォームでは、論理接続の詳細を記述することができます。

論理接続フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	この論理接続の名前: Now Platform この名前を使用して、ネットワークインベントリ内で識別します。
サブスクリプションの最大割合	帯域幅に対する論理接続に許可されるサブスクリプションの割合。
Site A (サイト A)	この接続の発信元ネットワークサイト。検索アイコン (🔍) を選択し、ネットワークサイトを選択します。詳細については、「 product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-sites.dita 」を参照してください。
Site Z (サイト Z)	この接続の宛先ネットワークサイト。検索アイコン (🔍) を選択し、ネットワークサイトを選択します。詳細については、「 product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-sites.dita 」を参照してください。

関連情報

[論理接続の詳細の定義](#)

論理接続フォーム - 構成

論理接続フォームの [設定] セクションでは、論理接続を作成できます。

論理接続フォーム - 構成

フィールド	説明
ポート A	ポート A 接続で使用されるネットワークインターフェイス。検索アイコン (🔍) を選択し、ネットワークインターフェイスを選択します。詳細については、「 ネットワークインターフェイスの詳細を定義する 」を参照してください。
帯域幅 (昇順)	このネットワーク接続のサイト A からサイト Z までの合計帯域幅容量。
予定日	実装の予測日。
フレーミングタイプ	接続で使用されるフレームのタイプ。次のいずれかを選択します。 - なし - AMI (Alternate Mark Inversion) - ゼロは無電圧で表され、1は正と負の交互電圧で表されるラインコーディング方式。 - B4ZS (Bipolar with Four-Zero Substitution) - デジタル信号の4つの連続するゼロのシーケンスを特別なパターンで置き換えて同期を維持する手法。 - B8ZS (8-0置換のバイポーラ) - B4ZSに似ていますが、8つの連続するゼロのシーケンスを特別なパターンに置き換えて、高速デジタル信号の同期を維持します。
プロトコ	プロトコルのバージョン番号。

論理接続フォーム - 構成 (続く)

フィールド	説明
ルバー ジョン	
エンド ポイン トロー ル	このネットワーク資産のサービスエンドポイントに関連付けられているエンドポイントロール。エンドポイントロールは、提供しているサービスのエンドポイントによって提供される関数です。次のオプションのいずれかを選択します。 • メトロ イーサネット フォーラム (MEF) で定義されている ROOT または LEAF エンドポイント ロール。 • -- なし -- エンドポイントロールが割り当てられていない場合。
ポート Z	ポート Z 接続で使用されるネットワークインターフェイス。検索アイコン (🔍) を選択し、ネットワークインターフェイスを選択します。詳細については、「ネットワークインターフェイスの詳細を定義する」を参照してください。
帯域幅 (降順)	このネットワーク接続のサイト Z からサイト A までの合計帯域幅容量。
コスト	このネットワーク資産のコスト。
距離	[単位] フィールドで選択した測定単位で表される、この接続のルートの長さ。
単位	[距離] フィールドで接続のルートの長さを表す測定単位。次のオプションのいずれかを選択します。 -- なし -- 接続ルートの長さが距離の測定値で表されていません。 マイル 距離はマイルで表されます。 キロメートル 距離はキロメートルで表されます。 フィート 距離はフィートで表されます。 メートル 距離はメートルで表されます。

i 注:

ほとんどの [インベントリ] メニュー フォームに共通する残りの構成フィールドについては、「[一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド](#)」を参照してください。

関連情報

[論理接続の詳細の定義](#)

[管理対象ネットワーク] フォーム

管理対象ネットワークフォームを使用すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワークを管理できます。

[管理対象ネットワーク] フォーム

フィールド	説明
OT 資産の詳細	この OT 資産の資産の重要度、オペレーショナルテクノロジー (OT) 資産タイプ、Purdue レベル、および OT ディスカバリーソース名。
発注書番号	このネットワークの発注書 (PO) 番号。
管理担当者	このネットワークを処理するエンジニア。
ベンダー	このネットワークのベンダー名。
環境	開発、本番、テストなど、このネットワークが利用可能な環境。
コスト	このネットワークの合計コスト。
監視	このネットワークの詳細を監視するオプション。
ディスカバリーソース	構成アイテム (CI) を更新するディスカバリーソース名。
インストール日時	このネットワークのインストール日時。
属性	このネットワークの属性のリスト。
最新検出日	最新検出日 (last_discovered)。最新のディスカバリーが指定されると、入力した時刻値が構成管理データベース (CMDB) の時刻値よりも新しい場合にのみ、CI が指定された値で更新されます。last_discovered が指定されていない場合、last_discovered 属性は現在のタイムスタンプで更新されます。
モデル ID	このネットワークインベントリ資産のモデル ID。
チェックイン日時	このネットワークのチェックイン日時。
サービス提供開始日	注文を受領した日時。
MAC アドレス	デバイスの MAC アドレス。
注文済み	このネットワークの注文が行われた日時。
CI によって含まれる	このネットワークが存在する構成アイテム (CI)。
期限	このネットワークの期間制限。
シリアル番号	このネットワークのシリアル番号。
Assigned to (アサイン先)	このネットワークが割り当てられているエンジニアの名前。
完全修飾ドメイン名	ドメイン名システム (DNS) のツリー階層内の正確な場所を指定するドメイン名。

[管理対象ネットワーク] フォーム (続く)

フィールド	説明
サポート担当者	このネットワーク資産をサポートするユーザーの名前。
外部審査者	このネットワークインベントリ資産を証明するユーザーの名前。
IP アドレス	このネットワークの IP アドレス
カテゴリ	このネットワークのモデルカテゴリ。
Life Cycle Stage Status (ライフサイクルステータス)	ライフサイクルステージのステータス。
最初の検出	インスタンスが最初に検出された日時。
外部審査スコア	この管理対象ネットワーク資産の外部審査スコア。
コメント	このネットワークに提供するコメント。
管理担当者グループ	このネットワークを管理するグループの名前。
コスト通貨	このネットワークのコストの通貨。
保証の有効期限	このネットワークの保証期限。
[Name (名前)]	この 管理 ネットワークの名前。
DNS ドメイン	ドメインネームシステム (DNS) インフラストラクチャ内のデバイスにアサインされた一意の名前またはアドレス。
購入日	このネットワークの購入日。
事業部門	このネットワークが属する組織の部門。
Asset tag (資産タグ)	アイテムの資産タグ。 注: 資産管理番号を入力すると、その資産を含む倉庫のみが表示されます。
リース契約	このネットワークの請負業者。
不具合発生回数	障害の数。
チェックアウト日時	このネットワークがチェックアウトされた日時。
開始日	このネットワークの開始日。
メンテナンススケジュール	このネットワークのメンテナンスのためにサーバーに割り当てられたスケジュール。
証明書ステータス	証明書のステータス。
インストールステータス	インストールのステータス。
相関 ID	ローカルレコードの更新にデータ値を使用する必要があるリモートレコードを識別する相関

[管理対象ネットワーク] フォーム (続く)

フィールド	説明
	ID。ローカルシステムとリモートシステムに別々の相関 ID 値を指定します。
モデル番号	デバイスのモデル番号。
Department (部門)	このネットワークインベントリ資産が属する部門。
重複	このネットワークが属する構成アイテム (CI)。
オーナー	このネットワークの所有者の名前。
説明	このネットワークの説明。
変更グループ	このグループをアサインするグループ名。
サポートグループ	このネットワーク資産をサポートするグループ。
GL アカウント	総勘定元帳アカウント [itfm_gl_accounts] テーブルのアカウント。
外部審査日	このネットワークが証明された日付。
正当性	このネットワークの正当性。
ドメイン	このネットワークのドメイン名。
アサイン日時	このネットワークがアサインされた日付。
承認グループ	承認要求を送信するときに表示されるグループの名前。
場所	このネットワークの場所。
サブカテゴリ	このネットワークのモデルサブカテゴリ。
会社	このネットワークを所有している会社
メーカー	このネットワークのメーカーの名前
請求書番号	このネットワークの請求書番号。
コストセンター	このネットワークのコストセンター。
印刷可能	このネットワークの詳細を印刷するオプション。
Operational status (運用ステータス)	このネットワークの運用のステータス。
ライフサイクルステージ	ネットワークのライフサイクルステージ。
TNI CI 属性	このネットワークの 通信事業ネットワークインベントリ 属性の詳細を作成するために選択できる構成 (CI)。

関連情報

[管理対象ネットワークを作成](#)

関連テンプレートの命名規則

機器またはインターフェイスカードのテンプレートを作成するときに自動的に生成される関連テンプレートの命名規則の詳細について説明します。

命名パターンでサポートされている変数

変数名	説明
位置	適用されるインターフェイスまたはスロット/ホルダーのユニット位置。 注: ユニットの位置は常に0から始まります。インベントリモデルで設定されているスロット/インターフェイスの開始番号は、ユニットの位置には適用されません。
parent_slot_name	スロットまたはインターフェイスがカードに属している場合、カードが挿入されるスロットの名前。
parent_slot_position	スロットまたはインターフェイスがカードに属している場合、カードが挿入されるスロットのユニット位置。
equipment_slot_name	スロットまたはインターフェイスがカードに属している場合、ベースカードが挿入される機器のスロットの名前。現在のカードが基本カードの場合、parent_slot_nameとequipment_slot_nameは同じ値を保持します。
equipment_slot_position	スロット/インターフェイスがカードに属している場合、ベースカードが挿入される機器のスロットのユニット位置。現在のカードが基本カードの場合、parent_slot_numberとequipment_slot_numberは同じ値を保持します。
帯域幅	インターフェイスの帯域幅値。

自動翻訳

ネットワークインベントリ変更要求フォーム

変更要求フォームを使用すると、設計およびアサイン機能で通信インベントリ変更モデルの変更アクティビティを作成および変更できます。

変更要求フォーム

フィールド	説明
[Number (番号)]	変更要求番号。
要求者	変更を要求したユーザー。このフィールドは、[変更要求] リストビューで利用可能で、特定の変更を誰が要求したかを確認できます。
サービス	変更要求に対して使用できるようにするビジネスサービス。

変更要求フォーム (続く)

フィールド	説明
サービスオフアリング	サービスのレベルを一意に定義する 1 つ以上のサービスコミットメントで構成されるサービスオプション。サービスオフアリングを通じて、サービスのさまざまなレベルのパフォーマンスと機能を選択できます。利用可能なサービスオフアリングをフィルタリングするには、サービスを選択する必要があります。
構成アイテム (CI)	変更が適用される構成アイテム (CI)。
Risk	変更のリスク レベル。 次のオプションのいずれかを選択します。 • 高 • 中 • やや複雑
影響	ビジネスプロセスに対する変更の影響の測定。
簡単な説明	変更の概要。
説明	変更の詳細な説明。
モデル	テレコムネットワークインベントリ変更要求に関連付けられている変更モデル。 変更モデルタイルを選択すると、関連するモデルがこのフィールドに表示されます。次のいずれかのオプションを手動で選択することもできます。 インターフェイスカードを追加 機器スロットにインターフェイスカードを追加するために使用される変更モデル。 インベントリ機器を作成 サイトまたは機器ホルダーでインベントリテンプレートを使用するときに機器を追加するために使用される変更モデル。 論理接続を作成 2 つのネットワークインターフェイス間の論理接続を作成するために使用される変更モデル。 物理接続を作成 2 つのネットワークインターフェイス間の物理接続を作成するために使用される変更モデル。 緊急

変更要求フォーム (続く)

フィールド	説明
	テレコムネットワークインベントリの緊急変更を使用される変更モデル。 GPON ブロードバンドサービス GPON ブロードバンド注文要求を履行するために使用される変更モデル。 標準 テレコムネットワークインベントリの通常の変更を使用される変更モデル。 i 注: これらの変更モデルは、次で入手可能です: 変更 > 新規作成 > 変更要求を作成 スクリーンショットです
アサイン先グループ	変更要求を処理するグループ。
Assigned to (アサイン先)	変更がアサインされているユーザー。アサインルールが適用される場合、変更は適切なユーザーまたはグループに自動的にアサインされます。

変更要求フォーム - [スケジュール] タブ

フィールド	説明
開始予定日	実装の予測開始日。開始予定日は、現在の日付または将来の日付にすることができます。このフィールドのデフォルト値は現在の日付です。開始予定日を変更するには、カレンダーアイコンをクリックして新しい日付を選択します。
終了予定日	実装の予測終了日。終了予定日は開始予定日より後にする必要があります。このフィールドのデフォルト値は、開始予定日の 1 日後です。終了予定日を変更するには、カレンダーアイコンをクリックして新しい日付を選択します。
CAB 必須	この変更要求が実装前に変更諮問委員会 (CAB) の承認を必要とするかどうかを指定するオプション。
CAB 実施日時	実装の CAB 承認日。
実開始日	実装の実際の開始日。開始実績日時は、開始予定日以前にすることができます。
実終了日	実装の実際の終了日。終了実績日時は、開始予定日より前にすることはできませんが、開始実績日時より前にすることはできません。

変更要求フォーム - [スケジュール] タブ (続く)

フィールド	説明
CAB 委任者	変更諮問委員会 (CAB) 会議に出席して変更を説明するユーザー。
CAB の提言	CAB 会議に関連するメモまたは推奨事項。

変更要求フォーム - [メモ] タブ

フィールド	説明
ウォッチリスト	変更要求に関する通知を受け取るユーザー。通知を受信し、ウォッチトピックを表示できるユーザーの名前を追加します。
追加コメント (顧客に表示)	変更を要求したユーザーと作業メモを共有する必要があるかどうかを指定するオプション。
作業メモ	変更要求の作業メモ。
作業メモリスト	作業メモに関する通知を取得できるユーザー。

変更要求フォーム - [クローズ情報] タブ

フィールド	説明
Close code (終了コード)	この変更要求をクローズする理由を最も確に表すクローズコード。次のオプションのいずれかを選択します。 • Successful (成功) • 問題ありで失敗 • 不成功
クローズメモ	この変更要求をクローズした結果を説明する追加のメモ。

変更要求フォーム - 変更タスクフォーム

フィールド	説明
[Number (番号)]	変更タスクの識別番号。
変更要求	この変更タスクの作成に使用された変更要求番号。
構成アイテム (CI)	変更が適用される構成アイテム (CI)。
要求タイプ	ネットワークインベントリモデルに基づく変更要求のタイプ。
簡単な説明	この注文タスクの簡単な説明。
説明	この注文タスクの説明。
ステータス	この変更タスクのステータス。次のオプションのいずれかを選択します。

変更要求フォーム - 変更タスクフォーム (続く)

フィールド	説明
	保留 タスクはユーザーからのアクションを待機しています。 オープン このタスクに対してはまだアクションが実行されていません。 進行中 タスク処理が進行中です。 クローズ済み 変更タスクが完了しました。 キャンセル済み 変更タスクがキャンセルされました。
アサイン先グループ	このタスクを担当するグループ名の名前。検索アイコン (🔍) をクリックして、リストからグループを選択します。
Assigned to (アサイン先)	選択したグループに応じて、リストにアサインされているユーザーが表示されます。検索アイコン (🔍) をクリックすると、ユーザーのリストが表示されます。
作業メモ	自由形式の作業指示メモテキスト。
更新	注文タスクに加えた変更を保存するオプション。
タスクをクローズ	注文タスクのステータスを [クローズ済み] に変更するオプション。
削除	この注文タスクを削除するオプション。

ネットワークインターフェイスモデルフォーム - [情報] タブ

モデルフォームの情報セクションでは、モデルの詳細を作成、レビュー、および変更できます。

ネットワークインターフェイスモデルフォーム - [情報] タブ

フィールド	説明
電力 (W)	ネットワーク資産の電力 (ワット)。
重量 (ポンド)	ネットワーク資産の重量 (ポンド (lbs) 単位)。
仮想	ネットワークインターフェイスが物理か仮想かを確認するオプション。 i 注: [仮想] を選択した場合、[コネクタタイプ] フィールドは表示されません。

ネットワークインターフェイスモデルフォーム - [情報] タブ (続く)

フィールド	説明
コネクタ タイプ	ケーブルをネットワークインターフェイスに接続するために使用される物理ケーブルコネクタのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 • BNC (Bayonet Neill-Concelman) - 同軸ケーブルに使用される小型無線周波数コネクタのタイプ。 • SC (スクエアコネクタ) - プッシュプルラッチとして使用される正方形の一般的なタイプの光ファイバーコネクタで、光ファイバーを整列させて効率的な光伝送を実現します。 • LC (Lucent Connector) - 高密度アプリケーション向けに設計された SC コネクタの別バージョン。 • ST (ストレートトリップ)-電気通信およびデータ通信アプリケーションで光ファイバーを接続するために一般的に使用される光ファイバーコネクタの一種。 • ワイヤラップ - 回路基板に電気接続を作成するための技術。 • RJ45 - 8P8C(8ポジション8コンタクト)コネクタとも呼ばれ、有線イーサネットネットワークで広く使用されているタイプのコネクタです。
最大物 理接続サ ポート	このモデルがサポートする物理接続の最大数。
ポートの 帯域幅	このネットワークインターフェイス上のポートで測定された帯域幅。検索アイコン (🔍) を選択し、帯域幅を選択します。
方向性	ネットワークのノード間の接続のタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 • Tx:TXはTransmitの略です。デバイスからデータが送信される方向を指します。 • Rx:RX は、データを受信するエンドポイントを示します。これは、別のソースから送信された情報を受信するための入力側であり、多くの場合、TX(送信)というラベルが付けられています。 • Tx/Rx • バス:バスの方向性とは、通信チャネル上のデータの流れを指します。 • ブロードキャスト-ブロードキャストの方向性とは、ブロードキャストシステムにおける信号の送受信の性質を指します。
インター フェイス タイプ	ネットワークインターフェイスのポートのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 • イーサネット:ネットワークに接続するためのデバイスの物理的な接続と速度の機能。これには、ケーブルの種類、速度、および標準が含まれます。 • 光-光トランシーバーで使用されるコネクタの特定の設計。光インターフェイスにはさまざまなタイプがあり、それぞれに異なる形状とデータ速度機能があります。 • シリアル:シリアルインターフェイスは一度に 1 ビットずつデータを送信しますが、複数のビットを同時に送信するパラレルインターフェイスは異なります。

関連情報

ネットワークインターフェイスモデルの作成

[ネットワークモデルの関係] フィールド

[ネットワークモデル関係] フォームでは、ネットワークモデル関係を作成できます。

[ネットワークモデルの関係] フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	モデルマネージャーによって指定されたネットワークモデル関係のメーカーが割り当てた名前。
リレーションシップタイプ	関係のタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 -- なし -- ネットワークモデル関係が存在しません。 ラックからラック スロット ラックモデルとスロットモデルの関係。この関係は、ラックとスロットモデルが機器モデルと互換性があることを示しています。 設備からスロット 機器モデルとスロットモデルの関係。この関係は、スロットの数とスロットモデルが機器モデルと互換性があることを示しています。 i 注: • [親製品モデル] フィールドには、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションに関連するすべての機器モデルのリストが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、スロットモデルのみが表示されます。 機器からネットワークインターフェイス 機器モデルとネットワークインターフェイスモデルの関係。この関係は、インターフェイスモデルと、機器モデルと互換性があり、サポートされているインターフェイスの数を示します。 i 注: • [親製品モデル] フィールドには、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションに関連するすべての機器モデルのリストが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションに関連するすべてのネットワークインターフェイスモデルのリストが表示されます。 スロット先 カード スロットモデルとインターフェイスカードモデルの関係。この関係により、機器モデルまたはカードモデルを選択する必要がある ルート製品モデル フィールドが適用されます。

[ネットワークモデルの関係] フォーム (続く)

フィールド	説明
	注: • [ルート製品モデル] フィールドには、通信事業ネットワークインベントリアプリケーションに関連するすべての機器モデルのリストが表示されます。 • [親製品モデル] フィールドには、スロットとサブスロットの両方のモデルが表示されます。 • [子製品モデル (Child product model)] フィールドには、すべてのインターフェイスカードモデルのリストが表示されます。 スロットard インターフェイスカードモデルとスロットモデルの関係。この関係は、スロットモデルがインターフェイスカードモデルと互換性があることを示しています。 注: • [親製品モデル (Parent product model)] フィールドには、すべてのインターフェイスカードモデルのリストが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、サブスロットのモデルのみが表示されます。 カードからネットワークインターフェイス インターフェイスカードモデルとネットワークインターフェイスモデルの関係。この関係は、ネットワークインターフェイスモデル内のインターフェイスの数がインターフェイスカードモデルと互換性があることを示しています。 注: • [親製品モデル (Parent product model)] フィールドには、すべてのインターフェイスカードモデルのリストが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、すべてのネットワークインターフェイスモデルのリストが表示されます。 物理接続から論理接続 物理接続と論理接続のモデル間の関係。 注: • [親製品モデル] フィールドには、すべての物理接続モデルのリストが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、すべての論理接続モデルのリストが表示されます。 論理接続から論理接続 ある論理接続モデルと別の論理接続モデル間の関係。

[ネットワークモデルの関係] フォーム (続く)

フィールド	説明
	注: ・ [親製品モデル] フィールドには、すべての論理接続モデルのリストが表示されます。 ・ [子製品モデル] フィールドには、すべての論理接続モデルのリストが表示されます。 物理接続からネットワークインターフェイス 物理接続とネットワークインターフェイス間の関係。 注: ・ [親製品モデル] フィールドには、すべての物理接続モデルのリストが表示されます。 ・ [子製品モデル] フィールドには、すべてのネットワークインターフェイスモデルのリストが表示されます。 論理接続からネットワークインターフェイス 論理接続とネットワークインターフェイスの関係。 注: ・ [親製品モデル] フィールドには、すべての論理接続モデルのリストが表示されます。 ・ [子製品モデル] フィールドには、すべてのネットワークインターフェイスモデルのリストが表示されます。 ラック/キャビネットからラック/キャビネットスロット ラック/キャビネットとラック/キャビネットスロットの関係。 注: ・ [親製品モデル] フィールドには、すべてのラックとキャビネットのリストが表示されます。 ・ [子製品モデル] フィールドには、すべてのスロットとサブスロットのリストが表示されます。 ラック/キャビネット スロットから機器 ラックスロットと機器の関係。 注: ・ ルート製品モデルには、モデルカテゴリがラックであるすべての機器所有者モデルが表示されます。 ・ 親製品モデルには、モデルカテゴリがスロットであるすべての機器所有者モデルが表示されます。 ・ 子製品モデルには、通信事業ネットワークインベントリアプリケーションに関連するすべての機器モデルが表示されます。

[ネットワークモデルの関係] フォーム (続く)

フィールド	説明
	ラック/キャビネット スロットから コンテナ シェルフ ラックスロットとシェルフの関係。 i 注: • ルート製品モデルには、モデルカテゴリがラックであるすべての機器所有者モデルが表示されます。 • 親製品モデルには、モデルカテゴリがスロットであるすべての機器所有者モデルが表示されます。 • 子製品モデルには、モデルカテゴリがシェルフであるすべての機器所有者モデルが表示されます。
	インターフェイスからインターフェイス 2 つのインターフェイス間の関係。 i 注: [親製品モデル] フィールドと [子製品モデル] フィールドには、すべてのネットワークインターフェイスモデルのリストが表示されます。
	キャビネットから機器 キャビネットと機器の関係。 i 注: • [親製品モデル] フィールドには、コンテナタイプが [キャビネット] であるすべての機器所有者が表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションに関連するすべての機器モデルが表示されます。
	論理接続からチャンネル 論理接続とチャンネルの間の関係。 i 注: • [親製品モデル] フィールドには、すべての論理接続モデルのリストが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、[動作] が [チャンネル] であるすべての論理接続モデルのリストが表示されます。
	ケーブルからストランド ケーブルとストランドの関係。 i 注: • [Parent product model] フィールドには、すべてのケーブルモデルのリストが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、すべてのストランドモデルのリストが表示されます。

[ネットワークモデルの関係] フォーム (続く)

フィールド	説明
	マルチシャーシから機器 論理コンポジットと機器の関係。 i 注: • [親製品モデル] フィールドには、モデルカテゴリが論理コンポジットであるすべての機器モデルのリストが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、すべての機器モデルのリストが表示されます。 マルチシャーシからラック 論理コンポジットとラックの関係。 i 注: • [親製品モデル] フィールドには、モデルカテゴリが論理コンポジットであるすべての機器モデルのリストが表示されます。 • [子製品モデル] フィールドには、すべてのラックモデルのリストが表示されます。
カウント	テンプレートの作成時に親製品モデルの下に作成できる子製品モデルの数。 i 注: この属性は、機器からスロット、ラックからスロット、機器からネットワークインターフェイス、インターフェイスカードからスロット、インターフェイスカードからネットワークインターフェイス、ケーブルからストランド、および論理接続からチャンネルの関係タイプ。
ルート製品モデル	互換性のためのインターフェイスカードの祖父母モデル。機器モデルまたはインターフェイスカードモデルを選択します。次に、検索アイコン (🔍) を選択し、モデルを選択します。 i 注: この属性は、[スロットからインターフェイス] カード の関係タイプの場合にのみ表示されます。
親製品モデル	子製品モデルの親である製品モデル。検索アイコン (🔍) を選択し、モデルを選択します。 i 注: ラックとスロットの関係では、親製品モデルは、モデルカテゴリがラックである機器所有者モデルです。
子製品モデル	親製品モデルの子である製品モデル。検索アイコン (🔍) を選択し、モデルを選択します。

[ネットワークモデルの関係] フォーム (続く)

フィールド	説明
	注: ラックとスロットの関係では、子製品モデルはモデルカテゴリがスロットの機器所有者です。
シーケンス	モデル関係の子エンティティの順序番号。[カウント] フィールドに数値を入力すると、[シーケンス] フィールドが表示されます。 デフォルト値は 1 です。親モデルに複数の関係がある場合、最初の関係のシーケンス番号は 1 に設定され、最初の関係の最大値に続く番号が連続する関係に設定されます。たとえば、機器に 2 つのスロットと 2 つのポートを持つモデル関係があるとします。関係が作成されると、スロットとポートのシーケンス番号が 1 と 3 に設定されます。 注: この属性は、[ラックからスロット]、[機器からスロット]、[機器からネットワークインターフェイス]、[インターフェイスカードからスロット]、[インターフェイスカードからネットワークインターフェイス]、[ケーブルからストランド]、[論理接続からチャンネルの関係タイプ]にのみ適用できます。
親帯域幅	親製品モデルの帯域幅。 注: この属性は、論理接続からチャンネルへの 関係タイプに対してのみ表示されます。
子帯域幅	子製品モデルの帯域幅。 注: この属性は、論理接続からチャンネルへの 関係タイプに対してのみ表示されます。

関連情報

[ネットワーク モデル関係の定義](#)

ネットワークサイトフォーム

[ネットワークサイト] フォームでは、ネットワーク機器を収容するネットワークサイトを定義できます。

ネットワークサイトフォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	機器が存在するネットワークサイトの名前。Now Platformはこの名前を使用してネットワークインベントリを識別します。例:TROY IXC POP。
NPANXX	このネットワークサイトにアサインされた NPA-NXX コード:

ネットワークサイトフォーム (続く)

フィールド	説明
	• このコードは、市外局番(NPA)とローカルエクスチェンジ(NXX)の組み合わせです。 • 結合されたコードには、特定の地域内にある最大 10,000 件の電話番号の最後の 4 桁を含めることができます。この地域は、割り当てられたコードの中央オフィスに関連付けられています。 • たとえば、858-335 は電話番号 858-335-9500 の NPA-NXX です。
場所	ネットワークサイトの地理的な場所。検索アイコン (🔍) を選択し、場所階層から場所を選択します。場所階層の詳細については、「 product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-locations.dita 」を参照してください。
県	ネットワーク サイトが配置されている国の名前。
リージョン	ネットワーク サイトが配置されている地理的地域の名前。
POTS 番号	このネットワーク サイトに関連付けられている Plain Old Telephone Service 番号 (POTS)。

i 注:

ほとんどの インベントリ フォーム および インベントリ番号割り当てメニュー フォームに共通する残りの識別フィールドについては、[一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド](#) を参照してください。

関連情報

<product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-sites.dita>

ネットワークトポロジフォーム

[ネットワークトポロジ] フォームでは、ネットワークのトポロジの詳細を作成および確認できます。

[ネットワークトポロジ] フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	トポロジの名前。
帯域幅	トポロジの帯域幅。
ライフサイクルステージ	ネットワークインベントリ資産のライフサイクルステージ。
サポートグループ	このネットワーク資産をサポートするグループ。
ライフサイクルステージステータス	ライフサイクルステージのステータス。
管理担当者	このネットワーク資産を管理するユーザーの名前。
モデル ID	このネットワーク資産のメーカーによるモデル識別番号。
コメント	コメント (ある場合)。

関連情報

[ネットワーク トポロジの手動作成](#)[ネットワーク トポロジの可視化](#)

パックテーブル

パックテーブルを使用して、5G ネットワークのモデル化に役立つテーブルについて学習します。

パックテーブル

テーブル名 TM	説明
* pack_3gpp_gnb_du_function	GNB 配布ユニット識別子
pack_3gpp_gnb_du_function	GNB 識別子
pack_3gpp_gnb_du_function	GNB 識別子の長さ
pack_3gpp_gnb_du_function	GNB 配布ユニット名
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	GNB 識別子
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	GNB 識別子の長さ
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	GNB 制御装置名
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	携帯電話国コード
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	モバイルネットワークコード
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	x2 ブロックリスト
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	x2 許可リスト
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	XN ブロックリスト
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	XN 許可リスト
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	xn ブロックリストなし
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	Dapsho 制御フラグ
pack_3gpp_gnb_cu_cp_function	CHO 制御フラグ
pack_3gpp_gnb_cu_up_function	GNB 制御装置のユーザープレーン識別子
pack_3gpp_gnb_cu_up_function	GNB 識別子
pack_3gpp_gnb_cu_up_function	GNB 識別子の長さ
pack_3gpp_nrcellcu	セルローカル識別子
pack_3gpp_nrcellcu	PLMN 情報リスト
pack_3gpp_nrcelldu	[Name (名前)]
pack_3gpp_nrcelldu	PLMN 情報リスト
pack_3gpp_nrcelldu	管理状態
pack_3gpp_nrcelldu	セルの状態
pack_3gpp_nrcelldu	セルローカル識別子
pack_3gpp_nrcelldu	物理セル ID
pack_3gpp_nrcelldu	市外局番の追跡

パケットテーブル (続く)

テーブル名	説明
pack_3gpp_nrcelldu	同期信号ブロック頻度
pack_3gpp_nrcelldu	同期信号ブロック周期性
pack_3gpp_nrcelldu	同期信号ブロックサブキャリア間隔
pack_3gpp_nrcelldu	同期信号ブロック期間
pack_3gpp_nrcelldu	運用ステータス
pack_3gpp_nrcelldu	無線周波数チャンネル番号ダウンリンク
pack_3gpp_nrcelldu	無線周波数チャンネル番号アップリンク
pack_3gpp_nrcelldu	無線周波数チャンネル番号補足アップリンク
pack_3gpp_nrcelldu	基地局チャンネル帯域幅ダウンリンク
pack_3gpp_nrcelldu	同期信号ブロックオフセット
pack_3gpp_nrcelldu	基地局チャンネル帯域幅アップリンク
pack_3gpp_nrcelldu	基地局チャンネル帯域幅補足アップリンク
pack_3gpp_managed_element	ネットワーク機能インスタンス ID
pack_3gpp_managed_element	ネットワーク機能タイプ
pack_3gpp_managed_element	ハートビートタイマー
pack_3gpp_managed_element	認証情報
pack_3gpp_managed_element	ホストアドレス
pack_3gpp_managed_element	有効なネットワーク機能タイプ
pack_3gpp_managed_element	有効なネットワーク機能ドメイン
pack_3gpp_managed_element	市区町村
pack_3gpp_managed_element	容量
pack_3gpp_managed_element	ネットワーク機能セット識別子
pack_3gpp_managed_element	提供範囲
pack_3gpp_managed_element	ネットワーク機能は負荷をサポートします
pack_3gpp_managed_element	ネットワーク機能は過負荷をサポートします
pack_3gpp_managed_element	ネットワーク機能の回復時間
pack_3gpp_managed_element	SCP ドメイン
pack_3gpp_managed_element	ベンダー識別子
pack_3gpp_amf_function	AMF (Access and Mobility Management Function) 地域識別子
pack_3gpp_amf_function	SBI 完全修飾ドメイン名
pack_3gpp_amf_function	AMF セット識別子
pack_3gpp_amf_function	CNSI 識別子

パケットテーブル (続く)

テーブル名	説明
pack_3gpp_amf_function	バックアップ失敗:AMF (アクセスおよびモビリティ管理機能) モバイル国コード
pack_3gpp_amf_function	バックアップ失敗 AMF モバイルネットワークコード
pack_3gpp_amf_function	バックアップ失敗 AMF 識別子
pack_3gpp_amf_function	バックアップの削除 AMF モバイル国コード
pack_3gpp_amf_function	バックアップの削除 AMF モバイルネットワークコード
pack_3gpp_amf_function	バックアップの削除 AMF 識別子
pack_3gpp_smf_function	市外局番の追跡
pack_3gpp_smf_function	SBI 完全修飾ドメイン名
pack_3gpp_smf_function	PDN ゲートウェイ FQDN
pack_3gpp_smf_function	アクセスタイプ
pack_3gpp_smf_function	優先度
pack_3gpp_smf_function	CNSI 識別子
pack_3gpp_smf_function	訪問済み SMF サポートインジケータ
pack_3gpp_upf_function	ネットワーク機能インスタンス識別子
pack_3gpp_upf_function	市外局番の追跡
pack_3gpp_upf_function	CNSI 識別子
pack_3gpp_upf_function	SMF 提供エリア
pack_3gpp_upf_function	EPS とのインターワーキングをサポート
pack_3gpp_upf_function	PDU セッションタイプ
pack_3gpp_upf_function	アクセス トラフィックのステアリング、スイッチング、分割
pack_3gpp_upf_function	マルチパス TCP
pack_3gpp_upf_function	PMT なしで RTT を実行
pack_3gpp_upf_function	UELP アドレスインジケータ
pack_3gpp_upf_function	有線アクセスゲートウェイ機能 IPv4 エンドポイント
pack_3gpp_upf_function	有線アクセスゲートウェイ機能 IPv6 エンドポイント
pack_3gpp_upf_function	有線アクセスゲートウェイ機能 FQDN
pack_3gpp_upf_function	信頼できる非 3GPP アクセスポイント IPv4 エンドポイント
pack_3gpp_upf_function	信頼できる非 3GPP アクセスポイント IPv6 エンドポイント
pack_3gpp_upf_function	信頼できる非 3GPP アクセスポイント FQDN

パケットテーブル (続く)

テーブル名	説明
pack_3gpp_upf_function	信頼できる WLAN インターワーキング機能 IPv4 エンドポイント
pack_3gpp_upf_function	信頼できる WLAN インターワーキング機能 IPv6 エンドポイント
pack_3gpp_upf_function	信頼できる WLAN インターワーキング機能 FQDN
pack_3gpp_upf_function	優先度
pack_3gpp_upf_function	冗長 GPRS トンネリングプロトコル
pack_3gpp_upf_function	IP 上流
pack_3gpp_upf_function	データ転送
pack_3gpp_upf_function	パケット転送制御プロトコルをサポート
pack_3gpp_upf_function	ベアメタルオーケストレーターをサポート
pack_3gpp_ep_rp	ローカルポート
pack_3gpp_ep_rp	ローカル IPv4 アドレス
pack_3gpp_ep_rp	ローカル IPv6 アドレス
pack_3gpp_ep_rp	ローカル VLAN
pack_3gpp_ep_rp	リモート IPv4 アドレス
pack_3gpp_ep_rp	リモート IPv6 アドレス

※3GPPはETSIの商標です。

関連情報

[での5G xNFのモデリング 通信事業ネットワークインベントリ](#)

パス計算エラーメッセージ

パス計算エラーメッセージを使用すると、パス計算中に発生するエラーメッセージを理解できます。

エラーメッセージ

エラーメッセージ

エラー	解決
サイト<site1_name>と<site2_name>の間にパスが見つかりません。	サイト間の接続を作成します。

関連情報

[GPON ブロードバンドサービス変更モデルを使用して変更要求を作成する](#)

物理接続フォーム

[物理接続] フォームでは、その構成と接続の詳細を記述して、物理接続を定義できます。

関連情報

[物理接続の詳細の定義](#)

物理接続フォーム

[物理接続] フォームでは、物理接続の詳細を記述できます。

物理接続フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	この物理接続の名前。Now Platformは、この名前を使用してネットワークインベントリ内で識別します。
製品モデル	物理接続に関連付けられている製品モデルの名前。検索アイコン (🔍) をクリックして、製品モデルを選択します。 • [光ファイバケーブル] を選択した場合は、[ケーブルパラメータ] タブが表示され、追加情報を入力できます。 • [ファイバーリンク] を選択した場合は、[物理接続要素] フォームの [ケーブル] フィールドと [ストランド番号] フィールドに情報を入力する必要があります。
リンクタイプ	物理接続のリンクのタイプ。たとえば、ファイバーや同軸などです。
帯域幅 (昇順)	このネットワーク接続のサイト A からサイト Z までの合計帯域幅容量。
帯域幅 (降順)	このネットワーク接続のサイト Z からサイト A までの合計帯域幅容量。
Site A (サイト A)	この接続の発信元ネットワークサイト。検索アイコン (🔍) を選択し、ネットワークサイトを選択します。詳細については、「 product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-sites.dita 」を参照してください。
Site Z (サイト Z)	この接続の宛先ネットワークサイト。検索アイコン (🔍) を選択し、ネットワークサイトを選択します。詳細については、「 product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-sites.dita 」を参照してください。

関連情報

[物理接続の詳細の定義](#)

物理接続フォーム - 構成

[物理接続] フォームの [構成] セクションでは、物理接続を作成できます。

物理接続フォーム - 構成

フィールド	説明
ポート A	ポート A 接続で使用されるネットワークインターフェイス。検索アイコン (🔍) を選択し、ネットワークインターフェイスを選択します。詳細については、「 ネットワークインターフェイスの詳細を定義する 」を参照してください。
管理オプション	このエンドポイントの管理担当者または担当者を示す属性。
エンドポイントロール	このネットワーク資産のサービスエンドポイントに関連付けられているエンドポイントロール。エンドポイントロールは、提供しているサービスのエンドポイントによって提供される関数です。次のオプションのいずれかを選択します。 - メトロ イーサネット フォーラム (MEF) で定義されている ROOT または LEAF エンドポイント ロール。 -- なし -- エンドポイントロールが割り当てられていない場合。
ポート Z	ポート Z 接続で使用されるネットワークインターフェイス。検索アイコン (🔍) を選択し、ネットワークインターフェイスを選択します。詳細については、「 ネットワークインターフェイスの詳細を定義する 」を参照してください。
ベンダー	ネットワーク資産のベンダーの名前。検索アイコン (🔍) を選択し、ベンダーコードを選択します。詳細については、「 メーカーコードとベンダーコードの作成 」を参照してください。
コスト	このネットワーク資産のコスト。
距離	[単位] フィールドで選択した測定単位で表される、この接続のルート長さ。
単位	[距離] フィールドで接続のルート長さを表す測定単位。次のオプションのいずれかを選択します。 -- なし -- 接続ルートの長さが距離の測定値で表されていません。 - マイル 距離はマイルで表されます。 - キロメートル 距離はキロメートルで表されます。 - フィート 距離はフィートで表されます。 - メートル 距離はメートルで表されます。

i 注:

ほとんどの [インベントリ] メニュー フォームに共通する残りの構成フィールドについては、「一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド」を参照してください。

関連情報

[物理接続の詳細の定義](#)

ケーブルパラメータフォーム

「ケーブルパラメータ」 (Cable Parameters) フォームでは、物理接続のケーブルパラメータを定義できます。

ケーブルパラメータフォーム

フィールド	説明
ケーブルタイプ	ケーブルタイプの名前。
ケーブル番号	物理接続で使用するケーブルの番号。
スタンド数	このケーブルに含まれるファイバーの数。
ケーブル長	ケーブルの長さ (ミリメートル (mm) 単位)。
親ケーブル	最上層の物理接続を指定するオプション。
カラー コード	ケーブルラインの色。
スペア A	サイト A に接続するケーブルの長さ (ミリメートル (mm) 単位)。
スペア Z	サイト Z に接続するケーブルの長さ (ミリメートル (mm) 単位)。
KML ルート	ファイバールートマップを KML 形式で指定するオプション。

関連情報

[物理接続の詳細の定義](#)

ネットワークインベントリフォームの関連タブ

[ネットワークインベントリ] フォームの関連タブには、他のネットワーク資産との接続および関係に基づいて動的に変化する関連レコードが表示されます。これらのレコードを選択的に表示、変更、または更新できます。

ネットワークインベントリフォームの関連タブ

タブ	説明
概要	電気通信機器に関する一部の情報のスナップショット。[概要] タブには、次のセクションが表示されます。 使用法 Telco 機器で開いているスロット、インターフェイスカード、およびインターフェイスの数。 イメージ

ネットワークインベントリフォームの関連タブ (続く)

タブ	説明
	電気通信機器の画像。画像を選択すると、別のページにプレビューを表示できます。 関連 関連するネットワークインベントリとの関係。[関係] セクションには、Telco 機器に関連付けられているすべての子階層が表示されます。関係はワークスペースでのみ表示できます。 i 注: このタブは、[Telco 機器] フォームでのみ使用できます。
ラック機器の配置	この機器が配置されているラックスロットの詳細。[排他的に使用] 列の下に表示されるテキストリンクを選択することで、いつでも詳細を更新できます。 i 注: このフィールドは、すべての機器、IP ルーター、IP スイッチ、IP ファイアウォール、およびカードにのみ適用されます。
子サイト	親サイトに関連付けられている子インベントリサイトのリスト。 i 注: このタブは、[ネットワークサイト] フォームでのみ使用できます。
電気通信機器	ネットワークインベントリに関連付けられている電気通信機器のリスト。 i 注: このタブは、[ネットワークサイト] フォームでのみ使用できます。
インシデント	ネットワークインベントリに関連するインシデントレコードのリスト。 i 注: このタブは、[ネットワークサイト] フォームでのみ使用できます。
変更要求	変更要求レコードのリスト。変更要求の詳細については、「ネットワークインベントリワークスペースからの変更要求の作成」を参照してください。

ネットワークインベントリフォームの関連タブ (続く)

タブ	説明
	i 注: このタブは、[ネットワークサイト]、[Telco 機器]、および [物理接続] フォームでのみ使用できます。
チーム	ネットワークインベントリに関連付けられている チーム のリスト。
物理接続	ネットワークインベントリに関連付けられている物理接続のリスト。 i 注: このタブは、[Telco 機器] フォームでのみ使用できます。
論理接続	ネットワークインベントリに関連付けられている論理接続のリスト。 i 注: このタブは、[Telco 機器] フォームでのみ使用できます。
注文情報	ネットワークインベントリインスタンスに関連するオーダー情報のリスト。 i 注: このタブは、[ネットワークインターフェイス]、[物理接続]、および [論理接続] フォームでのみ使用できます。
番号要素	仮想ローカルエリアネットワーク (VLAN) またはリンクアグリゲーショングループ (LAG) に関連付けられている番号要素のリスト。数値要素のフィールドの詳細については、「一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス識別フィールド」を参照してください。 i 注: このタブは、[Telco 機器]、[ネットワークインターフェイス]、[物理接続]、[論理接続]、および [インベントリ番号] フォームでのみ使用できます。
物理接続要素	物理接続に追加される接続要素のリスト。 i 注: このタブは、物理接続フォームでのみ使用できます。
接続要素	論理接続に追加される接続要素のリスト。これらの要素は、計算でパス検索が実行されるとき

ネットワークインベントリフォームの関連タブ (続く)

タブ	説明
	に、サイト間の有効な論理接続である必要があります。 接続要素を作成すると、論理接続または物理接続と、デフォルトの関係タイプの次の要素との間に関係が作成されます。接続要素のフィールドの詳細については、「接続要素フォーム」を参照してください。 i 注: - このタブは、論理接続でのみ使用できます。 - 接続要素が変更または削除されると、関係が更新されます。たとえば、接続要素を削除すると、その関係も削除されます。デフォルトの関係タイプを変更するには、次に移動します: システム定義 > Decision tables (ディシジョンテーブル) > TNI CI 関係定義ポリシーをクリックし、[ディシジョンテーブル] で CI クラスに対する CI 関係タイプ を更新します。
インベントリ番号	ネットワークインベントリに関連付けられているインベントリ番号のリスト。number 要素の詳細については、「インベントリの番号付けを定義する」を参照してください。 i 注: このタブは、インベントリ番号フォームでのみ使用できます。
IP アドレス	ネットワークインベントリに関連付けられている IP アドレスのリスト。 i 注: この追加タブは、機器、インターフェイスカード、ネットワークインターフェイス、および論理接続で使用できます。
インベントリグループ	すべてのインベントリグループのリストと詳細。 i 注: このタブは、ネットワーク サイト、機器所有者、機器、インターフェイスカード、ネットワーク インターフェイス、物理接続、および論理接続で使用できます。
DNS 名	IP アドレスのすべての DNS 名のリスト。

ネットワークインベントリフォームの関連タブ (続く)

タブ	説明
	i 注: このリストは、IP アドレスに対してのみ使用できます。
CMDB グループは構成アイテムを含む	このインベントリグループに追加するすべての構成アイテム (CI) のリスト。CI を複製することはできませんが、異なるインベントリグループに CI を追加することはできます。CI に優先順位を付けるには、CI の作成時に [メンバーロール] フィールドで次のいずれかの値を選択します。 • メイン • プライマリ • セカンダリ • ターシャリ • 負荷分散 • [Active (アクティブ)] • 受動的 i 注: CI アイテムを確認、作成、更新、または削除できるのは、インベントリエージェントとインベントリアドミニストレーターののみです。
親インベントリグループ	すべての親インベントリグループのリスト。
子インベントリグループ	すべての子インベントリグループのリスト。
IP プール	この親プールのすべての子 IP プールのリスト。
IP サブネットワーク	この IP プールのすべての子 IP サブネットワークのリスト。
電話番号	この電話ブロックにアサインするすべての電話番号のリスト。
電話番号の割り当て	この電話ブロックに割り当てる電話番号割り当てのリスト。このリストは自動生成されます。デフォルトでは、可用性は true で、ステータスは [新規] です。
CMDB 360 データ	CI 属性レベルでのすべてのディスカバリーソースのリスト。詳細については、「 CMDB 360/Multisource CMDB 」を参照してください。
インベントリのリビジョン履歴	選択した接続のすべての改訂済み CI のリスト。

ネットワークインベントリフォームの関連タブ (続く)

タブ	説明
	i 注: このタブは 物理的および論理的な接続にのみ使用できます。
資産	インベントリのすべての資産のリスト。
モデルコンポーネント	この在庫のモデルコンポーネントのリスト。コンポーネントを必須またはオプションとしてマークできます。
ベンダーカタログアイテム	この在庫のすべてのベンダーカタログのリスト。詳細については、「 ベンダーカタログアイテム 」を参照してください。
ハードウェアモデルのライフサイクル	この在庫のハードウェアモデルのライフサイクルの詳細
ネットワークモデルの関係	この在庫に関連付けられているすべての モデル関係のリスト
パック	追加されたすべてのパックのリスト。詳細については、「 属性パック 」を参照してください。
キャパシティメトリクス	ネットワークインベントリレコードに関連付けられているキャパシティメトリクスレコードのリスト。詳細については、キャパシティメトリクスの表示を参照してください。 i 注: このタブは、機器、ラック、スロット、キャビネット、カード、およびインターフェイスのレコードでのみ使用できます。
ストランド	ケーブルレコードに関連付けられているストランドレコードのリスト。 i 注: このタブは、カードレコードでのみ使用できます。
保護パス	論理接続レコードに関連付けられている保護パスのリスト。 i 注: このタブは、物理接続レコードと論理接続レコードでのみ使用できます。
ネットワークトポロジルートノード	ネットワークトポロジレコードに関連付けられているルートノードレコードのリスト。

ネットワークインベントリフォームの関連タブ (続く)

タブ	説明
	i 注: このタブは、ネットワーク トポロジ レコードでのみ使用できます。
メディア	ネットワークインベントリレコードに関連付けられているメディアレコードのリスト。

関連情報

ネットワークインベントリワークスペースでのネットワークインベントリの確認と更新

関連テンプレートフォーム

関連テンプレートフォームを使用すると、スロット、機器、シェルフの関連テンプレートタブのすべてのフィールドを理解できます。

インベントリテンプレート

フィールド	説明
[Name (名前)]	シェルフまたは機器の名前
インベントリモデル	ラックの選択したラックユニットに基づくすべての子製品モデルのリスト。子製品モデルは、ラックユニットの各インベントリモデルのネットワークモデル関係で定義されます。 検索アイコン (🔍) を選択し、モデルを選択します。詳細については、「在庫モデルの作成」を参照してください。 i 注: インベントリモデルがモデル関係で定義されていない場合は、すべての製品モデルのリストが表示されます。
リレーションシップタイプ	CI 関係のタイプ。デフォルトでは、関係は Contains::Contained By に設定されます。
インベントリテンプレート	選択したインベントリモデルのテンプレート。 検索アイコン (🔍) を選択し、テンプレートを選択します。
親	シェルフまたは機器の親。このシェルフまたは機器が作成されるスロットの名前が自動的に入力されます。
利用可能なテンプレート	シェルフまたは機器で利用可能なテンプレート
デフォルトフィールド値	デフォルトの CI 属性値を定義できるデフォルトテンプレート。リストの値は、選択したインベントリモデルによって異なります。

インベントリテンプレート (続く)

フィールド	説明
	検索アイコン (🔍) を選択し、タイプコードを選択します。詳細については、「デフォルトテンプレートの作成」を参照してください。 i 注: このフィールドは、機器にのみ適用されます。
スロットスパン	占有する機器またはシェルフに必要なスロットを選択します i 注: このフィールドは、機器にのみ適用されます。
名前パターン	名前 シェルフ、スロット、または機器のパターン

ルーター、スイッチ、ファイアウォール、仮想マシン、ロードバランサー、およびサーバーのフォーム

機器フォームを使用すると、ルーター、スイッチ、ファイアウォール、仮想マシン、ロードバランサー、またはサーバーの 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワーク資産の詳細を作成、レビュー、および変更できます。

共通フィールド

フィールド	説明
[Name (名前)]	ネットワークインベントリ資産の名前。
場所	ネットワークインベントリ資産の場所。
説明	ネットワークインベントリ資産に関する説明。
サポートグループ	このネットワーク資産をサポートするグループ。
サポート担当者	このネットワーク資産をサポートするユーザーの名前。
管理担当者グループ	このネットワークインベントリ資産を管理するグループの名前。
環境	ネットワーク資産の現在のステータス。次のオプションのいずれかを選択します。 • 開発 • 本番 • テスト
会社	このネットワークインベントリ資産を所有する会社。

共通フィールド (続く)

フィールド	説明
モデル ID	このネットワークインベントリ資産のモデル ID。
メーカー	メーカーの名前。
モデル番号	メーカーの元のモデル番号。
カテゴリ	このネットワークインベントリ資産のモデルカテゴリ。
サブカテゴリ	このネットワークインベントリ資産のモデルサブカテゴリ。
ディスカバリーソース	プライマリ (最も信頼できる) ディスカバリーソースの名前。
最初の検出	インスタンスが最初に検出された日時。
最新検出日	インスタンスが最後に検出された日時。
相関 ID	別のデータソースのインスタンスの ID。
Department (部門)	このネットワークインベントリ資産が属する部門。
Life Cycle Stage (ライフサイクルステージ)	ネットワークインベントリ資産のライフサイクルステージ。
ライフサイクルステージステータス	ライフサイクルステージのステータス。
外部審査者	このネットワークインベントリ資産を証明するユーザーの名前。
外部審査日	証明書の日付。
証明書ステータス	証明書のステータス。
インストールステータス	ネットワークインベントリ資産のインストールのステータス。
Operational status (運用ステータス)	ネットワークインベントリ資産の運用ステータス。
不具合発生回数	障害の数。
メンテナンススケジュール	ネットワークインベントリ資産に対して実行される検査のタイプ。
スケジュール	メンテナンススケジュールのタイプ。
完全修飾ドメイン名	ドメイン名システム (DNS) のツリー階層内の正確な場所を指定するドメイン名。
IP アドレス	ネットワーク上のネットワークインベントリ資産を識別する一意のアドレス。
MAC アドレス	デバイスの MAC アドレス。
シリアル番号	ネットワークインベントリ資産のシリアル番号。
DNS ドメイン	ドメインネームシステム (DNS) インフラストラクチャ内のデバイスにアサインされた一意の名前またはアドレス。
属性	追加属性。
コメント	ネットワーク資産へのコメントに使用する自由形式のテキスト。たとえば、Duty tech は Rahul Dev です。
監視	このネットワークインベントリ資産の詳細を印刷するオプション。

共通フィールド (続く)

フィールド	説明
印刷可能	このネットワークインベントリ資産の詳細を印刷するオプション。

サーバーフィールド

次のフィールドは、サーバーフォームの [設定属性] セクションでのみ使用できます。

サーバーフィールド

フィールド	説明
OS ドメイン	構成アイテム (CI) のオペレーティングシステムドメイン。
RAM (MB)	コンピューターの RAM 容量 (メガバイト (MB))
オペレーティングシステム	CI で実行されているオペレーティングシステム。
CPU メーカー	CPU メーカーの名前。
OS バージョン	CI で実行されているオペレーティングシステムのバージョン。
CPU タイプ	CPU のタイプ。
OS サービスパック	オペレーティングシステムにインストールされているサービスパック。
CPU 速度 (MHz)	CPU の速度 (メガヘルツ (MHz) 単位)。
CPU カウント	CPU 数。
ディスクスペース (GB)	ディスクスペースの量 (ギガバイト (GB) 単位)。
CPU コア数	CPU コア数。

資産属性フィールドの詳細については、「[Next Experience UI での作業](#)」を参照してください。

ほとんどの [インベントリ] メニュー フォームに共通する残りの構成フィールドについては、「[一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド](#)」を参照してください。

ほとんどの [インベントリ] メニュー フォームに共通する残りの構成フィールドについては、「[一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド](#)」を参照してください。

関連情報

[通信機器インスタンスの作成](#)

ストランドフォーム

「ストランド」フォームでは、ケーブルのストランドの詳細を記述できます。

ストランドフォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	このストランドレコードの名前。Now Platformは、この名前を使用してネットワークインベントリ内で識別します。
サポートグループ	ネットワークインベントリをサポートするグループ。

ストランドフォーム (続く)

フィールド	説明
資産	このレコードに関連付けられている資産の名前。
管理担当者	このネットワーク資産を管理するユーザーの名前。検索アイコン (🔍) を選択し、リストからユーザーを選択します。
Life Cycle Stage (ライフサイクルステージ)	このネットワーク資産が属するライフサイクルのステージ: 展開 ネットワークに展開されているネットワーク資産。 設計 設計目的で使用されるネットワーク資産。 サポート終了 耐用年数の終わりにあるネットワーク資産。 インベントリ ネットワークで使用されているインベントリアイテムであるネットワーク資産。 サポート終了 見つからないネットワーク資産。 運用 運用中のネットワーク資産。 購入 ライフサイクルの購入段階にあるネットワーク資産。
Life Cycle Stage Status (ライフサイクルステージステータス)	ライフサイクルステージに関連するネットワーク資産のステータス: メンテナンス中 現在メンテナンス中のネットワーク資産。 使用中 現在使用されているネットワーク資産。 廃止待ち 現在メンテナンス中のネットワーク資産。
モデル ID	資産のモデル ID。
ドメイン	ドメイン内のデバイスにアサインされた一意の名前またはアドレス。
A 側終端	開始点 (このストランドが接続されているインターフェイスやスロットなど)。
Z 側終端	このストランドが接続されているインターフェイスまたはスロットなどの終端点。
A 終端コネクタ	ストランドの始点に使用される物理ケーブルコネクタのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。

ストランドフォーム (続く)

フィールド	説明
	BNC Bayonet Neill Concelman (BNC) コネクタは、ビデオおよび RF 用途に使用され、同軸ケーブル ネットワークで使用されています。 SC 正方形のスナップインコネクタ。 LC ラッチ機構を備えた小型でプッシュアンドプル設計。 ST バヨネットスタイルのツイストロックと長い円筒形のフェルール。 ワイヤーラップ 細い剥き出しのワイヤーを支柱またはピンに巻き付けて接続を確立します。 RJ45 コネクタには 8 つのピンがあり、ツイストペアケーブルの端に使用されます。
Z 終端コネクタ	より線の終点に使用される物理ケーブルコネクタのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 BNC Bayonet Neill Concelman (BNC) コネクタは、ビデオおよび RF 用途に使用され、同軸ケーブル ネットワークで使用されています。 SC 正方形のスナップインコネクタ。 LC ラッチ機構を備えた小型でプッシュアンドプル設計。 ST バヨネットスタイルのツイストロックと長い円筒形のフェルール。 ワイヤーラップ 細い剥き出しのワイヤーを支柱またはピンに巻き付けて接続を確立します。 RJ45 コネクタには 8 つのピンがあり、ツイストペアケーブルの端に使用されます。
長さ	ストランドの全長。
長さ単位	ストランドのルートの長さを表す測定単位。次のオプションのいずれかを選択します。 -- なし --

ストランドフォーム (続く)

フィールド	説明
	接続ルートの長さは、距離の測定値として表されません。 インチ 距離はインチで表されます。 フィート 距離はフィートで表されます。 マイル 距離はマイルで表されます。 メートル 距離はメートルで表されます。 センチメートル 距離はセンチメートルで表されます。 キロメートル 距離はキロメートルで表されます。
ストランド番号	メーカーによってストランドに割り当てられた番号。
ケーブル	ストランドに関連付けられているケーブルレコード。
コメント	ネットワーク資産へのコメントに使用する自由形式のテキスト。たとえば、Duty tech は Rahul Dev です。
Operational status (運用ステータス)	ネットワークインベントリ資産の運用ステータス。

関連情報

[ストランドの詳細の定義](#)

ストランドモデルフォーム

[ストランドモデル] フォームでは、ストランドモデルレコードの詳細を記述できます。

ストランドモデルフォーム

フィールド	説明
メーカー	ネットワーク資産のメーカーの名前。検索アイコン (🔍) を選択し、製造元コードを選択します。詳細については、「 メーカーコードとベンダーコードの作成 」を参照してください。
[Name (名前)]	座材モデルの名前。Now Platformは、この名前を使用してネットワークインベントリ内で識別します。
簡単な説明	定義しているストランドモデルの説明。

ストランドモデルフォーム (続く)

フィールド	説明
モデルカテゴリ	CI クラスにマップするモデルカテゴリのリスト。モデルカテゴリは 製品カタログ アプリケーションの一部です。
モデル番号	メーカーによってモデルに割り当てられたモデル番号。
資産追跡戦略	このネットワーク資産で使用できる機器所有者ユニットの数。
バーコード	メーカーによってモデルに割り当てられたバーコード番号。
耐用寿命 (月数)	モデルを使用できる月数。
資産トラッキング単位	このネットワーク資産で使用できる機器所有者ユニットの数。
Owner (オーナー)	モデルの責任者。
取得方法	モデルの取得方法: 購入 モデルが購入されました。 リース済み モデルはリースされました。 双方向 モデルは購入され、リースされました。
ステータス	モデルの本番ステータス: 構築 モデルをビルドする必要があります。 In Production (本番環境) モデルは本番環境です。 販売済み モデルは販売されました。 廃止 モデルは廃止されました。
コスト	モデル 1 つのコスト。
支出タイプ	支出の種類。次のオプションのいずれかを選択します。 投資 資本的支出とは、一度の支出でその価値を何年にも渡って実感するものです。たとえばコピー機が該当します。

ストランドモデルフォーム (続く)

フィールド	説明
	経費 運用支出は継続的な支出です。たとえばコピー機のトナーが該当します。
減価償却	ストランドモデルの減価償却スケジュール。
認定	このネットワーク資産が認定されているかどうかを指定するオプション。
残存価額	耐用年数の終了時に資産が売却された場合に実現する推定価値。この値は資産のコスト以下でなければなりません。
コメント	モデルに関する有用な追加情報。
電力 (W)	ネットワーク資産の電力 (ワット)。
寸法単位	寸法を表す測定単位。次のオプションのいずれかを選択します。 -- なし -- 接続ルートの長さは、距離の測定値として表されません。 インチ 距離はインチで表されます。 フィート 距離はフィートで表されます。 マイル 距離はマイルで表されます。
音響出力 (ベル)	ネットワーク資産のエネルギーが放出される速度 (ベル)。
長さ	[単位] フィールドで指定した測定単位で表されるネットワーク資産の長さ。 - たとえば、資産が 1 フィートの場合は 12 を入力し、資産が 60 インチで [単位] フィールドの測定単位として [インチ] を選択した場合は 60 を入力します。 - Now Platformはこの情報を使用して資産の 3 次寸法を計算し、指定されたネットワーク サイト内での物理的な配置を決定します。
特性	ストランドのタイプ。次のいずれかを選択します。 シングルモード シングルモードファイバーストランドは1つの信号のみを送信します。 マルチモード マルチモードファイバーストランドは、複数の信号を伝送します。 POF プラスチック光ファイバー(POF)ストランドは光を透過します。 ツイストペア ツイストペアケーブルは、絶縁銅線を撚り合わせたペアで構成されています。
幅	[単位] フィールドで指定した測定単位で表されるネットワーク資産の長さ。

ストランドモデルフォーム (続く)

フィールド	説明
	- たとえば、資産が 1 フィートの場合は 12 を入力し、資産が 60 インチで [単位] フィールドの測定単位として [インチ] を選択した場合は 60 を入力します。 - Now Platformはこの情報を使用して資産の 3 次寸法を計算し、指定されたネットワーク サイト内での物理的な配置を決定します。
高さ	[単位] フィールドで指定した測定単位で表されるネットワーク資産の高さ。 - たとえば、資産の高さが 60 インチで、[単位] フィールドの測定単位として [インチ] を選択した場合は、60 と入力します。 - Now Platformはこの情報を使用して資産の 3 次寸法を計算し、指定されたネットワーク サイト内の物理的な配置を決定します。
奥行	[単位] フィールドで指定した測定単位で表されるネットワーク資産の奥行。 i 注: このフィールドは、機器モデルと機器所有者モデルに適用されます。

関連情報

[ストランドモデルを作成](#)

[Telco 機器] フォーム

[Telco 機器] フォームでは、機器のネットワーク資産の詳細を作成、レビュー、および変更できます。

構成

フィールド	説明
品番	このネットワーク資産に割り当てられた品番。
製造日	このネットワーク資産が製造された日付。
前回のサービスの日付	このネットワーク資産が最後にサービス提供された日付。
占有ラックユニット	このネットワーク資産で使用されている機器所有者ユニットの数。
ファームウェアメーカー	ファームウェアのメーカー。
ファームウェアバージョン	このネットワーク資産で使用されているファームウェアのバージョン。
メモリサイズ (MB)	このネットワーク資産で使用されているメモリデバイスのサイズ (メガバイト単位)。たとえば、2.5 GB のメモリチップの場合は 2500 MB です。
ストレージサイズ (GB)	デバイスのストレージサイズ (GB)。たとえば、2.5 GB です。

i 注:

ほとんどの [インベントリ] メニュー フォームに共通する残りの構成フィールドについては、「一般的に使用されるネットワーク資産インスタンス構成フィールド」を参照してください。

関連情報

<product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-equipment.dita>

通信事業ネットワークインベントリ 関数カタログ

通信事業ネットワークインベントリ機能カタログを使用すると、ネットワークインベントリの設計および割当プロセスの自動化に役立つ機能にアクセスすることができます。

関連情報

[フローデザイナーの通信ネットワークインベントリワークフロー](#)

空き番号割り当て機能

空き番号の割当機能を使用すると、通信事業ネットワークインベントリ 番号レコードから空き番号を割り当てることができます。この機能を使用して、指定された範囲から数量の数値を割り当て、番号要素の構成アイテム (CI) に対して追加します。

[空き番号の割当] 機能を使用して、以下のアクションを実行します。

- インベントリレコードにある番号範囲から空いている番号をアサインします。
- 番号範囲から空き番号を取得し、子番号としてインベントリ番号レコードを作成します。
- 数値要素の CI に対して空いている数値を追加します。

この機能は、通信事業ネットワークインベントリワークフローのワークフロースタジオアクションとして使用できます。

ロールと使用可能性

アドミンロールは、アクションをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、インベントリ関連のデータ操作を実行できるように、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでワークフロースタジオアクションとして使用できます。

入力フィールド

次の表に、[空いている番号を割り当てる] アクションの入力フィールドとその説明を示します。

空き番号割り当て関数の入力フィールド

フィールド名	説明	タイプ
番号範囲	空き番号が必要なインベントリ番号レコード。	Reference.Inventory Number レコード
カウント	空き数の合計数。	整数
番号タイプ	空き番号が必要なネットワーク接続のタイプ。次のいずれかを選択します。 VLAN 単一の VLAN 番号レコード。	選択肢

空き番号割り当て関数の入力フィールド (続く)

フィールド名	説明	タイプ
	LAG 単一の LAG 番号レコード。	
構成アイテムが所有	インベントリ番号レコードに関連する構成アイテム (CI)。	Reference.Configuration Item
連続	連続するフリー番号を返すオプションです。	True/False

変数データ型の詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

次の表に、関数出力に関する情報を示します。

関数の出力

[Name (名前)]	説明	タイプ
FinalRecordList	番号範囲のインベントリ番号レコードのリストを返します。	Array.Integer

例

VLAN の番号範囲が 1 ～ 4096 で、1 ～ 1000、1001 ～ 2500、および 2510 ～ 4096 がサブ範囲であるとして。カウントに 4 を指定すると、関数は 2501、2502、2503、および 2504 のインベントリ番号レコードの一覧を返します。これらの番号は、VLAN 番号範囲内で無料です。

テンプレート関数から CI を作成

TNI の [テンプレートから CI を作成] 機能を使用すると、インベントリテンプレートを使用してインベントリをインスタンス化するとき、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの指定されたサイトまたは機器所有者にインベントリインスタンスを作成できます。ネットワークインベントリの設計およびアサインプロセスをインスタンス化するとき、インベントリを自動的に作成できます。

TNI の [テンプレートから CI を作成] 機能は、インベントリテンプレートの要件に応じて、インターフェイスカード、機器、ネットワークサイト、ネットワークインターフェイスなどの構成アイテム (CI) を作成します。

この機能は、通信事業ネットワークインベントリワークフローのワークフロースタジオアクションとして使用できます。

ルールと使用可能性

admin ロールを持つユーザーは、アクションをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、インベントリ関連のデータ操作を実行できるように、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでワークフロースタジオアクションとして使用できます。

入力フィールド

次の表に、[テンプレートから CI を作成] 機能内の入力フィールド とその説明を示します。

[テンプレートから CI を作成] 機能の入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ
ネットワークサイト	新しい CI に関連付けられているネットワークサイトレコードの sys_id。	文字列
機器ホルダー	新しい CI に関連付けられた機器所有者レコード sys_id。	文字列
インベントリテンプレート	新しい CI に関連付けられているインベントリテンプレートの sys_id。	文字列
変更 タスク	ネットワーク資産の新しいインスタンスをインスタンス化する変更 タスク。	文字列
テンプレートの上書き	値がある場合は上書きします。	文字列
倉庫の場所	資産が置かれているストックルームの場所の名前。	文字列
資産	このレコードに関連付けられている資産の名前。	文字列

変数データ型の詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

次の表に、関数出力に関する情報を示します。

関数の出力

[Name (名前)]	説明	データタイプ
レコード ID	新しいインベントリインスタンスの sys_id を返します。	文字列

例

このフローアクションは、インベントリテンプレートを使用して機器をインスタンス化するときに、電気通信機器レコードを作成します。

カスケード更新機能

カスケード更新機能を使用すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの構成アイテム (CI) 属性を更新し、関連するすべての CI に変更をカスケードすることができます。ワークフロースタジオを使用すると、この機能を使用して、関連する CI のフィールド値を自動的にカスケードできます。

カスケード更新機能を使用すると、インベントリレコードの任意のフィールドを更新し、インベントリレコードに記載されている階層まで変更をカスケードできます。

関連する CI で不一致が見つかった場合など、競合がある場合、この関数はエラーを返します。たとえば、変更要求と CI を渡しても、その CI が変更要求の影響を受ける CI リストに追加されないといまます。代わりに、実行時の競合情報を含むソートエラーが返されます。

**注:**

この機能は、[ライフサイクルステージ] フィールドと [ライフサイクルステータス] フィールドでは機能しません。

この機能は、通信事業ネットワークインベントリワークフローのワークフロースタジオアクションとして使用できます。

ルールと使用可能性

admin ロールを持つユーザーは、アクションをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、インベントリ関連のデータ操作を実行できるように、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでワークフロースタジオアクションとして使用できます。

入力フィールド

次の表に、カスケード更新機能内の入力フィールド とその説明を示します。

カスケード更新機能の入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ	必須？
変更要求	影響を受ける CI リストに関連する変更要求。	Reference.Change Request	いいえ
CI	フィールドを更新する CI。	Reference.Configuration Item	いいえ
フィールド	カスケードする CI の属性。	文字列	いいえ

変数データ型の詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

この機能を使用して、関連するすべての CI の CI 属性を更新します。

CI のすべての共通属性のカスケードルール

次の表に、さまざまなタイプの CI のカスケードルールに関する情報を示します。

カスケードルール

CI	カスケードルール	例
通信機器	関連する機器所有者 (スロット)、インターフェイスカード、電気通信機器所有者 (サブスロット)、およびネットワークインターフェイスレコードに対して更新される属性。	機器レコードで更新される [タイプ] フィールドは、インベントリレコードに記載されている階層までカスケードされます。
電気通信機器ホルダー	関連するインターフェイスカード、電気通信機器の所有者 (サブスロット)、およびネットワークインターフェイスレコードに対して更新される属性。	機器レコードで更新される [タイプ] フィールドは、前述の階層までカスケードされます。

カスケードルール (続く)

CI	カスケードルール	例
インターフェイスカード	関連する電気通信機器の所有者 (サブスロット) およびネットワークインターフェイスレコードで更新される属性。	機器レコードで更新される [タイプ] フィールドは、前述の階層までカスケードされます。
ネットワークインターフェイス	関連するネットワークインターフェイスレコードで更新される属性。	機器レコードで更新される [Port Bandwidth] フィールドは、インベントリレコードに記載されている階層までカスケードされます。
物理接続	関連する物理接続レコードの属性が更新されます。	機器レコードで更新される [帯域幅] フィールドは、インベントリレコードに記載されている階層まで下までカスケードされます。
論理接続	論理接続レコードを参照する接続要素で定義されている、すべての次の要素 CI レコードに対して更新される属性。	機器レコードで更新される [帯域幅] フィールドは、インベントリレコードに記載されている階層まで下までカスケードされます。

範囲/単一番号機能の作成とアサイン

範囲/単一番号の登録と割当機能を使用すると、ネットワークインベントリワークフローを処理するときに、番号範囲のインベントリ番号レコードを登録することができます。

範囲/単一番号の登録と割当機能を使用して、入力開始番号と終了番号の間に在庫番号レコードを作成します。この関数は、対応する数値要素も作成します。

この機能は、通信事業ネットワークインベントリワークフローのワークフロースタジオアクションとして使用できます。

ルールと使用可能性

アドミンロールは、アクションをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、インベントリ関連のデータ操作を実行できるように、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでワークフロースタジオアクションとして使用できます。

入力フィールド

次の表に、[空いている番号を割り当てる] アクションの入力フィールドとその説明を示します。

範囲/単一番号の作成とアサイン機能の入力フィールド

フィールド名	説明	タイプ	必須？
構成アイテムによって所有されている	空き番号が必要なインベントリ番号レコード。	Reference.Configuration Item	要
開始	インベントリ番号レコードの開始番号。	整数	要

範囲/単一番号の作成とアサイン機能の入力フィールド (続く)

フィールド名	説明	タイプ	必須？
終了	インベントリ番号レコードの終了番号。範囲の場合は、値を指定する必要があります。	整数	いいえ
[Name (名前)]	作成するインベントリ番号レコードの名前。	文字列	要
番号タイプ	空き番号が必要なネットワーク接続のタイプ。次のいずれかを選択します。 VLAN 範囲 VLAN 番号の範囲。 VLAN サブ範囲 VLAN 全体の範囲内の VLAN 番号のサブセット または範囲。 VLAN 単一の VLAN 番号レコード リンクアグリゲーション範囲 LAG 番号の範囲。 LAG 単一の LAG 番号レコード	選択肢	要
親番号	親番号レコード。親番号レコードを選択しない場合、この関数は開始番号のインベントリ番号レコードのみを返します。	Reference.Inventory Number レコード	いいえ

変数データ型の詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

次の表に、関数出力に関する情報を示します。

関数の出力

[Name (名前)]	説明	タイプ
インベントリ番号	インベントリ番号レコードを返します。	レコード

例

VLAN の範囲が 1 ～ 4096 で、サブ範囲が 1 ～ 1000、1001 ～ 2500、2510 ～ 4096 であるとして。開始番号を 2501、終了番号を 2502 と指定すると、関数は 2501 ～ 2502 の番号範囲を作成し、在庫番号レコードを返します。

論理インターフェイス機能を作成

論理インターフェイスの作成機能を使用すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで論理インターフェイスを作成できます。

[論理インターフェイスの作成] 機能を使用して、論理接続の終了ポイントとして、または物理インターフェイスまたは論理インターフェイスの子として作成される論理インターフェイスを作成できます。物理インターフェイスまたは論理インターフェイスは、複数の子論理インターフェイスを持つことができます。論理インターフェイスの帯域幅は固定されておらず、適用可能な帯域幅として設定できます。また、この関数は論理ネットワークインターフェイスの仮想フラグを設定します。

この機能は、通信事業ネットワークインベントリワークフローのワークフロースタジオアクションとして使用できます。

ルールと使用可能性

admin ロールを持つユーザーは、アクションをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、インベントリ関連のデータ操作を実行できるように、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでワークフロースタジオアクションとして使用できます。

入力フィールド

次の表に、[論理インターフェイスを作成] 機能の入力フィールド とその説明を示します。

論理インターフェイスアクションの入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ
親インターフェイス	論理インターフェイスとの関係を作成する親ネットワークインターフェイスレコード。追加アイコン () をクリックして、インターフェイスを追加します。	Array.String
[Name (名前)]	新しい論理インターフェイスの名前。	文字列

論理インターフェイスアクションの入力フィールド (続く)

フィールド名	説明	データタイプ
	i 注: 論理インターフェイス名を入力しない場合、このフローアクションによって、ユニット位置の最大数の後に番号を付けてモデル名が生成されます。	
タイプ	さまざまなネットワークエンティティまたは資産のタイプを分類するために使用するオプションのユーザー定義タイプコード。	Reference.TRF 値
ロール	さまざまなネットワークエンティティまたは資産のロールまたは目的を分類するために使用するオプションのユーザー定義ロールコード。	Reference.TRF 値
関数	さまざまなネットワークエンティティまたは資産の機能を分類するために使用するオプションのユーザー定義関数コード。	Reference.TRF 値
通信機器	論理インターフェイスに関連付けられている機器。機器の名前を入力しない場合、この機能は親インターフェイスから関連する機器を選択します。	参考:電気通信機器
ポートの帯域幅	この論理接続の帯域幅。	Reference.Bandwidth
製品モデル	論理インターフェイスに関連付けられたネットワークインターフェイスモデル。	Reference.Network Interface Model
CI 関係性	CI 関係のタイプ。デフォルトでは、[論理インターフェイスを作成] フローアクションは CI 関係を [包含]:[包含先] に設定します。親インターフェイスは、複数のインターフェイスレコード参照を入力としてサポートできます。同じ親 CI を複数回入力すると、一意の親子関係のセットに関連付けられます。	Reference.CI リレーションシップ
集計インターフェイス	各親インターフェイスに子インターフェイスが 1 つだけあるようにするオプション。	True/False

変数データ型の詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

次の表に、関数出力に関する情報を示します。

関数の出力

[Name (名前)]	説明	データタイプ
結果の ID	論理インターフェイスの Glide レコードを返します。	レコード

論理接続機能を作成

[論理接続を作成] 機能を使用すると、インベントリをインスタンス化するときに受信する入力 (インターフェイス) に基づいて、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで論理接続レコードを作成できます。

[論理接続を作成] 機能を使用して、ネットワークインターフェイスカードに論理接続を作成できます。

インターフェイス A に入ると、この関数はサイト A、機器 A、およびポート A のデータを自動的に取得します。同様に、入力インターフェイス Z を渡した後、この関数は関連するサイト Z、機器 Z、およびポート Z のデータを取得します。この関数は、帯域幅フィールドから帯域幅 (昇順) と帯域幅 (ZtoA) のデータも取得します。

この関数は、接続要素も作成し、それらを論理接続に関連付けます。

ネットワークインターフェイス、機器、物理接続、論理接続、または管理対象機能を接続要素として構成すると、論理接続作成機能によって対応する接続要素が作成され、論理接続に関連付けられます。

この機能は、通信事業ネットワークインベントリワークフローのワークフロースタジオアクションとして使用できます。

ルールと使用可能性

admin ロールを持つユーザーは、アクションをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、インベントリ関連のデータ操作を実行できるように、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでワークフロースタジオアクションとして使用できます。

入力フィールド

次の表に、[論理接続を作成] 機能の入力フィールド とその説明 を示します。

[論理接続を作成] 機能の入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ
Interface A (インターフェイス A)	この論理接続が構成されている開始ネットワークインターフェイス。	Reference.Network インターフェイス
Interface Z (インターフェイス Z)	この論理接続が構成されている終了ネットワークインターフェイス。	Reference.Network インターフェイス
帯域幅	論理接続の帯域幅。	Reference.Bandwidth

[論理接続を作成] 機能の入力フィールド (続く)

フィールド名	説明	データタイプ
接続タイプ	接続のタイプこのフィールド情報は、物理接続に関連付けられている製品モデルを更新します。	Reference.Logical Connection Model
接続要素	論理接続に追加される接続要素。追加アイコン () をクリックして、接続要素を追加します。	Array.String

変数データ型の詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

次の表に、関数出力に関する情報を示します。

関数の出力

[Name (名前)]	説明	データタイプ
論理接続	論理接続の Glide レコードを返します。	レコード

物理接続機能を作成

[物理接続を作成] 機能を使用すると、インベントリをインスタンス化するときに受け取る入力に基づいて、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで物理接続レコードを作成できます。

[物理接続を作成] 機能を使用して、ネットワーク内のインターフェイスカードに物理ポート接続を作成できます。

インターフェイス A に入ると、この関数は、関連するサイト A、機器 A、およびポート A のデータを自動的に取得します。同様に、入力インターフェイス Z を渡した後、この関数は、関連するサイト Z、機器 Z、およびポート Z のデータを取得します。この関数は、帯域幅フィールドから帯域幅 (昇順) と帯域幅 (ZtoA) のデータも取得します。

この関数は、接続要素も作成し、それらを物理接続に関連付けます。

物理接続要素を渡すと、このサブフローによって対応する接続要素が作成され、物理接続に関連付けられます。

この機能は、通信事業ネットワークインベントリワークフローのワークフロースタジオアクションとして使用できます。

ルールと使用可能性

admin ロールを持つユーザーは、アクションをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、インベントリ関連のデータ操作を実行できるように、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでワークフロースタジオアクションとして使用できます。

入力フィールド

次の表に、[物理接続を作成] 機能内の入力フィールドおよびその説明を示します。

物理接続アクションの入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ
Interface A (インターフェイス A)	この論理接続が構成されている開始ネットワークインターフェイス。	Reference.Network インターフェイス
Interface Z (インターフェイス Z)	この論理接続が構成されている終了ネットワークインターフェイス。	Reference.Network インターフェイス
帯域幅	論理接続の帯域幅。	Reference.Bandwidth
接続タイプ	接続のタイプこのフィールド情報は、物理接続に関連付けられている製品モデルを更新します。	Reference.Physical Connection Model
物理接続要素	物理接続に追加される接続要素の sys_id。物理接続の [接続タイプ] 属性が [ケーブル] の場合は、接続要素を追加できます。 追加アイコン () をクリックして、接続要素を追加します。	Array.String

変数データ型の詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

次の表に、関数出力に関する情報を示します。

関数の出力

[Name (名前)]	説明	データタイプ
物理接続	物理接続の Glide レコードを返します。	レコード

IP サブネットワーク機能の作成

「IP サブネットワークを作成」機能を使用すると、インベントリをインスタンス化するときに受け取る入力に基づいて、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで IP サブネットワーク・レコードを作成できます。

このアクションは、通信事業ネットワークインベントリ ワークフローのフローデザイナーアクションとして使用できます。ここで、サブネットワークを作成するには、CIDR、または最初の IP と最後の IP、または最初の IP と合計ホストのいずれかの入力が必要です。親 IP プールが入力に指定されている場合、この関数は、作成中のサブネットワークが指定された IP プールの下にあることを検証して確認します。

ロールと使用可能性

admin ロールを持つユーザーは、アクションをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、インベントリ関連のデータ操作を実行できるように、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでフローデザイナーアクションとして使用できます。

入力フィールド

IP サブネットワーク作成機能の入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ
親 IP プール	このサブネットワークを割り当てる親 IP プールの名前を指定します。	文字列
CIDR	CIDR	文字列
最初の IP	シリーズの最初の IP アドレス	IP アドレス (検証済み IPv4、IPv6)
前回の IP	系列内の最後の IP アドレス	IP アドレス (検証済み IPv4、IPv6)
合計ホスト数	IP サブネットワーク内のホストの数	整数
管理対象ネットワーク	プライベート IP の管理対象ネットワーク	参照

出力

次の表に、関数出力に関する情報を示します。

関数の出力

[Name (名前)]	説明	データタイプ
IP サブネットワーク	Glide レコードを返します	レコード

CIDR から IP 範囲機能

クラスレスドメイン間範囲 (CIDR) から IP 範囲フローアクションを使用すると、インベントリをインスタンス化するときに受け取る入力に基づいて、アプリケーションを使用してクラスレスドメイン間範囲 (CIDR) を使用して 通信事業ネットワークインベントリ IP アドレスのセットを作成できます。

このフローアクションを呼び出すと、指定された IP サブネットワークを使用して CIDR がフェッチされます。さらに、CIDR を使用して、一連の IP アドレスが作成されます。これらの IP アドレスは、割り当て済み IP アドレステーブルにさらに保存されます。

この機能は、この特定の IP サブネットワークに対して他の割り当て済み IP アドレスが作成されていないことも確認します。

ロールと使用可能性

admin ロールを持つユーザーは、アクションをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、インベントリ関連のデータ操作を実行できるように、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでフローデザイナーアクションとして使用できます。

入力フィールド

CIDR から IP への範囲関数の入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ
変更タスク	このタスクの変更タスク番号を入力してください	参照
IP サブネットワーク	CIDR をフェッチする必要があるサブネットワークの名前を指定します	文字列

出力

次の表に、関数出力に関する情報を示します。

関数の出力

[Name (名前)]	説明	データタイプ
割り当て済み IP アドレス	Glide レコードを返します	レコード

インターフェイスサマリー関数を取得

[インターフェイスの概要を取得] 機能を使用すると、入力に関連付けられているすべてのネットワークインターフェイスレコードを取得できます。この機能を使用すると、ワークフロースタジオを使用するときに、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで使用可能なインターフェイス、接続されているインターフェイス、および機器の物理接続の詳細を自動的に取得できます。

[インターフェイスサマリーを取得] 機能を使用すると、サイト、ラック、機器などの入力に関連付けられているネットワークインターフェイスレコードを取得できます。出力を返すには、サイト、機器、またはラックの値を入力する必要があります。

複数の入力が一致しない場合、アクションはエラーを報告します。たとえば、機器とサイトの詳細を表示できるが、機器がサイトに属していないため、競合情報を含むエラーが報告されるとします。

この機能は、通信事業ネットワークインベントリワークフローのワークフロースタジオアクションとして使用できます。

ロールと使用可能性

admin ロールを持つユーザーは、アクションをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、インベントリ関連のデータ操作を実行できるように、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでワークフロースタジオアクションとして使用できます。

入力フィールド

次の表に、[インターフェイスの概要を取得] 関数の入力フィールド とその説明 を示します。

[インターフェイスサマリーを取得] 関数の入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ
サイト	ネットワークインターフェイスに関連付けられているネットワークサイト。	Reference.Network サイト

[インターフェイスサマリーを取得] 関数の入力フィールド (続く)

フィールド名	説明	データタイプ
ラック	ネットワークインターフェイスに関連付けられているラック。	参考:電気通信機器
設備	ネットワークインターフェイスに関連付けられている機器。	参考:電気通信機器
可用性	ネットワーク資産のステータス。次のいずれかのオプションを選択できます。 • 利用可能 • 使用済み • 予約済み • 共有しました	選択肢
モデル	ネットワークインターフェイスに関連付けられている物理接続モデル。	Reference.Physical Connection Model
タイプ	さまざまなネットワークエンティティまたは資産のタイプを分類するために使用するオプションのユーザー定義タイプコード。	Reference.TRF 値
ロール	さまざまなネットワークエンティティまたは資産のロールまたは目的を分類するために使用するオプションのユーザー定義ロールコード。	Reference.TRF 値
関数	さまざまなネットワークエンティティまたは資産の機能を分類するために使用するオプションのユーザー定義関数コード。	Reference.TRF 値
複数のレコードが見つかった場合のアクション	複数のレコードが見つかった場合に出力のタイプを返すオプション。[リストから最初のレコードのみを返す] を選択すると、最初のインターフェイスネットワークレコードが返されます。	選択肢

変数データ型の詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

次の表に、関数出力に関する情報を示します。

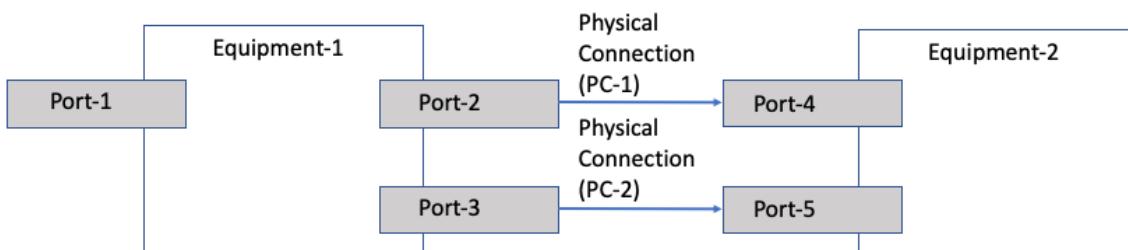
関数の出力

[Name (名前)]	説明	データタイプ
利用可能なインターフェイス	利用可能なネットワークインターフェイスのsys_idリストを返します。	Array.String
接続されているインターフェイス	他のネットワーク資産に接続されているネットワークインターフェイスのsys_idリストを返します。	Array.String
物理接続	物理接続のsys_idリストを返します。	Array.String

例

次の例に示すように、入力が機器 1 として渡された場合 ポート 1、ポート 2、およびポート 3 が機器 1 に接続され、ポート 4 とポート 5 が機器 2 に接続され、ポート 2 とポート 4 の間に物理接続 1 が接続され、ポート 3 とポート 5 の間に物理接続 2 が接続されます。次に 出力は次のようになります。

- 使用可能なインターフェイス - ポート 1
- 接続されているインターフェイス - ポート 2 およびポート 3
- 物理接続 - PC-1 および PC-2



[複数のレコードが見つかった場合のアクション] を [最初のレコードのみを返す] を選択すると、それぞれポート 1、ポート 2、PC-1 が返されます。

「次のハブをルックアップ」機能

[次のハブをルックアップ (Lookup Next Hub)] 関数を使用すると、ネットワークインターフェイスレコードを入力として取得し、関連する物理接続レコードの詳細を返すことができます。ワークフロースタジオアプリケーションを使用すると、通信事業ネットワークインベントリアプリケーションで機器の物理的な接続と相互接続されたポートの詳細を自動的に取得できます。

「次のハブをルックアップ」関数を使用すると、次が返されます。

- ポートに関連する物理接続。
- ポートに物理接続が関連していない場合は、空の応答です。
- フロントポートとバックポートのsys_id、およびフロントポートとバックポートの間に構成アイテム (CI) 関係がある場合はポート名。
- NextHub インターフェイスと、物理接続のもう一方の端に接続されているインターフェイス。
- NextHub 相互接続されたインターフェイスと、物理接続のもう一方の端に接続されている相互接続されたインターフェイス。

この機能は、通信事業ネットワークインベントリワークフローのワークフロースタジオアクションとして使用できます。

ロールと使用可能性

admin ロールを持つユーザーは、アクションをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、インベントリ関連のデータ操作を実行できるように、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでワークフロースタジオアクションとして使用できます。

入力フィールド

次の表に、[次のハブを検索] アクションの入力フィールド とその説明を示します。

次のハブアクションの入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ
ネットワークインターフェイス	ネットワークインターフェイスレコード。	Reference.Network インターフェイス
複数のレコードが見つかった場合のアクション	複数のレコードが見つかったときにアクションを選択するオプション。リストから 最初のレコードのみを返す を選択して、最初の物理接続レコードの詳細を返すことができます。	選択肢

変数データ型の詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

次の表に、関数出力に関する情報を示します。

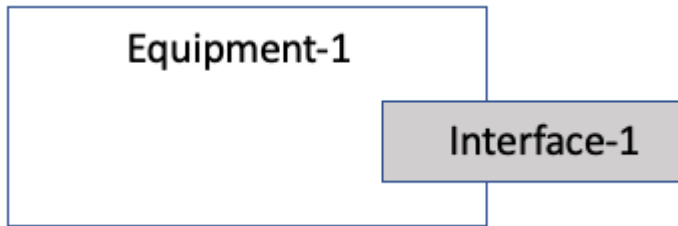
関数の出力

[Name (名前)]	説明	データタイプ
物理接続	ネットワークインターフェイスに関連する物理接続レコードの sys_ids のリストを返します。	Array.String
相互接続ポート	ネットワークインターフェイスに相互接続されているポートの sys_ids のリストを返します。	Array.String
NextHub インターフェイス	物理接続のもう一方の端に接続されているインターフェイスの sys_ids のリストを返します。	Array.String
NextHub 相互接続インターフェイス	物理接続のもう一方の端に接続されている相互接続されたインターフェイスの sys_ids のリストを返します。	Array.String

例

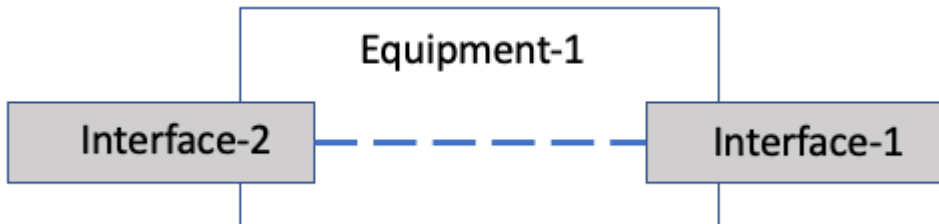
ユースケース 1

次の例に示すように、入力が Equipment-1 のインターフェイス 1 として渡された場合、ネットワークインベントリには物理接続または内部接続がないため、関数は空のレコードを返します。



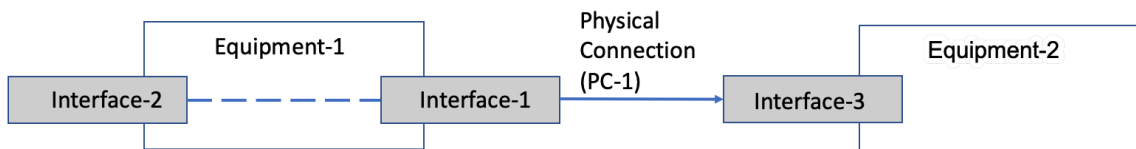
ユースケース 2

次の例に示すように、入力が Equipment-1 の Interface-1 として渡された場合、この関数は Interface-2 のネットワークインターフェイスレコードを返します。



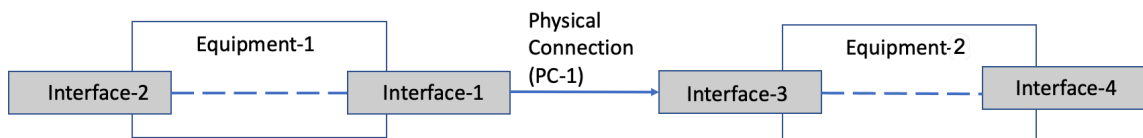
ユースケース 3

次の例に示すように、入力が Equipment-1 の Interface-1 として渡された場合、この関数は Interface-2 のネットワークインターフェイスレコードと PC-1 の物理接続レコードを返します。



ユースケース 4

次の例に示すように、入力が Equipment-1 の Interface-1 として渡された場合、NextHub インターフェイスは 3、NextHub 相互接続インターフェイスは 4 です。



パス検索機能

パス検索機能を使用すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの開始サイトと終了サイトの間でパス計算機能を実行できます。この機能は、ネットワークインベントリの設計と割り当てを処理する際のパス計算に使用できます。

パス検索機能を使用して、ネットワークサイト間の可能なパスを識別できます。

パスが見つからない場合、パス検索機能は利用可能な入力を使用して、接続要素を追加せずに論理接続を作成します。終了設備を入力しない場合は、終了サイトに属する Type 属性に一致する設備が選択されます。この関数は、入力の開始インターフェイスと終了インターフェイスを使用して、論理接続のポート A とポート Z を設定します。それ以外の場合は、[Availability] フィールドで [Available] とマークされているインターフェイスを選択します。

この機能は、通信事業ネットワークインベントリワークフローのワークフロースタジオアクションとして使用できます。

ルールと使用可能性

admin ロールを持つユーザーは、アクションをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この機能は、インベントリ関連のデータ操作を実行できるように、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでワークフロースタジオアクションとして使用できます。

入力フィールド

次の表に、入力フィールド パス検索機能 とその説明を示します。

パス検索機能の入力フィールド

[Name (名前)]	説明	データタイプ
開始サイト	この接続が構成されている開始ネットワーク サイトの sys_id。	文字列
終了サイト	この接続が構成されている終了ネットワーク サイトの sys_id。	文字列
開始機器	この接続が構成されている開始ネットワーク機器のsys_id。	文字列
終了機器	この接続が構成されている終了ネットワーク機器のsys_id。	文字列
開始インターフェイス	この接続が構成されている開始ネットワークインターフェイスのsys_id。 i 注: このフィールドを空のままにすると、パス計算を使用して論理接続を作成することで、インターフェイスが自動的に選択されます。	文字列
終了インターフェイス	この接続が構成されている終了ネットワークインターフェイスのsys_id。 i 注: このフィールドを空のままにすると、パス計算を使用して論理接続を作成することで、インターフェイスが自動的に選択されます。	文字列
終了機器タイプ	この接続が構成されている終了ネットワーク機器のタイプの sys_id。	文字列

パス検索機能の入力フィールド (続く)

[Name (名前)]	説明	データタイプ
論理接続モデル	この接続が構成されている論理接続モデルのsys_id。	文字列
帯域幅	接続の帯域幅のsys_id。	文字列
許可されている論理接続モデル	論理接続でサポートされているモデルのsys_id。追加アイコン () をクリックして、論理接続モデルを追加します。	Array.String
許可されている物理接続モデル	物理接続でサポートされているモデルのsys_id。追加アイコン () をクリックして、物理接続モデルを追加します。	Array.String
失敗アクション	機能が失敗した場合のアクションを選択するオプション。リストからアクションを選択できます。デフォルトでは、[パス要素なしで論理接続を作成] が選択されています。	選択肢

変数データ型の詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

次の表に、関数の出力に関する情報を示します。

関数の出力

[Name (名前)]	説明	データタイプ
接続 ID	論理接続レコードのsys_idを返します。	文字列

通信事業ネットワークインベントリ サブフロー

通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのワークフロースタジオサブフローを使用して、ネットワークインベントリの設計およびアサインプロセスを自動化できます。

関連情報

[フローデザイナーの通信ネットワークインベントリワークフロー](#)

テンプレートサブフローで論理接続を作成

[テンプレートで論理接続を作成] サブフローを使用すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションのインベントリテンプレートから論理接続レコードを作成できます。論理接続レコードは、インベントリテンプレートを使用してインベントリをインスタンス化するときに受け取る入力に基づいて作成されます。

[テンプレートで論理接続を作成] サブフローを使用して、ネットワークインターフェイスカードのインベントリテンプレートから論理接続を作成できます。

このサブフローでは、接続要素も作成され、論理接続に関連付けられます。

ネットワークインターフェイス、機器、物理接続、論理接続、または管理対象機能を接続要素として入力すると、論理接続の作成サブフローによって対応する接続要素が作成されます。

ルールと使用可能性

admin ロールを持つユーザーは、サブフローをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。このワークフロースタジオ サブフローは 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで使用できるため、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

入力フィールド

次の表に、[テンプレートで論理接続を作成] サブフローの入力フィールドとその説明を示します。

[テンプレートで論理接続を作成] サブフローの入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ
Interface A (インターフェイス A)	この論理接続が構成されている開始ネットワークインターフェイス。	Reference.Network インターフェイス
Interface Z (インターフェイス Z)	この論理接続が構成されている終了ネットワークインターフェイス。	Reference.Network インターフェイス
変更タスク	テンプレートを使用して論理接続をインスタンス化するようにタスクを変更します。	Reference.Change Task
Interface A (インターフェイス A)	この論理接続が構成されている開始ネットワークインターフェイス。	Reference.Network インターフェイス
Interface Z (インターフェイス Z)	この論理接続が構成されている終了ネットワークインターフェイス。	Reference.Network インターフェイス
帯域幅 A	開始論理接続の帯域幅。	Reference.Bandwidth
帯域幅 Z	終了論理接続の帯域幅。	Reference.Bandwidth
接続タイプ	接続のタイプこのフィールド情報は、物理接続に関連付けられている製品モデルを更新します。	Reference.Logical Connection Model
論理接続テンプレート	論理接続に関連付けられたテンプレート。	Reference.Inventory テンプレート
接続要素	論理接続に追加される接続要素。[追加] アイコン () を選択して、接続要素を追加します。	Array.String
ポジション	この論理接続のユニット位置。	整数
A 終了インターフェイス名	開始インターフェイス名。	文字列
Z 終了インターフェイス名	終了インターフェイス名。	文字列

変数データ型の詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

次の表に、サブフローの出力に関する情報を示します。

サブフローの出力

[Name (名前)]	説明	データタイプ
論理接続	論理接続の Glide レコードを返します。	Reference.Logical connection
インターフェイス A との CI リレーションシップ	開始ネットワークインターフェイスとの CI 関係を返します。	Reference.CI リレーションシップ
インターフェイス Z との CI リレーションシップ	終了ネットワークインターフェイスとの CI 関係を返します。	Reference.CI リレーションシップ

論理接続作成サブフロー

論理接続 作成サブフローを使用すると、では、インベントリをインスタンス化するときに受け取る入力に基づいて、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで論理接続レコードを作成できます。

論理接続サブフローを使用して、ネットワークインターフェイスカードに論理接続を作成できます。

このサブフローでは、接続要素も作成され、論理接続に関連付けられます。

ネットワークインターフェイス、機器、物理接続、論理接続、または管理対象機能を接続要素として入力すると、論理接続の作成サブフローによって対応する接続要素が作成されます。

ルールと使用可能性

admin ロールを持つユーザーは、サブフローをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この ワークフロースタジオ サブフローは 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで使用できるため、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

入力フィールド

次の表に、論理接続の作成サブフローの入力フィールドとその説明を示します。

論理接続作成サブフローの入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ
Interface A (インターフェイス A)	この論理接続が構成されている開始ネットワークインターフェイス。	Reference.Network インターフェイス
Interface Z (インターフェイス Z)	この論理接続が構成されている終了ネットワークインターフェイス。	Reference.Network インターフェイス
帯域幅	論理接続の帯域幅。	Reference.Bandwidth
接続タイプ	接続のタイプこのフィールド情報は、物理接続に関連付けられ	Reference.Logical Connection Model

論理接続作成サブフローの入力フィールド (続く)

フィールド名	説明	データタイプ
	ている製品モデルを更新します。	
接続要素	論理接続に追加される接続要素。[追加] アイコン () を選択して、接続要素を追加します。	Array.String

変数データ型の詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

次の表に、サブフローの出力に関する情報を示します。

サブフローの出力

[Name (名前)]	説明	データタイプ
論理接続	論理接続の Glide レコードを返します。	Reference.Logical connection
インターフェイス A との CI リレーションシップ	開始ネットワークインターフェイスとの CI 関係を返します。	Reference.CI リレーションシップ
インターフェイス Z との CI リレーションシップ	終了ネットワークインターフェイスとの CI 関係を返します。	Reference.CI リレーションシップ

関連情報

[フローデザイナーの通信ネットワークインベントリワークフロー](#)

物理接続作成サブフロー

物理接続の作成サブフローを使用すると、インベントリをインスタンス化するときに受け取る入力に基づいて、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで物理接続レコードを作成できます。

物理接続の作成サブフローを使用して、ネットワークのインターフェイスカードに物理ポート接続を作成できます。

このサブフローでは、接続要素も作成され、それらを物理接続に関連付けます。

物理接続要素を入力すると、このサブフローによって対応する接続要素が作成され、物理接続に関連付けられます。

ロールと使用可能性

admin ロールを持つユーザーは、サブフローをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。この ワークフロースタジオ サブフローは 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで使用できるため、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

入力フィールド

次の表に 物理接続の作成サブフローの入力フィールド およびその説明を示します。

サブフローの入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ
Interface A (インターフェイス A)	この論理接続が構成されている開始ネットワークインターフェイス。	Reference.Network インターフェイス
Interface Z (インターフェイス Z)	この論理接続が構成されている終了ネットワークインターフェイス。	Reference.Network インターフェイス
帯域幅	論理接続の帯域幅。	Reference.Bandwidth
接続タイプ	接続のタイプこのフィールド情報は、物理接続に関連付けられている製品モデルを更新します。	Reference.Physical Connection Model
CI 関係性	構成アイテム (CI) 関係のタイプ。デフォルトでは、論理作成サブフローは CI 関係を Terminated::Terminated by に設定します。	Reference.CI 関係性タイプ
物理接続要素	物理接続に追加される接続要素の sys_id。物理接続の [接続タイプ] 属性が [ケーブル] の場合は、接続要素を追加できます。 追加アイコン () をクリックして、接続要素を追加します。	Array.String

変数データ型の詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

次の表に、サブフローの出力に関する情報を示します。

サブフローの出力

[Name (名前)]	説明	データタイプ
物理接続	物理接続の Glide レコードを返します。	レコード
インターフェイス Z との CI リレーションシップ	終了ネットワークインターフェイスとの CI 関係を返します。	Reference.CI リレーションシップ
インターフェイス A との CI リレーションシップ	開始ネットワークインターフェイスとの CI 関係を返します。	Reference.CI リレーションシップ

関連情報

[フローデザイナーの通信ネットワークインベントリワークフロー](#)

TNI 設計アサイン接続要素作成サブフロー

TNI 設計アサイン接続要素の作成サブフローを使用すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで接続要素レコードを作成できます。このフローアクションを使用して、論理接続の設計およびアサインプレイブックでアクティビティを構成できます。

TNI 設計アサイン接続要素作成サブフローは、論理接続に関連付けられている接続要素を作成し、変更タスクでそれらを更新します。このサブフローの機能は次のとおりです。

- [エンドポイントの定義] および [論理接続のセットアップ] アクティビティから詳細を取得します。
- 接続要素を作成します。
- 開始/終了機器が開始/終了ポートと一致するかどうかを確認します。
- 機器がポートと一致する場合は、CI 関係を作成します。
- [接続要素をアサイン] アクティビティに関連付けられている変更タスクを更新します。

ルールと使用可能性

アドミニストレーターは、サブフローをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。このワークフロースタジオ サブフローは 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで使用できるため、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

入力フィールド

次の表に、TNI 設計アサイン接続要素作成サブフローの入力フィールドとその説明を示します。

TNI 設計アサイン接続要素作成サブフローの入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ
変更タスク	[接続要素のアサイン] アクティビティに関連付けられている変更タスク。	Reference.Change Task
検証エラーを無視する	検証エラーを無視します。	True/False

変数データ型の詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

TNI 設計アサイン接続要素作成サブフローの出力は次のとおりです。

- 接続要素を作成します。
- 機器とポートの間に CI 関係を作成します。
- [接続要素をアサイン] アクティビティに関連付けられている変更タスクを更新します。

TNI 設計保護パスアサインサブフロー

TNI 設計アサイン接続要素作成サブフローを使用すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの保護パスを更新できます。このフローアクションを使用して、論理接続の設計およびアサインプレイブックでアクティビティを構成できます。

TNI 設計保護パスのアサインサブフローは、論理接続に関連付けられている保護パスを取得し、変更タスクで更新します。このサブフローの機能は次のとおりです。

- [保護要素をアサイン] アクティビティから詳細を取得します。
- 論理接続レコードの保護パスを更新します。
- 論理接続と保護されたパスの間に CI 関係を作成します。
- [保護要素をアサイン] アクティビティに関連付けられている変更タスクを更新します。

ロールと使用可能性

アドミニストレータは、サブフローをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。このワークフロースタジオ サブフローは 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで使用できるため、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

入力フィールド

次の表に、TNI 設計保護パス割り当てサブフローの入力フィールドとその説明を示します。

TNI 設計保護パスアサインサブフローの入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ
変更タスク	[保護要素のアサイン] アクティビティに関連付けられている変更タスク。	Reference.Change Task
検証エラーを無視する	検証エラーを無視します。	True/False

変数データ型の詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

TNI 設計アサイン保護パス割り当てサブフロー出力は次のとおりです。

- 論理接続の保護パスを更新します。
- 論理接続と保護パスの間に CI 関係を作成します。
- [保護要素をアサイン] アクティビティに関連付けられている変更タスクを更新します。

TNI 設計アサイン IP アドレス作成サブフロー

TNI 設計アサイン IP アドレス作成サブフローを使用すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで IP アドレスレコードを作成できます。このフローアクションを使用して、論理接続の設計およびアサインプレイブックでアクティビティを構成できます。

TNI 設計アサイン IP アドレス作成サブフローは、論理接続に関連付けられている IP アドレスを作成し、変更タスクでそれらを更新します。このサブフローの機能は次のとおりです。

- [IP アドレスの定義] アクティビティから詳細を取得します。
- IP アドレスレコードを作成します。
- 割り当てられた IP アドレスと IP アドレスの間に CI 関係を作成します。
- 論理接続と IP ネットワークサブネット間の CI 関係を作成します。
- [IP アドレスの定義] アクティビティに関連付けられている変更タスクを更新します。

ルールと使用可能性

アドミニストレーターは、サブフローをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。このワークフロースタジオ サブフローは 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで使用できるため、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

入力フィールド

次の表に、TNI 設計アサイン IP アドレス作成サブフローの入力フィールドとその説明を示します。

TNI 設計アサイン IP アドレス作成サブフローの入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ
変更タスク	[IP アドレスの定義] アクティビティに関連付けられている変更タスク。	Reference.Change Task
検証エラーを無視する	検証エラーを無視します。	True/False

変数データ型の詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

TNI 設計アサイン IP アドレス作成サブフローの出力は次のとおりです。

- IP アドレスレコードを作成します。
- 割り当てられた IP アドレスと IP アドレスの間に CI 関係を作成します。
- 論理接続と IP ネットワークサブネット間の CI 関係を作成します。
- [IP アドレスの定義] アクティビティに関連付けられている変更タスクを更新します。

TNI 設計アサイン論理接続作成サブフロー

TNI 設計アサイン論理接続作成サブフローを使用すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで論理接続レコードを作成できます。このフローアクションを使用して、論理接続の設計およびアサインプレイブックでアクティビティを構成できます。

TNI 設計アサイン論理接続作成サブフローは、論理接続レコードを作成し、変更タスクの詳細を更新します。このサブフローの機能は次のとおりです。

- [エンドポイントの定義] および [論理接続のセットアップ] アクティビティから詳細を取得します。
- インベントリテンプレートを使用して論理接続レコードを作成します。
- TNI CI 属性レコードを更新します。
- 変更要求の構成アイテム (CI) を更新します。
- [エンドポイントの定義] および [論理接続のセットアップ] アクティビティに関連付けられている変更タスクを更新します。

ルールと使用可能性

アドミニストレーターは、サブフローをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。このワークフロースタジオ サブフローは 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで使用できるため、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

入力フィールド

次の表に、TNI 設計アサイン論理接続作成サブフローの入力フィールドとその説明を示します。

TNI 設計アサイン論理接続作成サブフローの入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ
変更タスク	[論理接続のセットアップ] アクティビティに関連付けられている変更タスク。	Reference.Change Task
検証エラーを無視する	検証エラーを無視します。	True/False

変数データ型の詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

TNI 設計アサイン論理接続作成サブフローの出力は次のとおりです。

- 論理接続レコードを作成します。
- TNI CI 属性レコードを更新します。
- 変更要求の構成アイテム (CI) を更新します。
- [エンドポイントの定義] および [論理接続のセットアップ] アクティビティに関連付けられている変更タスクを更新します。

TNI 設計アサイン番号要素作成サブフロー

TNI 設計アサイン番号要素作成サブフローを使用すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで番号要素レコードを作成できます。このフローアクションを使用して、論理接続の設計およびアサインブレイックでアクティビティを構成できます。

TNI 設計アサイン番号要素作成サブフローは、論理接続に関連付けられている番号要素を作成し、変更タスクでそれらを更新します。このサブフローの機能は次のとおりです。

- [番号要素の定義] アクティビティから詳細を取得します。
- 接続要素レコードを作成します。
- [番号要素の定義] アクティビティに関連付けられている変更タスクを更新します。

ロールと使用可能性

アドミニストレータは、サブフローをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。このワークフロースタジオ サブフローは通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで使用できるため、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

入力フィールド

次の表に、TNI 設計アサイン番号要素作成サブフローの入力フィールドとその説明を示します。

TNI 設計アサイン番号要素作成サブフローの入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ
変更タスク	[番号要素の定義] アクティビティに関連付けられている変更タスク。	Reference.Change Task
検証エラーを無視する	検証エラーを無視します。	True/False

変数データ型の詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

TNI 設計アサイン番号要素作成サブフローの出力は次のとおりです。

- 接続要素レコードを作成します。
- [番号要素の定義] アクティビティに関連付けられている変更タスクを更新します。

TNI 設計アサイン属性設定サブフロー

TNI 設計アサイン属性の設定サブフローを使用すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで TNI CI 属性レコードを更新できます。このフローアクションを使用して、論理接続の設計およびアサインプレイブックでアクティビティを構成できます。

TNI 設計アサインセット属性サブフローは、論理接続に関連付けられている TNI CI 属性を更新し、変更タスクで更新します。このサブフローの機能は次のとおりです。

- [属性の設定] アクティビティから詳細を取得します。
- TNI CI レコードの属性を更新します。
- [属性の設定] アクティビティに関連付けられている変更タスクを更新します。

ルールと使用可能性

アドミニストレーターは、サブフローをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。このワークフロースタジオ サブフローは通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで使用できるため、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

入力フィールド

次の表に、TNI 設計アサイン属性セットサブフローの入力フィールドとその説明を示します。

TNI 設計アサイン属性設定サブフローの入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ
変更タスク	[属性の設定] アクティビティに関連付けられている変更タスク。	Reference.Change Task
検証エラーを無視する	検証エラーを無視します。	True/False

変数データ型の詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

TNI 設計アサインの [属性の設定] サブフローの出力は次のとおりです。

- TNI CI レコードの属性を更新します。
- [属性の設定] アクティビティに関連付けられている変更タスクを更新します。

TNI 設計アサイン要求の詳細の更新サブフロー

TNI 設計アサイン属性セットサブフローを使用すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで設計要求を検証できます。このフローアクションを使用して、論理接続の設計およびアサインプレイブックでアクティビティを構成できます。

TNI 設計アサイン要求の詳細の更新サブフローは、論理接続の設計要求を検証し、変更タスクと変更レコードの詳細を更新します。このサブフローの機能は次のとおりです。

- [レビューと送信] アクティビティから詳細を取得します。
- 変更要求の作業メモを更新します。
- 変更タスクの構成アイテム (CI) を更新します。

ルールと使用可能性

アドミニストレーターは、サブフローをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。このワークフロースタジオ サブフローは通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで使用できるため、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

入力フィールド

次の表に、TNI 設計アサイン要求の詳細更新サブフローの入力フィールドとその説明を示します。

TNI 設計アサイン要求の詳細の更新サブフローの入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ
変更タスク	レビューおよび送信アクティビティに関連付けられている変更タスク。	Reference.Change Task
検証エラーを無視する	検証エラーを無視します。	True/False

変数データ型の詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

TNI 設計アサイン要求の詳細の更新サブフローの出力は次のとおりです。

- 変更要求の作業メモを更新します。
- 変更タスクの構成アイテム (CI) を更新します。
- 設計要求を検証します。

TNI 設計アサイン接続要素検証サブフロー

TNI 設計アサイン接続要素検証サブフローを使用すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの接続要素レコードを検証できます。このフローアクションを使用して、論理接続の設計およびアサインプレイブックでアクティビティを構成できます。

TNI 設計アサイン接続要素検証サブフローは、[接続要素のアサイン] アクティビティに必要な接続要素レコードが既に使用されているかどうかを検証します。接続要素が既に使用されている場合、サブフローは情報を渡します。

ルールと使用可能性

アドミニストレーターは、サブフローをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。このワークフロースタジオ サブフローは 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで使用できるため、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

入力フィールド

次の表に、TNI 設計アサイン接続要素検証サブフローの入力フィールドとその説明を示します。

TNI 設計アサイン接続要素検証サブフローの入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ
変更タスク	[接続要素のアサイン] アクティビティに関連付けられている変更タスク。	Reference.Change Task
検証エラーを無視する	検証エラーを無視します。	True/False

変数データ型の詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

接続要素が既に使用されている場合、サブフローは次のメッセージを渡します接続要素は既に完全に使用されています。別のものを作成してみてください"

TNI 設計アサイン IP アドレス検証サブフロー

TNI 設計アサイン IP アドレス検証サブフローを使用すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで IP アドレスレコードを検証できます。このフローアクションを使用して、論理接続の設計およびアサインプレイブックでアクティビティを構成できます。

TNI 設計アサイン IP アドレス検証サブフローは、[IP アドレスの定義] アクティビティに必要な IP アドレスレコードが既に使用されているかどうかを検証します。IP アドレスが既に使用されている場合、サブフローは情報を渡します。

ルールと使用可能性

アドミニストレーターは、サブフローをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。このワークフロースタジオ サブフローは 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで使用できるため、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

入力フィールド

次の表に、TNI 設計アサイン IP アドレス検証サブフローの入力フィールドとその説明を示します。

TNI 設計アサイン IP アドレス検証サブフローの入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ
変更タスク	[IP アドレスの定義] アクティビティに関連付けられている変更タスク。	Reference.Change Task
検証エラーを無視する	検証エラーを無視します。	True/False

変数データ型の詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

IP アドレスが既に使用されている場合、サブフローは次のメッセージを渡します: "IP アドレスは既に作成されています。別のものを作成してみてください"

TNI 設計アサイン番号要素検証サブフロー

TNI 設計アサイン番号要素検証サブフローを使用すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションの番号要素レコードを検証できます。このフローアクションを使用して、論理接続の設計およびアサインプレイブックでアクティビティを構成できます。

TNI 設計アサイン番号要素検証サブフローは、[番号要素の定義] アクティビティに必要な番号要素レコードが既に使用されているかどうかを検証します。番号要素が既に使用されている場合、サブフローは情報を渡します。

ルールと使用可能性

アドミニストレーターは、サブフローをフローに追加し、フローの構成の詳細を定義できます。このワークフロースタジオ サブフローは 通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションで使用できるため、インベントリ関連のデータ操作を実行できます。

入力フィールド

次の表に、TNI 設計アサイン番号要素検証サブフローの入力フィールドとその説明を示します。

TNI 設計アサイン番号要素検証サブフローの入力フィールド

フィールド名	説明	データタイプ
変更タスク	[番号要素の定義] アクティビティに関連付けられている変更タスク。	Reference.Change Task
検証エラーを無視する	検証エラーを無視します。	True/False

変数データ型の詳細については、「[フローデザイナーの入力データ変数と出力データ変数](#)」を参照してください。

出力

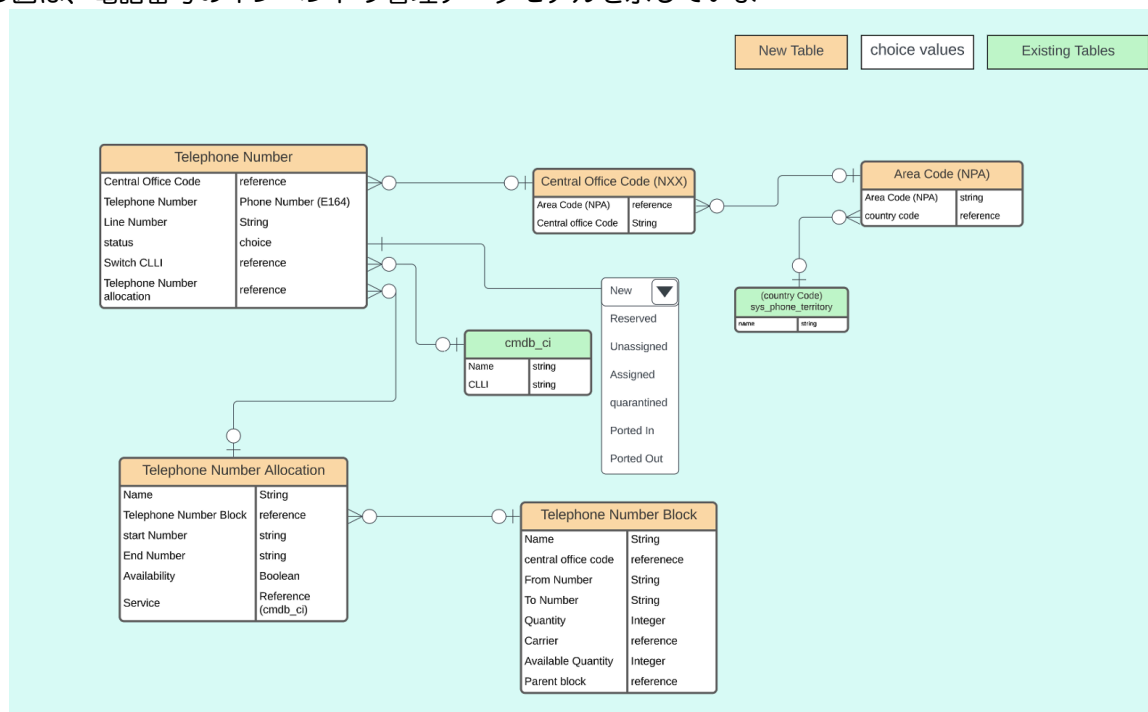
number 要素が既に使用されている場合、サブフローは次のメッセージを渡します: "Number element has already been created. 別のものを作成してみてください"

電話番号インベントリ管理データモデル

電話番号インベントリ管理データモデルを使用すると、電話ブロック、電話番号の割り当て、および電話番号のテーブルが互いにどのように関連しているかを理解できます。

データモデル

次の図は、電話番号のインベントリ管理データモデルを示しています。



す。

データモデルは、電話番号の使用状況と可用性の概要を提供します。このデータモデルを使用すると、電話ブロック、割り当て、および電話番号を保存できます。

注:

カスタマーサービスの電話番号を割り当てたり、割り当て解除したりすることもできます。電話番号ブロックテーブルの電話ブロックを作成する必要があります。

電話番号は次のように割り当てられます。

1. 電話番号インベントリマネージャーは、さまざまなタイプの電話番号をすべて保存するための電話番号ブロックを作成します。番号は、エリア、国、ポートインタイプ、またはポートアウトタイプに基づいて分類できます。ブロックの各レコードは、電話番号ブロックのテーブルに保存されます。
2. 電話番号インベントリマネージャーは、電話の割り当てを作成して、サービスを系列または一連の番号に割り当てます。電話ブロックは、グループをその子として持つことができます。これらの割り当ては、電話番号割り当てテーブルで作成されます。
3. 電話番号割り当てテーブルは、すぐに使用できる電話番号を電話番号テーブルのレコードに関連付けます。

関連情報

[電話インフラストラクチャの作成](#)

TNI CI 属性フォーム

TNI CI 属性フォームを使用すると、通信事業ネットワークインベントリ アプリケーションでネットワークインベントリの通信事業ネットワークインベントリ属性の詳細を作成できます。

TNI CI 属性フォーム

フィールド	説明
構成アイテム (CI)	ネットワークインベントリ資産の構成アイテム (CI)。
ネットワークドメイン	このネットワーク資産または接続の所有権および責任のドメイン。次のオプションのいずれかを選択します。 モビリティ ワイヤレスデバイスと接続を表します。 Telco エッジまたはアクセスネットワークを表します。 Core コアネットワークインフラストラクチャを表します。
インベントリカテゴリ	インベントリのタイプ。
インベントリテンプレート	インベントリテンプレート (存在する場合)。
機器 CLLI	このネットワーク資産のアサインされた機器の共通場所識別子コード (CLLI)。北米の電気通信業界では、電気通信機器の場所と機能を指定するために CLLI コードを使用しています。
ネットワークサイト	ネットワークインベントリ資産がインストールされているネットワークサイト。検索アイコン (🔍) をクリックし、ネットワークサイトを選択します。詳細については、「 product/tmt-telecom-network-inventory/task/define-tni-sites.dita 」を参照してください。
識別名	他の関連ネットワーク資産から連結された名前と ID に基づくネットワーク資産の代替名参照。
タイプ	さまざまなネットワークエンティティまたは資産のタイプを分類するために使用するオプションのユーザー定義タイプコード。検索アイコン (🔍) を選択し、タイプコードを選択します。
ロール	さまざまなネットワークエンティティまたは資産のロールまたは目的を分類するために使用するオプションのユーザー定義ロールコード。検索アイコン (🔍) を選択し、ロールコードを選択します。

TNI CI 属性フォーム (続く)

フィールド	説明
関数	さまざまなネットワークエンティティまたは資産の機能を分類するために使用するオプションのユーザー定義関数コード。検索アイコン (🔍) を選択し、関数コードを選択します。
ユニットの位置	このネットワーク資産のユニット位置。
アクセス識別子	適用外です。
前回のメンテナンス日	このネットワーク資産が最後にサービス提供された日付。
アラーム可能か	このネットワーク資産にアラームシステムをアサインできるかどうかを指定するオプション。
交換可能	このネットワーク資産が誤動作した場合、またはネットワーク停止の影響を受けた場合に交換できるかどうかを指定するオプション。
スペア	このネットワーク資産がスペアかどうかを指定するオプション。
業務メモ	このネットワーク資産のフリーフォームの操作メモテキスト。たとえば、発電機のディーゼル燃料を確認します。

関連情報

[通信機器インスタンスの作成](#)